

龍ヶ崎市
子ども・子育て支援に関するニーズ調査
【結果報告書】

令和6年3月

龍ヶ崎市

目 次

I 調査の概要

1. 調査の目的.....	3
2. 調査対象者.....	3
3. 実施概要.....	3
4. 回収結果.....	3
5. 報告書を見る際の留意点.....	3

II 就学前児童の調査結果

1. お住まいの地域について.....	7
2. お子さんご家族の状況について.....	8
3. お子さんの育ちをめぐる環境について.....	12
4. 保護者の就労状況について.....	19
5. お子さんの平日の定期的な教育・保育サービスの利用状況について.....	27
6. 地域の子育て支援サービスの利用状況について.....	33
7. お子さんの土日・祝日や長期休暇中の 「定期的」な教育・保育サービスの利用希望について.....	40
8. お子さんの病気の際の対応について.....	44
9. 不定期の教育・保育サービスや 宿泊を伴う一時預かり等の利用について.....	50
10. お子さんが5歳以上である方に、 小学校就学後の放課後の過ごし方について.....	57
11. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について.....	63
12. 子どもの虐待防止について.....	73
13. 少子化について.....	76
14. 子育てと介護（ダブルケア）について.....	79
15. 子育て全般について.....	81

III 小学生の調査結果

1. お住まいの地域について.....	91
2. お子さんご家族の状況について.....	92
3. お子さんの育ちをめぐる環境について.....	97
4. 保護者の就労状況について.....	103

5. お子さんの病気の際の対応について	113
6. 不定期の教育・保育サービスや 宿泊を伴う一時預かり等の利用について	119
7. 放課後の過ごし方について	126
8. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	132
9. 子どもの虐待防止について	141
10. 少子化について	143
11. 子育てと介護（ダブルケア）について	146
12. 子育て全般について	148

IV 資料編（調査票）

1. 就学前児童の調査票	157
2. 小学生の調査票	171

I 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、令和2年3月に策定した「第2期龍ヶ崎市子ども・子育て支援事業計画」が令和6年度に終了することに伴い、令和7年度からの「第3期龍ヶ崎市子ども・子育て支援事業計画」策定の基礎資料とするため、市民の皆さまの「教育・保育施設や地域の子育て支援事業等」に関する「利用状況」や「利用希望」、子育て支援に関するご意見・ご要望等を把握することを目的に実施しました。

2. 調査対象者

調査区分	調査対象者数
就学前児童	1,994人
小学生	1,000人

3. 実施概要

- 調査地域：龍ヶ崎市全域
- 調査形式：アンケート調査
- 調査方法：郵送配布・郵送回収
- 調査期間：令和6年1月12日～令和6年2月14日

4. 回収結果

調査区分	配布数	回収数	回収率
就学前児童	1,994件	811件	40.7%
小学生	1,000件	405件	40.5%

5. 報告書を見る際の留意点

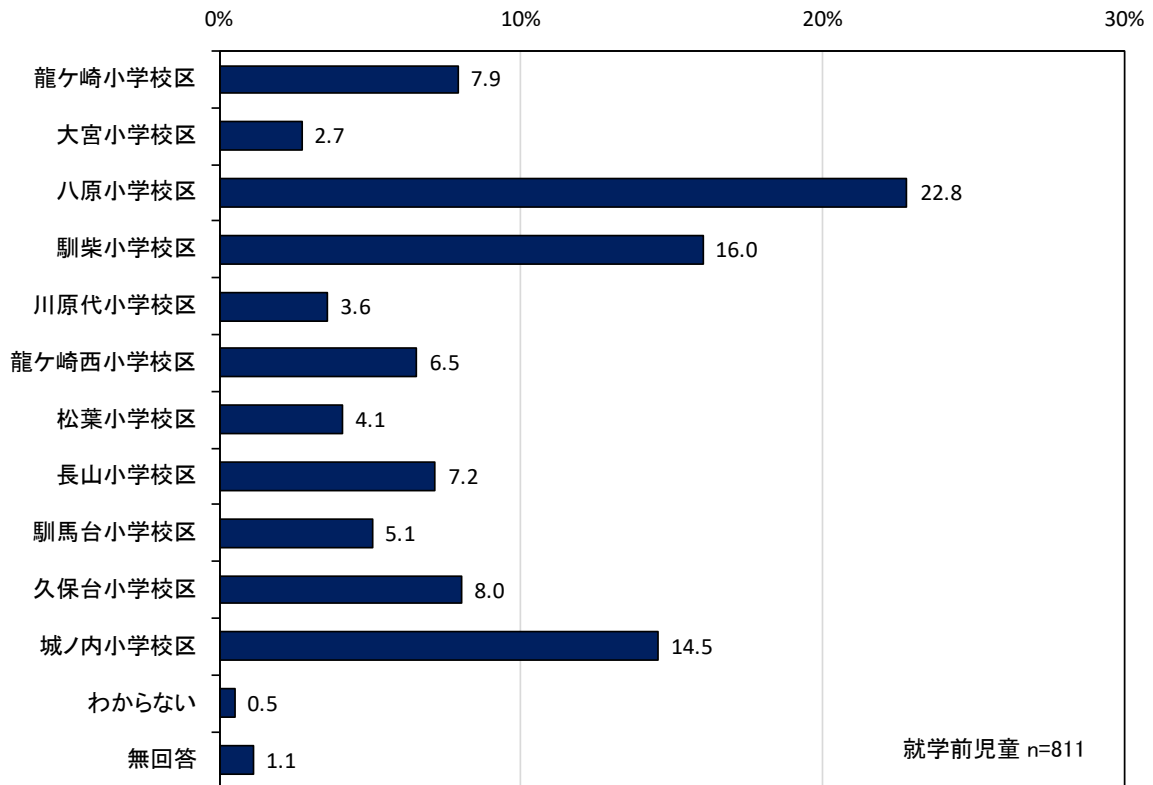
- 調査結果の割合は、その設問の回答者数を基数として、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを示しているため、その合計値が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答の設問の場合、回答割合の合計は100.0%を超える場合があります。
- グラフ中の「n」とは、その設問の回答者数（母数）を表しています。
- 調査票の選択肢について、一部簡略化している場合があります。
- 回答者数（母数）が少数の場合、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合があります。

II 就学前児童の調査結果

1. お住まいの地域について

問1 お住まいの地区についてお答えください。(1つのみ)

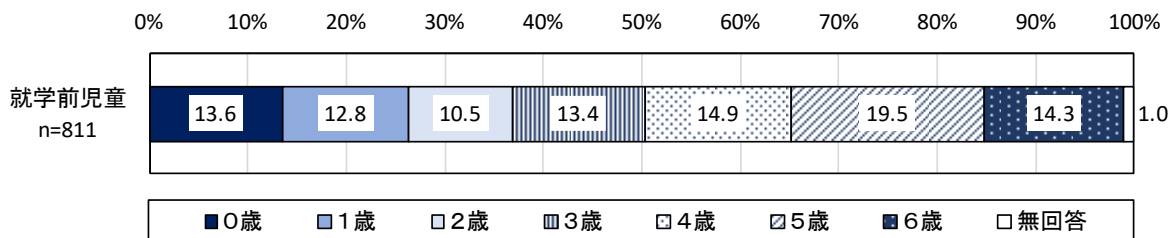
お住まいの地区については、「八原小学校区」が 22.8%で最も高く、次いで「馴染小学校区」が 16.0%、「城ノ内小学校区」が 14.5%となっています。



2. お子さんご家族の状況について

問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。(口内に数字をご記入ください。)

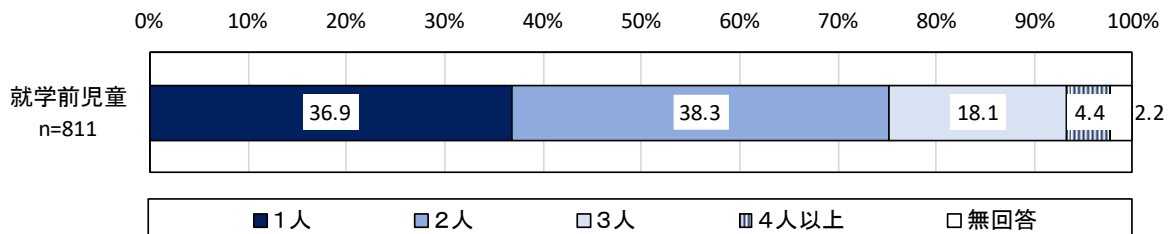
年齢については、「5歳」が19.5%で最も高く、次いで「4歳」が14.9%、「6歳」が14.3%となっています。



問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数をご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合、末子の方の生年月をご記入ください。(口内に数字をご記入ください。)

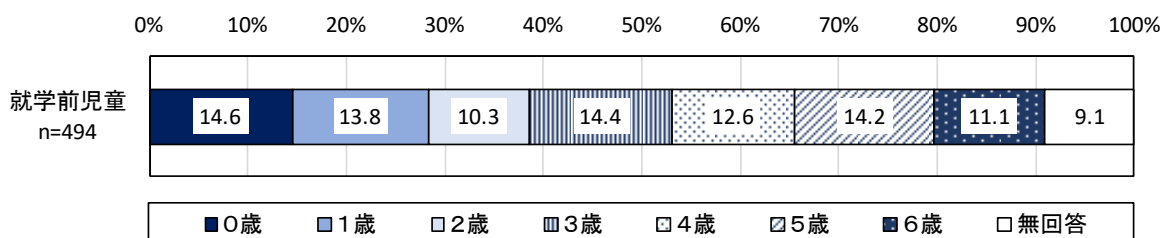
●子どもの人数

子どもの人数については、「2人」が38.3%で最も高く、次いで「1人」が36.9%、「3人」が18.1%となっています。



●末子の年齢

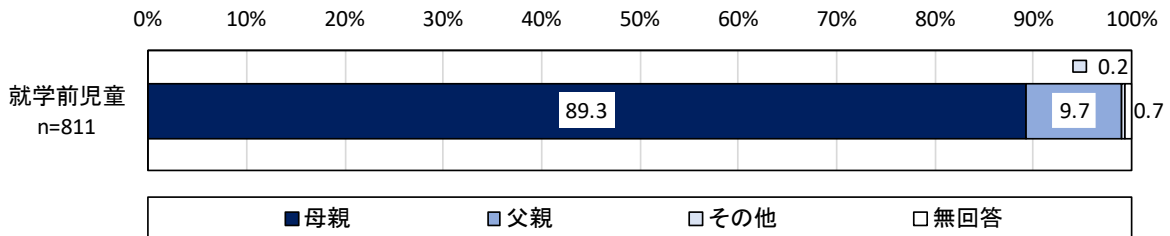
末子の年齢については、「0歳」が14.6%で最も高く、次いで「3歳」が14.4%、「5歳」が14.2%となっています。



問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。また、ご回答いただく方の年代をお答えください。（それぞれ1つのみ）

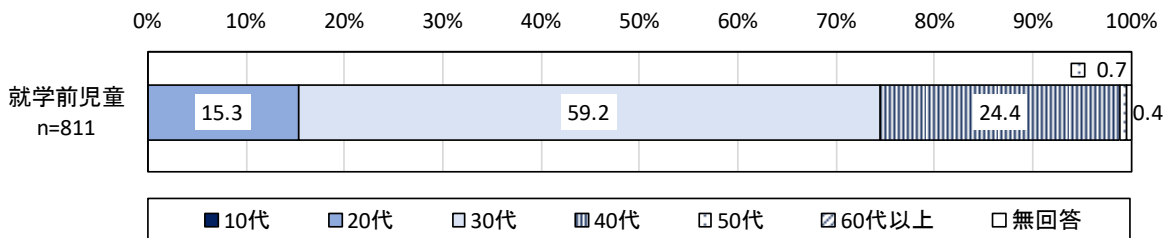
(1) 回答者

調査票への回答者については、「母親」が89.3%で最も高く、次いで「父親」が9.7%、「その他」が0.2%となっています。



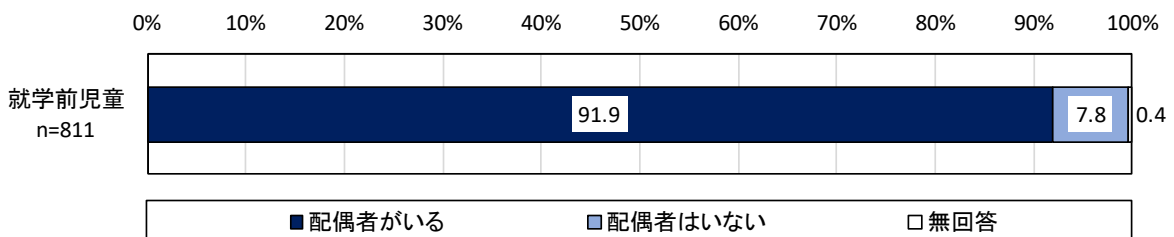
(2) 回答者の年代

回答者の年代については、「30代」が59.2%で最も高く、次いで「40代」が24.4%、「20代」が15.3%となっています。



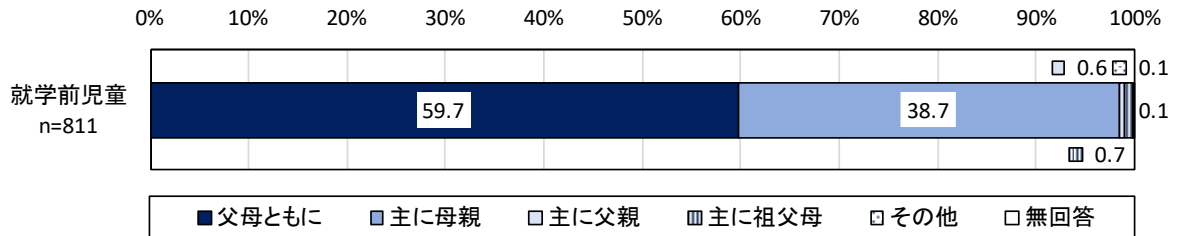
問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。（1つのみ）

回答者の配偶関係については、「配偶者がいる」が91.9%、「配偶者はいない」が7.8%となっています。



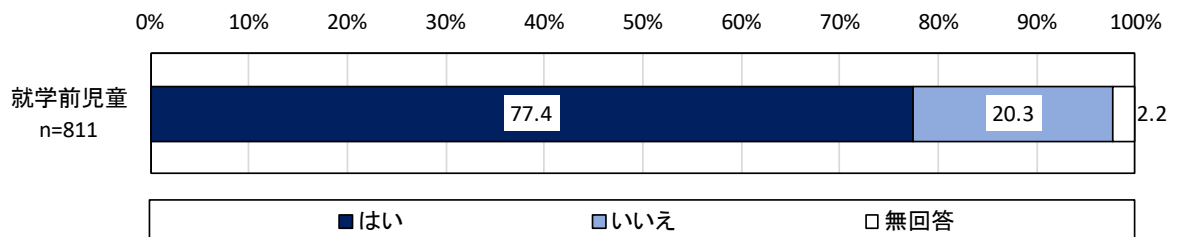
問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんから見た関係でお答えください。（1つのみ）

子育てを主に行っている方については、「父母ともに」が59.7%で最も高く、次いで「主に母親」が38.7%、「主に祖父母」が0.7%となっています。



問7 宛名のお子さんを妊娠した際、または生まれた時に龍ヶ崎市にお住まいでしたか。（1つのみ）

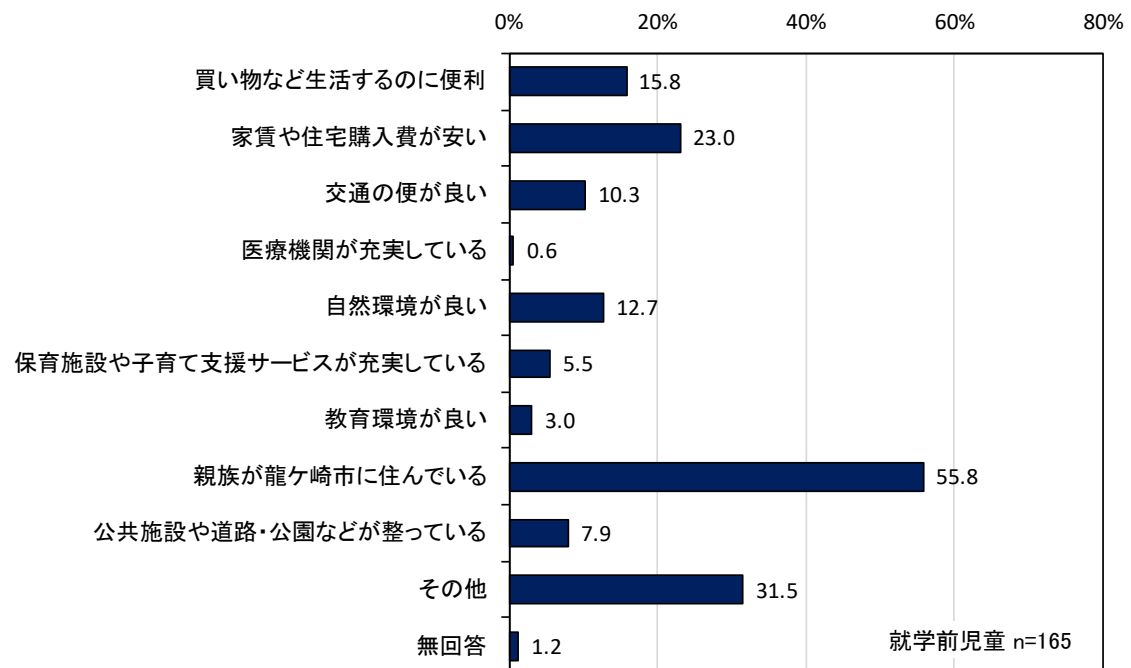
妊娠の際、または生まれた時に龍ヶ崎市に住んでいたかについては、「はい」が77.4%、「いいえ」が20.3%となっています。



問7-1 問7で「いいえ」と回答した方にうかがいます。

龍ヶ崎市に転入した理由をお聞かせください。(いくつでも)

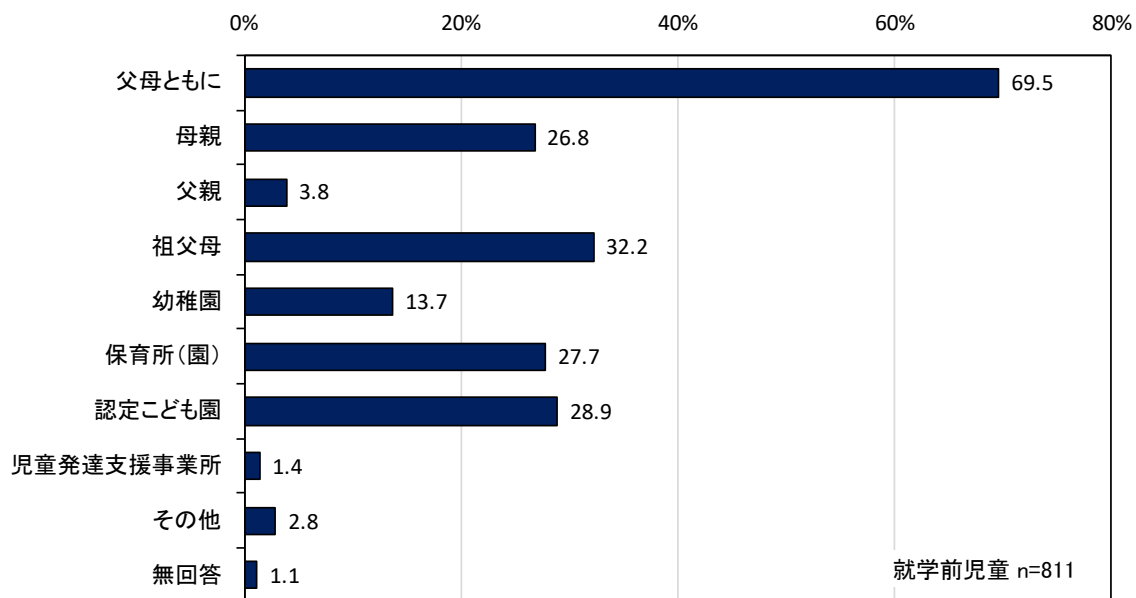
龍ヶ崎市に転入した理由については、「親族が龍ヶ崎市に住んでいる」が55.8%で最も高く、次いで「その他」が31.5%、「家賃や住宅購入費が安い」が23.0%となっています。



3. お子さんの育ちをめぐる環境について

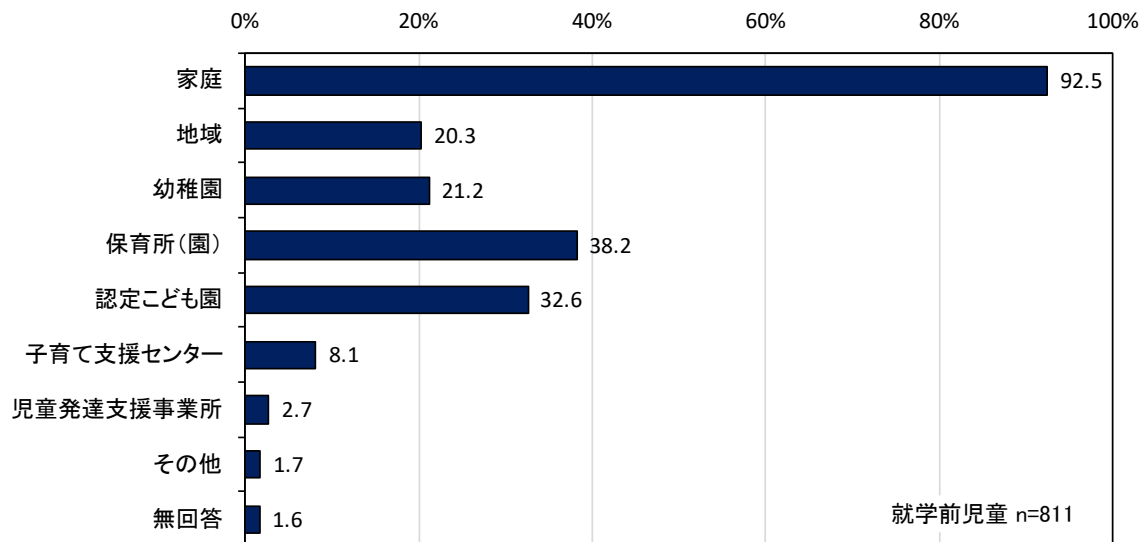
問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。（いくつでも）

子育てに日常的に関わっている方（施設）については、「父母ともに」が69.5%で最も高く、次いで「祖父母」が32.2%、「認定こども園」が28.9%となっています。



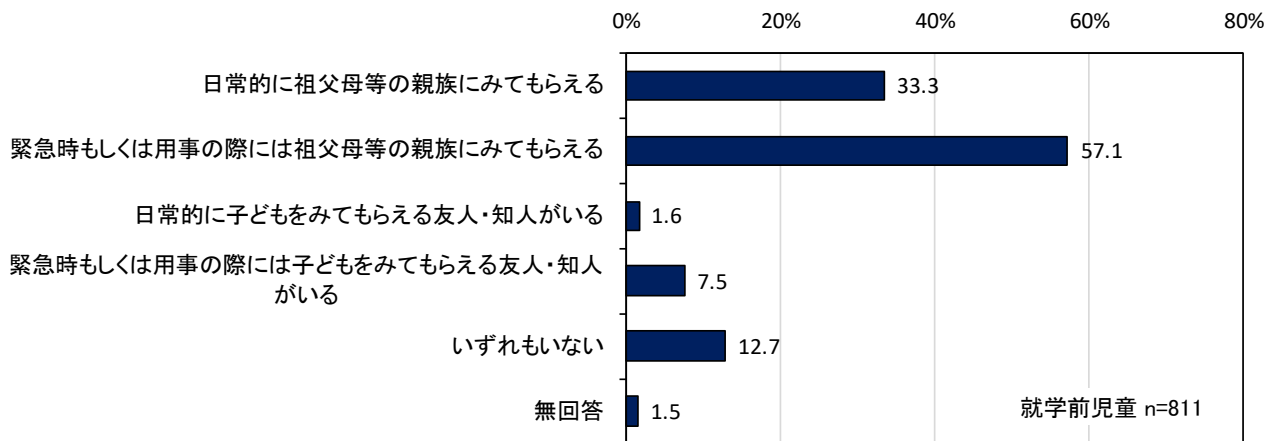
問9 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、特に影響すると思われる環境は何ですか。
（いくつでも）

子育てに影響すると思われる環境については、「家庭」が92.5%で最も高く、次いで「保育所(園)」が38.2%、「認定こども園」が32.6%となっています。



問 10 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(いくつでも)

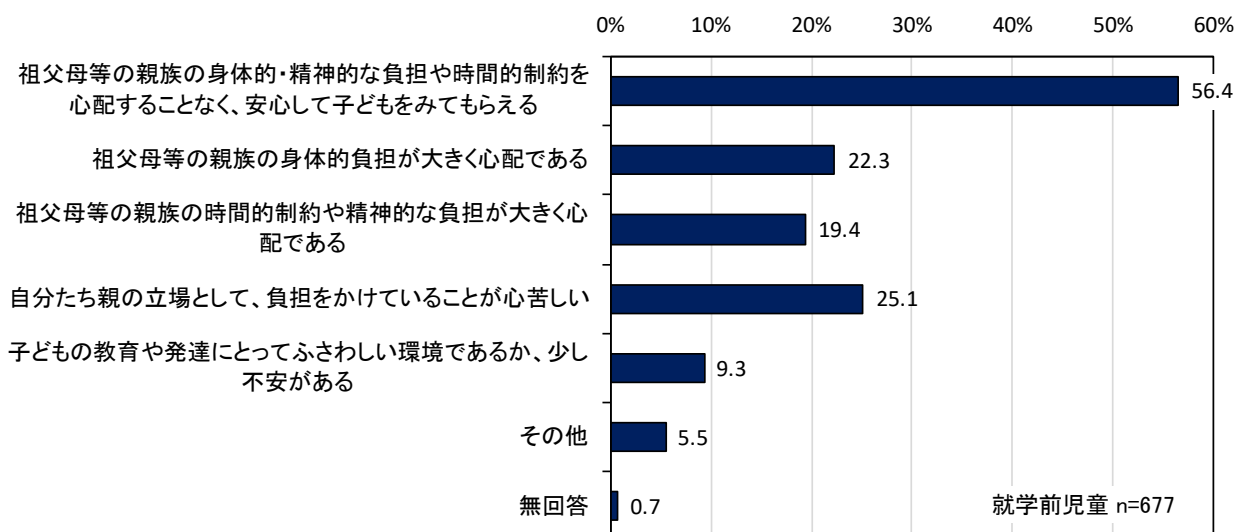
日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が57.1%で最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が33.3%、「いずれもない」が12.7%となっています。



問 10-1 問 10で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」と回答した方にうかがいます。

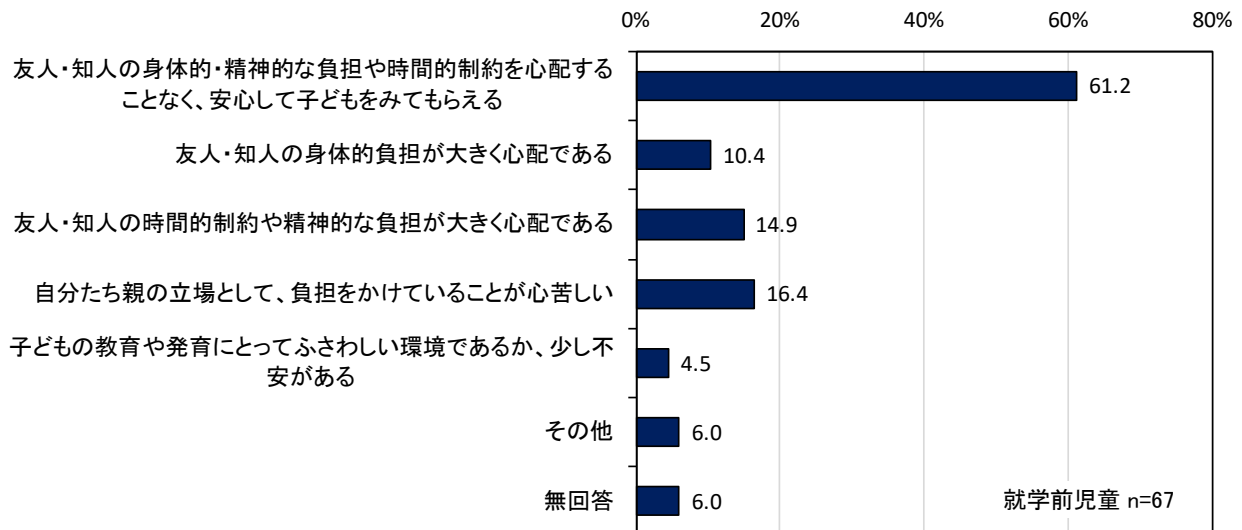
祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(いくつでも)

祖父母等の親族にみてもらっている状況については、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が56.4%で最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が25.1%、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」が22.3%となっています。



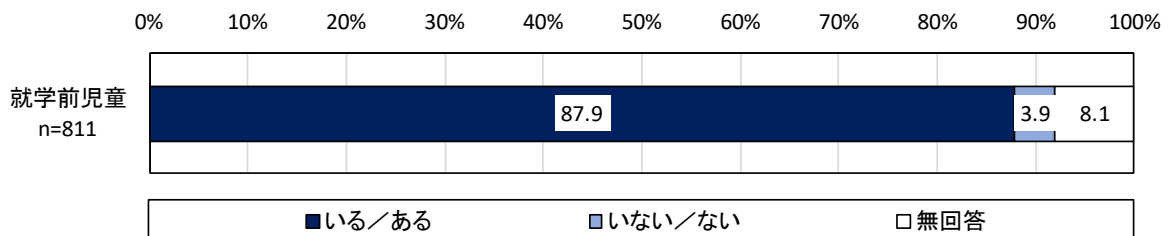
問 10-2 問 10 で「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」と回答した方にうかがいます。
友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(いくつでも)

友人・知人にみてもらっている状況については、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が 61.2%で最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が 16.4%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が 14.9%となっています。



問 11 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(1つのみ)

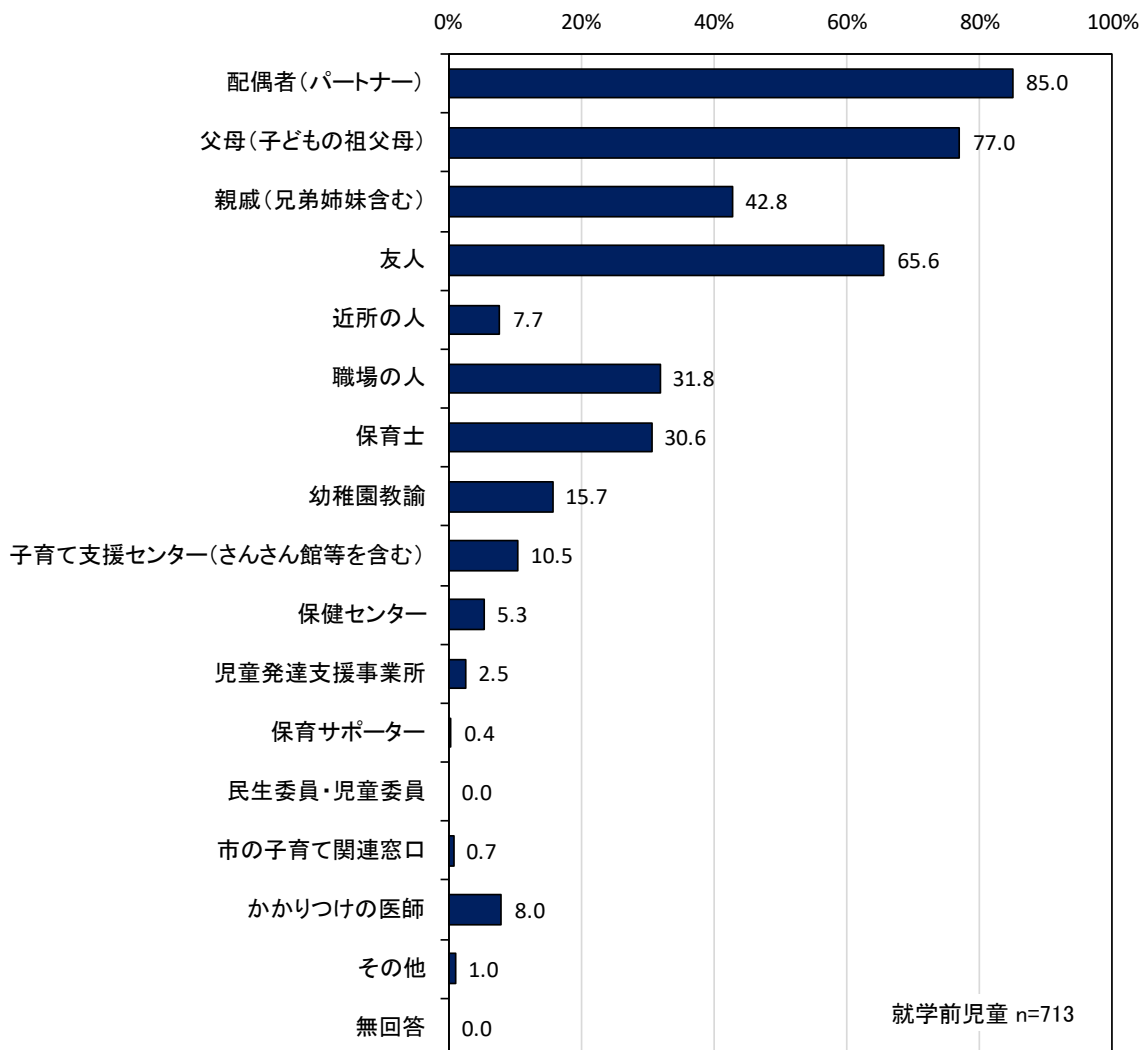
気軽に相談できる人(場所)の有無については、「いる／ある」が 87.9%、「いない／ない」が 3.9%となっています。



問 11-1 問 11 で「いる／ある」と回答した方にうかがいます。

宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できるのは、誰（どこ）ですか。
（いくつでも）

相談先については、「配偶者（パートナー）」が 85.0%で最も高く、次いで「父母（子どもの祖父母）」が 77.0%、「友人」が 65.6%となっています。



問 12 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

全部で 349 の回答があり、内訳は以下のとおりとなっています。ひとりの対象者が複数の項目に関して記述している場合もありますが、ここでは主な意見を 1 つとして分類してあります。

分類／主な意見（抜粋）	件数
●経済的支援について	93
<ul style="list-style-type: none"> ・医療費を無料にしてほしい。 ・児童手当の金額を上げてもらいたい。 ・子どもが多くなるにつれ給付金のようなものが多くなっていくと嬉しい。 ・大学までの金銭的サポート。 	
●預かり施設について	70
<ul style="list-style-type: none"> ・両親が病気やケガでやむをえず子どもの世話ができない時に気軽に預けられると安心だと思う。 ・休日、夜間に子どもを見てもらえる施設がほしい（保育所的な）。 ・さんさん館のリフレッシュ保育では、3才までの児童が対象だが、3才以上でも留守番は無理なので、預けられる所を増やしてほしい。 ・近所に預けられる場所はあるが予約がいっぱいで、予約できても数カ月先だったりする。 	
●相談支援について	33
<ul style="list-style-type: none"> ・LINE 等で家にいながらでも相談できると便利だと思う。 ・専門知識をもっていて、無料で否定しないで話を聞いてくれる人がいてほしい。 ・夜間でも気軽に電話相談できるサポート。 ・同じくらいの年齢のママが集まる相談会のようなものがあると行きやすい。 	
●子育て支援全般について	27
<ul style="list-style-type: none"> ・臨時応変に対応してくれるサポート（急な発熱時のお迎え代行や早朝の預かり等が、予約・年齢制限なしで誰でも受けられるサポート）。 ・母親がゆっくり休めるようなサポート。 ・きょうだいのケアをしてくれるサポート。 	
●病児・病後児保育について	21
<ul style="list-style-type: none"> ・急な仕事や子どもの病気に対応して預けるような 24 時間年中無休の施設。 ・病児保育がもっと気軽に利用できると助かる。 	
●子育て支援センターについて	14
<ul style="list-style-type: none"> ・もう少し大きく、遊び場と併設などしてもらえると兄弟の年差を気にせず連れて行ける。 ・保育士がいると目がたくさんあって、心に余裕がでる。 	
●家事・学習支援について	13
<ul style="list-style-type: none"> ・教育施設の充実、手頃な価格等、時間の融通が利くなど。 ・家事をする時間が少ないので子どもをみてもらっている間に済ませたい。 ・習い事の送迎。 	

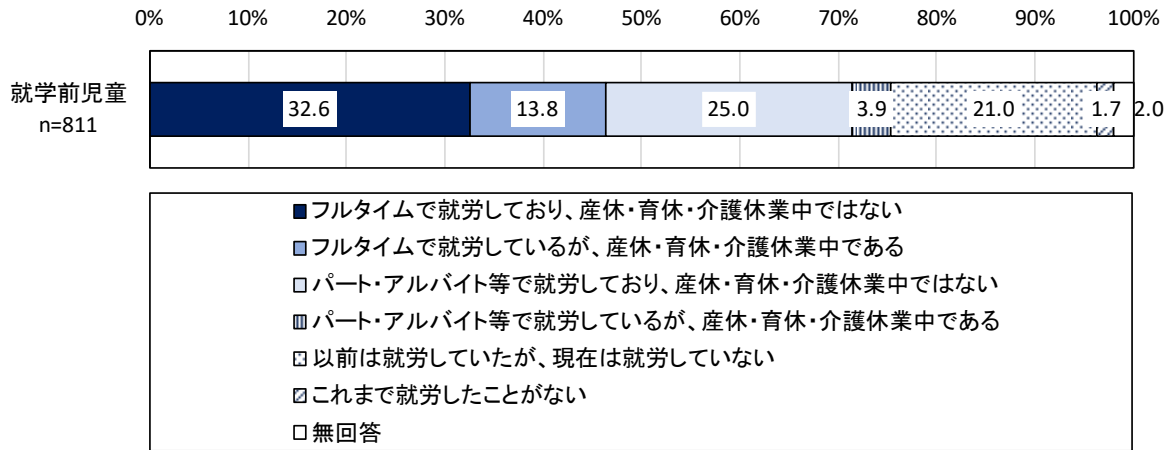
●サークル、イベント参加について	13
<ul style="list-style-type: none"> ・同年歳くらいの親ともっと話せる機会や教えてくださる方の話を聞けると嬉しい。 ・子どもが小さい時は子育てで孤独を感じたり、気持ちが沈みやすかったりするので、“一人じゃない”と思えるようなサポートだったり、気軽に参加できるイベント等があると良い。 	
●情報提供について	12
<ul style="list-style-type: none"> ・産後は大変なので、自分に合った情報が自動で送られてくるようなものがあれば。 ・同世代、同年齢の子を持つグループ・コミュニティの紹介。 	
●学童保育、児童館について	10
<ul style="list-style-type: none"> ・学童保育が曜日指定だけでも利用できるようになってほしい。 ・児童館や遊具を使用できる施設などがあると雨の日でも外へ出やすくなると思う。 	
●遊び場、公園、交流について	8
<ul style="list-style-type: none"> ・古い公園の設備をきちんと整えてほしい。 ・雨天時など室内で気軽に利用できる遊び場。 ・コミュニティー（親子参加）集まって遊ぶ場。 	
●地域の理解について	6
<ul style="list-style-type: none"> ・周りの大人が子どもに関心を持ち、気にかけてあげることが大切だと思う。 ・いつでも声をかけあえたり頼ったりできるご近所さんとの関係を築けたら良いと思う。 	
●保健・医療について	5
<ul style="list-style-type: none"> ・予防接種等を定期的に保健センターで行ってほしい。その時に育児相談もあつたらと思う。 ・市民が通いやすい助産院や産後ケアのできる施設。 	
●幼稚園、保育所（園）、認定こども園について	4
<ul style="list-style-type: none"> ・龍ヶ崎の保育園案内が届くシステムがあつたら助かる。 ・産後、上の子を保育園に入れられる期間が短か過ぎる。 	
●就労について	4
<ul style="list-style-type: none"> ・シングルマザーなこともあり、子どもの送迎を考えると正社員として勤務することが難しいと感じている。 ・子どもの体調や行事などで気軽に仕事を休める環境。 	
●安心・安全について	3
<ul style="list-style-type: none"> ・下校や帰宅時の見守りやパトロール等、大人の目がもう少し周りがあると安心。 	
●市の支援について	3
<ul style="list-style-type: none"> ・共働きである家庭にやさしさを感じない。 	
●発達支援について	2
<ul style="list-style-type: none"> ・障害児への偏見が無いような施設が増えると良いと思う。遊び場も子どもたちの理解が得られやすいような環境があると良い。 	
●その他	8
<ul style="list-style-type: none"> ・祖父母、旦那が見てくれている時は少し休めるので助かっている。 	

4. 保護者の就労状況について

問 13 保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお答えください。（1つのみ）

（1）母親の状況について

母親の就労状況については、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が32.6%で最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が25.0%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が21.0%となっています。



（1）－①・② （1）で“就労している”と回答した方にうかがいます。

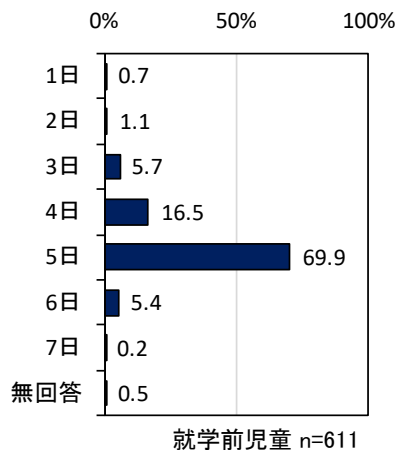
1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、「家を出る時間」と「帰宅時間」をお答えください。（□内に数字をご記入ください。）

●就労している母親の就労日数・就労時間

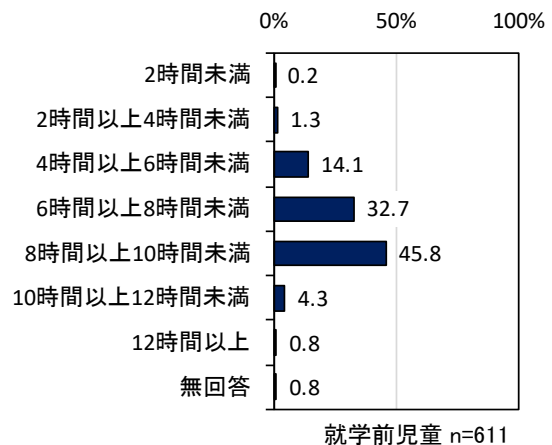
母親の1週当たりの就労日数は、「5日」が69.9%で最も高くなっています。

また、1日当たりの就労時間は、「8時間以上10時間未満」が45.8%で最も高くなっています。

【1週当たりの就労日数】



【1日当たりの就労時間】



●就労している母親の家を出る時間・帰宅時間

母親の家を出る時間は、「8時台」が48.3%で最も高く、次いで「7時台」が30.6%となっています。

また、帰宅時間は、「18時台」が38.1%で最も高く、次いで「17時台」が21.1%となっています。

【家を出る時間】



就学前児童 n=611

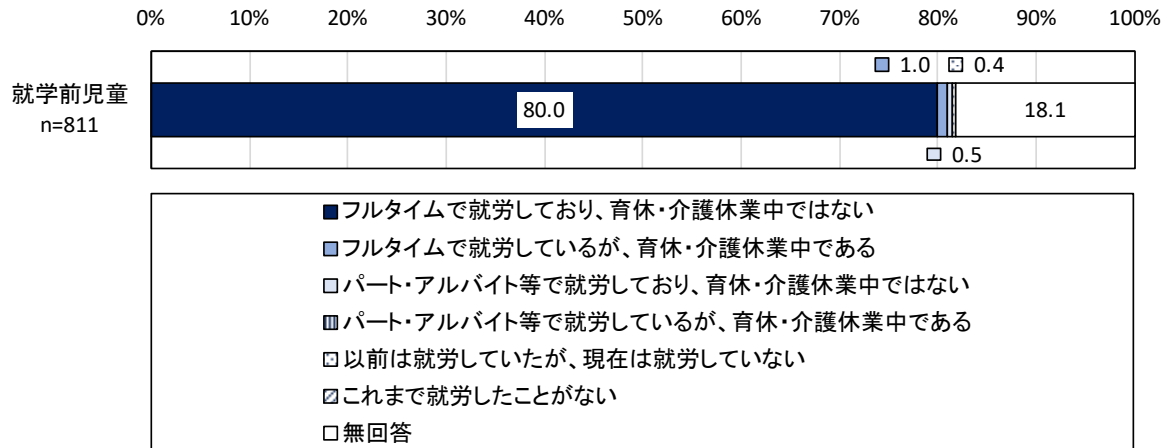
【帰宅時間】



就学前児童 n=611

(2) 父親の状況について

父親の就労状況については、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が80.0%で最も高く、次いで「フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である」が1.0%、「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」が0.5%となっています。



(2) -①・② (2) で“就労している”と回答した方にうかがいます。

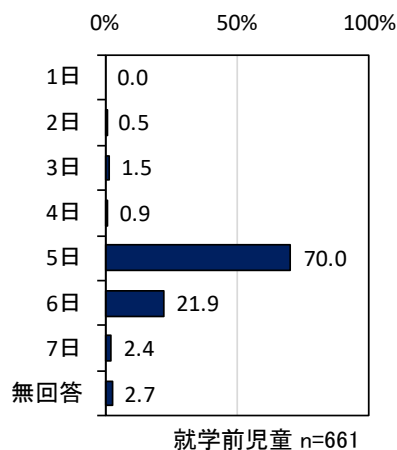
1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、「家を出る時間」と「帰宅時間」をお答えください。（口内に数字をご記入ください。）

●就労している父親の就労日数・就労時間

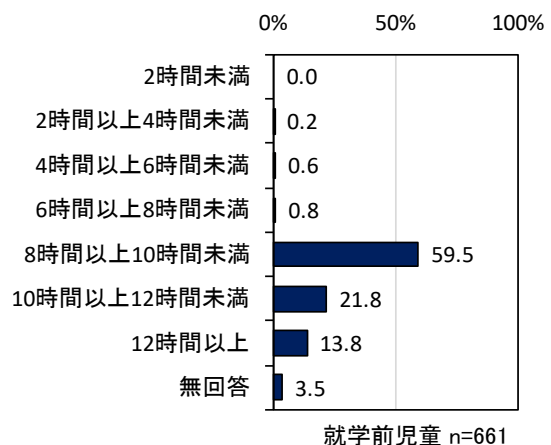
父親の1週当たりの就労日数は、「5日」が70.0%で最も高くなっています。

また、1日当たりの就労時間は、「8時間以上10時間未満」が59.5%で最も高くなっています。

【1週当たりの就労日数】



【1日当たりの就労時間】



●就労している父親の家を出る時間・帰宅時間

父親の家を出る時間は、「7時台」が38.6%で最も高く、次いで「8時台」が25.0%となっています。

また、帰宅時間は、「19時台」が24.7%で最も高く、次いで「18時台」が21.6%となっています。

【家を出る時間】



就学前児童 n=661

【帰宅時間】



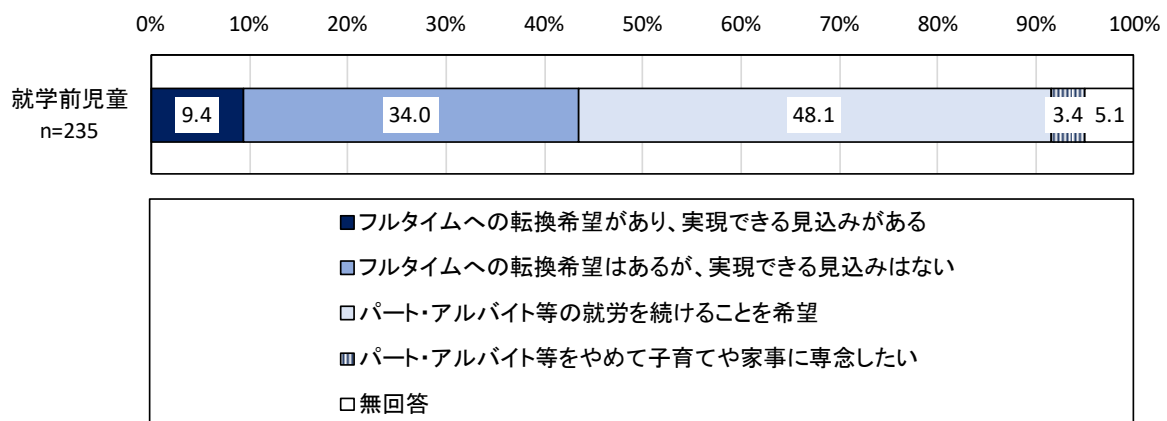
就学前児童 n=661

問13-1 問13の(1)または(2)で“就労している(パート・アルバイト等で就労している)”と回答した方にうかがいます。

フルタイムへの転換希望はありますか。(1つのみ)

(1) 母親

母親のフルタイムへの転換希望については、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が48.1%で最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が34.0%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が9.4%となっています。



(2) 父親

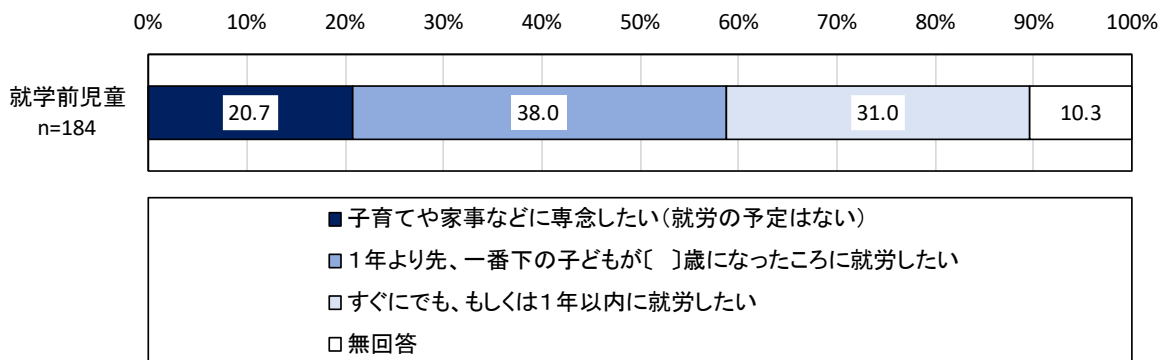
父親のフルタイムへの転換希望については、該当する回答者は4人で、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が4人となっています。

問 13-2 問 13 の (1) または (2) で “就労していない” と回答した方にうかがいます。
 就労したいという希望はありますか。
 (該当する回答にそれぞれ1つのみ、該当する口内に数字をご記入ください。)

(1) 母親

●就労していない母親の就労希望

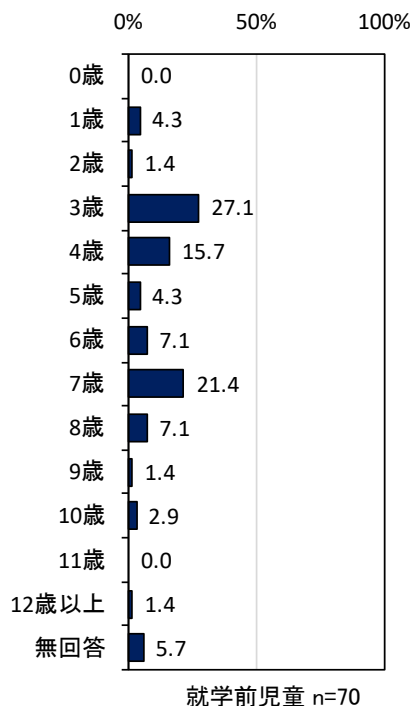
就労していない母親の就労希望については、「1年より先、一番下の子どもが〔 〕歳になったところに就労したい」が38.0%で最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が31.0%、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が20.7%となっています。



●『1年より先、一番下の子どもが〔 〕歳になったところに就労したい』と回答した方の希望年齢

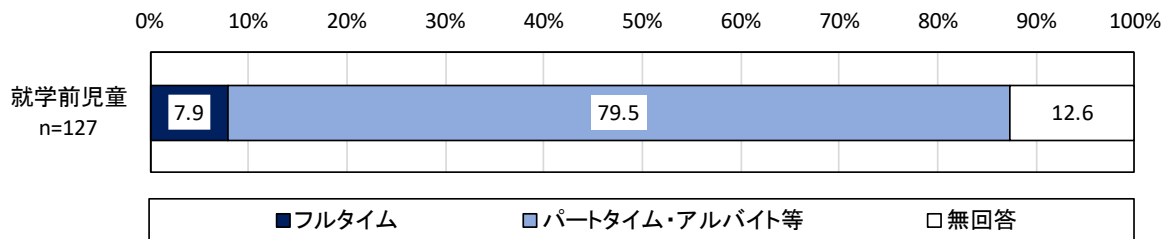
一番下の子どもが〔 〕歳になったところに就労したいかについては、希望年齢については「3歳」が27.1%で最も高く、次いで「7歳」が21.4%、「4歳」が15.7%となっています。

【一番下の子どもが〔 〕歳になったところに就労したい】



●希望する就労形態（『就労したい』と回答した方）

母親が希望する就労形態については、「パートタイム・アルバイト等」が79.5%、「フルタイム」が7.9%となっています。

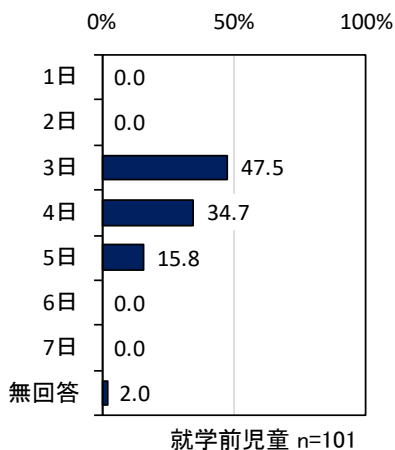


●希望する就労日数・就労時間（『パートタイム・アルバイト等』と回答した方）

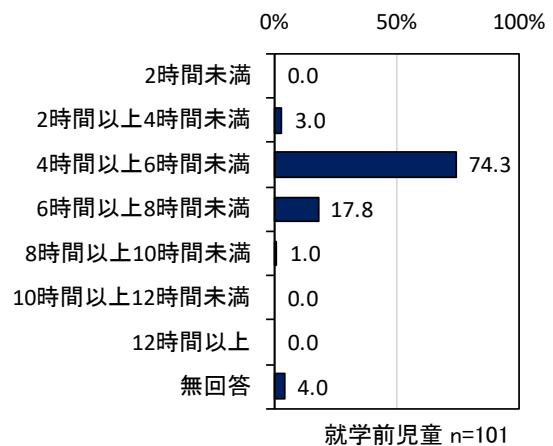
母親が希望する1週当たりの就労日数は、「3日」が47.5%で最も高く、次いで「4日」が34.7%、「5日」が15.8%となっています。

また、1日当たりの就労時間は、「4時間以上6時間未満」が74.3%で最も高く、次いで「6時間以上8時間未満」が17.8%となっています。

【1週当たりの就労日数】



【1日当たりの就労時間】



(2) 父親

就労していない父親の就労希望については、該当する回答者は3人で、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が2人、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が1人となっています。

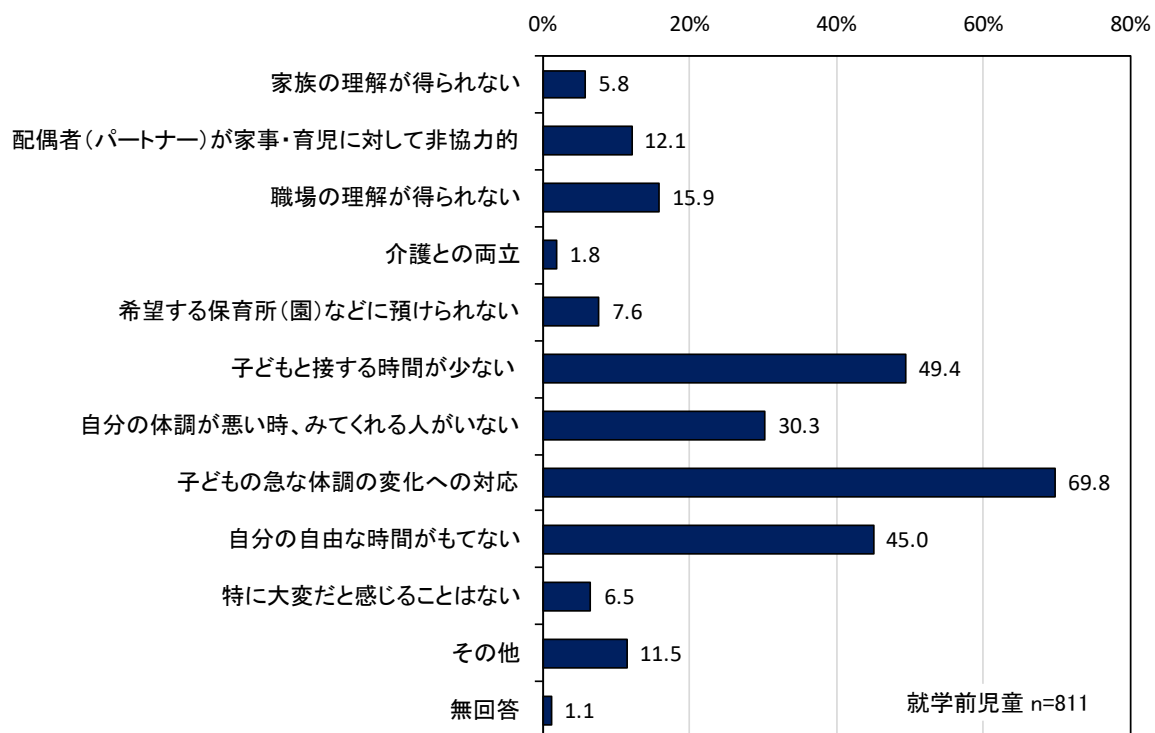
父親が希望する就労形態については、該当する回答者は2人で、「フルタイム」が1人、「パートタイム・アルバイト等」が1人となっています。

父親が希望する1週当たりの就労日数は、該当する回答者は1人で、「4日」となっています。

また、1日当たりの就労時間は、「6時間以上8時間未満」となっています。

問 14 あなたが、子育てと仕事を両立する上で大変だと感じることは何ですか。(いくつでも)

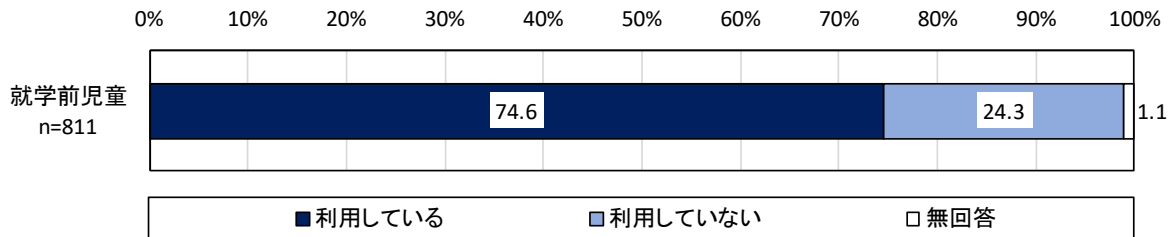
子育てと仕事を両立する上で大変だと感じることについては、「子どもの急な体調の変化への対応」が69.8%で最も高く、次いで「子どもと接する時間が少ない」が49.4%、「自分の自由な時間をもてない」が45.0%となっています。



5. お子さんの平日の定期的な教育・保育サービスの利用状況について

問 15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所、認定こども園などの「定期的な教育・保育サービス」を利用されていますか。(1つのみ)

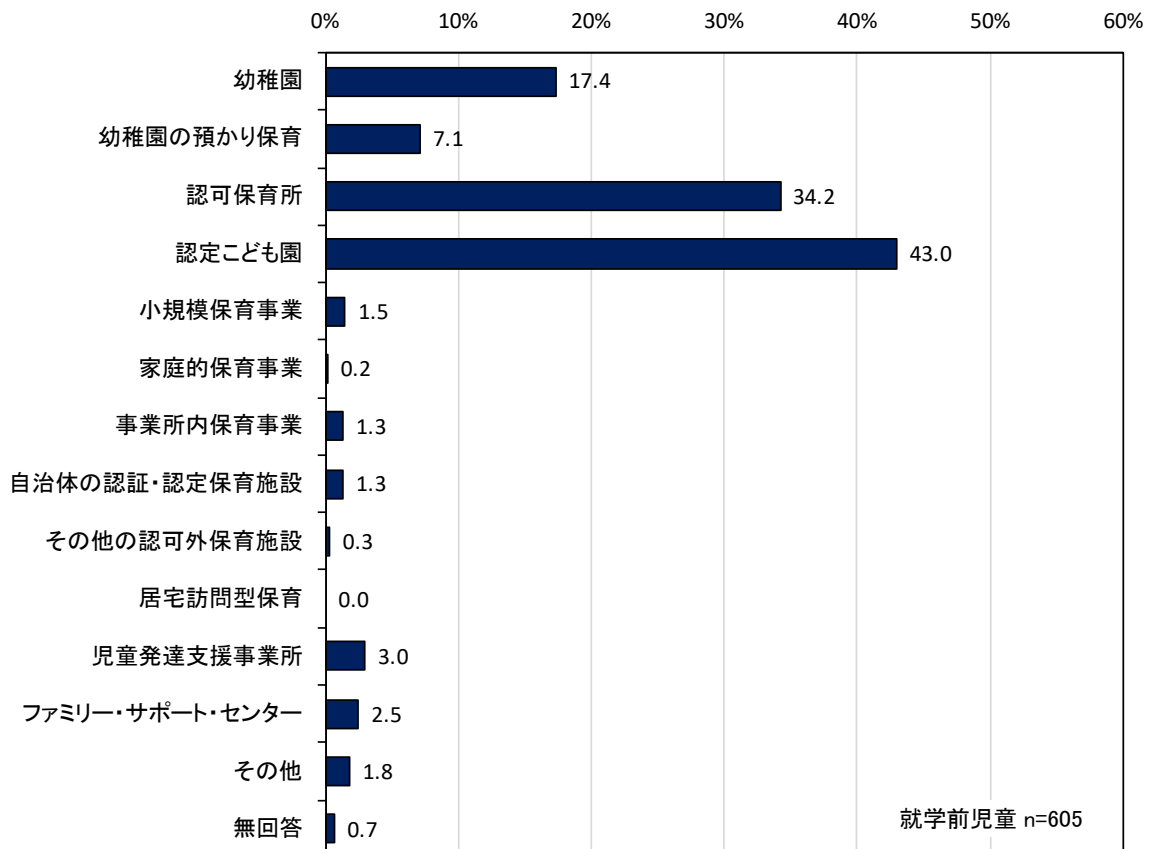
定期的な教育・保育サービスの利用状況については、「利用している」が74.6%、「利用していない」が24.3%となっています。



問 15-1 問 15 で「利用している」と回答した方にうかがいます。

宛名のお子さんは、平日にどのような教育・保育サービスを利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用しているサービスをお答えください。(いくつでも)

利用している教育・保育サービスについては、「認定こども園」が43.0%で最も高く、次いで「認可保育所」が34.2%、「幼稚園」が17.4%となっています。



問 15-2 問 15 で「利用している」と回答した方にうかがいます。

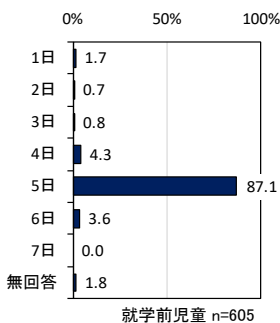
平日に定期的に利用している教育・保育サービスについて、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。(口内に数字をご記入ください。)

●現在の利用状況

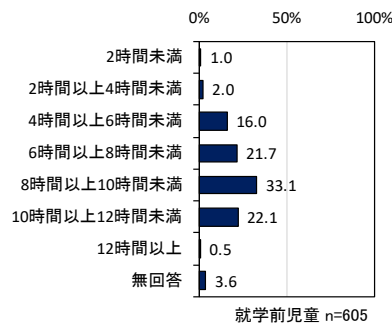
現在の1週当たりの利用日数は、「5日」が87.1%で最も高く、1日当たりの利用時間は、「8時間以上10時間未満」が33.1%で最も高く、次いで「10時間以上12時間未満」が22.1%となっています。

また、開始時間については、「9時から」が43.3%で最も高く、次いで「8時から」が40.3%となっています。終了時間については、「18時まで」が26.4%で最も高く、次いで「17時まで」が20.8%となっています。

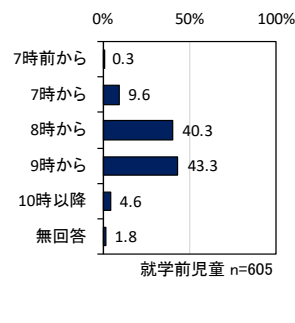
【1週当たりの利用日数】



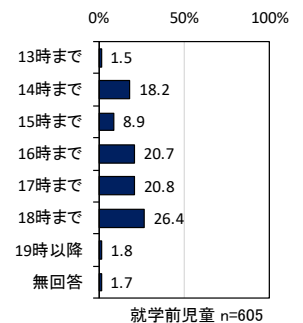
【1日当たりの利用時間】



【開始時間】



【終了時間】

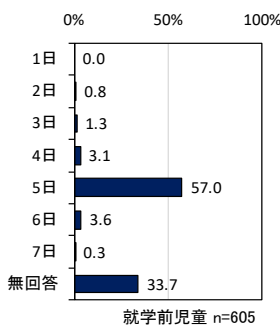


●利用希望

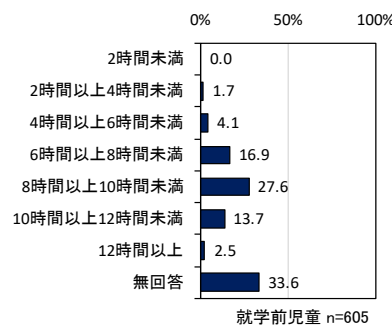
1週当たりの希望日数は、「5日」が57.0%で最も高く、1日当たりの希望時間は、「8時間以上10時間未満」が27.6%で最も高く、次いで「6時間以上8時間未満」が16.9%となっています。

また、希望する開始時間については、「9時から」が29.3%で最も高く、次いで「8時から」が27.3%、終了時間については、「17時まで」が18.3%で最も高く、次いで「16時まで」が16.7%となっています。

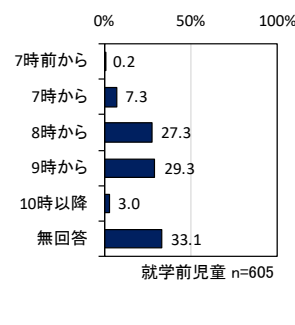
【1週当たりの希望日数】



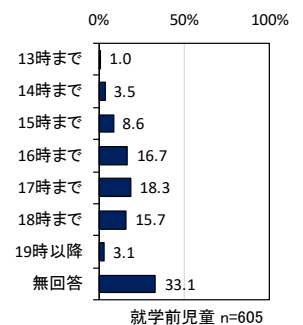
【1日当たりの希望時間】



【希望開始時間】



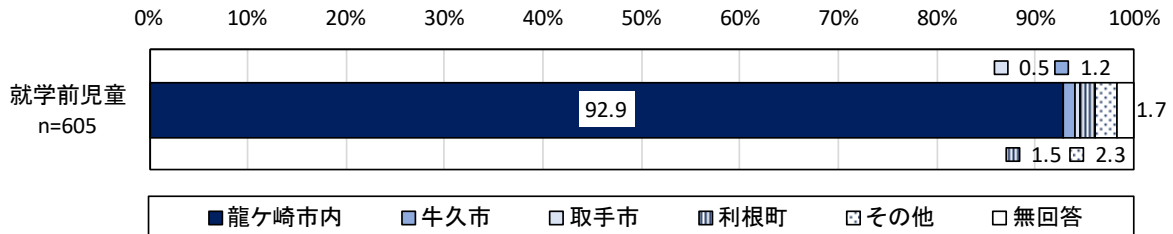
【希望終了時間】



問 15-3 問 15 で「利用している」と回答した方にうかがいます。

現在、利用している教育・保育サービスの実施場所はどちらですか。(1つのみ)

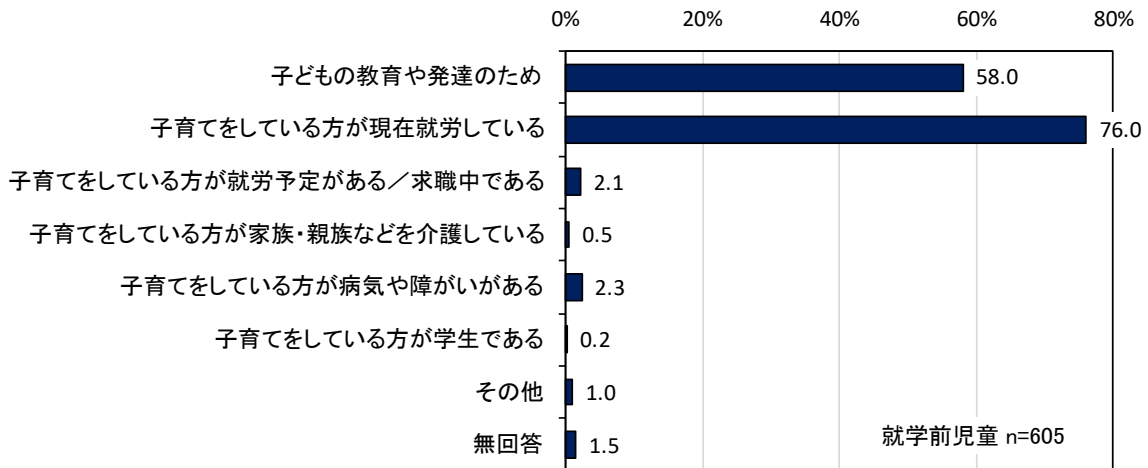
利用している教育・保育サービスの実施場所については、「龍ヶ崎市内」が 92.9%で最も高く、次いで「その他」が 2.3%、「利根町」が 1.5%となっています。



問 15-4 問 15 で「利用している」と回答した方にうかがいます。

平日に定期的に教育・保育サービスを利用されている理由は何ですか。(いくつでも)

利用している理由については、「子育てをしている方が現在就労している」が 76.0%で最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」が 58.0%、「子育てをしている方が病気や障がいがある」が 2.3%となっています。

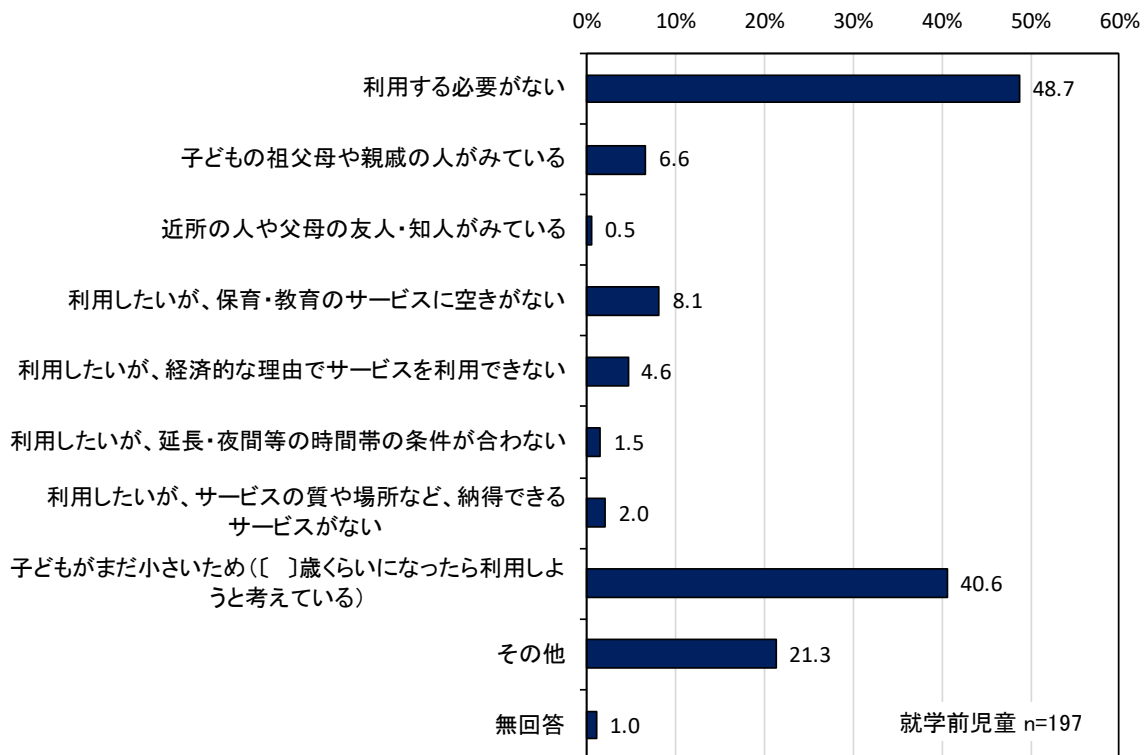


問 15-5 問 15 で「利用していない」と回答した方にうかがいます。

平日に定期的な教育・保育のサービスを利用していない理由は何です。

(いくつかでも、口内に数字をご記入ください。)

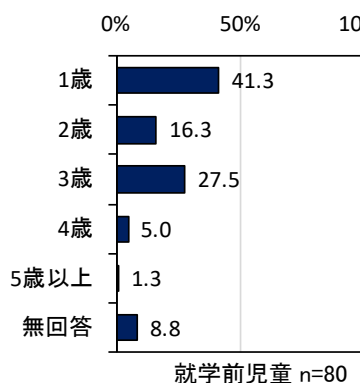
利用していない理由については、「利用する必要がない」が 48.7%で最も高く、次いで「子どもがまだ小さいため(〔 〕歳くらいになったら利用しようと考えている)」が 40.6%、「その他」が 21.3%となっています。



● 『子どもがまだ小さいため(〔 〕歳くらいになったら利用しようと考えている)』と回答した方の希望年齢

〔 〕歳くらいになったら利用しようと考えているかについては、「1歳」が 41.3%で最も高く、次いで「3歳」が 27.5%、「2歳」が 16.3%となっています。

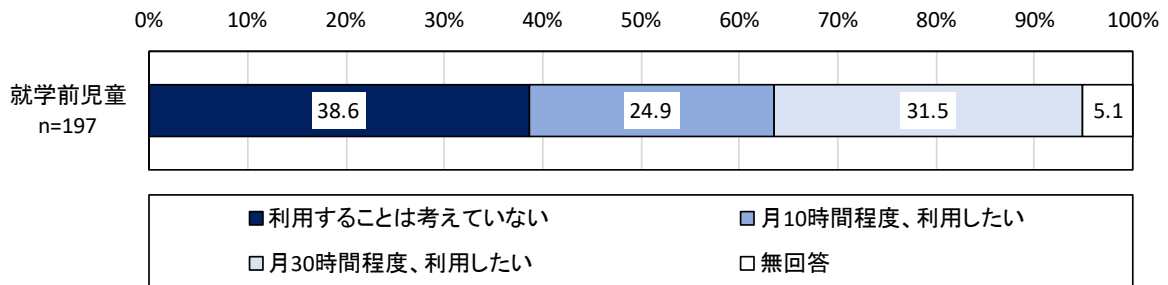
【〔 〕歳くらいになったら利用しようと考えている】



問 15-6 問 15 で「利用していない」と回答した方にうかがいます。

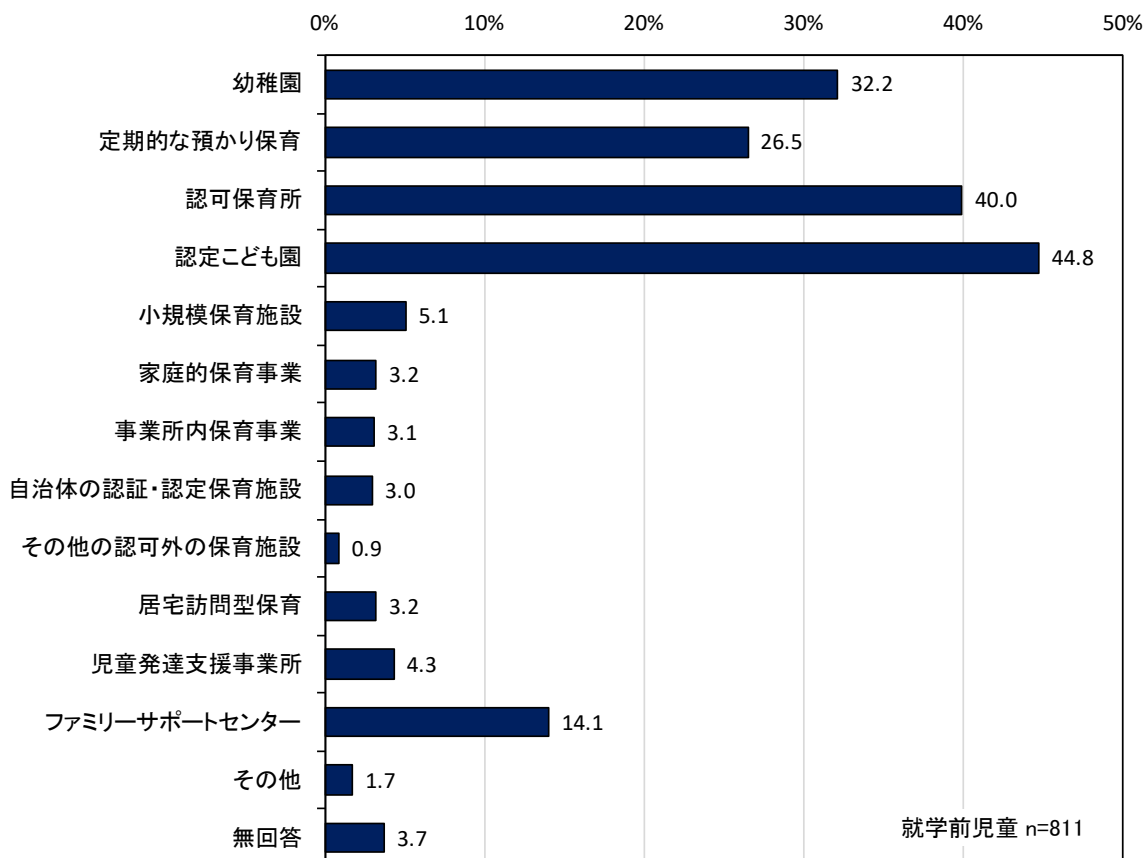
「こども誰でも通園制度（仮称）」が実施された場合には、どう利用されますか。（1つのみ）

「こども誰でも通園制度（仮称）」の利用希望については、「利用することは考えていない」が38.6%で最も高く、次いで「月30時間程度、利用したい」が31.5%、「月10時間程度、利用したい」が24.9%となっています。



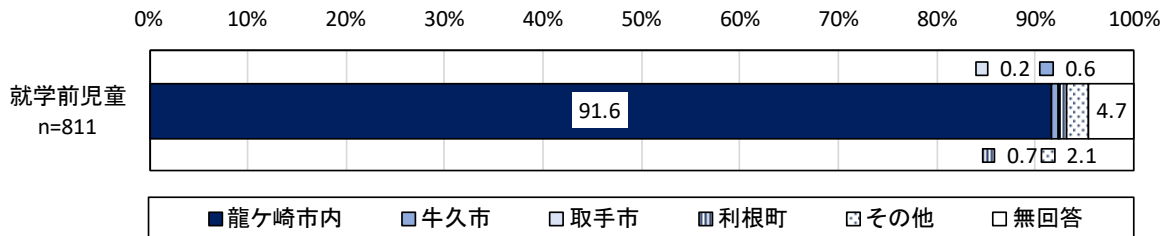
問 16 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育のサービスとして、「定期的に」利用したいと考えるサービスについてお答えください。なお、これらのサービスの利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。（いくつでも）

定期的に利用したいと考える事業については、「認定こども園」が44.8%で最も高く、次いで「認可保育所」が40.0%、「幼稚園」が32.2%となっています。



問 16-1 教育・保育サービスを利用したい場所はどこですか。(1つのみ)

教育・保育サービスを利用したい場所については、「龍ヶ崎市内」が 91.6%で最も高く、次いで「その他」が 2.1%、「利根町」が 0.7%となっています。

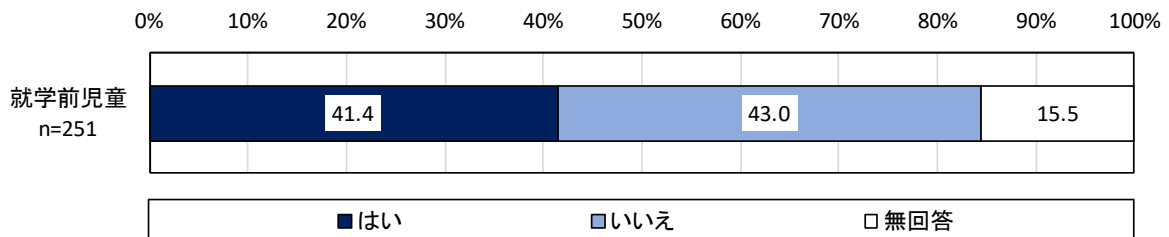


問 16-2 問 16で「幼稚園」または「定期的な預かり保育」を回答し、かつ「認可保育所」から「その他」を回答した方にうかがいます。

特に幼稚園(幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む)の利用を強く希望しますか。(1つのみ)

本設問は、幼稚園かつ保育所等の利用希望をもっている方に対して、どちらの利用希望が強いかを問う設問となっています。

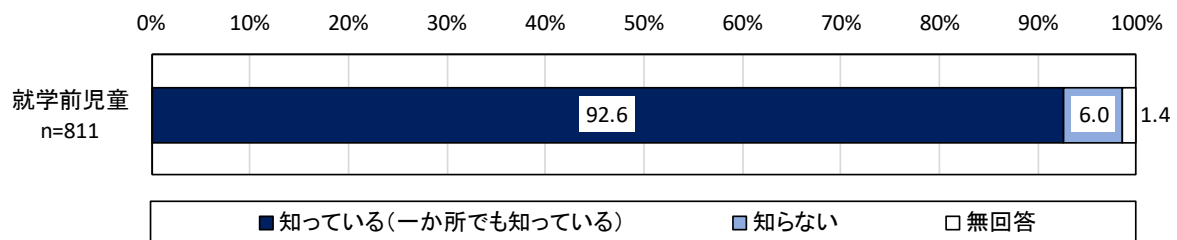
結果は、「はい」が 41.4%、「いいえ」が 43.0%となっています。



6. 地域の子育て支援サービスの利用状況について

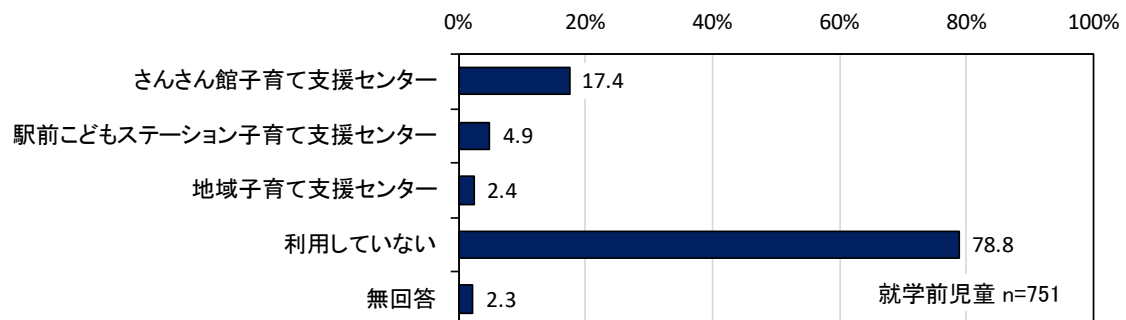
問 17 龍ケ崎市の子育て支援センターを知っていますか。(1つのみ)

子育て支援センターの認知度については、「知っている（一か所でも知っている）」が92.6%、「知らない」が6.0%となっています。



問 17-1 問 17で「知っている（一か所でも知っている）」と回答した方にうかがいます。宛名のお子さんは、現在、龍ケ崎市の子育て支援センターを利用していますか。また、おおよその利用回数（頻度）をお答えください。（いくつでも、該当する口内に数字をご記入ください。）

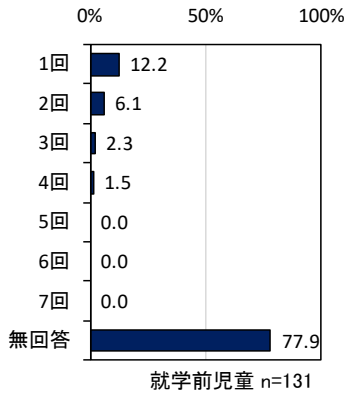
子育て支援センターの利用状況については、「利用していない」が78.8%で最も高く、次いで「さんさん館子育て支援センター」が17.4%、「駅前こどもステーション子育て支援センター」が4.9%となっています。



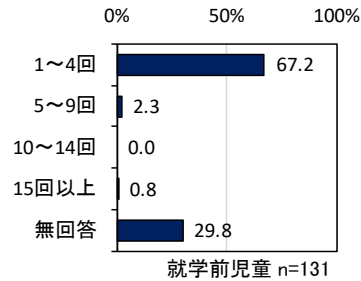
● 『さんさん館子育て支援センター』を利用している方の利用頻度

1週当たりの利用回数は、「1回」が12.2%で最も高く、次いで「2回」が6.1%となっています。
また、1か月当たりの利用回数は、「1～4回」が67.2%で最も高くなっています。

【1週当たりの利用回数】



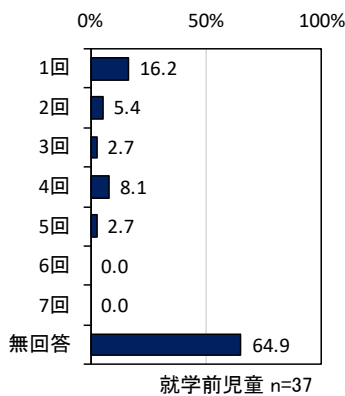
【1か月当たりの利用回数】



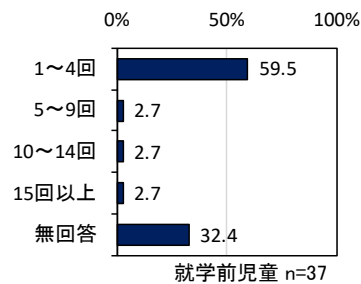
● 『駅前こどもステーション子育て支援センター』を利用している方の利用頻度

1週当たりの利用回数は、「1回」が16.2%で最も高く、次いで「4回」が8.1%となっています。
また、1か月当たりの利用回数は、「1～4回」が59.5%で最も高くなっています。

【1週当たりの利用回数】



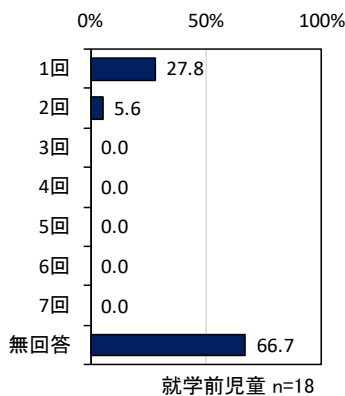
【1か月当たりの利用回数】



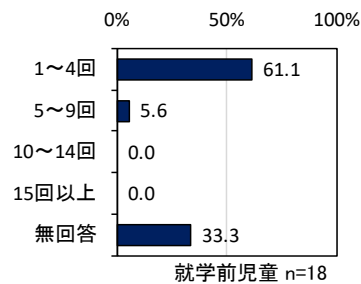
● 『地域子育て支援センター』を利用している方の利用頻度

1週当たりの利用回数は、「1回」が27.8%で最も高く、次いで「2回」が5.6%となっています。
また、1か月当たりの利用回数は、「1～4回」が61.1%で最も高くなっています。

【1週当たりの利用回数】



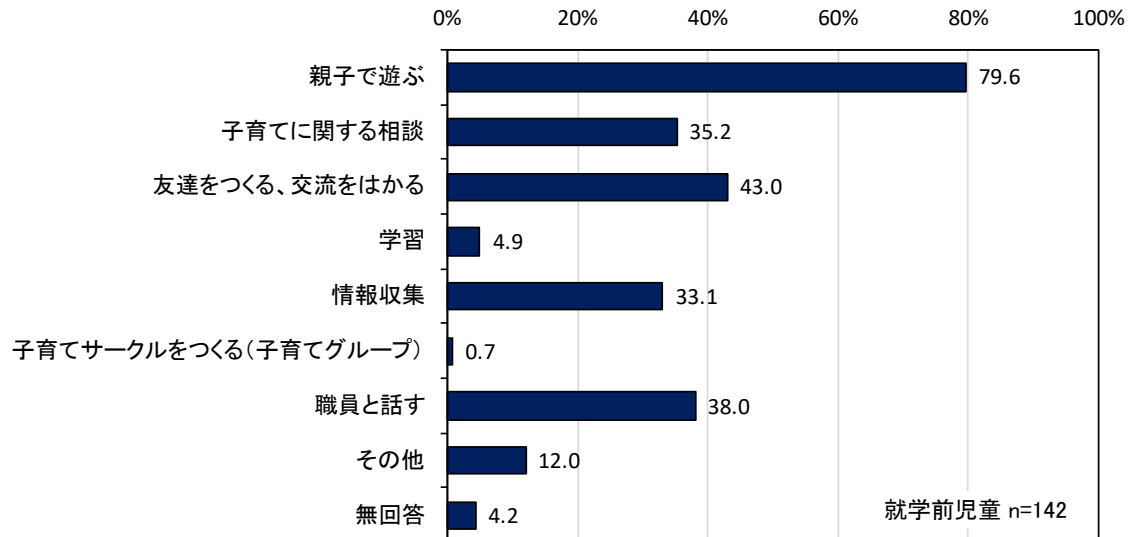
【1か月当たりの利用回数】



問 17-2 問 17-1 で「さんさん館子育て支援センター」、「駅前こどもステーション子育て支援センター」、「地域子育て支援センター」と回答した方にかがいます。

子育て支援センターを利用された理由や目的は何ですか。(いくつでも)

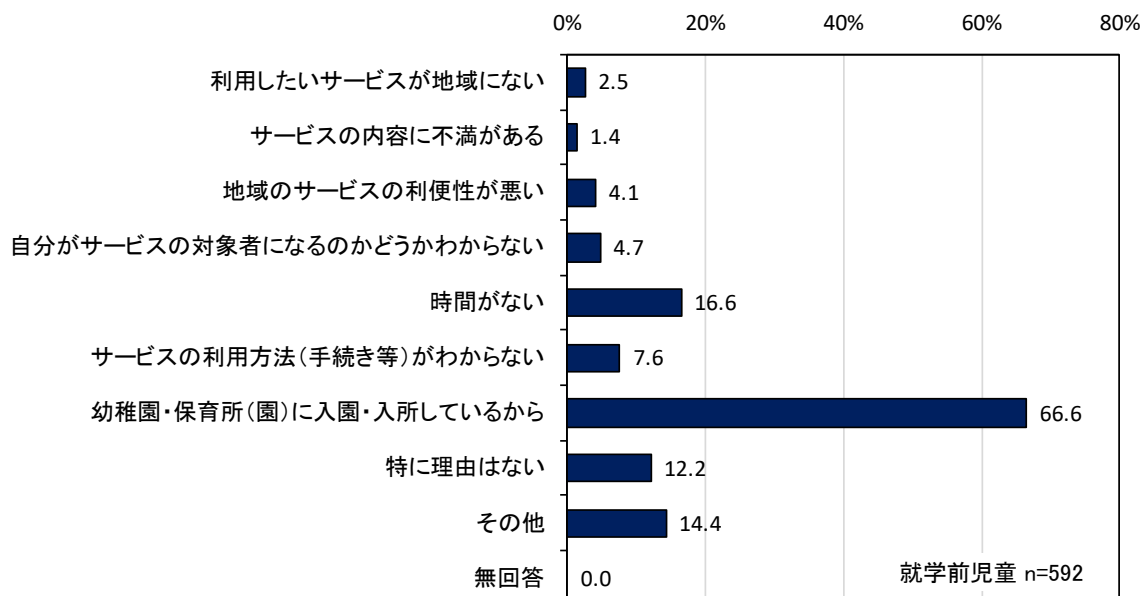
子育て支援センターを利用している理由や目的については、「親子で遊ぶ」が 79.6%で最も高く、次いで「友達をつくる、交流をはかる」が 43.0%、「職員と話す」が 38.0%となっています。



問 17-3 問 17-1 で「利用していない」と回答した方にかがいます。

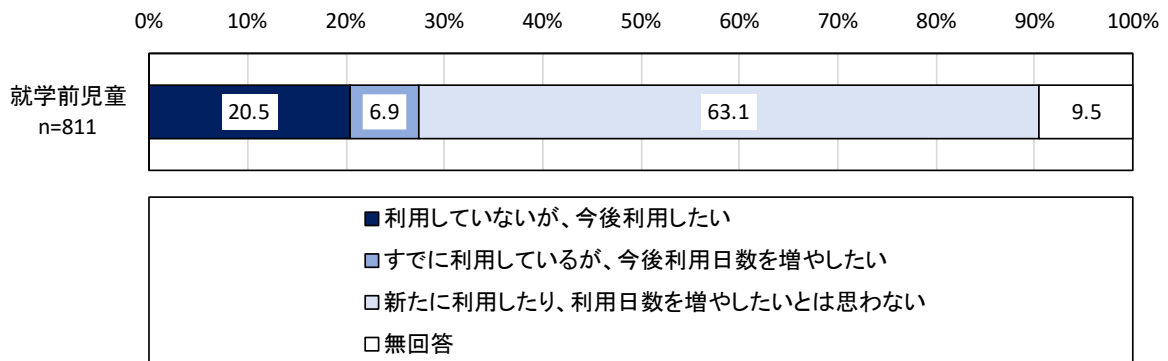
子育て支援センターを利用していない理由は何ですか。(いくつでも)

子育て支援センターを利用していない理由については、「幼稚園・保育所(園)に入園・入所しているから」が 66.6%で最も高く、次いで「時間がない」が 16.6%、「その他」が 14.4%となっています。



問 18 龍ヶ崎市の子育て支援センターについて、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。おおよその利用回数（頻度）もご記入ください。（1つのみ、該当する口内に数字をご記入ください。）

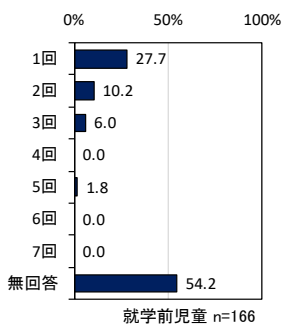
地域子育て支援センターの利用意向については、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が63.1%で最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」が20.5%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が6.9%となっています。



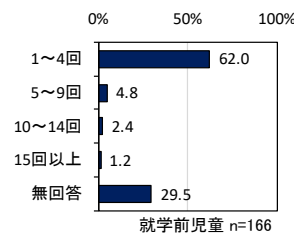
● 『利用していないが、今後利用したい』と回答した方の利用希望

1週当たりの希望利用回数は、「1回」が27.7%で最も高くなっています。
また、1か月当たりの希望利用回数は、「1～4回」が62.0%で最も高くなっています。

【1週当たりの希望利用回数】



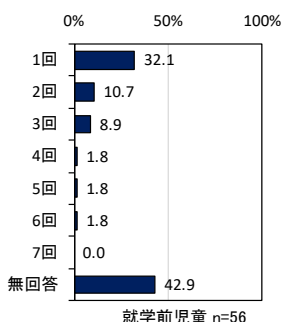
【1か月当たりの希望利用回数】



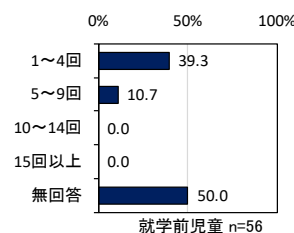
● 『すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい』と回答した方の増やしたい回数

1週当たりで増やしたい利用回数は、「1回」が32.1%で最も高くなっています。
また、1か月当たりで増やしたい利用回数は、「1～4回」が39.3%で最も高くなっています。

【1週当たりで増やしたい利用回数】



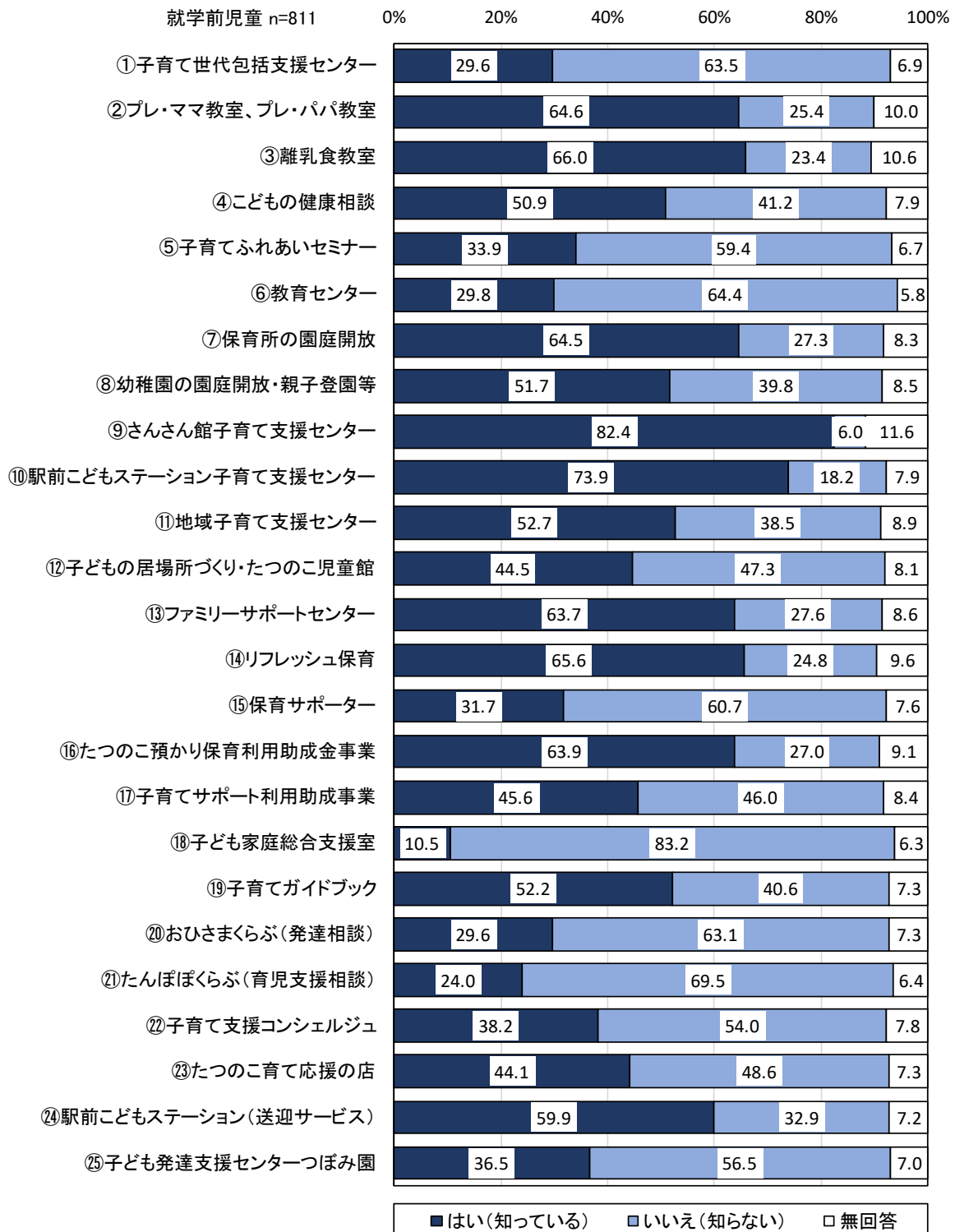
【1か月当たりで増やしたい利用回数】



問 19 下記のサービスで知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。(①～⑫のサービスごとに、A～Cのそれぞれについて、1つのみ)

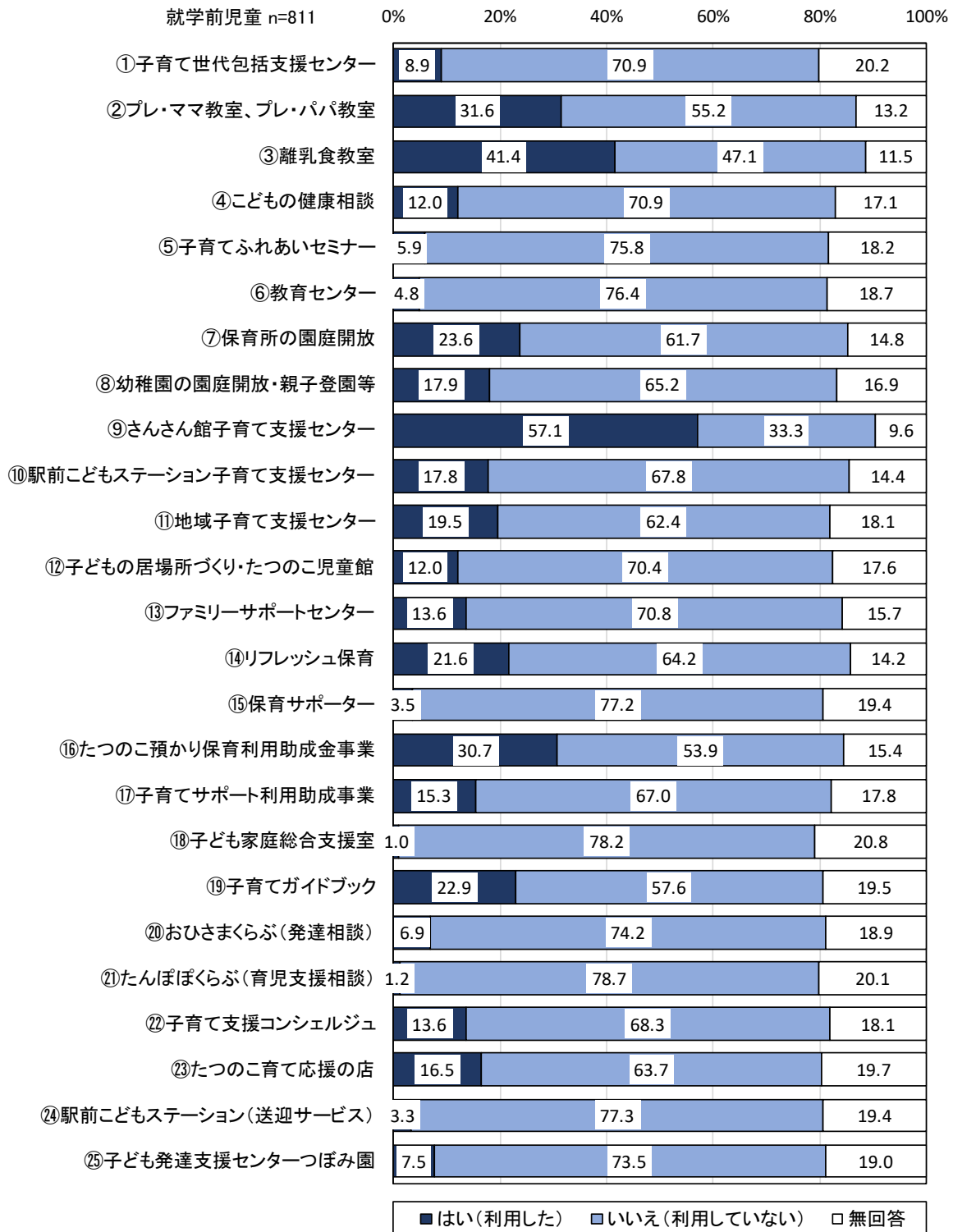
(1) サービスの認知度

サービスの認知度について、「はい(知っている)」をみると、『⑨さんさん館子育て支援センター』が82.4%で最も高く、次いで『⑩駅前こどもステーション子育て支援センター』が73.9%、『③離乳食教室』が66.0%となっています。「はい(知っている)」の割合が最も低い事業は、『⑱子ども家庭総合支援室』で10.5%となっています。



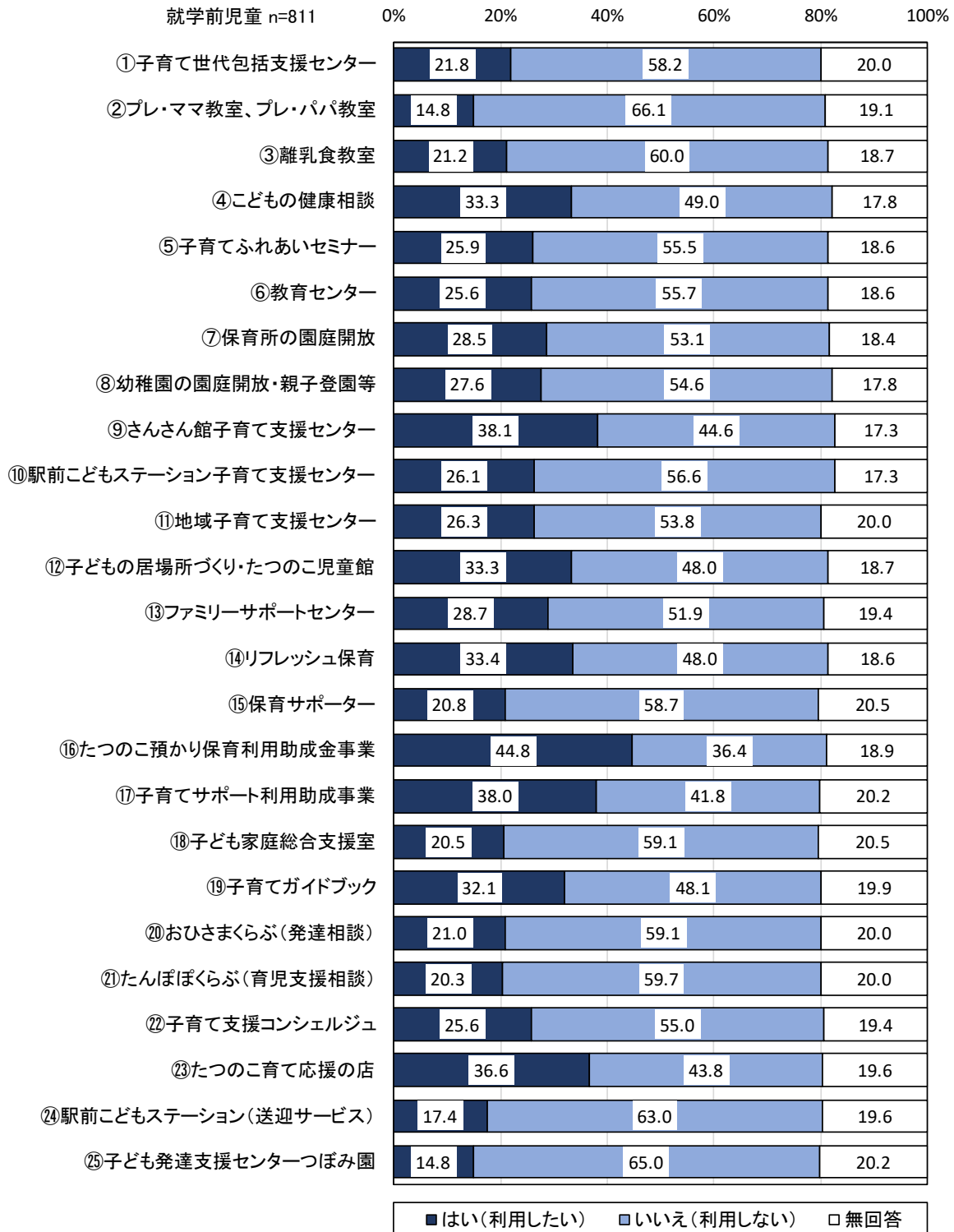
(2) サービスの利用状況

サービスの利用状況について、「はい(利用した)」をみると、『⑨さんさん館子育て支援センター』が57.1%で最も高く、次いで『③離乳食教室』が41.4%、『②プレ・ママ教室、プレ・パパ教室』が31.6%となっています。「はい(利用した)」の割合が最も低い事業は、『⑩子ども家庭総合支援室』で1.0%となっています。



(3) サービスの利用意向

サービスの利用意向について、「はい(利用したい)」をみると、『⑯たつのご預かり保育利用助成金事業』が44.8%で最も高く、次いで『⑨さんさん館子育て支援センター』が38.1%、『⑰子育てサポート利用助成事業』が38.0%となっています。「はい(利用したい)」の割合が最も低い事業は、『②プレ・ママ教室、プレ・パパ教室』、『⑮子ども発達支援センターつぼみ園』がともに14.8%となっています。

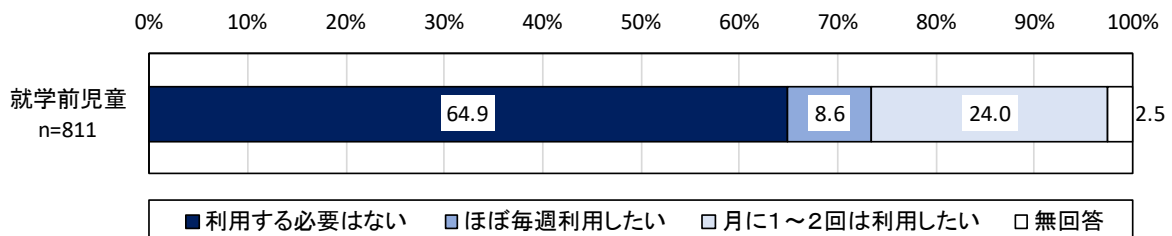


7. お子さんの土日・祝日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育サービスの利用希望について

問 20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育サービスの利用希望（一時的な利用は除きます。）はありますか。利用希望と利用したい時間帯をご記入ください。
 なお、これらのサービスの利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。
 （それぞれ1つのみ、口内に数字をご記入ください。）

（1）土曜日の利用希望

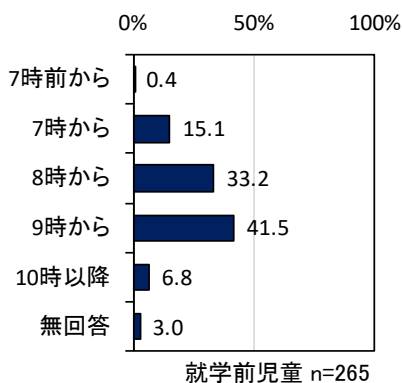
土曜日の利用希望については、「利用する必要はない」が 64.9%で最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」が 24.0%、「ほぼ毎週利用したい」が 8.6%となっています。



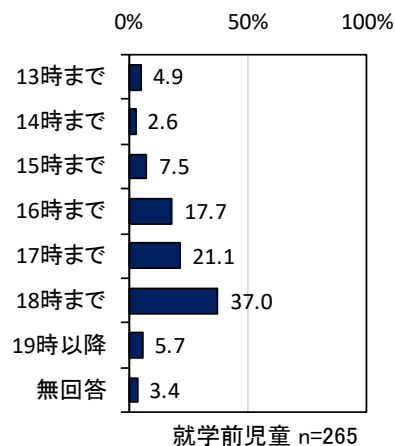
●土曜日の利用を希望している方の利用希望

希望開始時間は、「9時から」が 41.5%で最も高く、次いで「8時から」が 33.2%となっています。
 また、希望終了時間は、「18時まで」が 37.0%で最も高く、次いで「17時まで」が 21.1%となっています。

【希望開始時間】

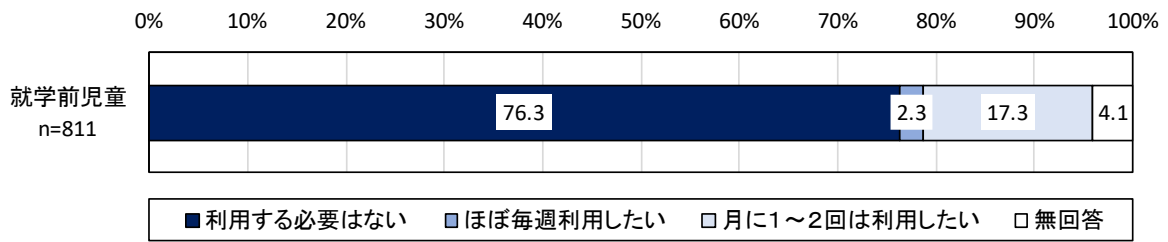


【希望終了時間】



(2) 日曜日・祝日の利用希望

日曜日・祝日の利用希望については、「利用する必要はない」が76.3%で最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」が17.3%、「ほぼ毎週利用したい」が2.3%となっています。

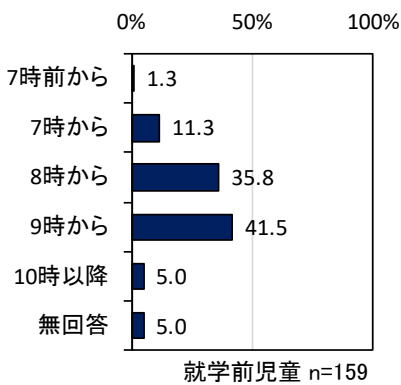


●日曜日・祝日の利用を希望している方の利用希望

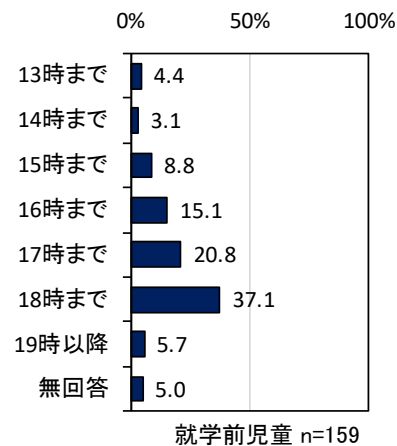
希望開始時間は、「9時から」が41.5%で最も高く、次いで「8時から」が35.8%となっています。

また、希望終了時間は、「18時まで」が37.1%で最も高く、次いで「17時まで」が20.8%となっています。

【希望開始時間】

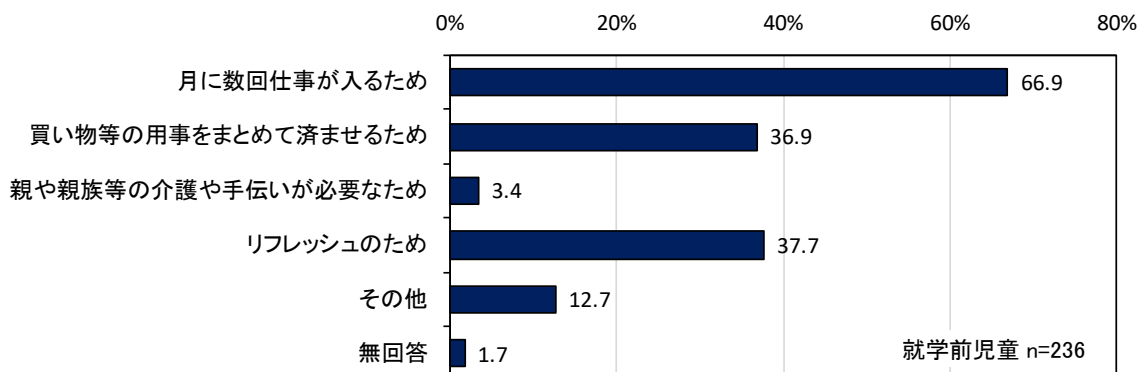


【希望終了時間】



問20-1 問20の(1)もしくは(2)で「月に1～2回は利用したい」と回答した方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(いくつでも)

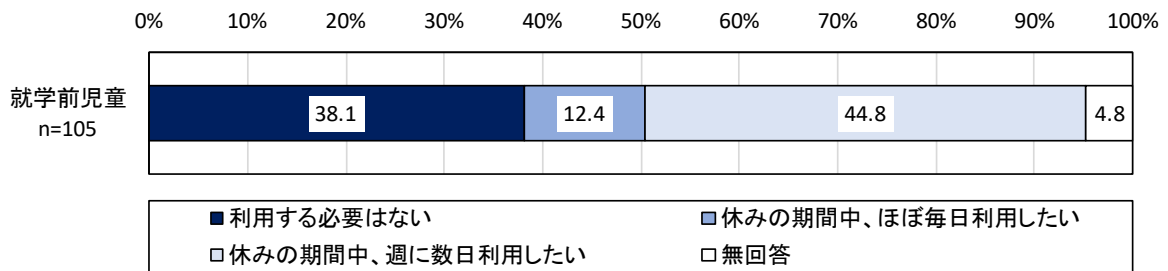
たまに利用したい理由については、「月に数回仕事が入るため」が66.9%で最も高く、次いで「リフレッシュのため」が37.7%、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が36.9%となっています。



問 21 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育サービスの利用を希望しますか。利用希望と利用したい時間帯をご記入ください。なお、これらのサービスの利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。（1つのみ、口内に数字をご記入ください。）

長期の休暇期間中の利用希望については、「休みの期間中、週に数日利用したい」が 44.8%で最も高く、次いで「利用する必要はない」が 38.1%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が 12.4%となっています。

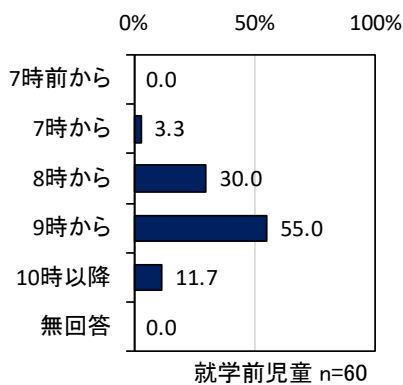


●長期の休暇期間中の利用を希望している方の利用希望

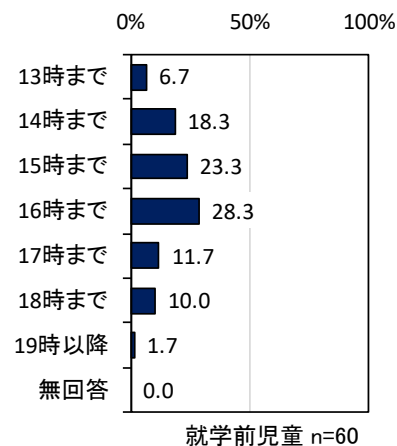
希望開始時間は、「9時から」が 55.0%で最も高く、次いで「8時から」が 30.0%となっています。

また、希望終了時間は、「16時まで」が 28.3%で最も高く、次いで「15時まで」が 23.3%となっています。

【希望開始時間】

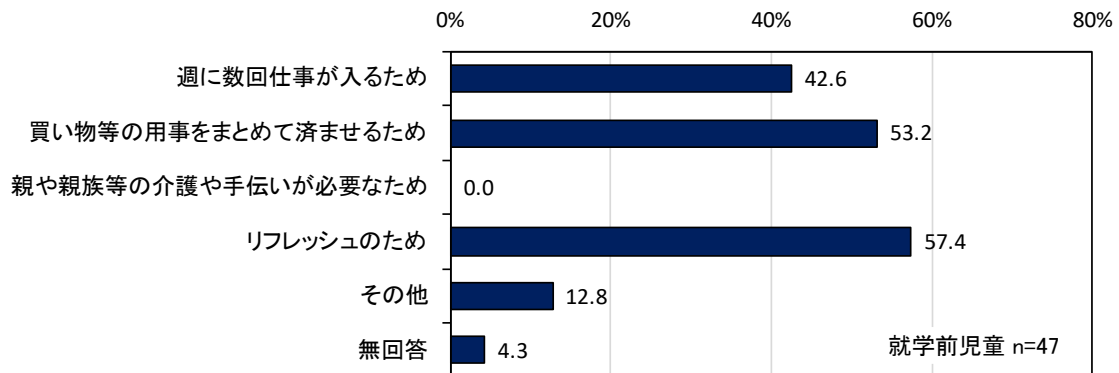


【希望終了時間】



問21-1 問21で「休みの期間中、週に数日利用したい」と回答した方にうかがいます。
 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(いくつでも)

たまに利用したい理由については、「リフレッシュのため」が57.4%で最も高く、次いで「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が53.2%、「週に数回仕事が入るため」が42.6%となっています。

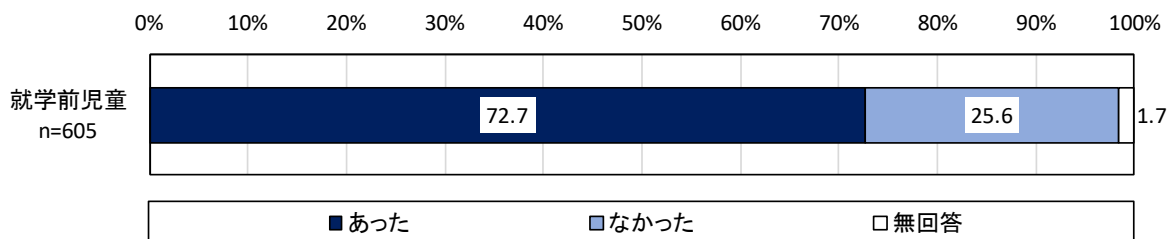


8. お子さんの病気の際の対応について

問 22 問 15（現在、幼稚園や保育所、認定こども園などの「定期的な教育・保育サービス」を利用されていますか。）で「利用している」と回答した方にうかがいます。

この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常のサービスが利用できなかったことはありましたか。（1つのみ）

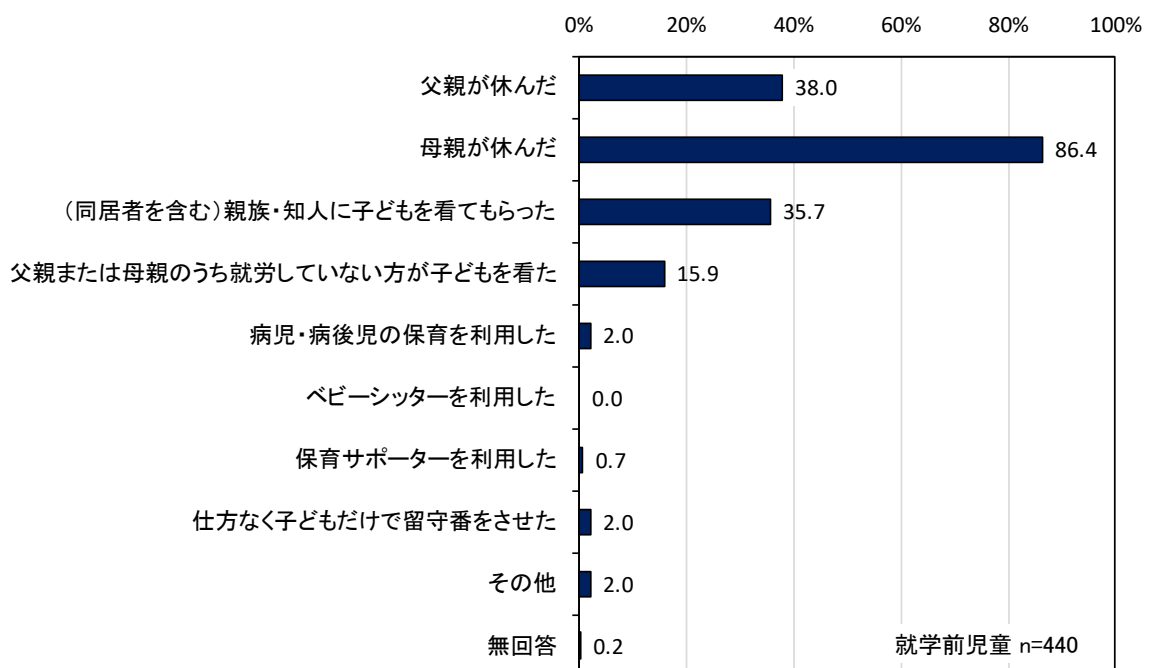
病気やケガで通常のサービスが利用できなかった有無については、「あった」が72.7%、「なかった」が25.6%となっています。



問 22-1 問 22 で「あった」と回答した方にうかがいます。

宛名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育のサービスが利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法はどれですか。それぞれの日数もご記入ください。（いくつでも、□内に数字をご記入ください。）

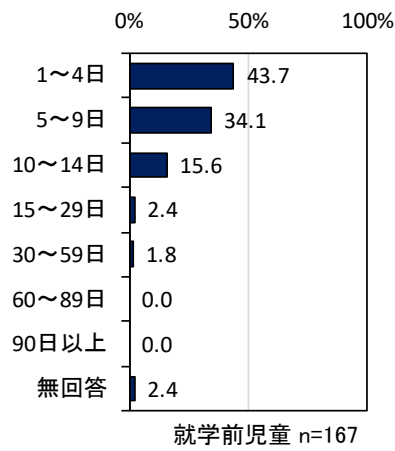
利用できなかった場合の対処方法については、「母親が休んだ」が86.4%で最も高く、次いで「（同居者を含む）親族・知人に子どもを看てもらった」が35.7%、「父親が休んだ」が38.0%となっています。



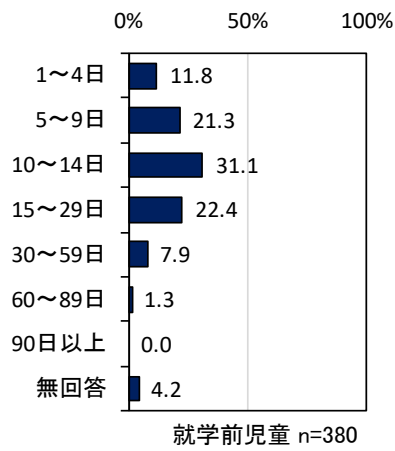
● 対処方法別の年間日数

対処方法別の年間日数については、以下のとおりとなっています。

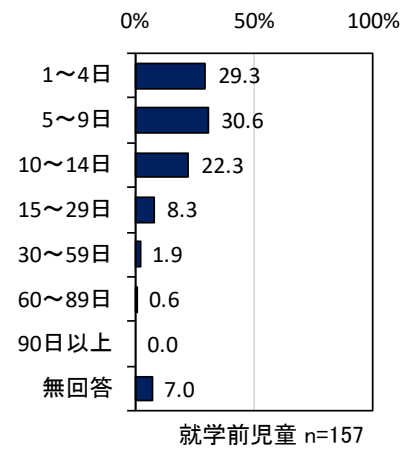
【父親が休んだ】



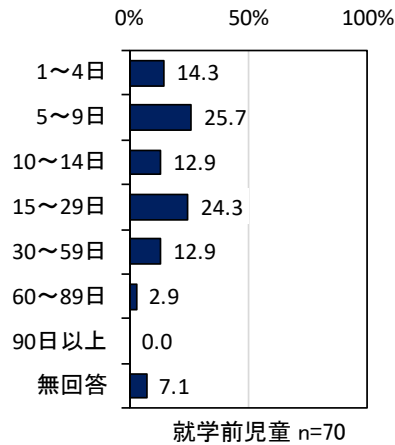
【母親が休んだ】



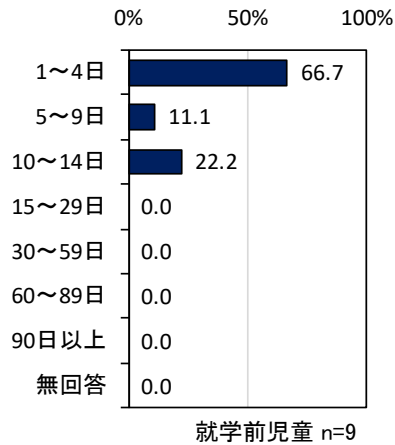
【親族・知人に子どもを看てもらった】



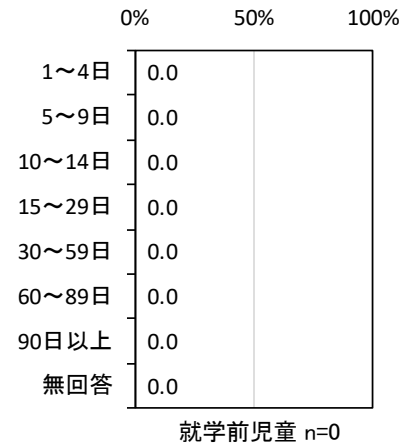
【父親または母親のうち就労していない方が子どもを見た】



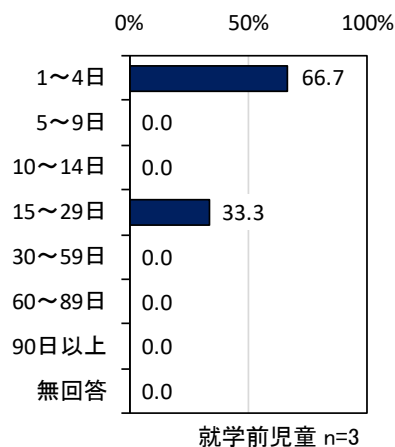
【病児・病後児の保育を利用した】



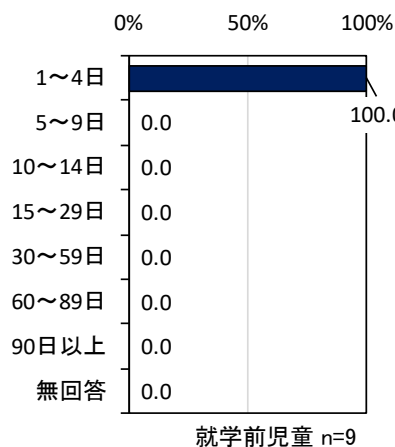
【ベビーシッターを利用した】



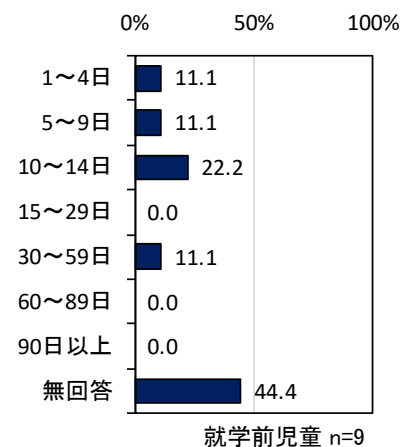
【保育サポーターを利用した】



【仕方なく子どもだけで留守番をさせた】

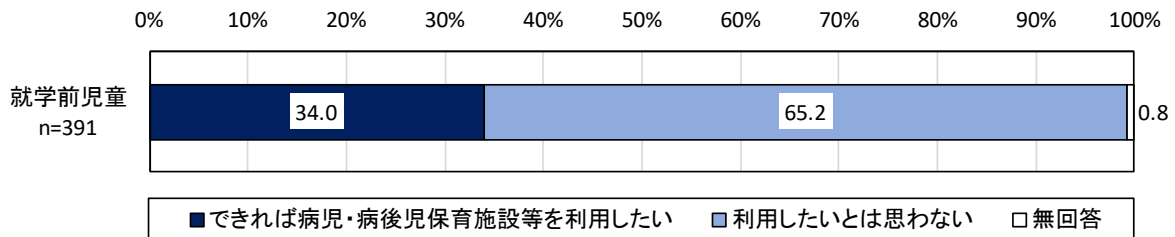


【その他】



問 22-2 問 22-1 で「父親が休んだ」、「母親が休んだ」と回答した方にうかがいます。
 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。日数についても
 ご記入ください。なお、病児・病後児のためのサービス等の利用には、一定の利用者負担があり、利用前
 にかかりつけ医の受診が必要となります。（1つのみ、□内に数字をご記入ください。）

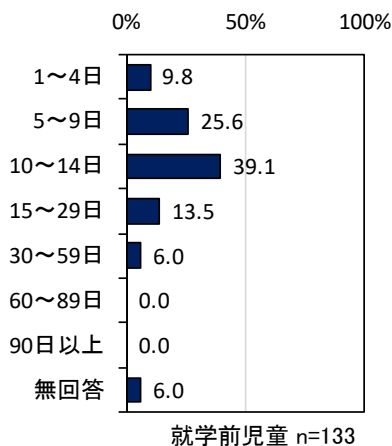
病児・病後児のための保育施設等の利用希望については、「利用したいとは思わない」が 65.2%、
 「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が 34.0%となっています。



● 『できれば病児・病後児保育施設等を利用したい』と回答した方の希望利用日数（年間）

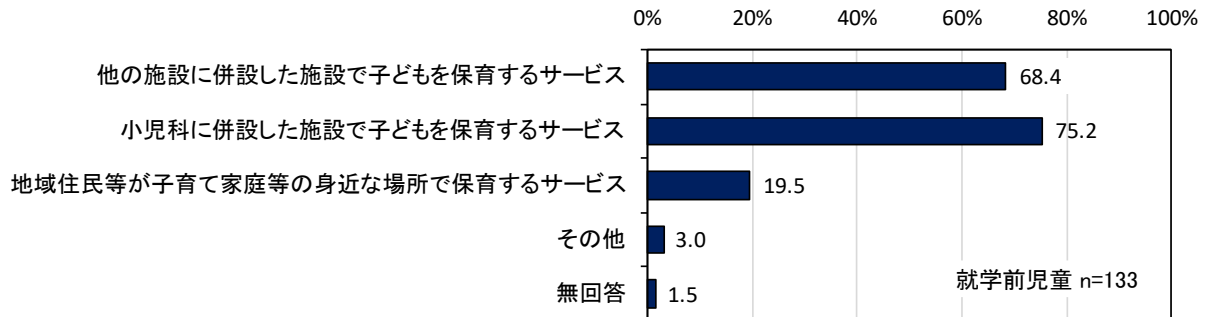
希望利用日数は、「10～14日」が 39.1%で最も高く、次いで「5～9日」が 25.6%、「15～29日」が 13.5%となっています。

【希望利用日数（年間）】



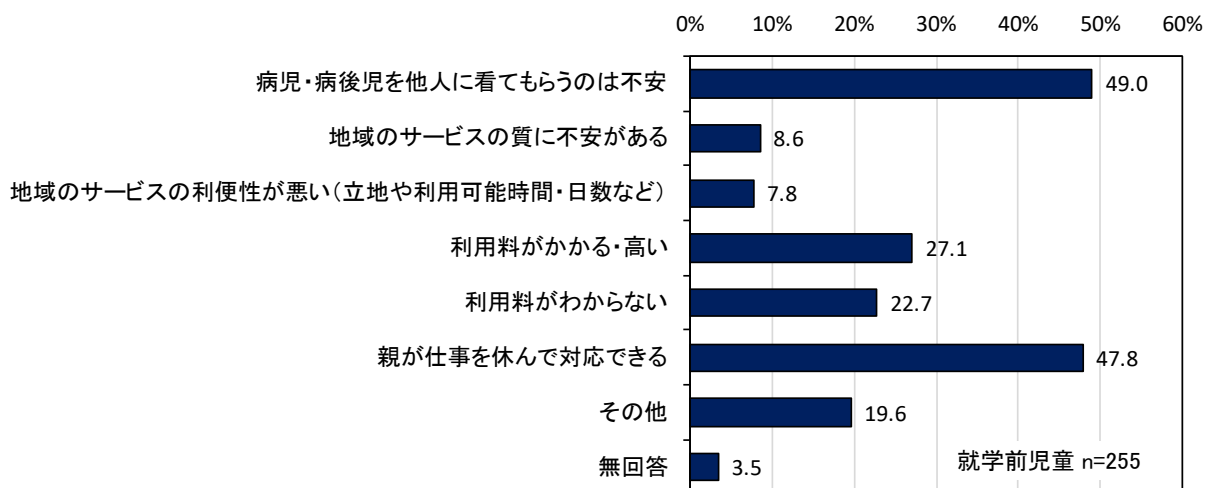
問 22-3 問 22-2で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した方にうかがいます。
病児・病後児保育の望ましいサービス形態はどれですか。(いくつでも)

病児・病後児保育の望ましいサービス形態については、「小児科に併設した施設で子どもを保育するサービス」が75.2%で最も高く、次いで「他の施設に併設した施設で子どもを保育するサービス」が68.4%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育するサービス」が19.5%となっています。



問 22-4 問 22-2で「利用したいとは思わない」と回答した方にうかがいます。
そう思われる理由は何ですか。(いくつでも)

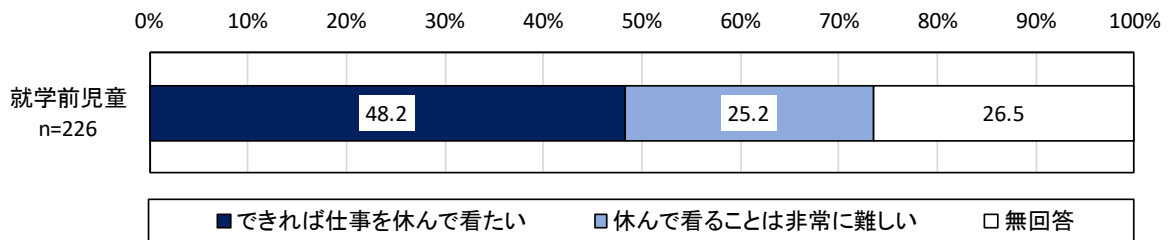
病児・病後児の保育施設等を利用したいと思わない理由については、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が49.0%で最も高く、次いで「親が仕事を休んで対応できる」が47.8%、「利用料がかかる・高い」が27.1%となっています。



問 22-5 問 22-1 で「(同居者を含む) 親族・知人に子どもを^みせてもらった」から「その他」を回答した方にうかがいます。

その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで^みてほしい」と思われましたか。問 22-1 の「(同居者を含む) 親族・知人に子どもを^みせてもらった」から「その他」の日数のうち、仕事を休んで^みてほしい日数についてもご記入ください。(1つのみ、口内に数字をご記入ください。)

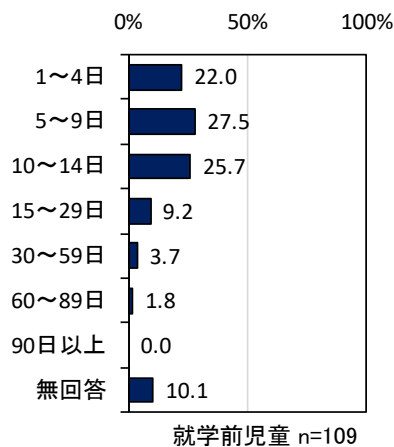
父母のいずれかが仕事を休んで^みてほしいかについては、「できれば仕事を休んで^みてほしい」が 48.2%、「休んで^みてほしいことは非常に難しい」が 25.2%となっています。



● 『できれば仕事を休んで^みてほしい』と回答した方の希望日数 (年間)

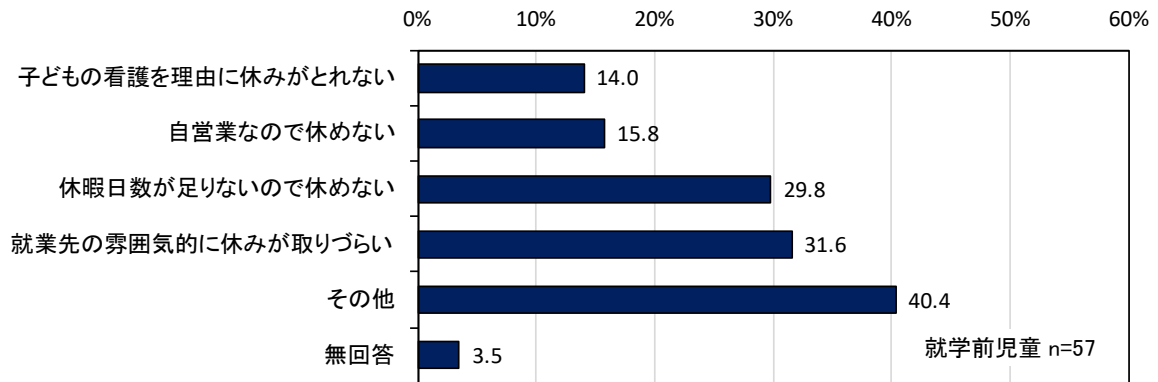
できれば仕事を休んで^みてほしい希望日数については、「5～9日」が 27.5%で最も高く、次いで「10～14日」が 25.7%、「1～4日」が 22.0%となっています。

【希望日数 (年間)】



問22-6 問22-5で「休んで^み看することは非常に難しい」と回答した方にうかがいます。
 そう思われる理由は何ですか。(いくつでも)

仕事を休んで看することは非常に難しい理由については、「就業先の雰囲氣的に休みが取りづらい」が31.6%で最も高く、次いで「休暇日数が足りないので休めない」が29.8%、「自営業なので休めない」が15.8%となっています。



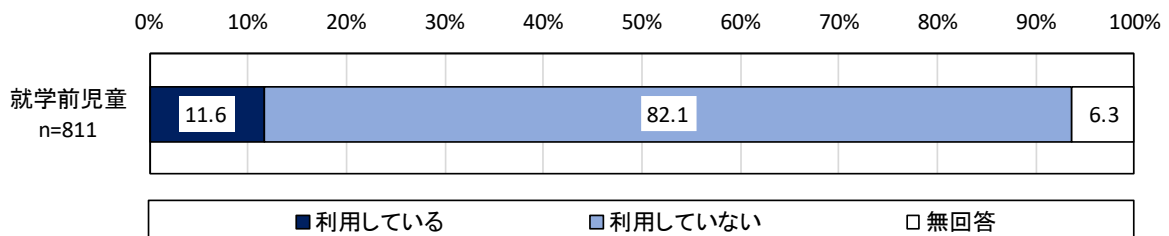
9. 不特定の教育・保育サービスや 宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 23 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期に利用しているサービスはありますか。1年間の利用日数（おおよそ）もご記入ください。

（1つのみ、ア～キはいくつでも、利用する日数を口内にご記入ください。）

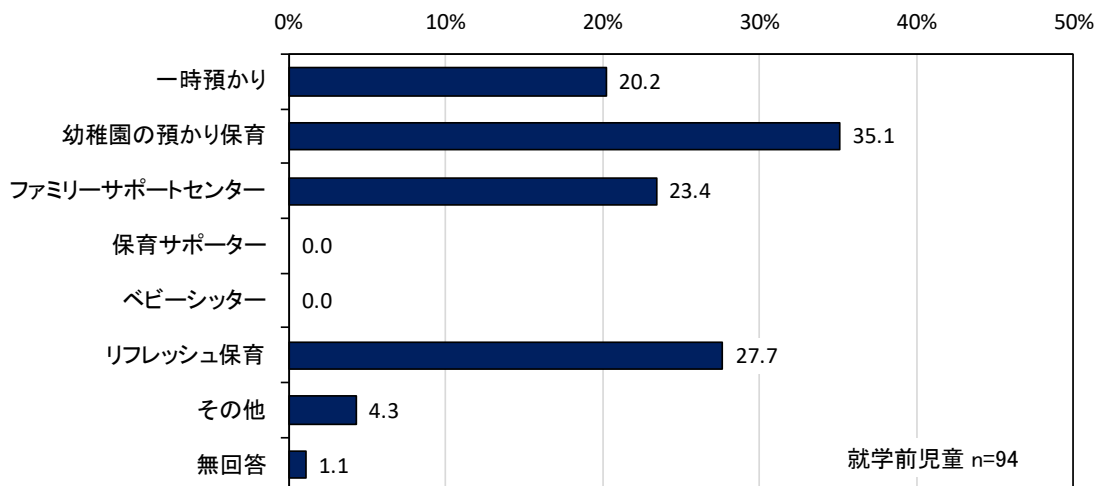
（1）サービスの利用の有無

私用等の目的で不定期に利用しているサービスの有無については、「利用していない」が82.1%、「利用している」が11.6%となっています。



（2）利用しているサービス

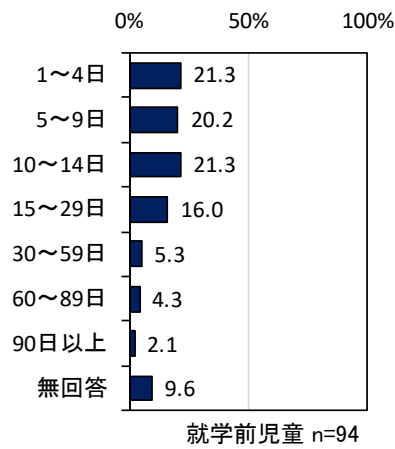
私用等の目的で不定期に利用しているサービスについては、「幼稚園の預かり保育」が35.1%で最も高く、次いで「リフレッシュ保育」が27.7%、「ファミリーサポートセンター」が23.4%となっています。



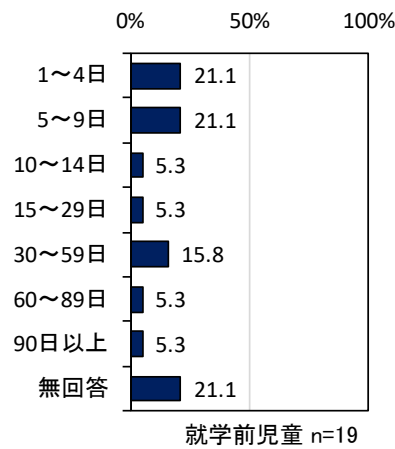
●サービス別の年間利用日数

サービス別の年間利用日数については、以下のとおりとなっています。

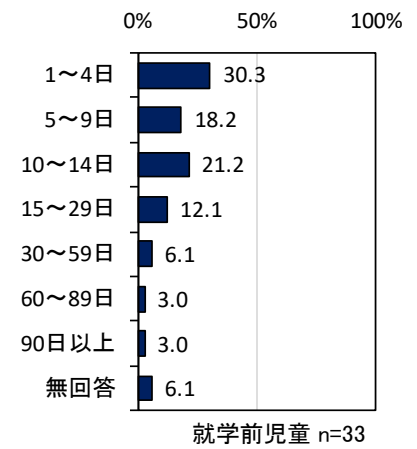
【年間利用日数合計】



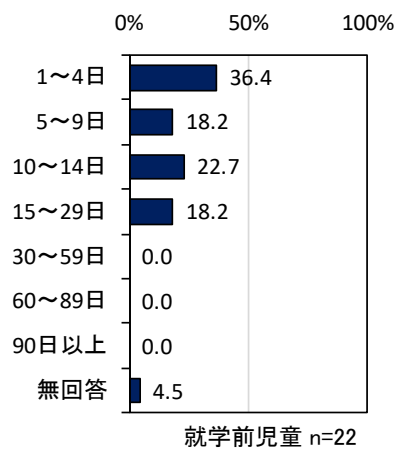
【一時預かり】



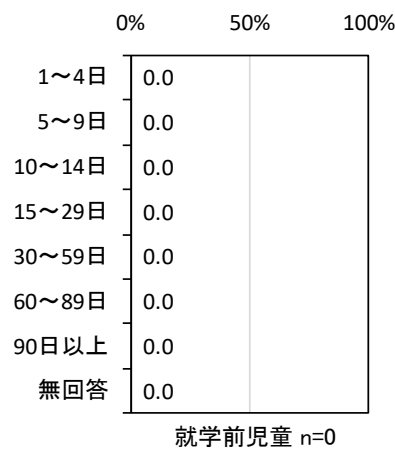
【幼稚園の預かり保育】



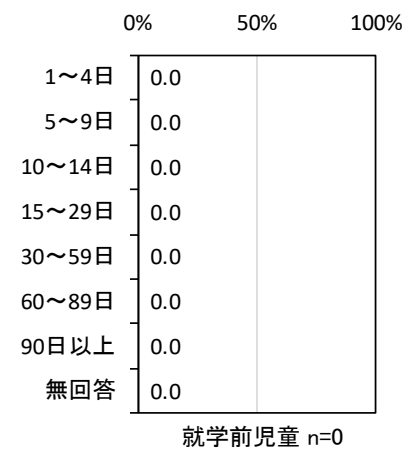
【ファミリーサポートセンター】



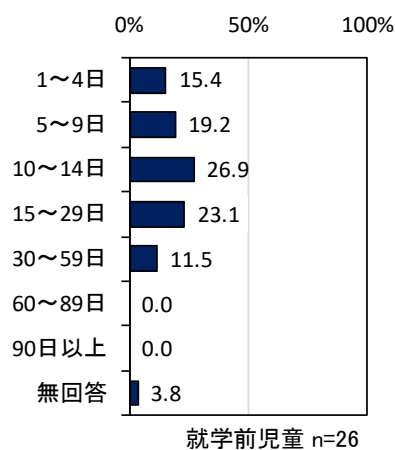
【保育サポーター】



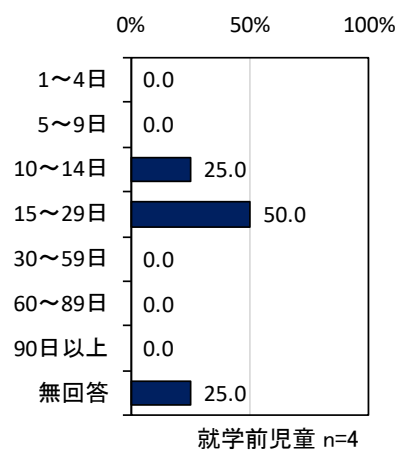
【ベビーシッター】



【リフレッシュ保育】



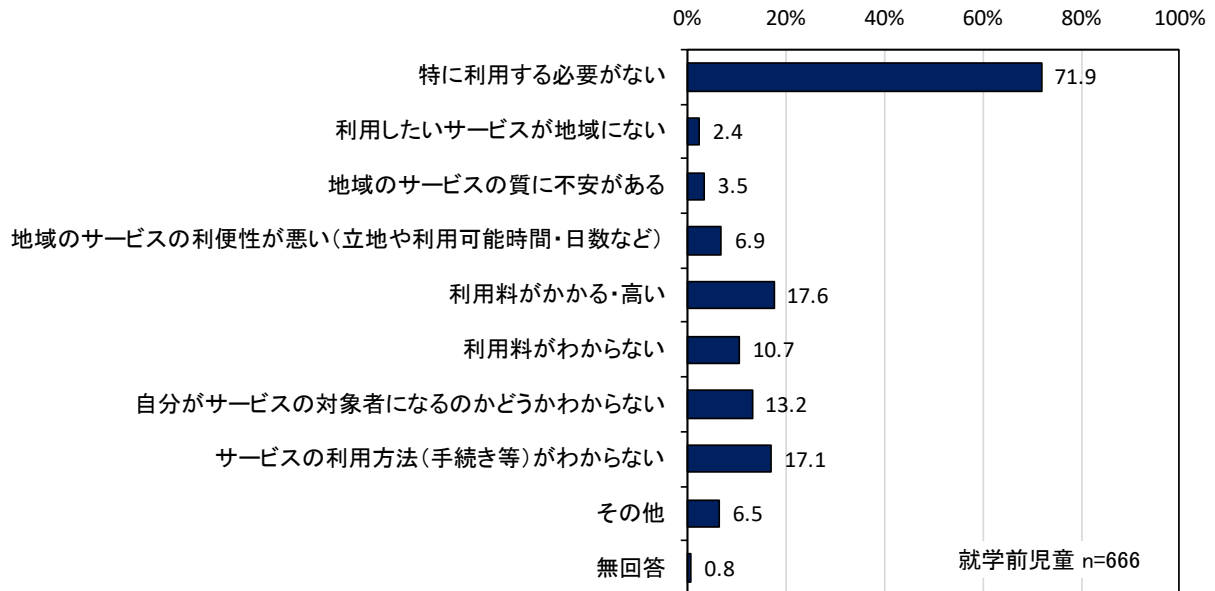
【その他】



問 23-1 問 23 で「利用していない」と回答した方にうかがいます。

現在、利用していない理由は何ですか。(いくつでも)

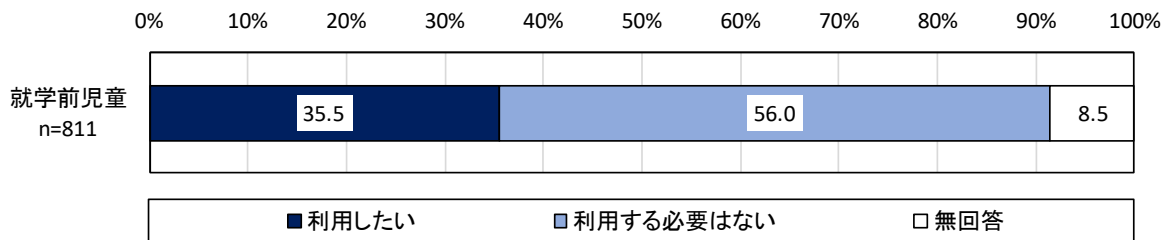
サービスを利用していない理由については、「特に利用する必要がない」が 71.9%で最も高く、次いで「利用料がかかる・高い」が 17.6%、「サービスの利用方法（手続き等）がわからない」が 17.1%となっています。



問 24 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらいサービスを利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について選択し、必要な日数をご記入ください。なお、これらのサービスの利用には、一定の利用者負担が発生します。
(1つのみ、ア～エはいくつでも、利用する日数を口内にご記入ください。)

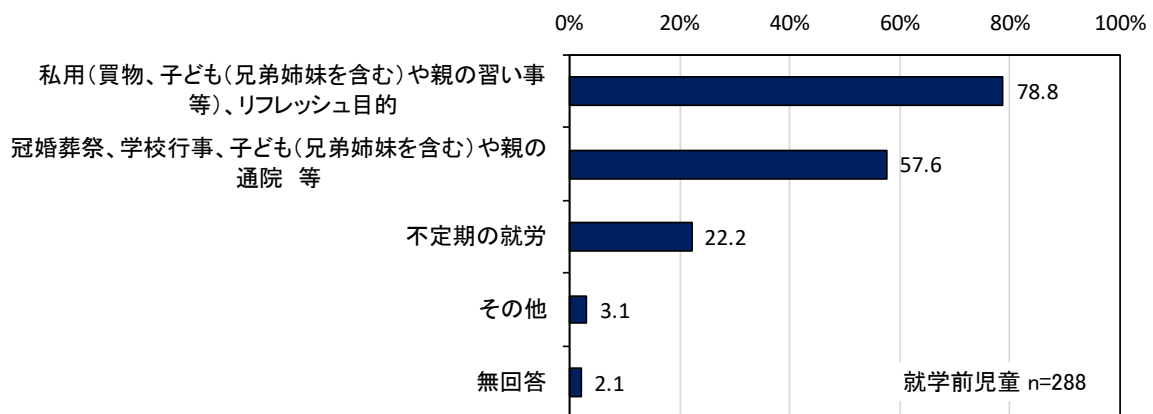
(1) サービスの利用希望

私用等の目的でのサービスの利用希望については、「利用する必要はない」が56.0%、「利用したい」が35.5%となっています。



(2) サービスの利用目的

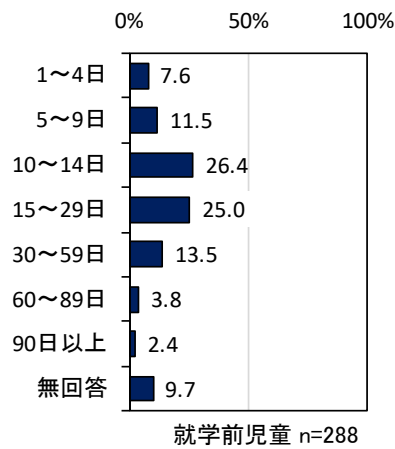
サービスの利用目的については、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が78.8%で最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が57.6%、「不定期の就労」が22.2%となっています。



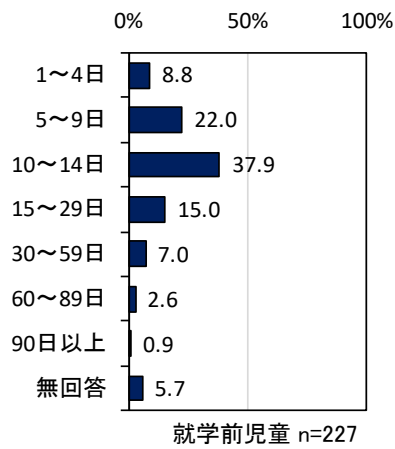
●利用目的別の希望日数（年間）

利用目的別の希望日数については、以下のとおりとなっています。

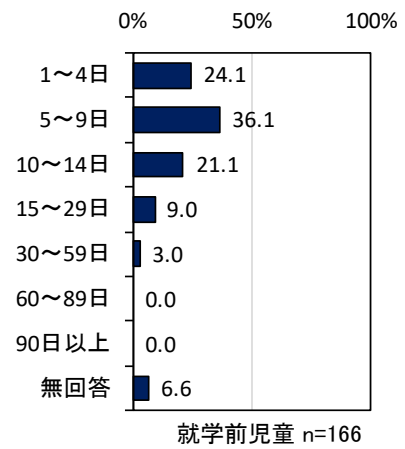
【希望日数合計（年間）】



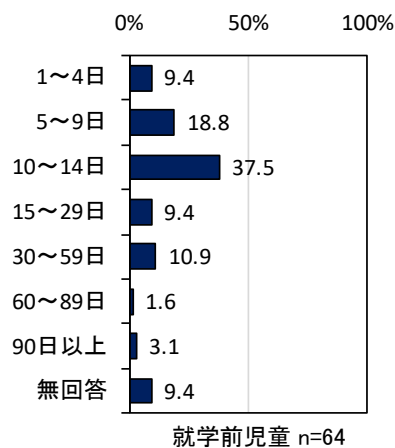
【私用、リフレッシュ目的】



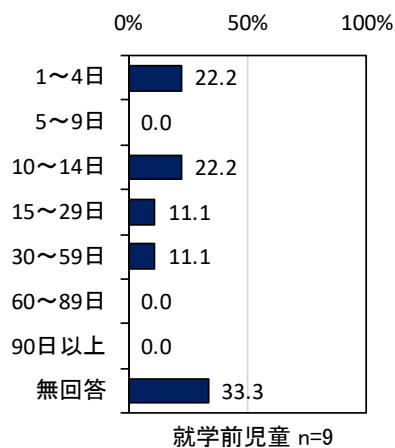
【冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院】



【不定期の就労】



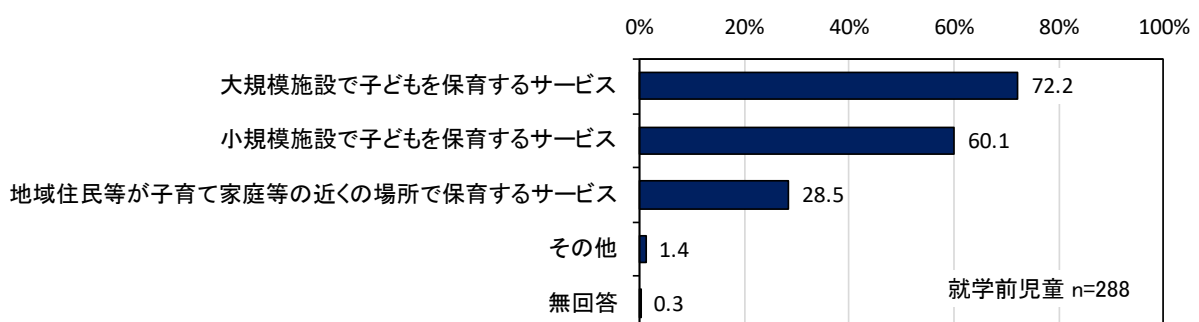
【その他】



問 24-1 問 24 で「利用したい」と回答した方にうかがいます。

問 24 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれのサービス形態が望ましいと思われますか。
(いくつでも)

私用等の目的で子どもを預ける場合の望ましいサービス形態については、「大規模施設で子どもを保育するサービス」が 72.2%で最も高く、次いで「小規模施設で子どもを保育するサービス」が 60.1%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育するサービス」が 28.5%となっています。



問 25 宛名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。

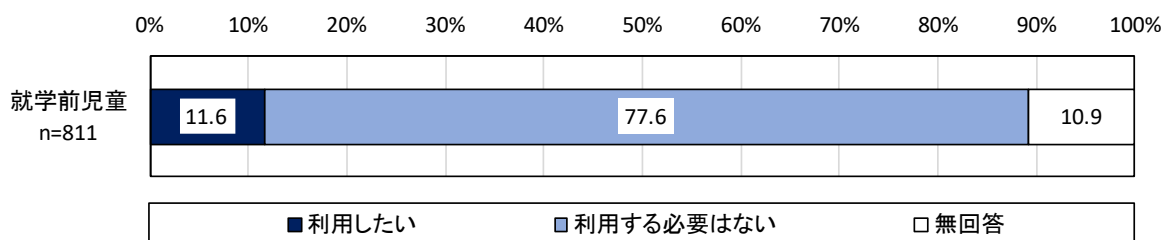
短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無について選択し、それぞれ必要な泊数をご記入ください。

なお、これらのサービスの利用には、一定の利用者負担が発生します。

（1つのみ、ア～エはいくつでも、利用する宿泊数を口内ご記入ください。）

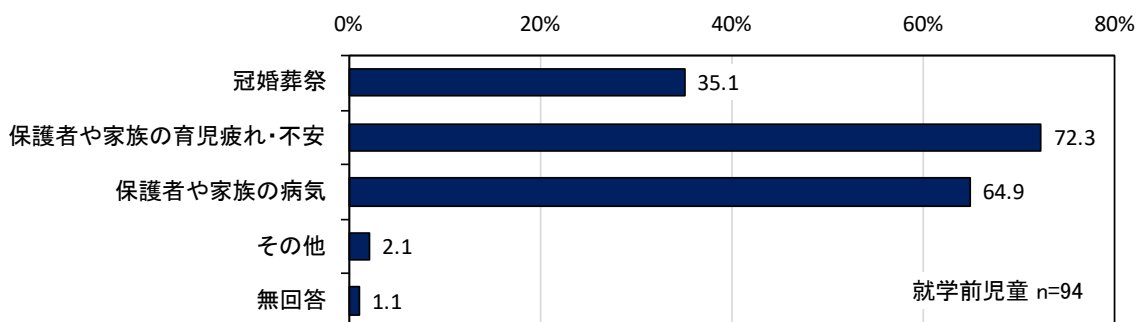
（1）サービスの利用希望

短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用希望については、「利用する必要はない」が77.6%、「利用したい」が11.6%となっています。



（2）サービスの利用目的

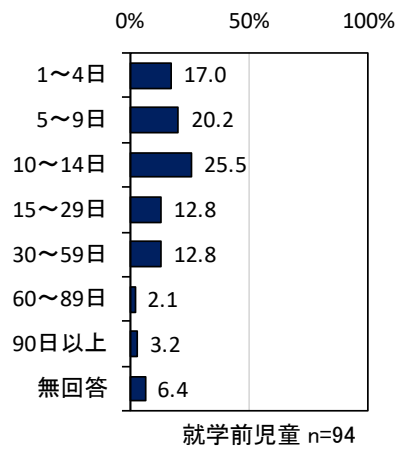
サービスの利用目的については、「保護者や家族の育児疲れ・不安」が72.3%で最も高く、次いで「保護者や家族の病気」が64.9%、「冠婚葬祭」が35.1%となっています。



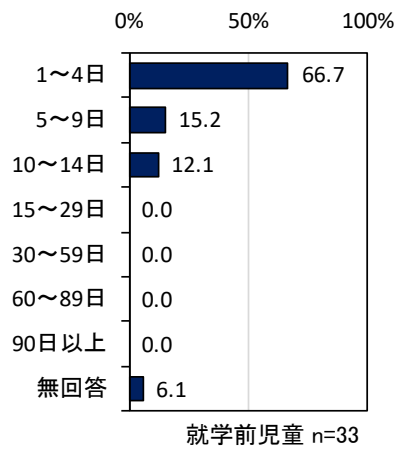
●利用目的別の希望日数（年間）

利用目的別の希望日数については、以下のとおりとなっています。

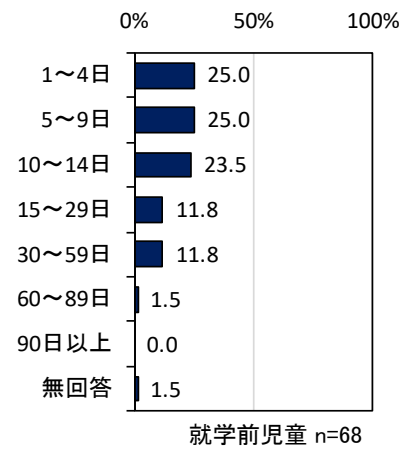
【希望日数合計（年間）】



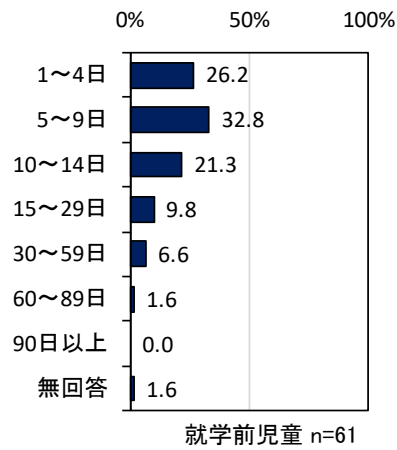
【冠婚葬祭】



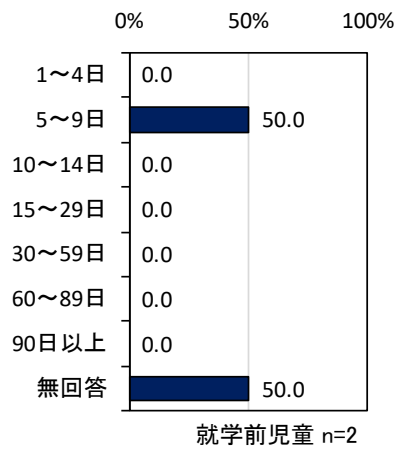
【保護者や家族の育児疲れ・不安】



【保護者や家族の病気】



【その他】

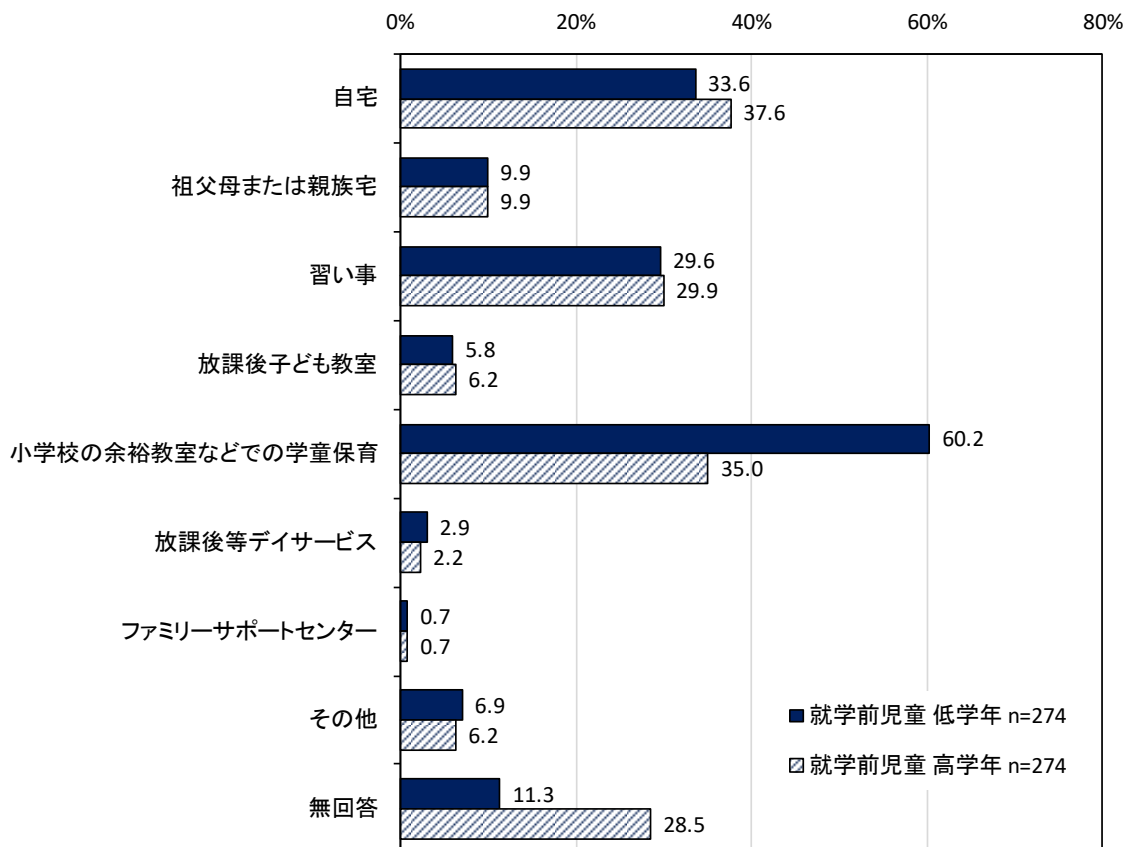


10. お子さんが5歳以上である方に、 小学校就学後の放課後の過ごし方について

問 26 宛名のお子さんが小学校に入ったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまるものを選択し、それぞれ希望する週当たりの希望日数をご記入ください。また、「学童保育」の場合には、利用を希望する時間もご記入ください。（いくつでも、□内に数字をご記入ください。）

希望する放課後の過ごし方については、低学年及び高学年ともに、上位3位に挙げられている項目は、「自宅」、「習い事」、「小学校の余裕教室などでの学童保育」となっています。

低学年では、「小学校の余裕教室などでの学童保育」が60.2%で最も高く、次いで「自宅」が33.6%、「習い事」が29.6%、高学年では、「自宅」が37.6%で最も高く、次いで「小学校の余裕教室などでの学童保育」が35.0%、「習い事」が29.9%となっています。

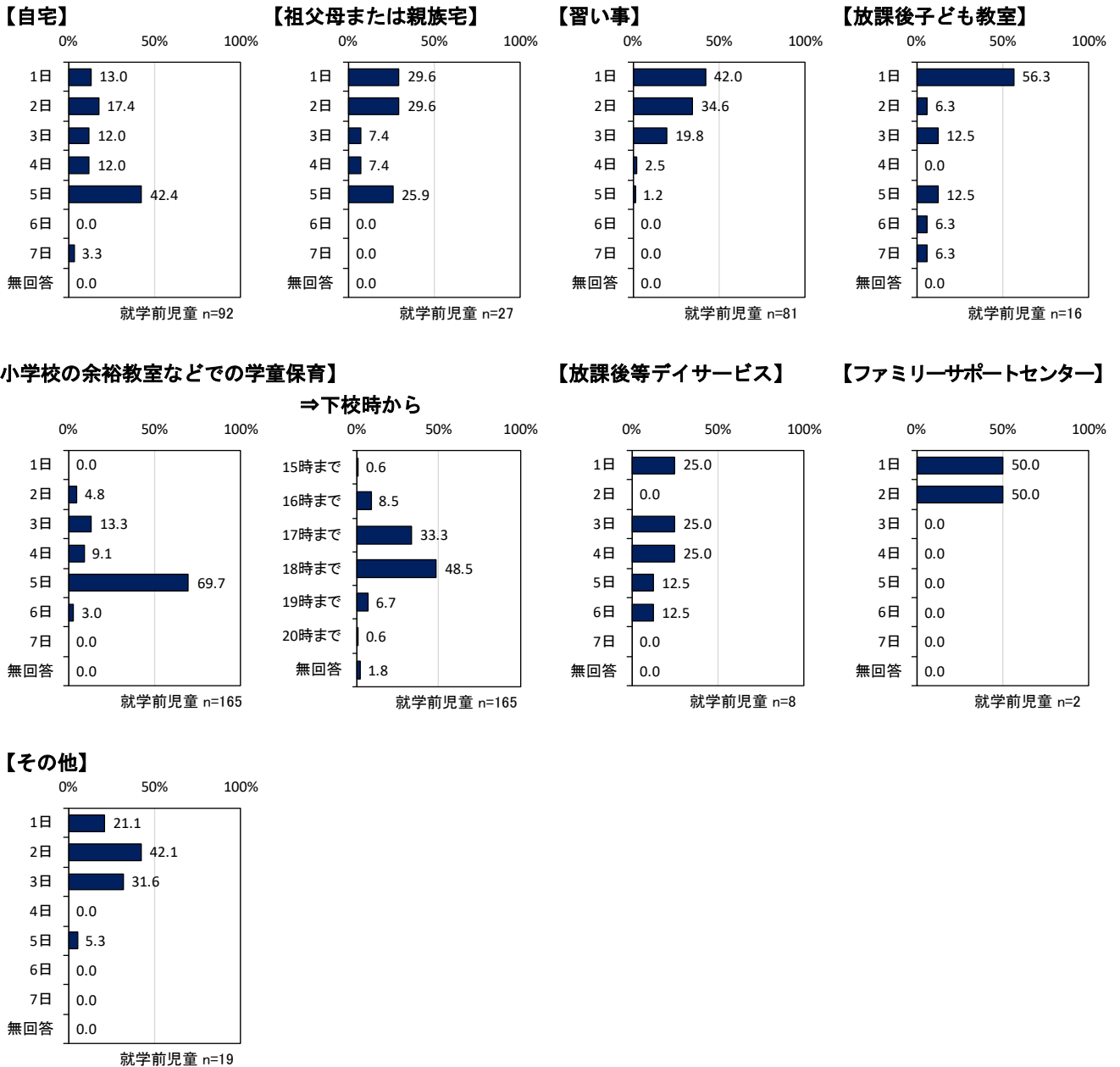


● 1週当たりの利用希望日数 低学年（1～3年生）

1週当たりの利用希望日数について、『小学校の余裕教室などでの学童保育』をみると、「5日」が69.7%で最も高く、次いで「3日」が13.3%、「4日」が9.1%となっています。

また、下校時から何時まで利用を希望するかについては、「18時まで」が48.5%で最も高く、次いで「17時まで」が33.3%、「16時まで」が8.5%となっています。

その他の1週当たりの利用希望日数は、以下のとおりとなっています。

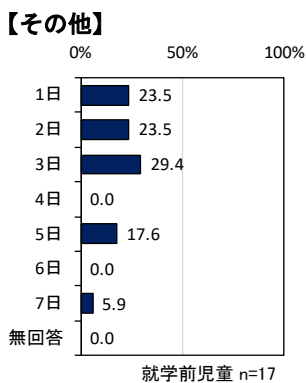
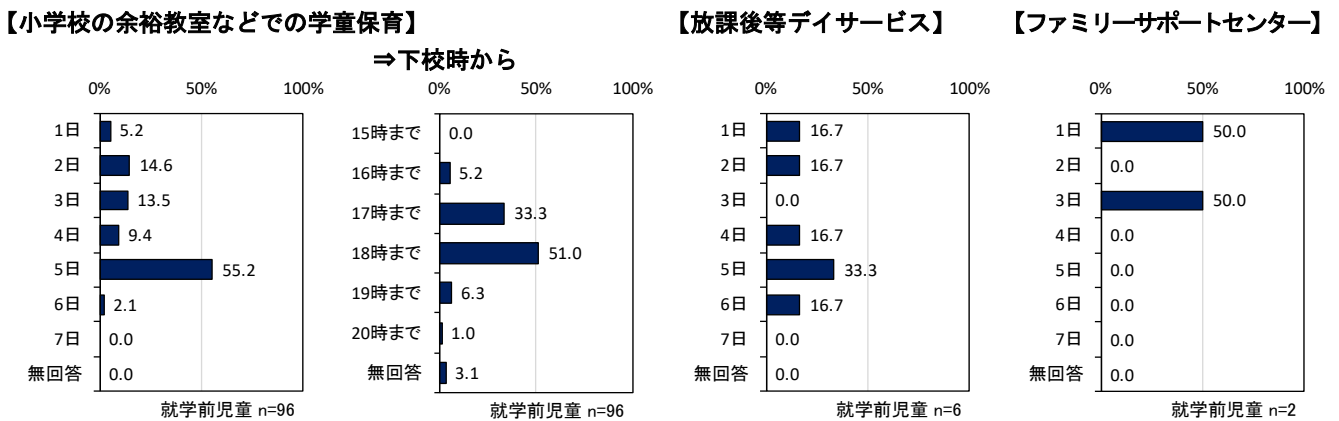
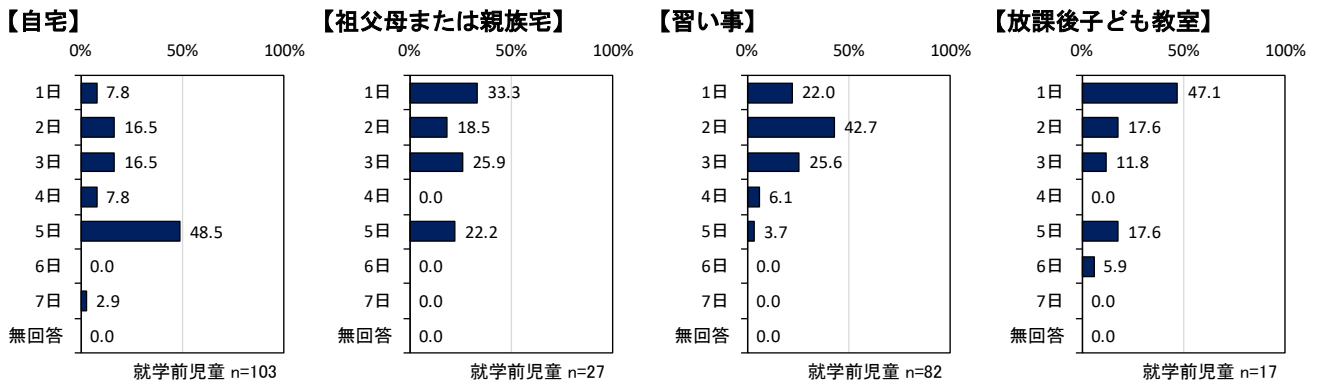


● 1週当たりの利用希望日数 高学年（4～6年生）

1週当たりの利用希望日数について、『小学校の余裕教室などでの学童保育』をみると、「5日」が55.2%で最も高く、次いで「2日」が14.6%、「3日」が13.5%となっています。

また、下校時から何時まで利用を希望するかについては、「18時まで」が51.0%で最も高く、次いで「17時まで」が33.3%、「19時まで」が6.3%となっています。

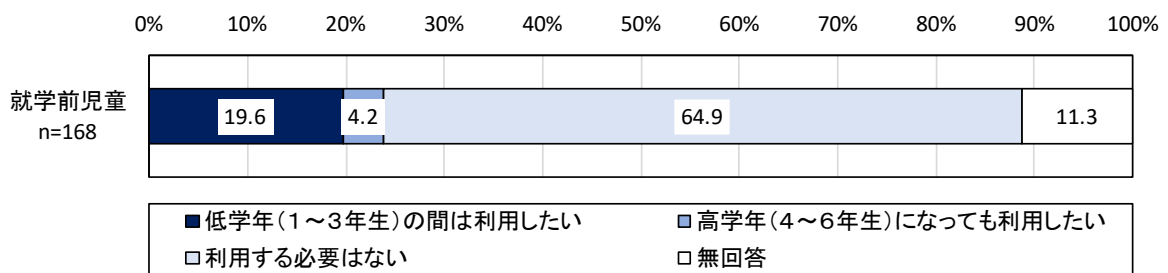
その他の1週当たりの利用希望日数は、以下のとおりとなっています。



問 26-1 問 26 で「小学校の余裕教室などでの学童保育」と回答した方にうかがいます。
 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童保育の利用希望はありますか。利用希望がある場合は、希望する時間帯もご記入ください。
 (それぞれ1つのみ、口内に数字をご記入ください。)

(1) 土曜日

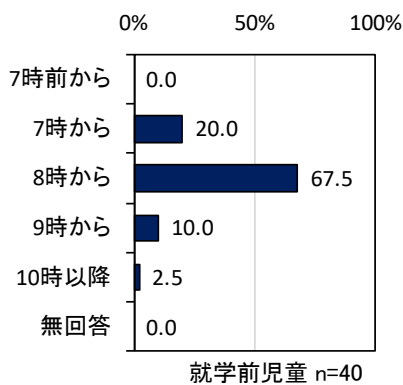
土曜日の利用希望については、「利用する必要はない」が64.9%で最も高く、次いで「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が19.6%、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が4.2%となっています。



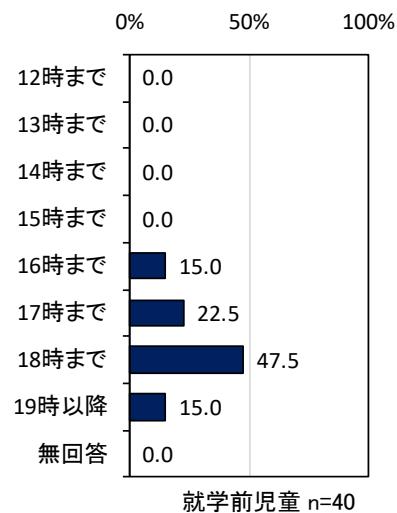
●土曜日の利用を希望している方の利用希望

希望開始時間は、「8時から」が67.5%で最も高く、次いで「7時から」が20.0%となっています。
 また、希望終了時間は、「18時まで」が47.5%で最も高く、次いで「17時まで」が22.5%となっています。

【希望開始時間】

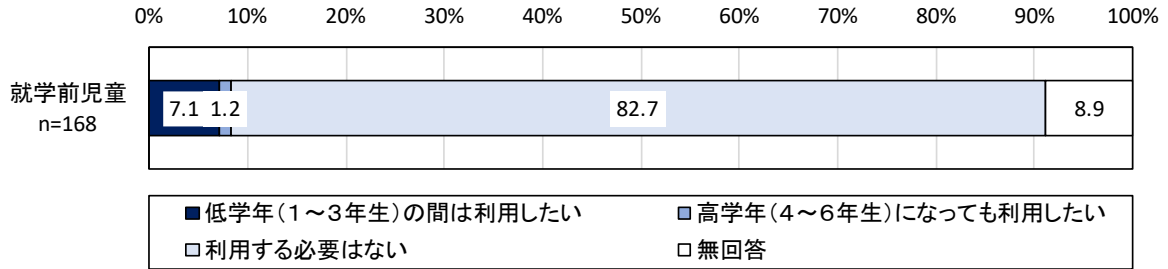


【希望終了時間】



(2) 日曜日・祝日

日曜日・祝日の利用希望については、「利用する必要はない」が82.7%で最も高く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が7.1%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が1.2%となっています。

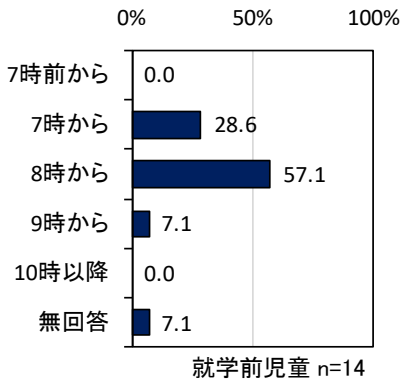


●日曜日・祝日の利用を希望している方の利用希望

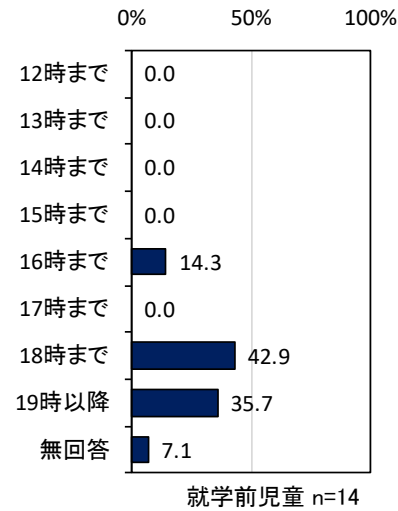
希望開始時間は、「8時から」が57.1%で最も高く、次いで「7時から」が28.6%となっています。

また、希望終了時間は、「18時まで」が42.9%で最も高く、次いで「19時まで」が35.7%となっています。

【希望開始時間】

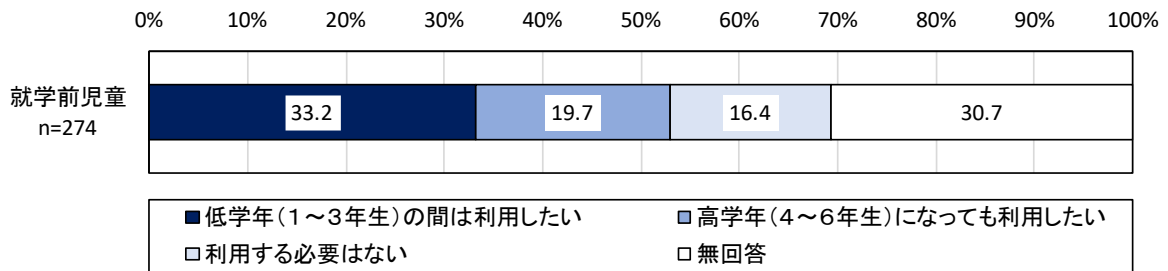


【希望終了時間】



問 27 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期休暇中に、学童保育の利用希望はありますか。利用希望がある場合は、希望する時間帯もご記入ください。
(1つのみ、口内に数字をご記入ください。)

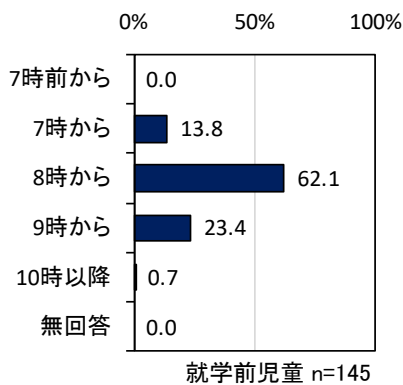
長期休暇中の利用希望については、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が 33.2%で最も高く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が 19.7%、「利用する必要はない」が 16.4%となっています。



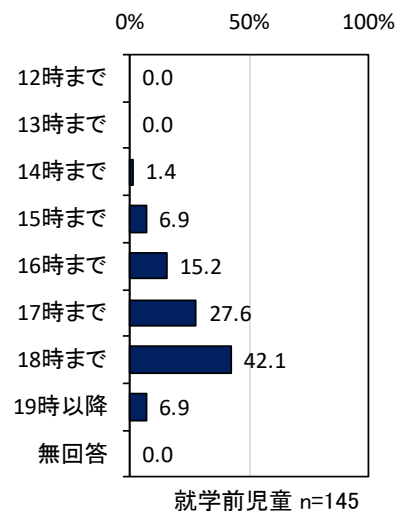
●長期休暇中の利用を希望している方の利用希望

希望開始時間は、「8時から」が62.1%で最も高く、次いで「9時から」が23.4%となっています。また、希望終了時間は、「18時まで」が42.1%で最も高く、次いで「17時まで」が27.6%となっています。

【希望開始時間】



【希望終了時間】



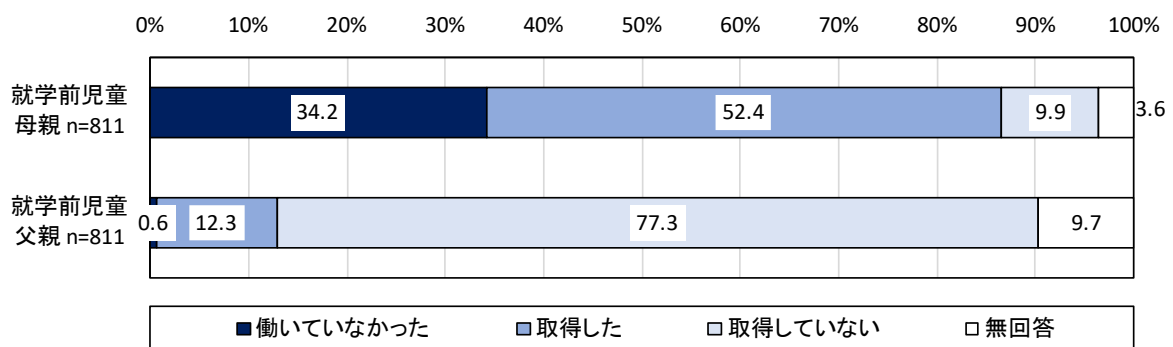
1 1. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問 28 宛名のお子さんが生まれた時、父・母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。また、取得していない方はその理由をお答えください。

(1) 育児休業の取得状況

母親の育児休業の取得状況については、「取得した」が 52.4%で最も高く、次いで「働いていなかった」が 34.2%、「取得していない」が 9.9%となっています。

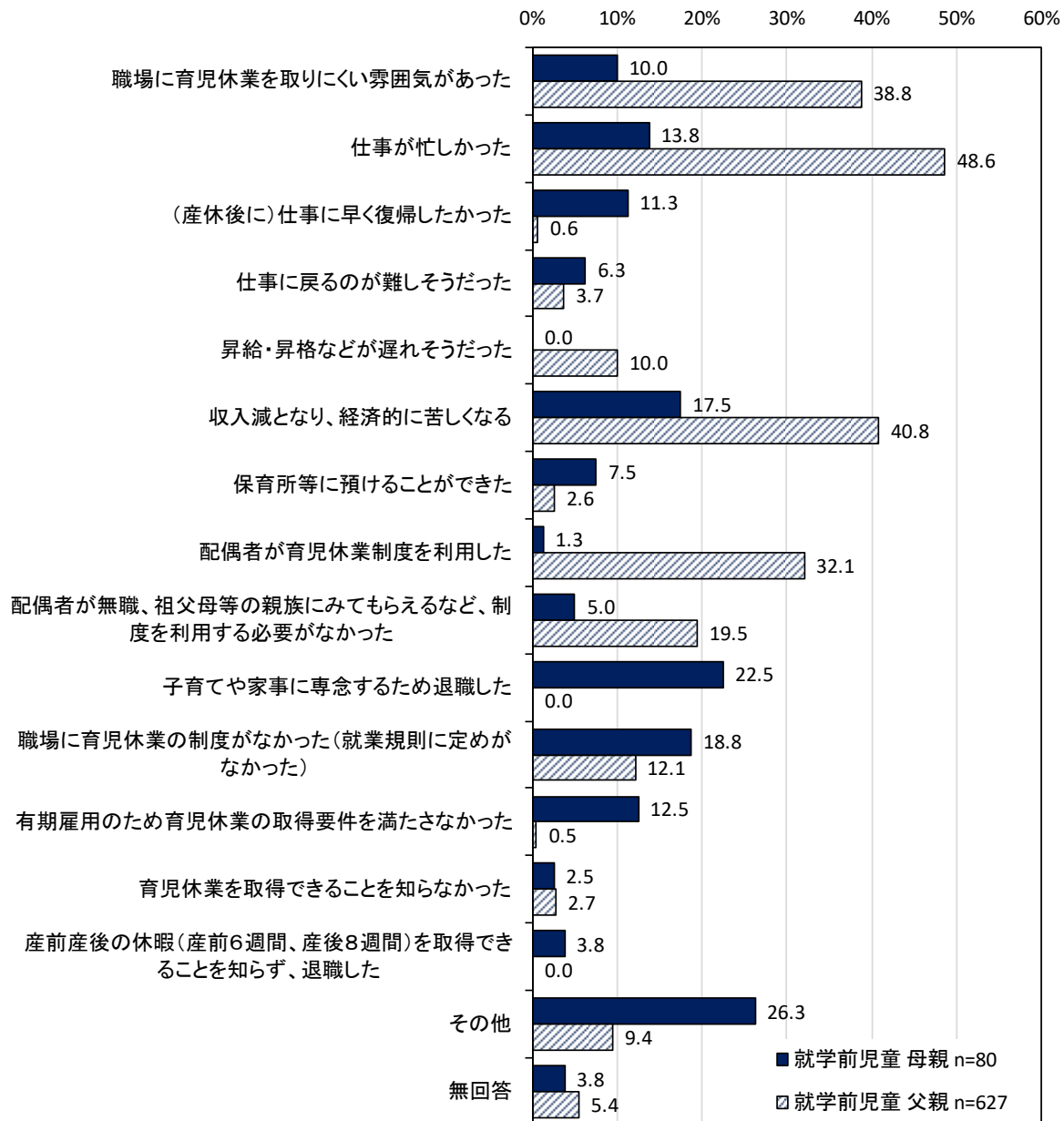
父親の育児休業の取得状況については、「取得していない」が 77.3%で最も高く、次いで「取得した」が 12.3%、「働いていなかった」が 0.6%となっています。



(2) 育児休業を取得していない理由

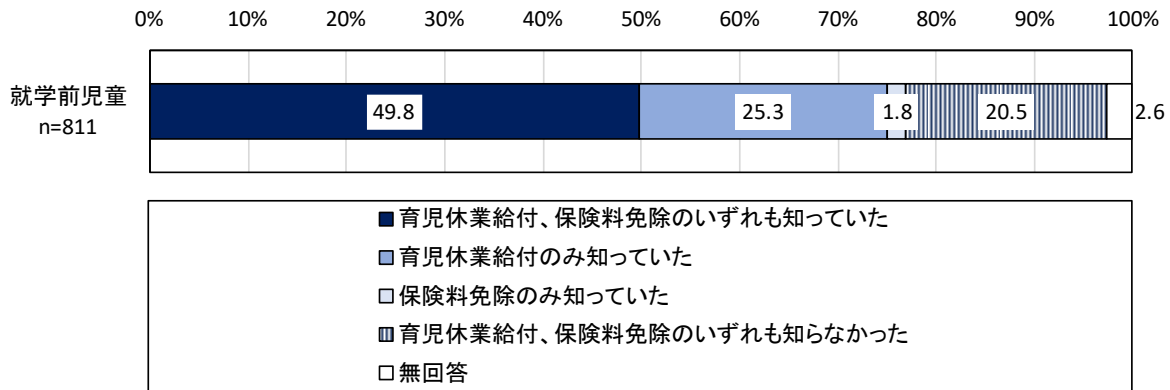
母親が育児休業を取得していない理由については、「その他」が 26.3%で最も高く、次いで「子育てや家事に専念するため退職した」が 22.5%、「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が 18.8%となっています。

父親が育児休業を取得していない理由については、「仕事が忙しかった」が 48.6%で最も高く、次いで「収入減となり、経済的に苦しくなる」が 40.8%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が 38.8%となっています。



問 28-1 「育児休業給付」、「保険料免除」の仕組みをご存知でしたか。(1つのみ)

育児休業給付や保険料免除の仕組みに対する認知度については、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が49.8%で最も高く、次いで「育児休業給付のみ知っていた」が25.3%、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が20.5%となっています。

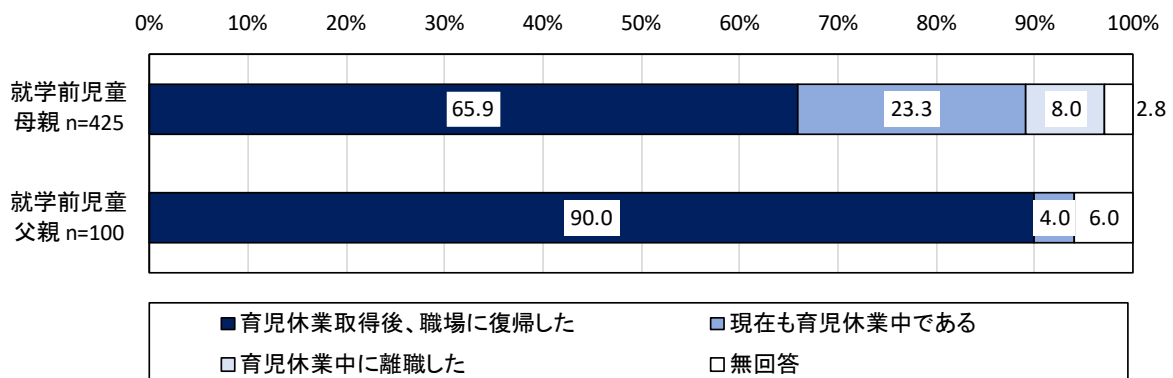


問 28-2 問 28 で「取得した (取得中である)」と回答した方にうかがいます。

育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(それぞれ1つのみ)

母親の育児休業取得後の職場復帰については、「育児休業取得後、職場に復帰した」が65.9%で最も高く、次いで「現在も育児休業中である」が23.3%、「育児休業中に離職した」が8.0%となっています。

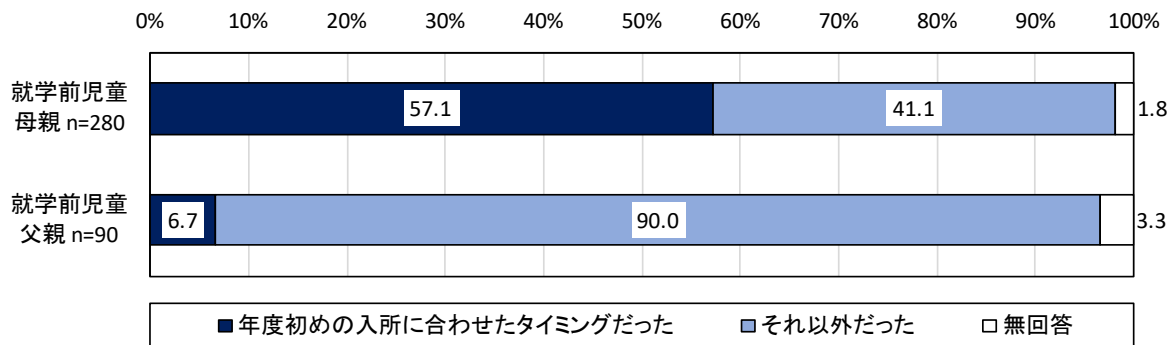
父親の育児休業取得後の職場復帰については、「育児休業取得後、職場に復帰した」が90.0%で最も高く、次いで「現在も育児休業中である」が4.0%となっています。



問 28-3 問 28-2で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。
 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所等入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。
 なお、年度初めでの認可保育施設入所を希望して、1月～2月頃に職場復帰、一時的に認可外保育施設に入所した場合などは選択肢「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」にあてはまります。
 また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所等に入所できなかったという場合も「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」を選択してください。（それぞれ1つのみ）

母親の職場への復帰時期については、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が57.1%、「それ以外だった」が41.1%となっています。

父親の職場への復帰時期については、「それ以外だった」が90.0%、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が6.7%となっています。



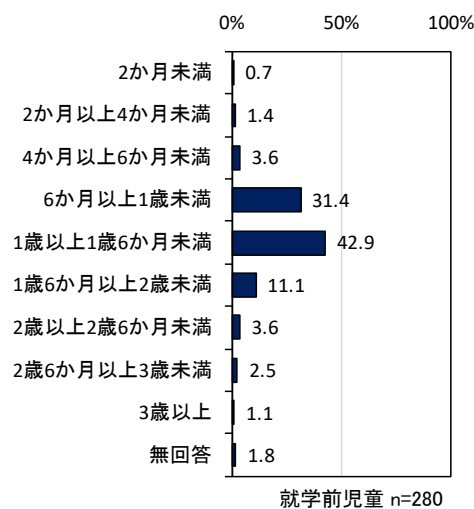
問28-4 問28-2で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。
 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、お子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。
 （それぞれ口内に実際と希望の復帰時期をご記入ください。）

(1) 母親

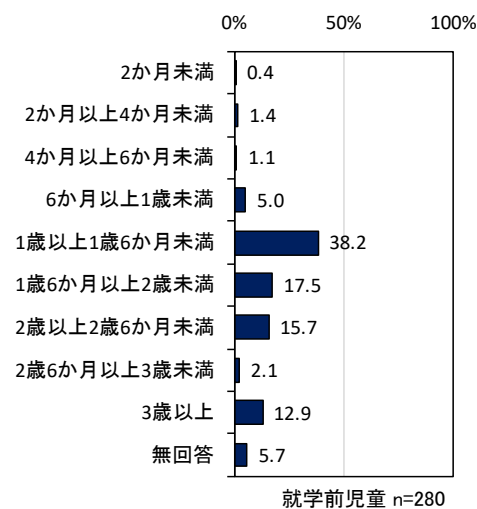
母親の実際の復帰時期については、「1歳以上1歳6か月未満」が42.9%で最も高く、次いで「6か月以上1歳未満」が31.4%、「1歳6か月以上2歳未満」が11.1%となっています。

母親の希望の復帰時期については、「1歳以上1歳6か月未満」が38.2%で最も高く、次いで「1歳6か月以上2歳未満」が17.5%、「2歳以上2歳6か月未満」が15.7%となっています。

【母親の実際の復帰時期】



【母親の希望の復帰時期】

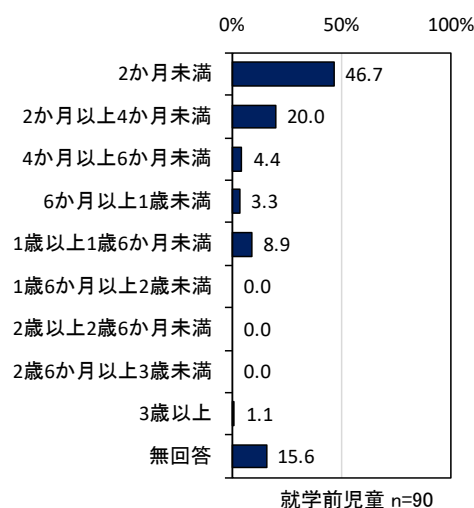


(2) 父親

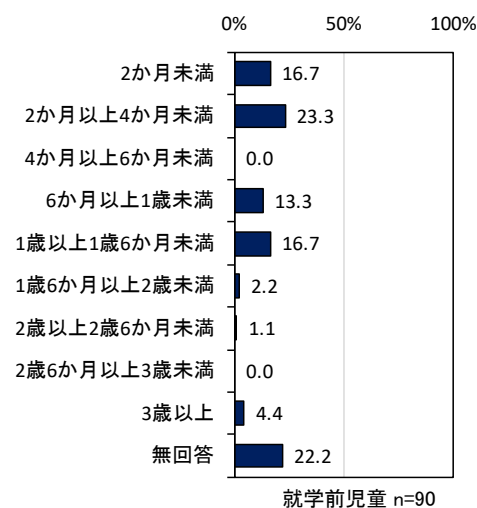
父親の実際の復帰時期については、「2か月未満」が46.7%で最も高く、次いで「2か月以上4か月未満」が20.0%、「1歳以上1歳6か月未満」が8.9%となっています。

父親の希望の復帰時期については、「2か月以上4か月未満」が23.3%で最も高く、次いで「2か月未満」、「1歳以上1歳6か月未満」がともに16.7%となっています。

【父親の実際の復帰時期】



【父親の希望の復帰時期】

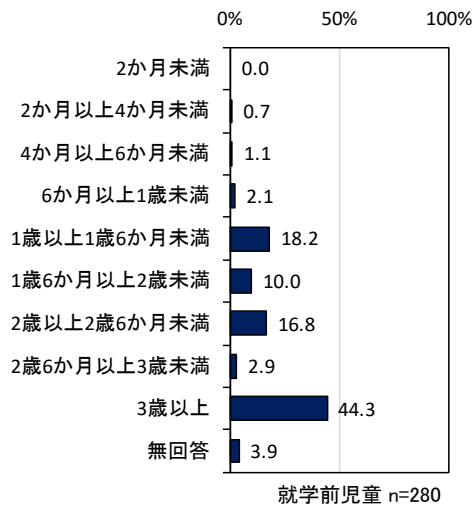


問28-5 問28-2で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。
 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。
 (それぞれ口内に希望の時期をご記入ください。)

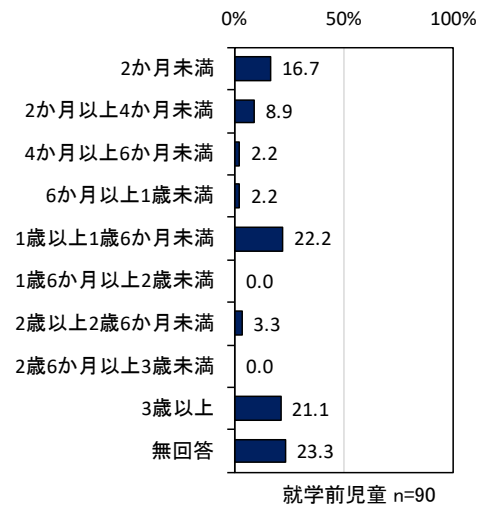
3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、母親が希望する復帰時期については、「3歳以上」が44.3%で最も高く、次いで「1歳以上1歳6か月未満」が18.2%、「2歳以上2歳6か月未満」が16.8%となっています。

3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、父親が希望する復帰時期については、「1歳以上1歳6か月未満」が22.2%で最も高く、次いで「3歳以上」が21.1%、「2か月未満」が16.7%となっています。

【母親の希望の復帰時期】



【父親の希望の復帰時期】

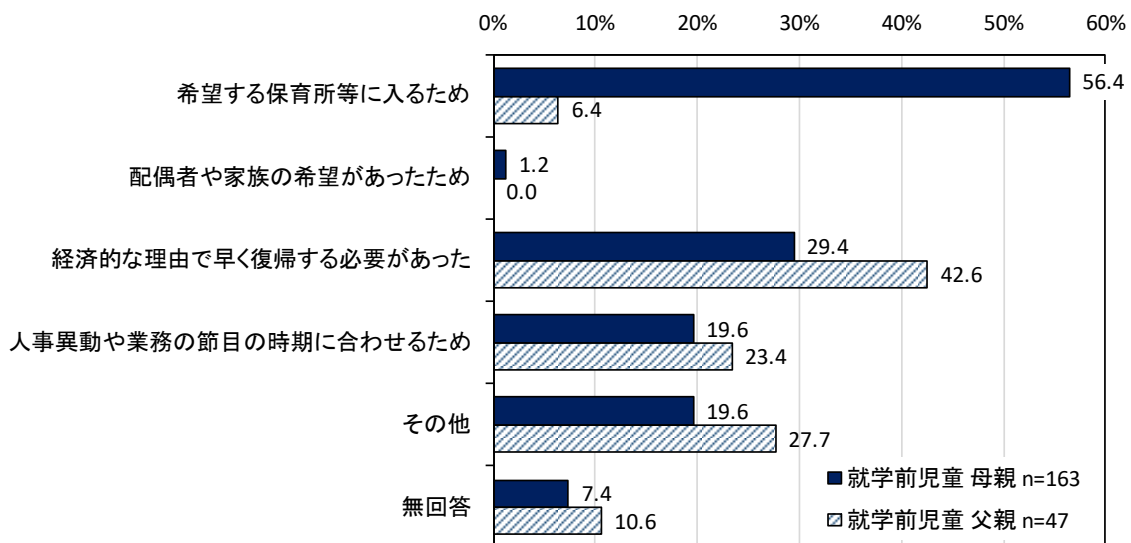


問 28-6 問 28-4で「実際の復帰時期」と「希望の復帰時期」が異なる方にかがいます。
希望の時期に職場復帰しなかった理由をお答えください。(それぞれいくつでも)

(1) 希望より早く復帰した方

母親については、「希望する保育所等に入るため」が 56.4%で最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要がある」が 29.4%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」、「その他」がともに 19.6%となっています。

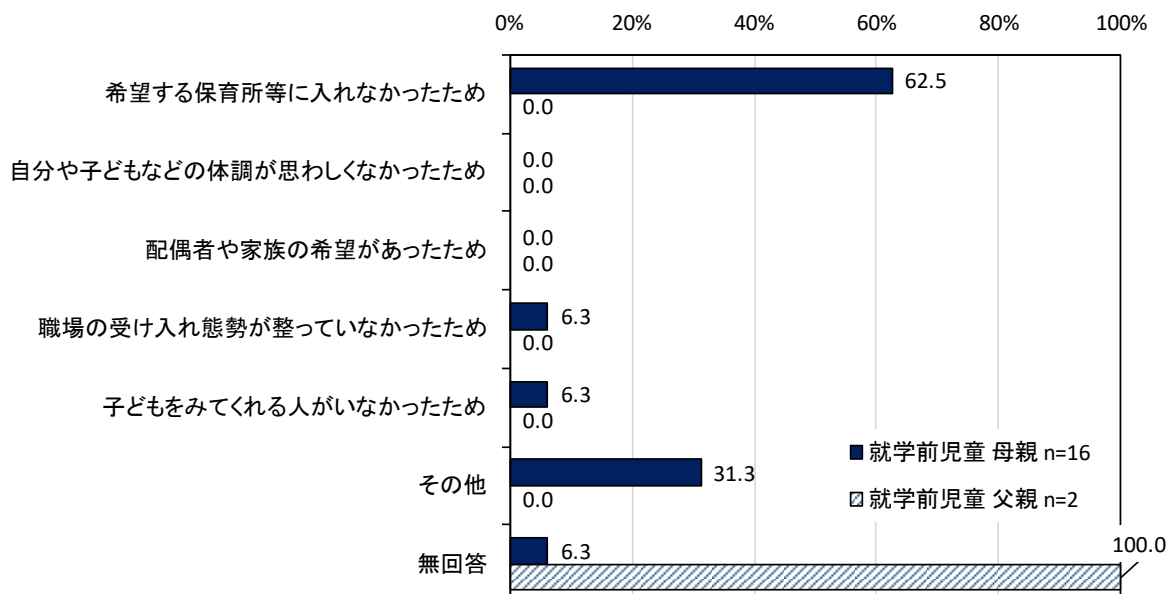
父親については、「経済的な理由で早く復帰する必要がある」が 42.6%で最も高く、次いで「その他」が 27.7%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が 23.4%となっています。



(2) 希望より遅く復帰した方

母親については、「希望する保育所等に入れなかったため」が 62.5%で最も高く、次いで「その他」が 31.3%となっています。

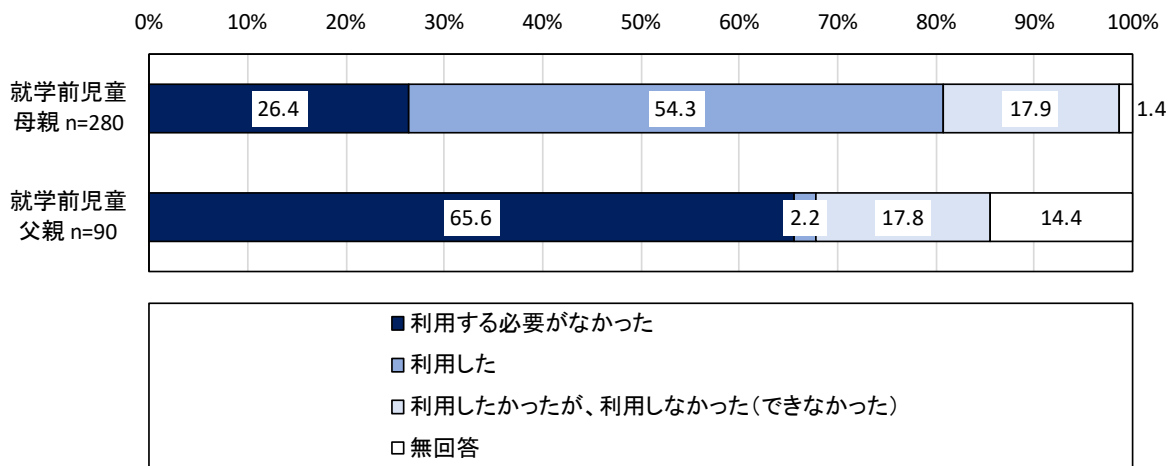
父親については、該当する回答者は2人で、「無回答」となっています。



問 28-7 問 28-2で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。
 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。(それぞれ1つのみ)

母親の短時間勤務制度の利用状況については、「利用した」が 54.3%で最も高く、次いで「利用する必要がなかった」が 26.4%、「利用したかったが、利用しなかった(できなかった)」が 17.9% となっています。

父親の短時間勤務制度の利用状況については、「利用する必要がなかった」が 65.6%で最も高く、次いで「利用したかったが、利用しなかった(できなかった)」が 17.8%、「利用した」が 2.2% となっています。

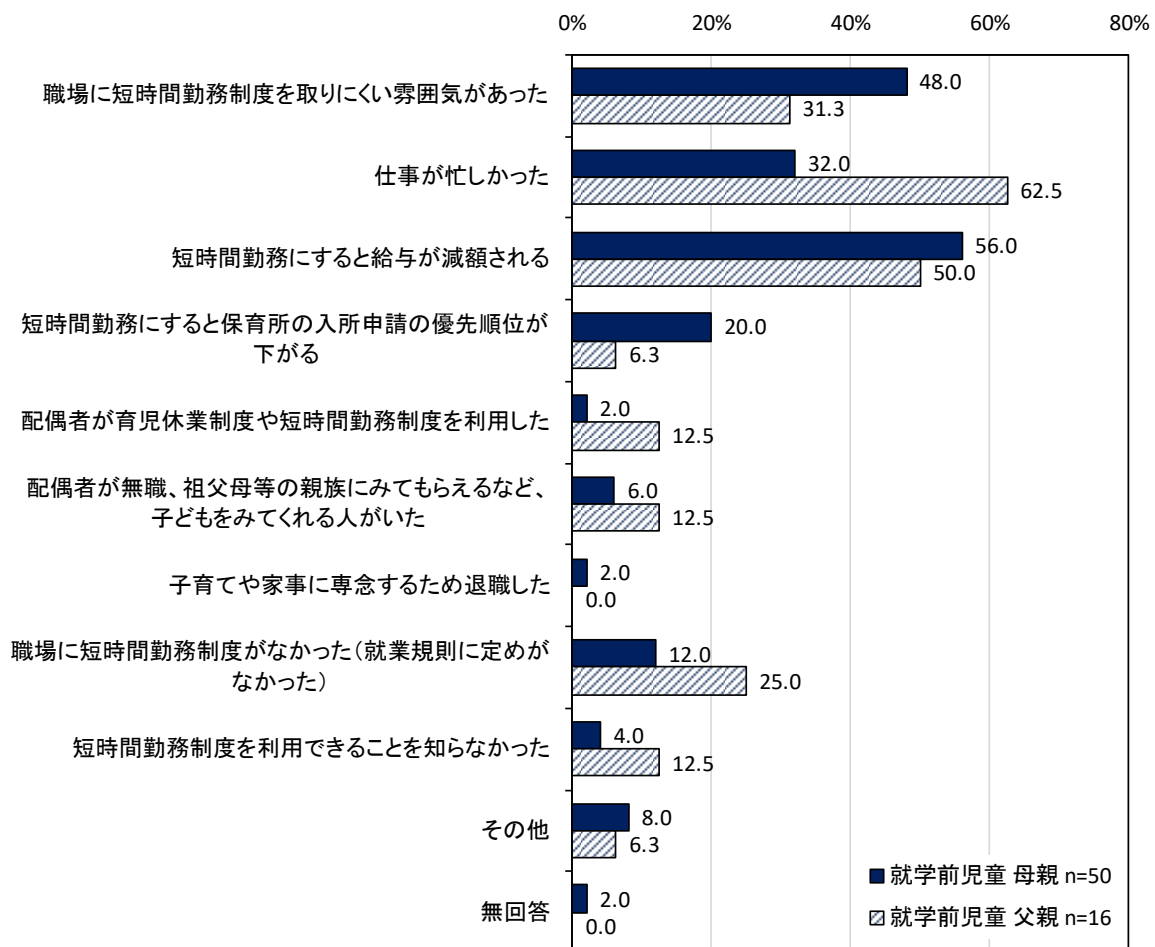


問 28-8 問 28-7で「利用したかったが、利用しなかった（できなかった）」と回答した方にうかがいます。

短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。（それぞれいくつでも）

母親が短時間勤務制度を利用しなかった理由については、「短時間勤務にすると給与が減額される」が56.0%で最も高く、次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が48.0%、「仕事が忙しかった」が32.0%となっています。

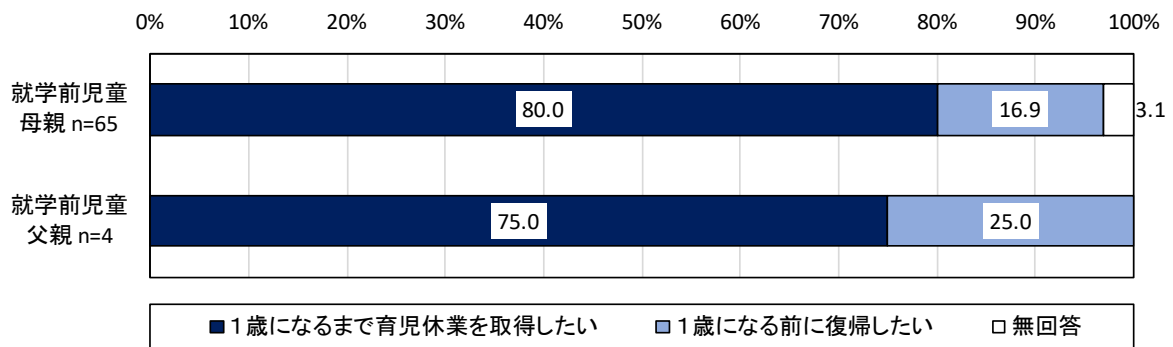
父親の短時間勤務制度を利用しなかった理由については、「仕事が忙しかった」が62.5%で最も高く、次いで「短時間勤務にすると給与が減額される」が50.0%、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が31.3%となっています。



問 28-9 問 28-2で「現在も育児休業中である」と回答し、お子さんが1歳未満の方にかがいます。宛名のお子さんまたは下のお子さんが1歳になったときに必ず利用できるサービスがあれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられるサービスがあっても1歳になる前に復帰しますか。(それぞれ1つのみ)

母親が職場に復帰する際、必ず利用できるサービスがある場合、1歳になるまで育児休業を取得するかについては、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が80.0%、「1歳になる前に復帰したい」が16.9%となっています。

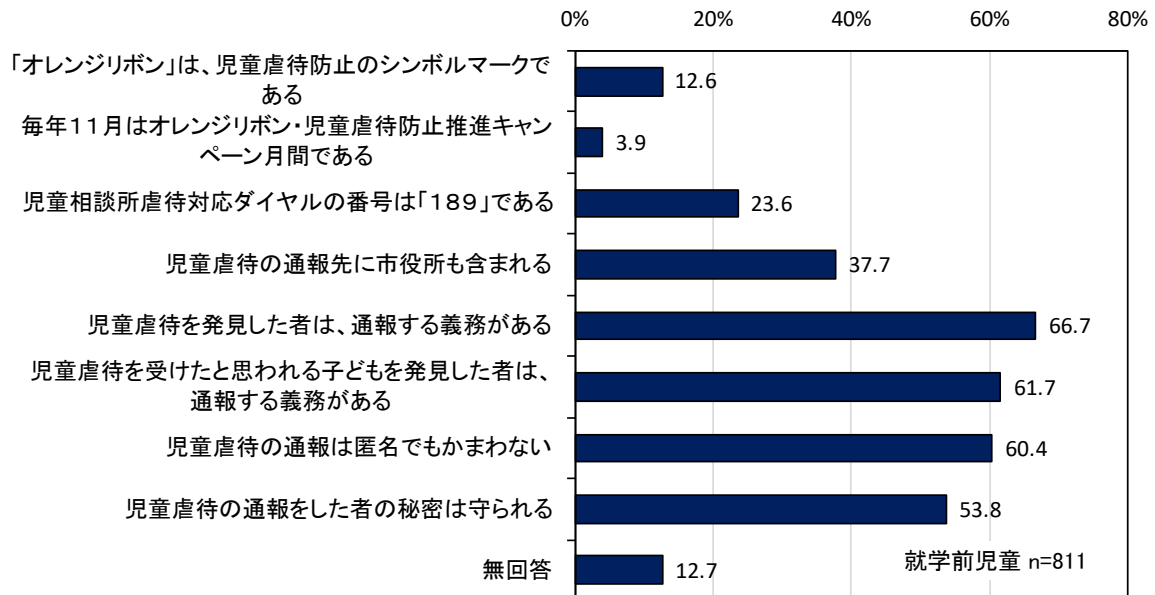
父親については、該当する回答者は4人で、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が3人、「1歳になる前に復帰したい」が1人となっています。



12. 子どもの虐待防止について

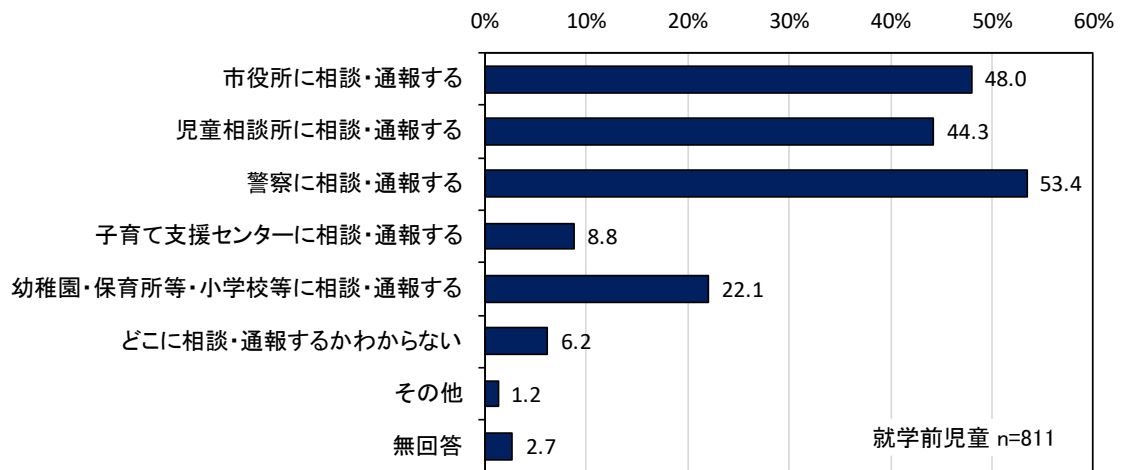
問29 児童虐待について、あなたが知っていることは何ですか。(いくつでも)

児童虐待について知っていることについては、「児童虐待を発見した者は、通報する義務がある」が66.7%で最も高く、次いで「児童虐待を受けたと思われる子どもを発見した者は、通報する義務がある」が61.7%、「児童虐待の通報は匿名でもかまわない」が60.4%となっています。



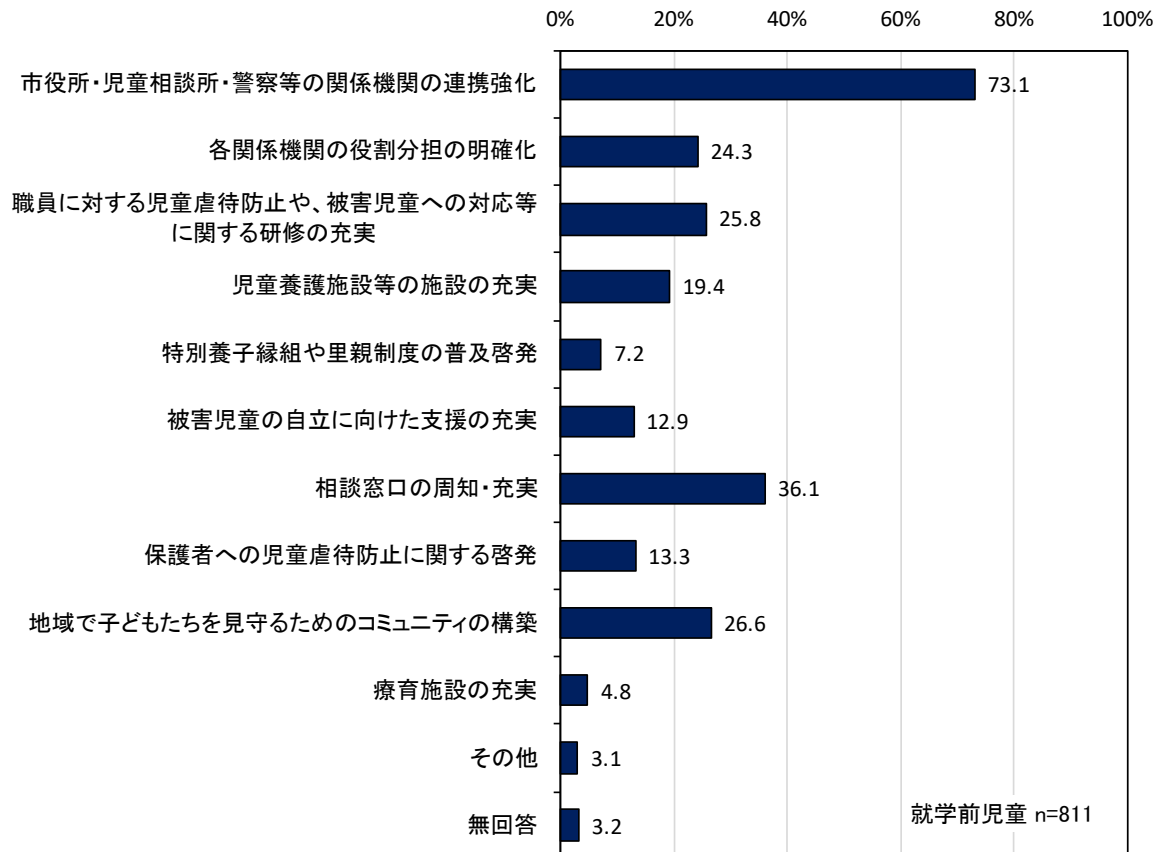
問 30 あなたのまわりに児童虐待または児童虐待の疑いのあるお子さんがいる場合、どこに相談・通報しますか。(いくつでも)

相談・通報の状況については、「警察に相談・通報する」が53.4%で最も高く、次いで「市役所に相談・通報する」が48.0%、「児童相談所に相談・通報する」が44.3%となっています。



問31 あなたは、児童虐待の早期対応や被害児童等に対する保護・支援として、どのような取組が必要だと思いますか。(3つまで)

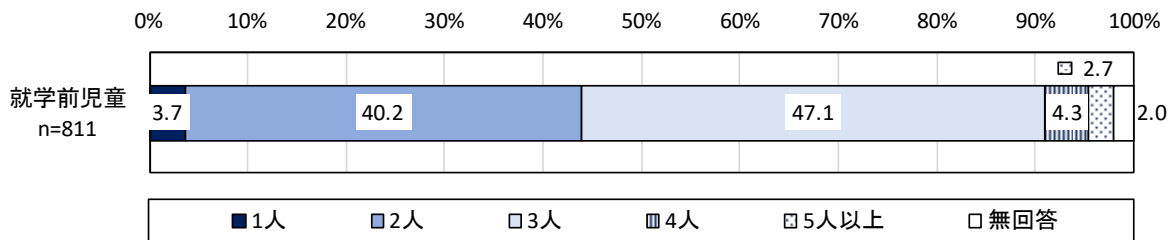
被害児童等に対する保護・支援として必要だと思うことについては、「市役所・児童相談所・警察等の関係機関の連携強化」が73.1%で最も高く、次いで「相談窓口の周知・充実」が36.1%、「地域で子どもたちを見守るためのコミュニティの構築」が26.6%となっています。



13. 少子化について

問 32 あなたの理想とする子どもの数は何人ですか。(口内に数字をご記入ください。)

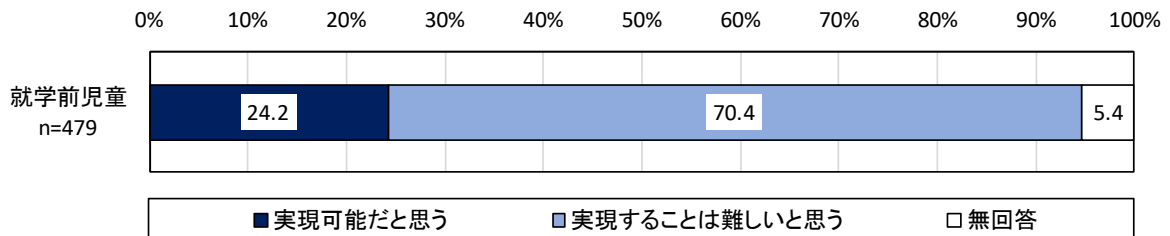
理想とする子どもの人数については、「3人」が47.1%で最も高く、次いで「2人」が40.2%、「4人」が4.3%となっています。



問 33 問 32 の「理想とするお子さんの人数」より、「現在のお子さんの人数」が少ない方にうかがいます。

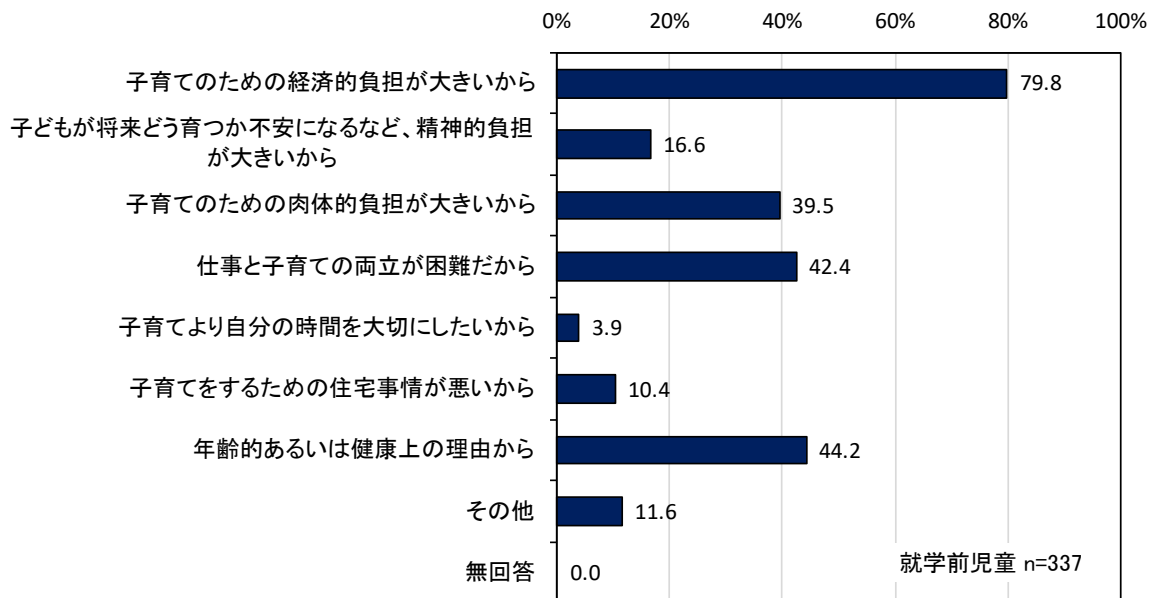
あなたが理想とするお子さんの人数は、実現可能だと思いますか。(1つのみ)

理想とする子どもの人数は実現可能かについては、「実現することは難しいと思う」が70.4%、「実現可能だと思う」が24.2%となっています。



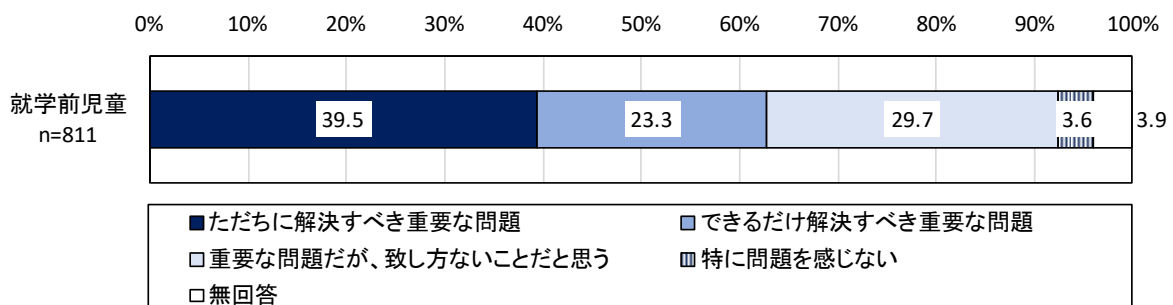
**問 33-1 問 33 で「実現することは難しいと思う」と回答した方にうかがいます。
実現することが難しいと思う理由は何ですか。(いくつでも)**

実現することが難しいと思う理由については、「子育てのための経済的負担が大きいから」が 79.8%で最も高く、次いで「年齢的あるいは健康上の理由から」が 44.2%、「仕事と子育ての両立が困難だから」が 42.4%となっています。



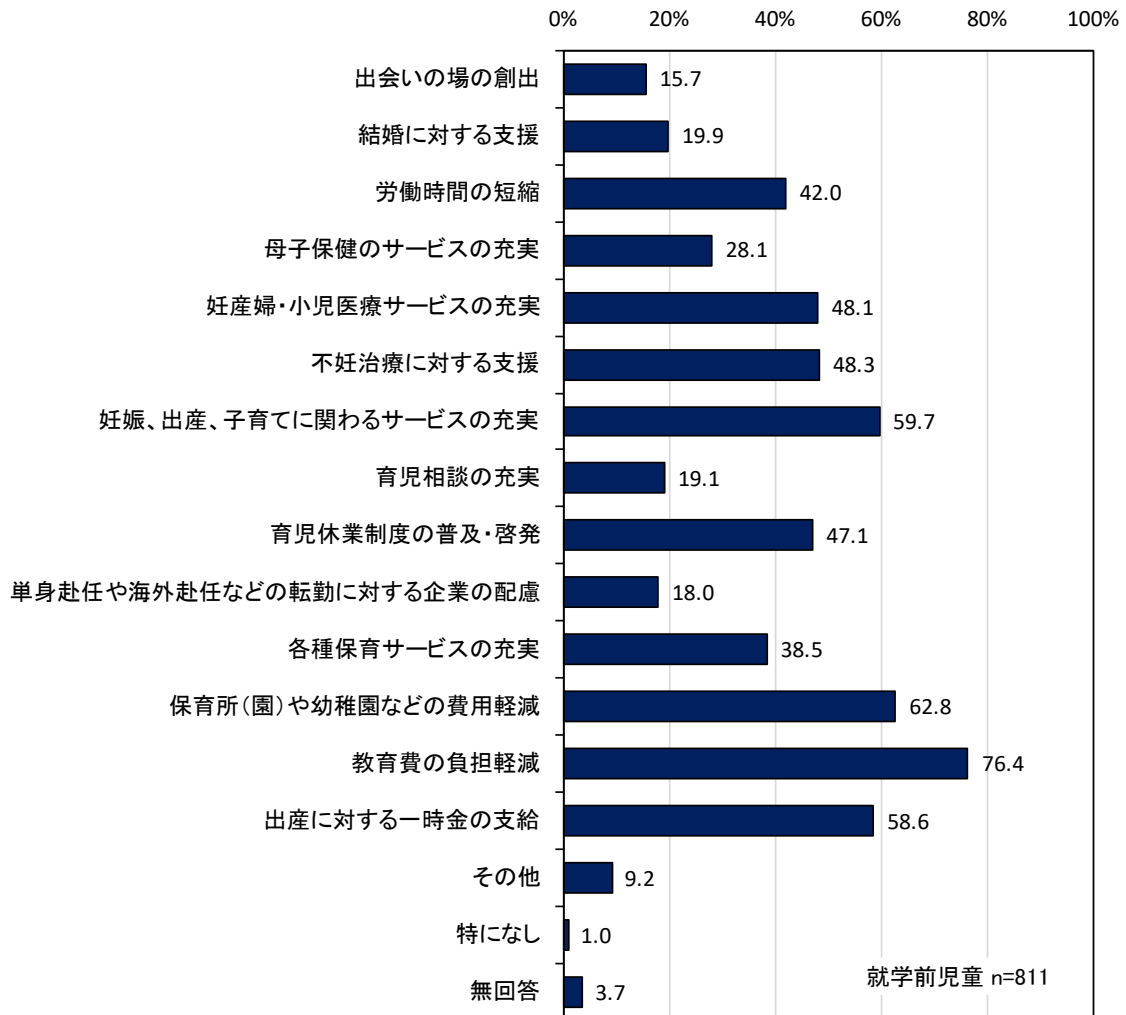
問 34 あなたは、少子化問題に対してどのように考えていますか。(1つのみ)

少子化問題に対する考えについては、「ただちに解決すべき重要な問題」が 39.5%で最も高く、次いで「重要な問題だが、致し方ないことだと思う」が 29.7%、「できるだけ解決すべき重要な問題」が 23.3%となっています。



問 35 少子化対策として、どのようなことが大切だと思いますか。(いくつでも)

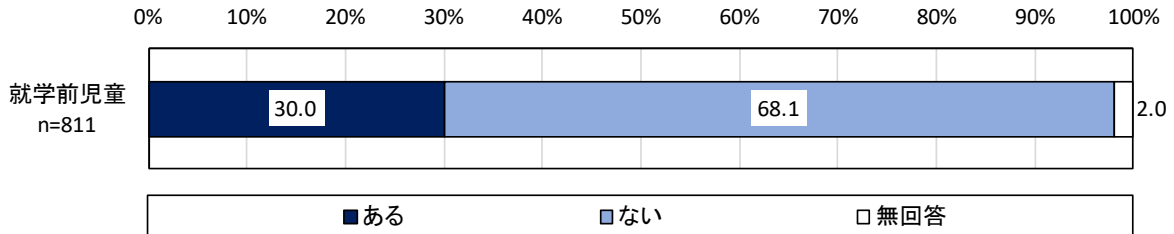
少子化対策として大切だと思うことについては、「教育費の負担軽減」が 76.4%で最も高く、次いで「保育所(園)や幼稚園などの費用軽減」が62.8%、「妊娠、出産、子育てに関わるサービスの充実」が59.7%となっています。



14. 子育てと介護（ダブルケア）について

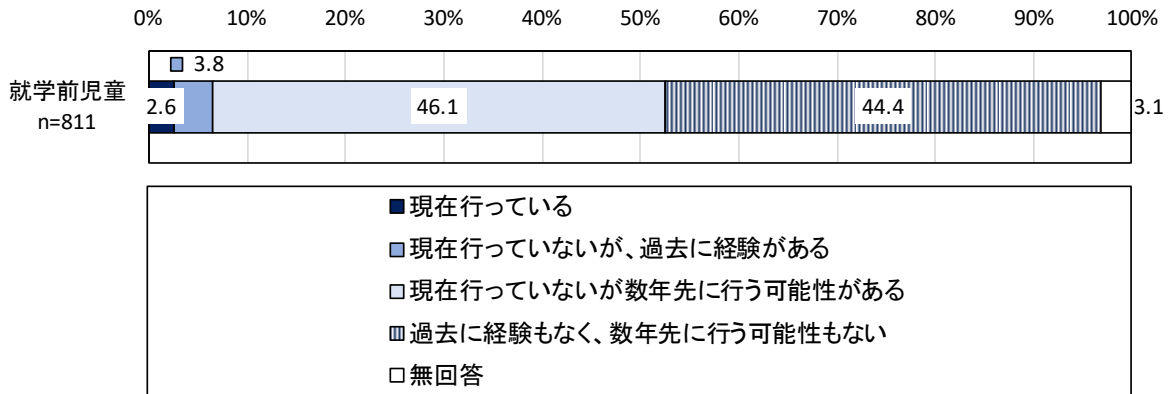
問 36 あなたは、「ダブルケア」という言葉を聞いたことはありますか。（1つのみ）

ダブルケアの認知度については、「ない」が68.1%、「ある」が30.0%になっています。



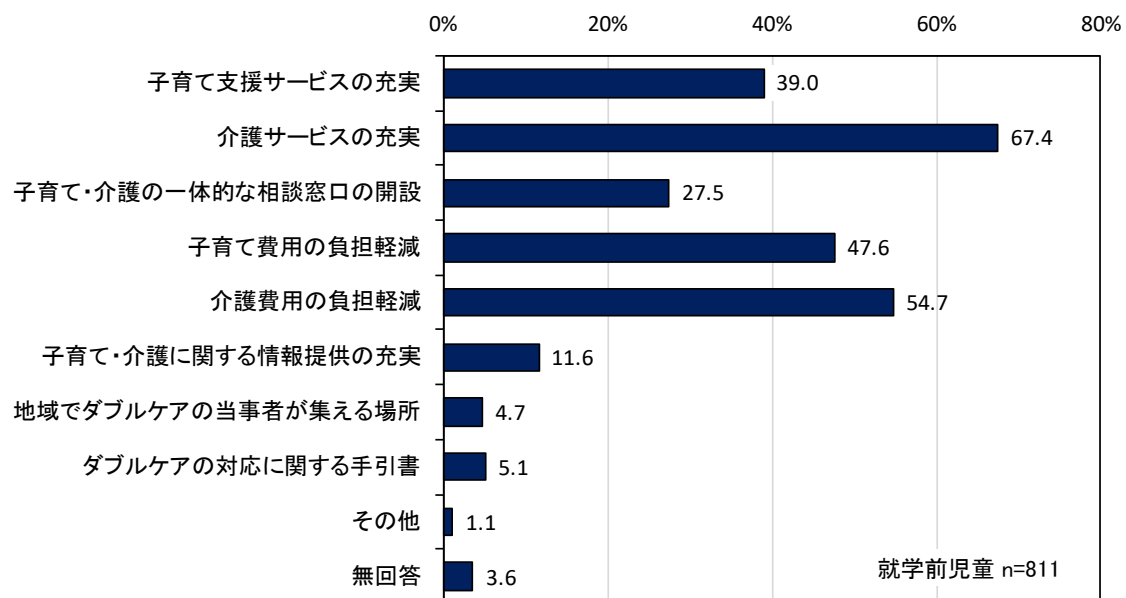
問 37 現在、あなたは、子育てと介護を同時に行っていますか。（1つのみ）

現在、子育てと介護を同時に行っているかについては、「現在行っていないが数年先に行く可能性がある」が46.1%で最も高く、次いで「過去に経験もなく、数年先に行く可能性もない」が44.4%、「現在行っていないが、過去に経験がある」が3.8%となっています。



問38 あなたは、ダブルケアに関して、どのような支援策が必要だと思いますか。(3つまで)

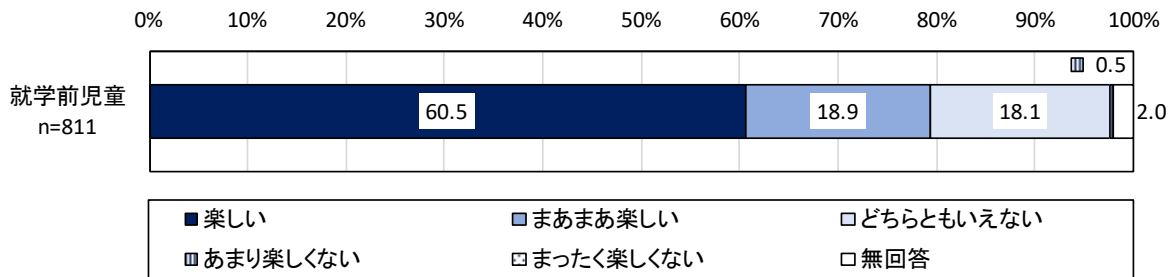
ダブルケアに対する支援策として必要だと思うことについては、「介護サービスの充実」が67.4%で最も高く、次いで「介護費用の負担軽減」が54.7%、「子育て費用の負担軽減」が47.6%となっています。



15. 子育て全般について

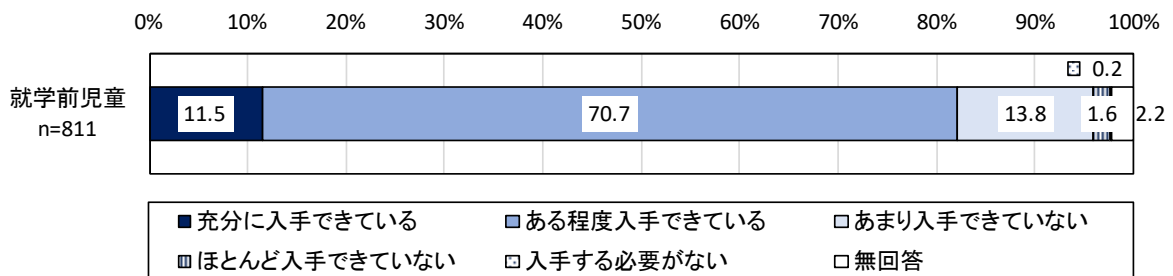
問 39 子育ては楽しいですか。(1つのみ)

子育てに対して感じることについては、「楽しい」が 60.5%で最も高く、次いで「まあまあ楽しい」が 18.9%、「どちらとも言えない」が 18.1%となっています。



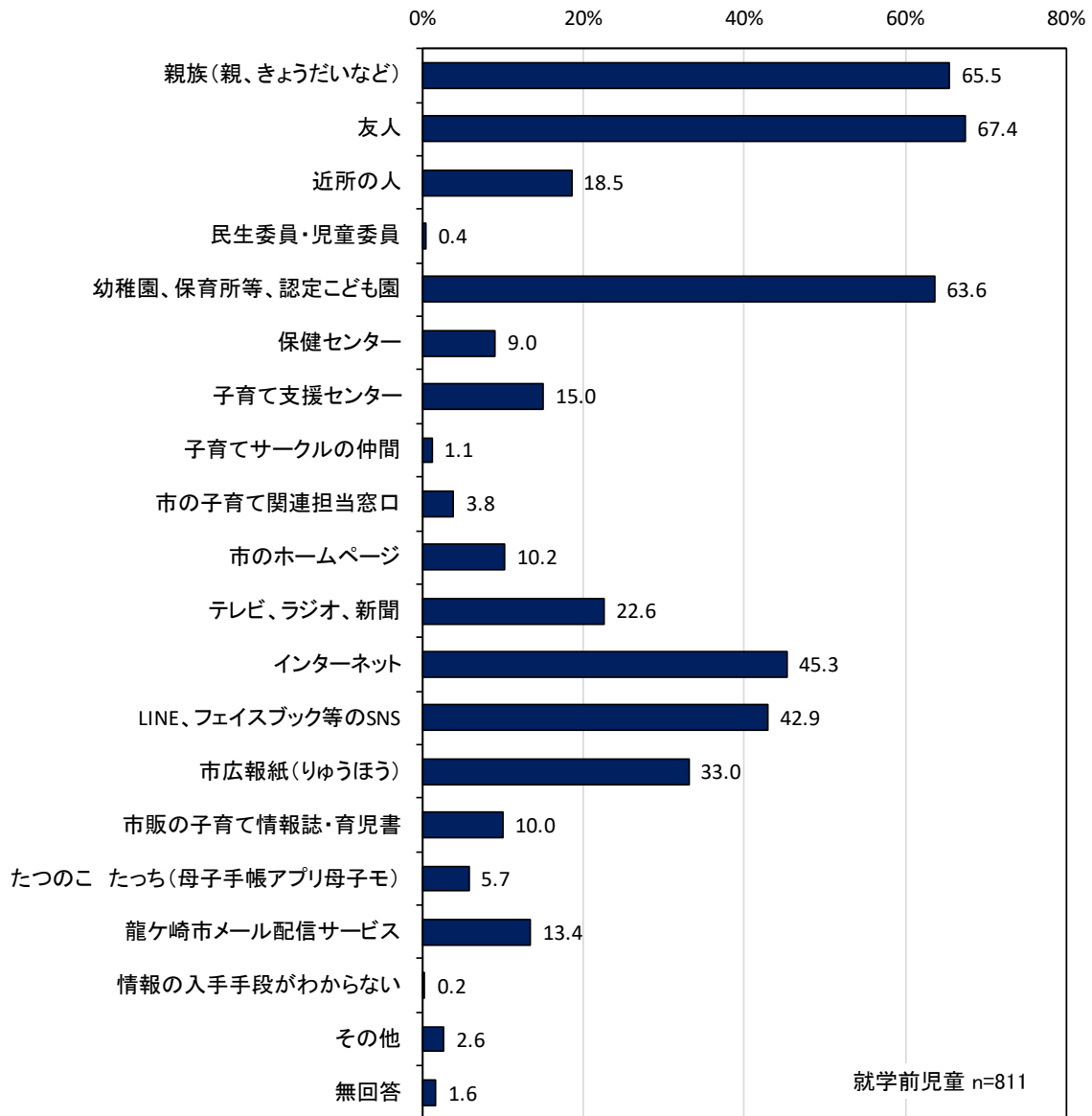
問 40 子育てに関する情報をどの程度入手できていると感じていますか。(1つのみ)

子育てに関する情報の入手状況については、「ある程度入手できている」が 70.7%で最も高く、次いで「あまり入手できていない」が 13.8%、「充分に入手できている」が 11.5%となっています。



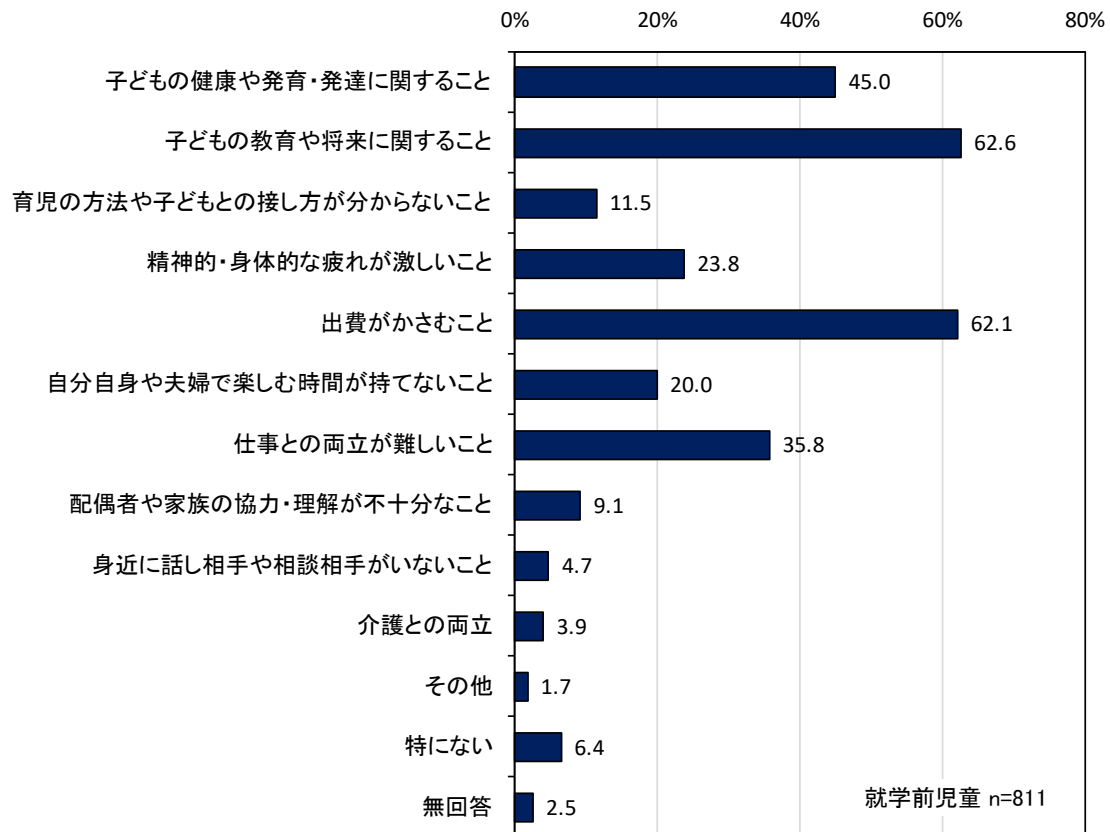
問 41 子育てに関する情報をどのように入手していますか。(いくつでも)

子育てに関する情報の入手先については、「友人」が67.4%で最も高く、次いで「親族（親、きょうだいなど）」が65.5%、「幼稚園、保育所等、認定こども園」が63.6%となっています。



問 42 子育てをする上で、不安に感じていることや悩んでいることはどのようなことですか。
(いくつでも)

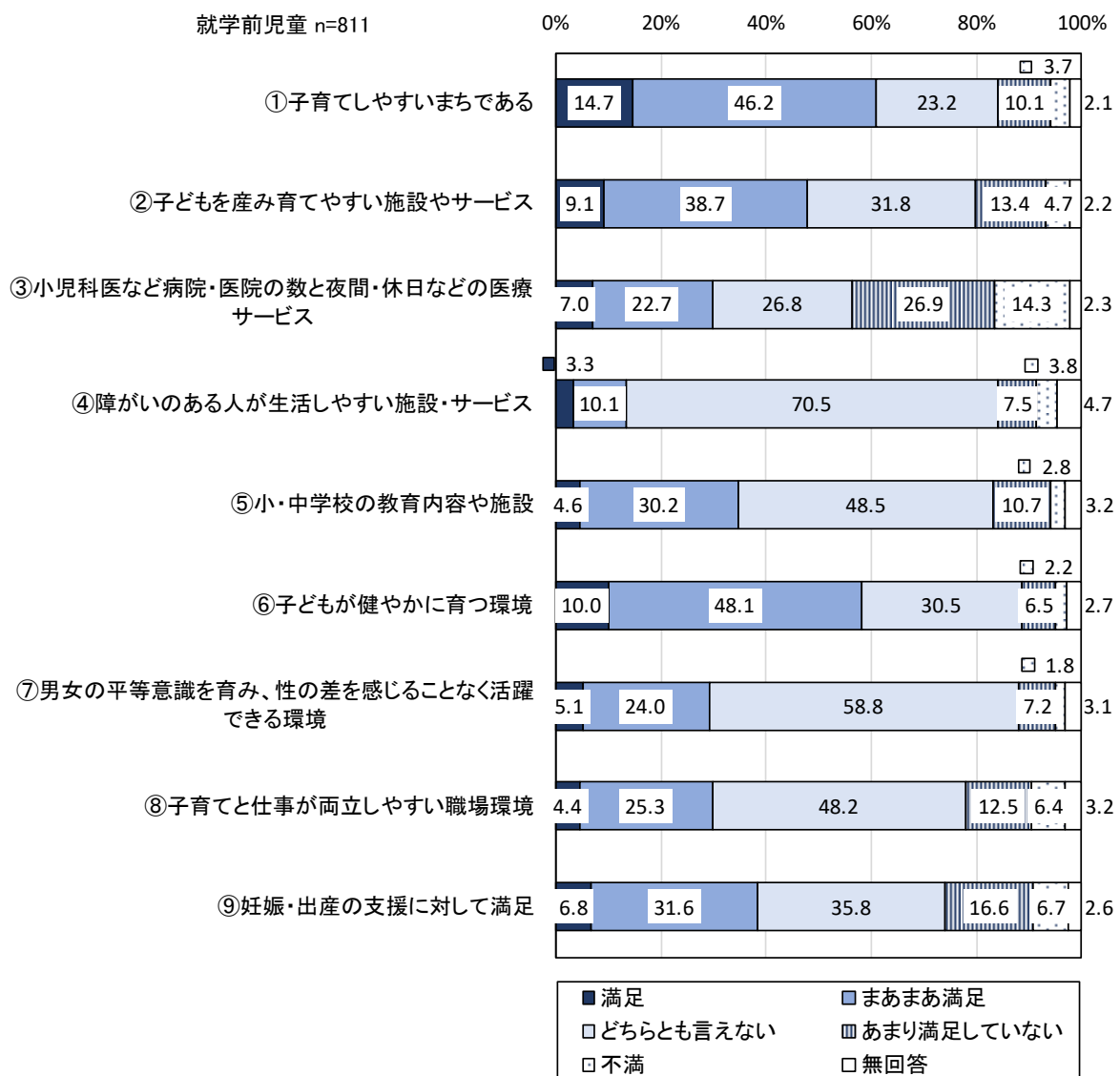
子育てをする上で、不安に感じていることや悩んでいることについては、「子どもの教育や将来に関すること」が62.6%で最も高く、次いで「出費がかさむこと」が62.1%、「子どもの健康や発育・発達に関すること」が45.0%となっています。



問 43 龍ヶ崎市における子育ての環境や支援へのそれぞれの満足度についてお答えください。
(それぞれ1つのみ)

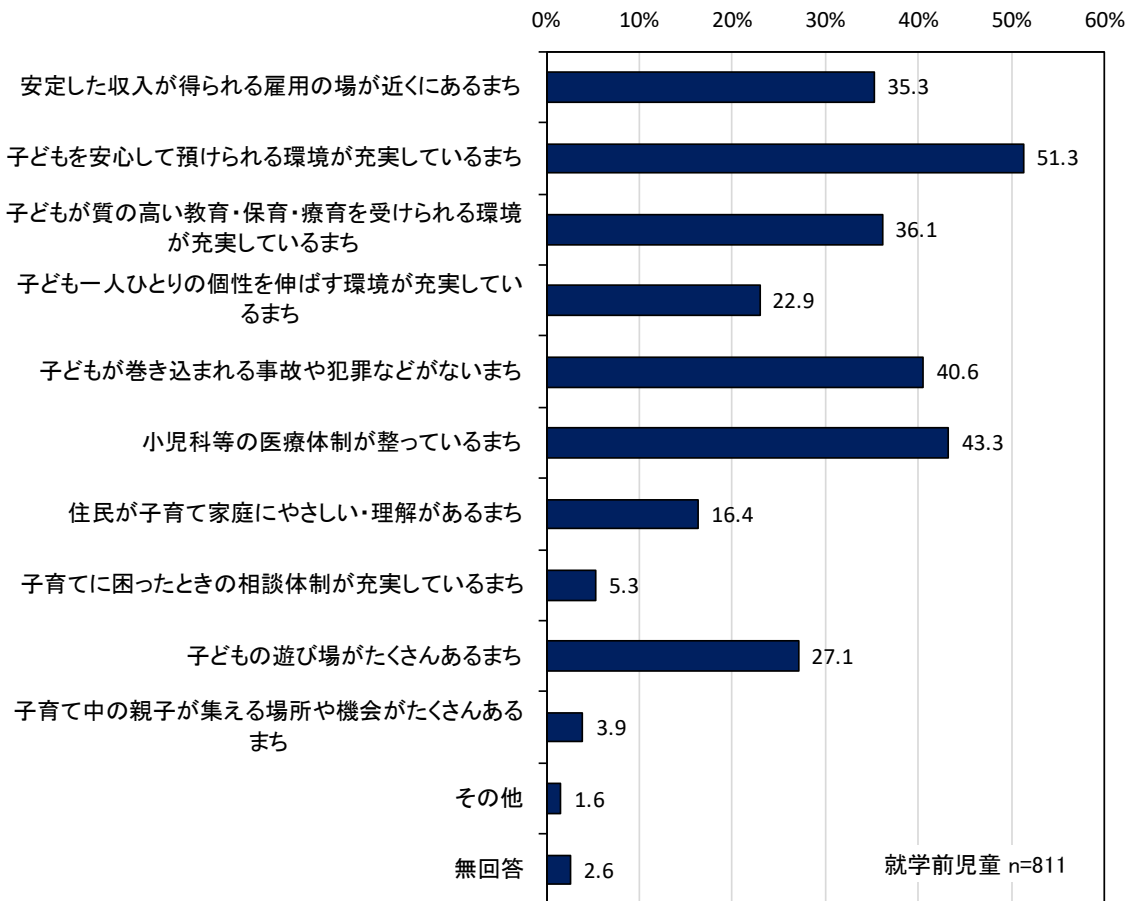
龍ヶ崎市の子育て環境や支援への満足度について、『満足している』割合（「満足」と「まあまあ満足」の合計値）、『満足していない』割合（「あまり満足していない」と「不満」の合計値）は、以下のとおりとなっています。

項目	『満足している』	『満足していない』
①子育てしやすいまちである	60.9%	13.8%
②子どもを産み育てやすい施設やサービス	47.8%	18.1%
③小児科医など病院・医院の数と夜間・休日などの医療サービス	29.7%	41.2%
④障がいのある人が生活しやすい施設・サービス	13.4%	11.3%
⑤小・中学校の教育内容や施設	34.8%	13.5%
⑥子どもが健やかに育つ環境	58.1%	8.7%
⑦男女の平等意識を育み、性の差を感じることなく活躍できる環境	29.1%	9.0%
⑧子育てと仕事が両立しやすい職場環境	29.7%	18.9%
⑨妊娠・出産の支援に対して満足	38.4%	23.3%



問44 子育てしやすいまちとは、どのようなまちですか。(3つまで)

どのようなまちが、子育てしやすいかについては、「子どもを安心して預けられる環境が充実しているまち」が51.3%で最も高く、次いで「小児科等の医療体制が整っているまち」が43.3%、「子どもが巻き込まれる事故や犯罪などがないまち」が40.6%となっています。



問 45 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

全部で 341 の回答があり、内訳は以下のとおりとなっています。ひとりの対象者が複数の項目に関して記述している場合もありますが、ここでは主な意見を 1 つとして分類してあります。

分類／主な意見（抜粋）	件数
●経済的支援について	106
<ul style="list-style-type: none"> ・不妊治療の助成金制度の充実。 ・給食費を無償化してほしい。小学校になると給食費と学童ルームの費用で出費が増えて負担が大きい。 ・出産に対する一時金の支給や医療費全額助成してほしい。 ・多子世帯への支援。 ・子育て支援ポイントはあまり良さが分からなかった。それならプレミアム商品券の増額などの現金として使用できるものが良かった。 	
●遊び場、公園、交流について	79
<ul style="list-style-type: none"> ・公園の遊具見直し（古い危ない）。 ・近くの数か所の公園は遊びに行くと必ずゴミが散乱し、衛生面を考えると子どもが安心して遊べない。 ・小学生くらいの子が体を動かして遊べる室内施設。 	
●保健・医療について	41
<ul style="list-style-type: none"> ・年中無休の小児科。 ・風邪や感染症での発熱の際、受け入れてもらえるところが少ない。 ・妊娠、出産後、市より妊娠、子育てに関するメール配信があったが、なくなったので残念。 	
●市政・窓口対応について	18
<ul style="list-style-type: none"> ・このようなアンケートを増やし、少しずつでも実現してもらいたい。 ・虐待のリスクの高い家庭に対しての予防的支援を求めます。 ・子どもを保育園に入園させる際、市の回答が二転三転したことがあったので、しっかり対応してほしい。 	
●幼稚園、保育所（園）、認定こども園について	17
<ul style="list-style-type: none"> ・希望の園に入れるようにしてほしい。 ・保育園（子ども園）によってサービスの質がかなり違うように感じる。 ・幼稚園後保育してくれるこども園がもっとほしい。 	
●学校・教育について	12
<ul style="list-style-type: none"> ・不登校（不登園）に対する理解。 ・将来的には小中(高)一貫校が創設されればと思います。 	
●安心・安全について	10
<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害への備え。龍ヶ崎市駅周辺は大雨による水害の危険と常に隣り合わせである。 ・防犯面対策をしっかりして頂きたい。 	

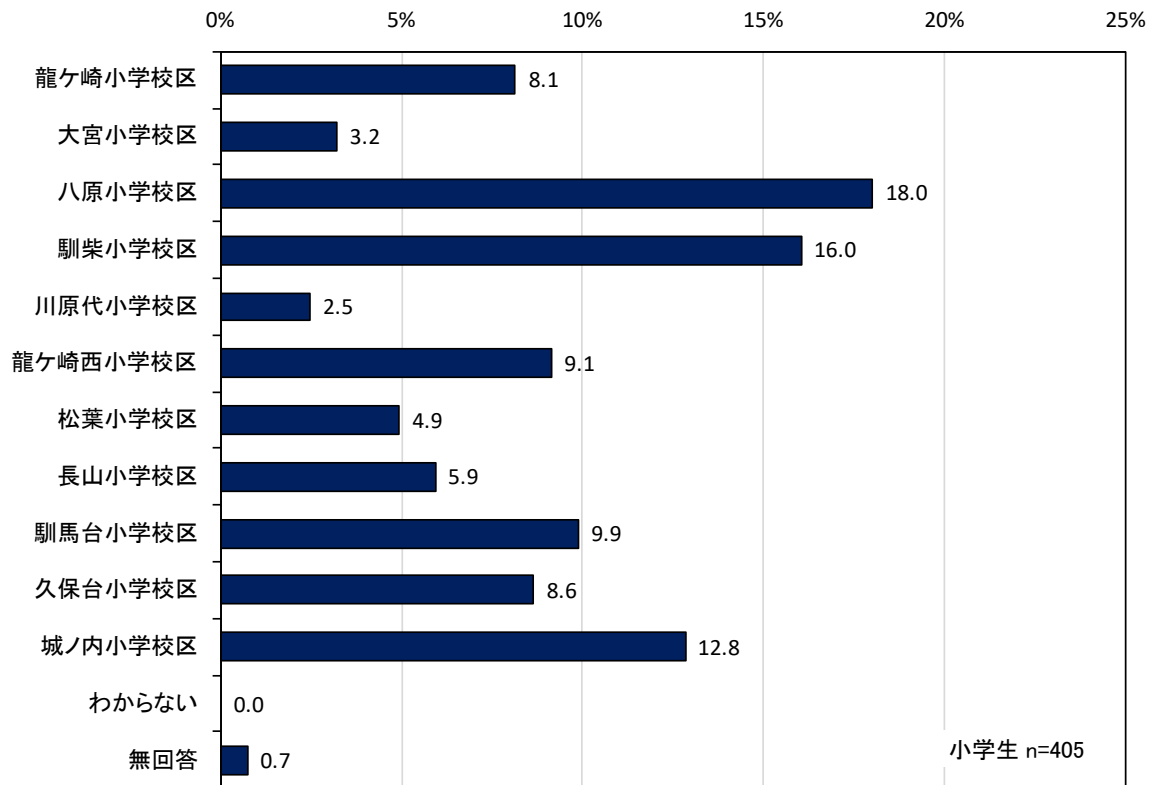
●子育て支援全般について	9
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもはたくさん産みたいが、やはり経済面、体力面、精神面の不安が大きい。 ・多くの人々が公的支援を知る機会が増えて利用者が増えて様々な意見交換がしやすい環境になることを期待する。 	
●学童保育について	9
<ul style="list-style-type: none"> ・学童保育の利用時間を19:00までに延長してほしい。 ・民間の学童保育があってもよいと思う。長期休暇中の食事の用意や習い事サービスなどあったら嬉しい。 	
●子育て支援センターについて	7
<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センターは3歳までしか利用できないので、小・中学生も利用できるような施設がほしいです。 ・子育て支援センター（特に駅前こどもステーション）を少しずつでも良いので増やして欲しい。 	
●障がい・発達について	6
<ul style="list-style-type: none"> ・支援級の受け入れ体制、学校によって差が出ている気がする。 ・障害のある子どもの教育に携わる大人（教員）の専門性を高めて欲しい。 	
●就労について	5
<ul style="list-style-type: none"> ・保育園に入れないとなると仕事と両立できるか不安。 	
●情報提供について	4
<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援事業や活動、施設利用方法等がまとめられた冊子等がほしい。 ・市のLINEサービスに子育て教育支援に関する発信が少ないように感じる。 	
●地域の協力・理解について	4
<ul style="list-style-type: none"> ・子育てをするには、地域の協力が必要だと思います。無関心にならず、「皆で子ども達を育てる」というように考えてもらえるような環境づくりをしてほしい。 	
●病児・病後児保育について	2
<ul style="list-style-type: none"> ・病気の時に当日でもお願いできる環境を整えてほしい。前日に予約するとか、当日の先生の数に左右されるようでは、安心して勤められない。 	
●利便性について	1
<ul style="list-style-type: none"> ・龍ヶ崎市駅周辺に子供の物や洋服を買う場所がないので不便です。 	
●図書館・児童館について	1
<ul style="list-style-type: none"> ・たつこの児童館も新しくきれいにすれば、もっと利用する人が増えると思う。 	
●相談について	1
<ul style="list-style-type: none"> ・市役所に相談しても、「ルールなので。」と終わってしまう事が多く、相談しづらい。もう少し、対応力を上げて欲しい。 	
●その他	9
<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインでアンケートの回答ができるといいなと思う。 	

Ⅲ 小学生の調査結果

1. お住まいの地域について

問1 お住まいの地区についてお答えください。(1つのみ)

お住まいの地区については、「八原小学校区」が 18.0%で最も高く、次いで「馴染小学校区」が 16.0%、「城ノ内小学校区」が 12.8%となっています。

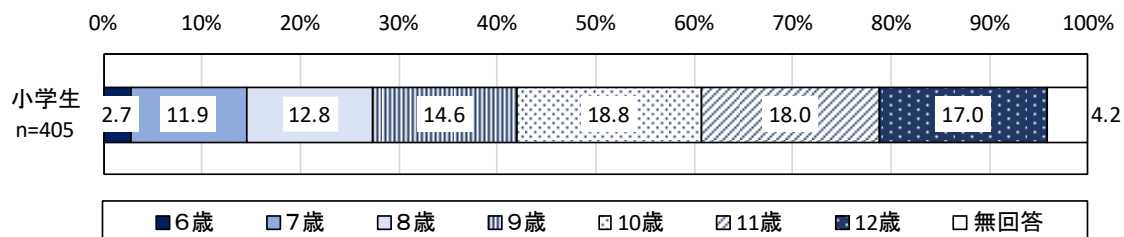


2. お子さんご家族の状況について

問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。(口内に数字をご記入ください。)

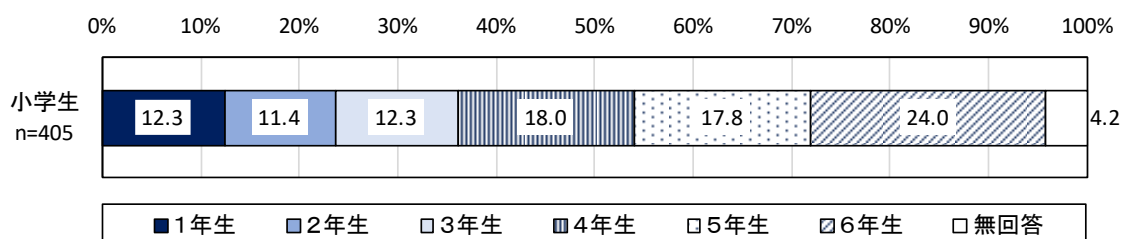
●子どもの年齢

年齢については、「10歳」が18.8%で最も高く、次いで「11歳」が18.0%、「12歳」が17.0%となっています。



●学年

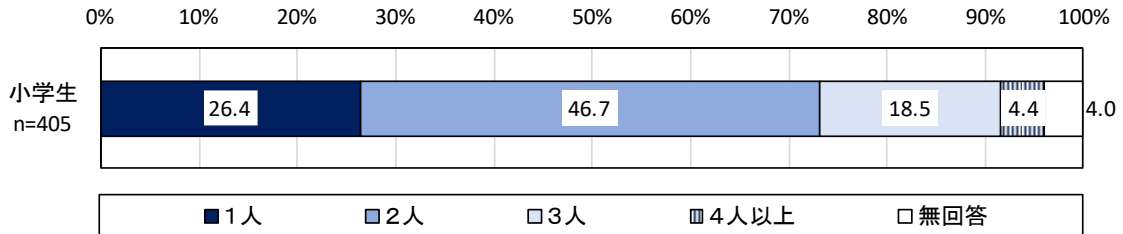
学年については、「6年生」が24.0%で最も高く、次いで「4年生」が18.0%、「5年生」が17.8%となっています。



問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数をご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合、末子の方の生年月をご記入ください。
(口内に数字をご記入ください。)

●子どもの人数

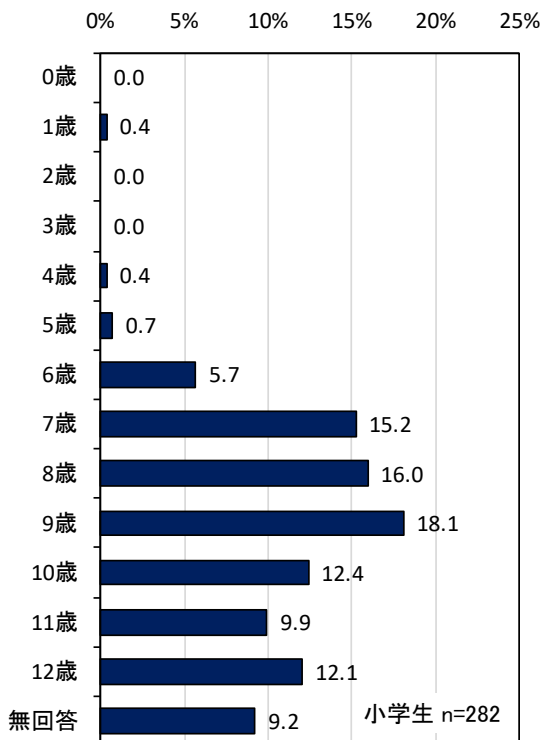
子どもの人数については、「2人」が46.7%で最も高く、次いで「1人」が26.4%、「3人」が18.5%となっています。



●末子の年齢

末子の年齢については、「9歳」が18.1%で最も高く、次いで「8歳」が16.0%、「7歳」が15.2%となっています。

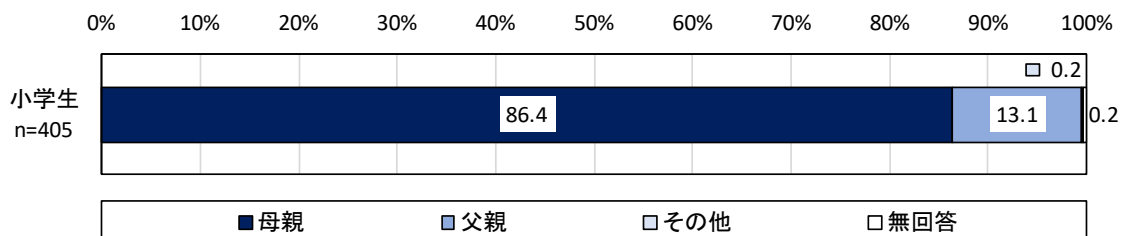
【末子の年齢】



問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。また、ご回答いただく方の年代をお答えください。（それぞれ1つのみ）

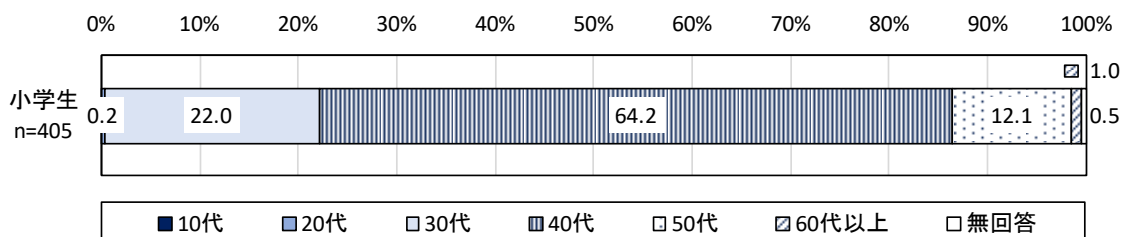
(1) 回答者

調査票への回答者については、「母親」が86.4%で最も高く、次いで「父親」が13.1%、「その他」が0.2%となっています。



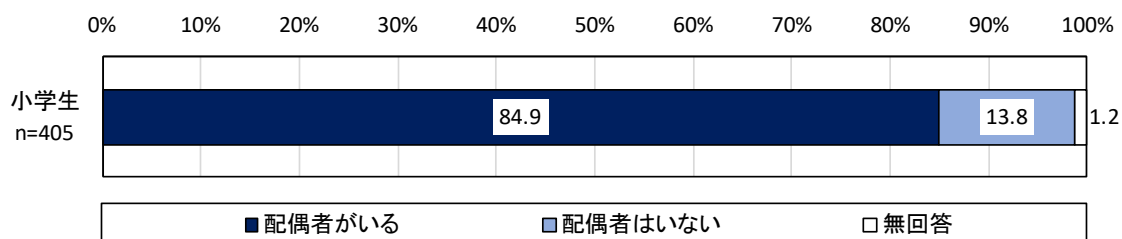
(2) 回答者の年代

回答者の年代については、「40代」が64.2%で最も高く、次いで「30代」が22.0%、「50代」が12.1%となっています。



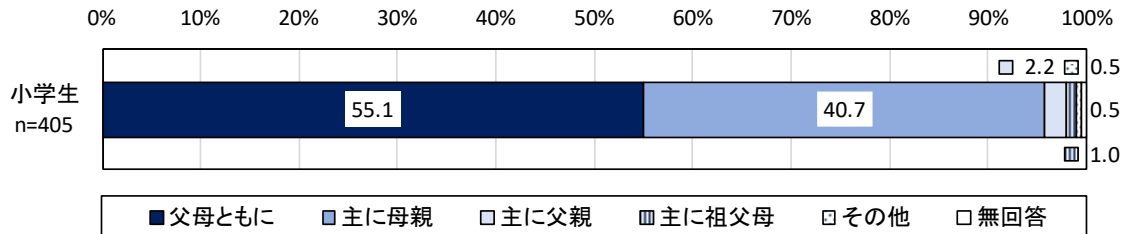
問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。（1つのみ）

回答者の配偶関係については、「配偶者がいる」が84.9%、「配偶者がいない」が13.8%となっています。



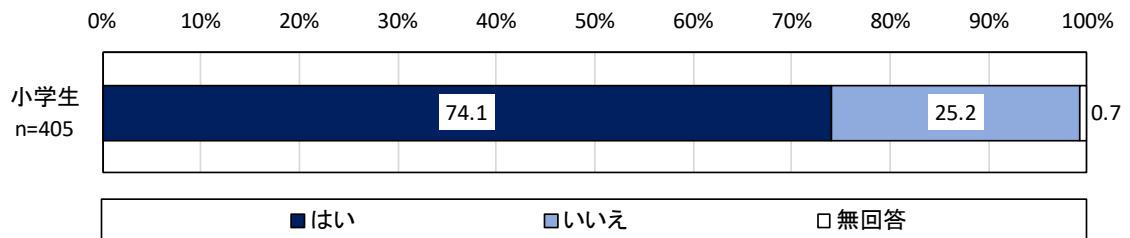
問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんから見た関係でお答えください。（1つのみ）

子育てを主に行っている方については、「父母ともに」が55.1%で最も高く、次いで「主に母親」が40.7%、「主に父親」が2.2%となっています。



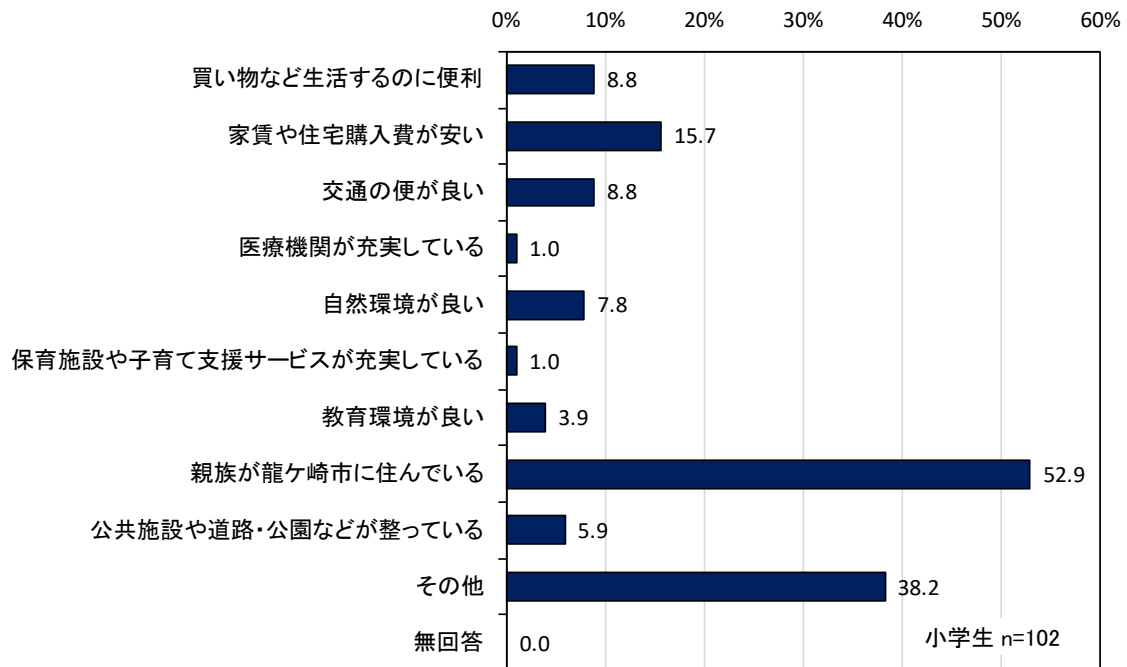
問7 宛名のお子さんを妊娠した際、または生まれた時に龍ヶ崎市にお住まいでしたか。（1つのみ）

妊娠の際、または生まれた時に龍ヶ崎市に住んでいたかについては、「はい」が74.1%、「いいえ」が25.2%となっています。



問7-1 問7で「いいえ」と回答した方にうかがいます。
 龍ヶ崎市に転入した理由をお聞かせください。(いくつでも)

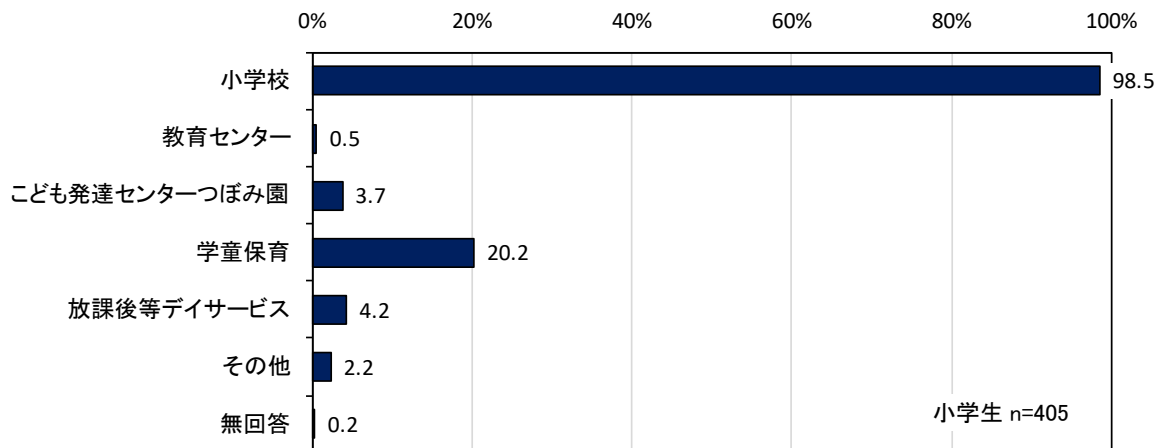
龍ヶ崎市に転入した理由について、「親族が龍ヶ崎市に住んでいる」が52.9%で最も高く、次いで「その他」が38.2%、「家賃や住宅購入費が安い」が15.7%となっています。



3. お子さんの育ちをめぐる環境について

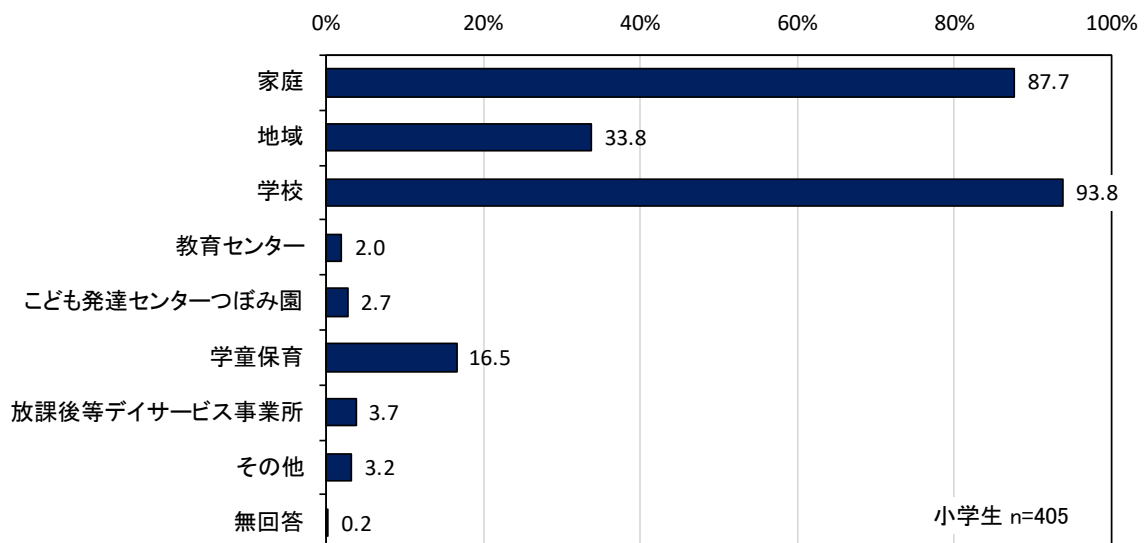
問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている施設はどちらですか。
（いくつでも）

子育てに日常的に関わっている施設については、「小学校」が98.5%で最も高く、次いで「学童保育」が20.2%、「放課後等デイサービス」が4.2%となっています。



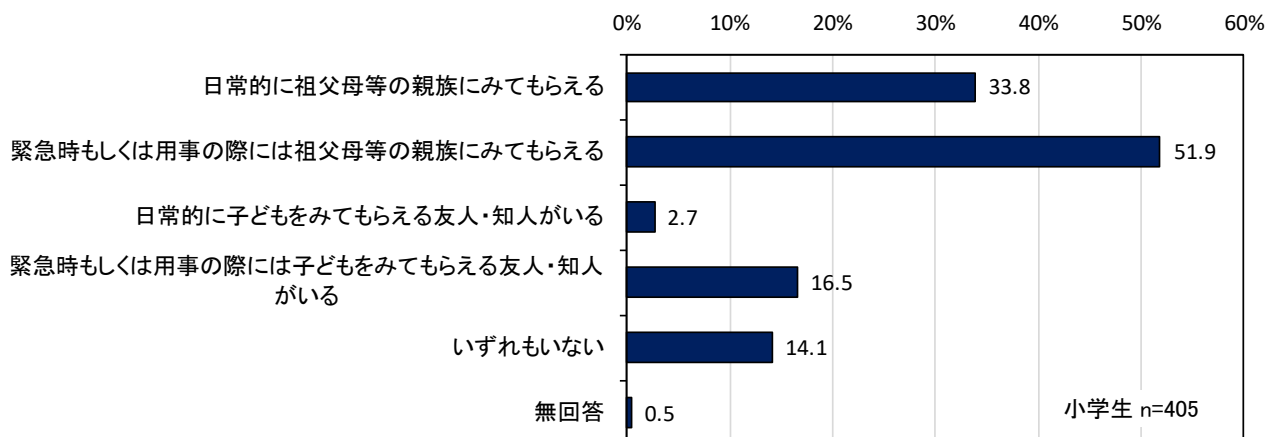
問9 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、特に影響すると思われる環境は何ですか。
（いくつでも）

子育てに影響すると思われる環境については、「学校」が93.8%で最も高く、次いで「家庭」が87.7%、「地域」が33.8%となっています。



問 10 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(いくつでも)

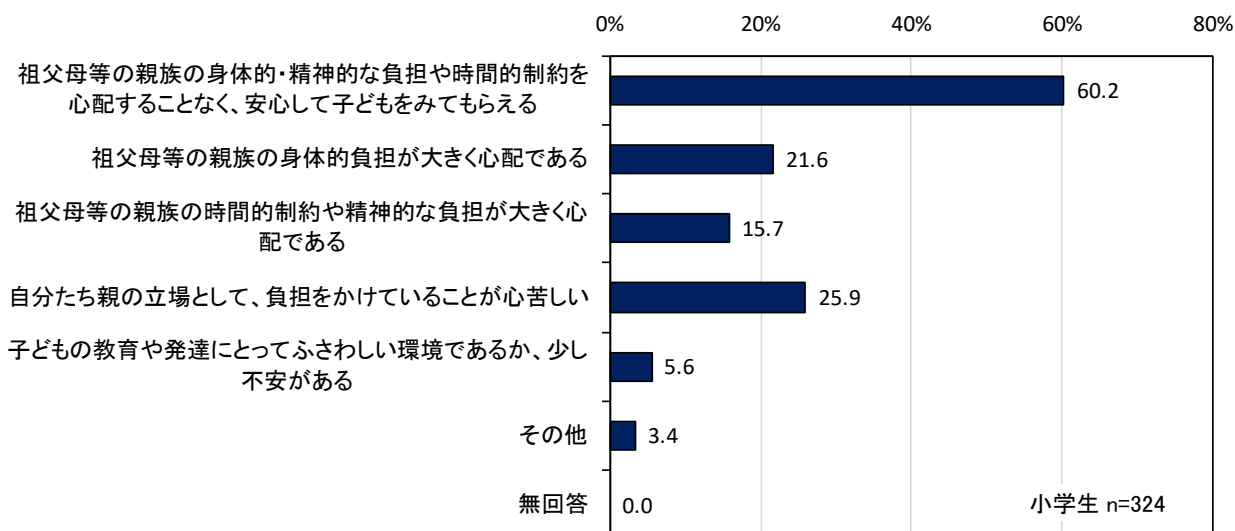
日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が51.9%で最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が33.8%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が16.5%となっています。



問 10-1 問 10 で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」と回答した方にうかがいます。

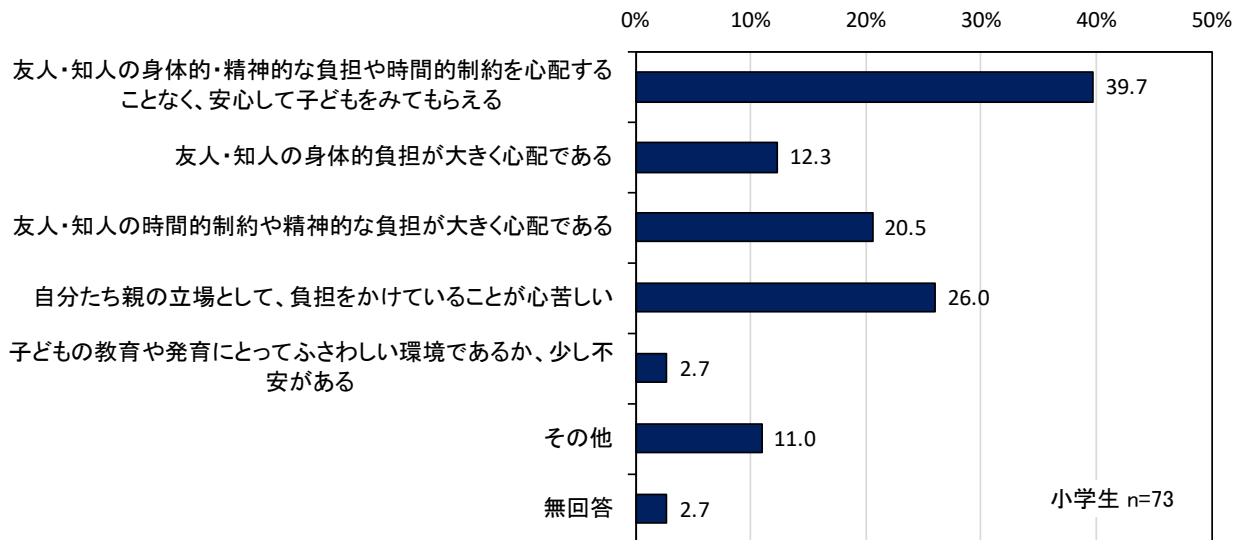
祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(いくつでも)

祖父母等の親族にみてもらっている状況については、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が60.2%で最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が25.9%、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」が21.6%となっています。



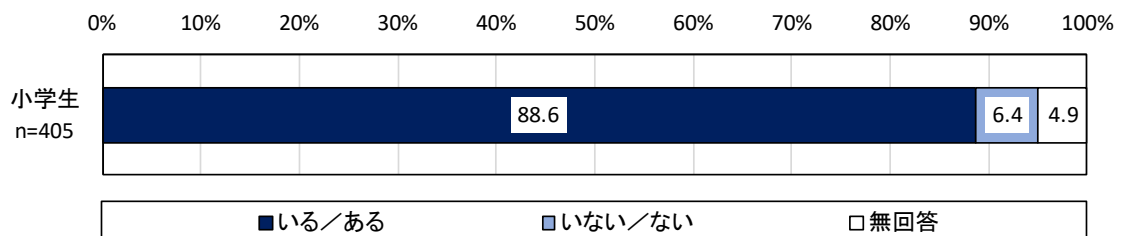
問 10-2 問 10で「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」と回答した方にうかがいます。
友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(いくつでも)

友人・知人にみてもらっている状況については、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が 39.7%で最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が 26.0%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が 20.5%となっています。



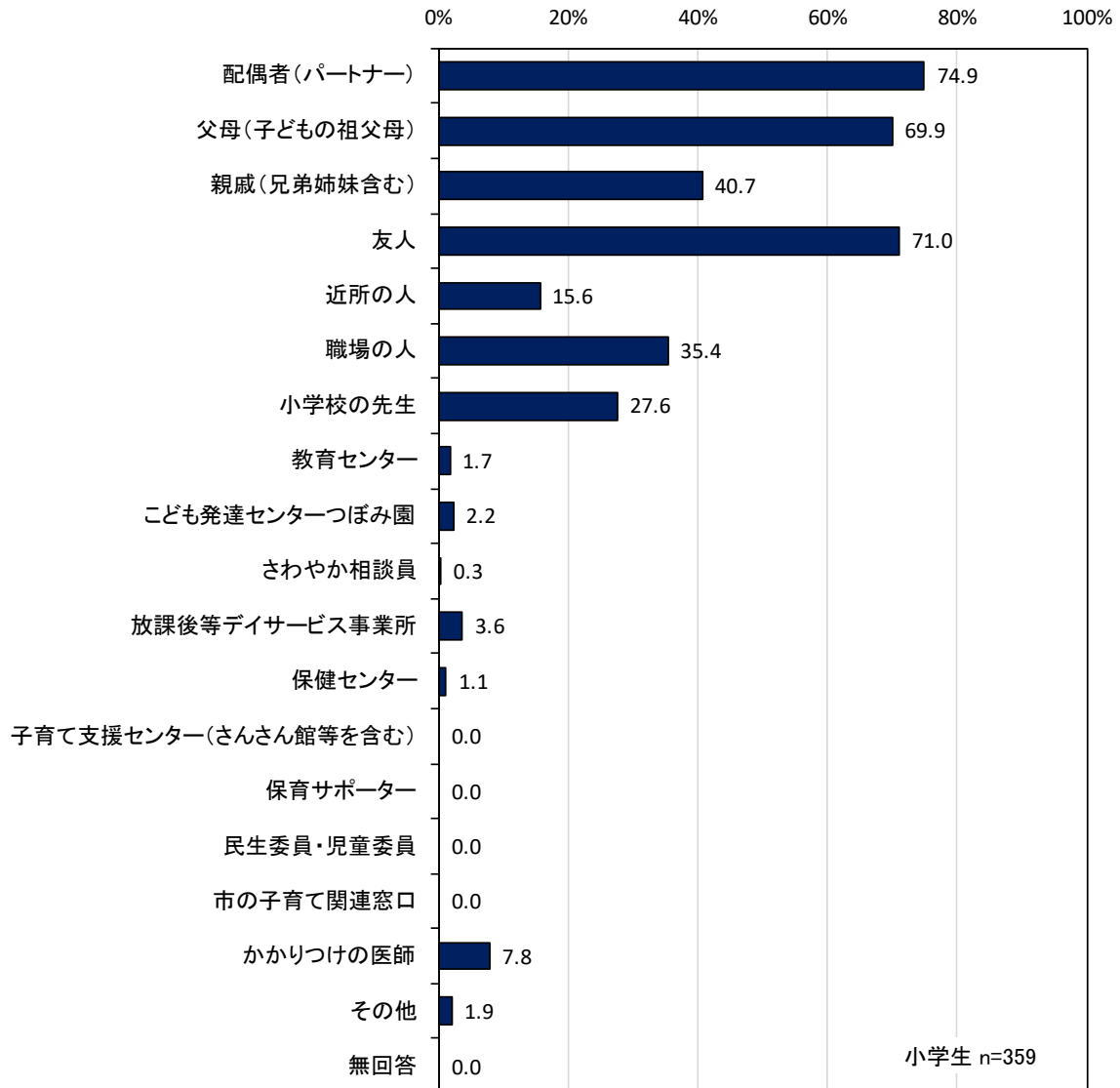
問 11 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(1つのみ)

気軽に相談できる人(場所)の有無については、「いる／ある」が 88.6%、「いない／ない」が 6.4%となっています。



問 11-1 問 11 で「いる／ある」と回答した方にうかがいます。
 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できるのは、誰（どこ）ですか。
 （いくつでも）

相談先については、「配偶者（パートナー）」が 74.9%で最も高く、次いで「友人」が 71.0%、「父母（子どもの祖父母）」が 69.9%となっています。



問 12 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

全部で 133 の回答があり、内訳は以下のとおりとなっています。ひとりの対象者が複数の項目に関して記述している場合もありますが、ここでは主な意見を 1 つとして分類してあります。

分類／主な意見（抜粋）	件数
●経済的支援について	25
<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校生の授業料無償化。 ・ 子どもの医療費の無償化。 ・ 多子世帯の税の軽減。 	
●預かり施設について	21
<ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急時に安心して預けられる場所。 ・ 用事がある時、リフレッシュしたい時に、気軽に子どもを預けられる場所があるとよい（土日も）。 ・ 急用の時、夜間までみてもらえる所があれば助かる。 	
●子育て支援全般について	20
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供食堂のようなアットホームな雰囲気施設の。 ・ 緊急時に予約等なしで、即時人を派遣したり、子どもを見てもらえるサポートがあったら助かる。 	
●相談支援について	18
<ul style="list-style-type: none"> ・ 困った時に対応についてアドバイスをもらえるような身近な窓口。 ・ ラインなど気軽に相談できるコンテンツと、深く話したい時は面談できるとよい。 	
●学童保育・児童館について	12
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学童保育 18 時半以降も預ってもらえる環境。 ・ 学童保育も、半額助成などサポートがあると嬉しい。 ・ 児童館のような学童に入っていない子どもが屋内で子どもだけで集まれる施設があればよいと思う。 	
●安心・安全について	10
<ul style="list-style-type: none"> ・ 登下校の見守り。 ・ 子どもが歩いて行ける所に、困った時に頼れる人や施設があると良いと思う。 	
●病児・病後児保育について	7
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病児、病後児保育がもっと利用しやすいと親は働きやすいと思う。 ・ 微熱時のあずかり場所、日、祝日にあずかってくれる学童保育のようなところ。 	
●遊び場、公園について	6
<ul style="list-style-type: none"> ・ 公園でのボール遊びなどの禁止や遊具の徹廃により公園で遊ぶ事が減り、学校に土日に行く事も禁止となっている為、子供同士が遊ぶ場所が少ない事で体力も減退している為、解決して欲しい。 ・ 放課後などの遊び場がもっとあると嬉しい。 	
●学習支援について	4
<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティアで学習をしてくれる場所（環境）を増やしてほしい。 ・ デジタル教材が一般的になっているので購入する際の助成があると助かる。 	

Ⅲ 小学生の調査結果

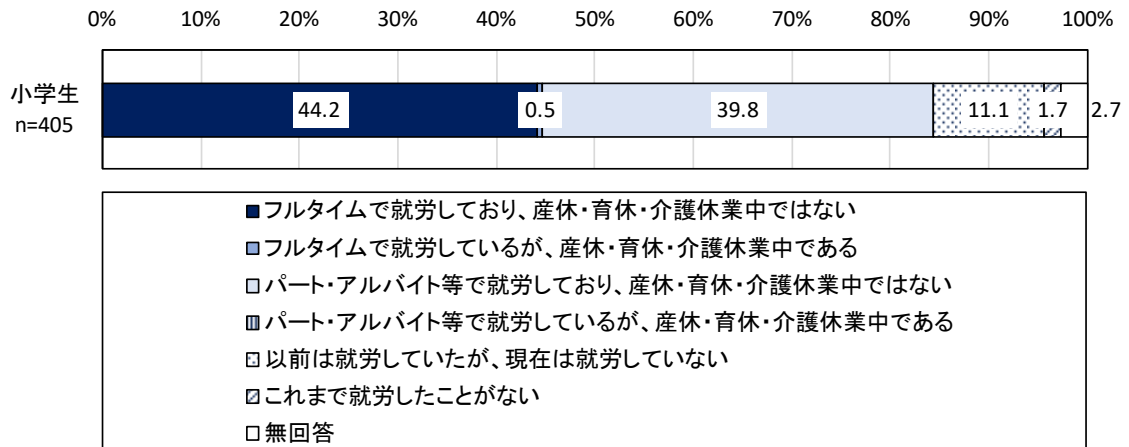
●就労について	4
・子どもの学校行事や病気の時に気兼ねなく休みをもらえる職場のサポート。	
●イベント、交流について	4
・コロナでPTA活動やスポーツ少年団等での保護者どうしの絆がうすくなった。知り合う機会が減った。 わずらわしい事もあるが地域の活動が楽しい事になるような仕組みがあると良いかと思う。	
・同世代の子育てをしている保護者同士が、気軽に交流できる場を提供してほしい。	
●市の支援について	2
・共働きのため、休日と合わないため行政のサポートや支援が受けづらい。	

4. 保護者の就労状況について

問 13 保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお答えください。（1つのみ）

（1）母親の状況について

母親の就労状況については、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が44.2%で最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が39.8%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が11.1%となっています。



（1）－①・② （1）で“就労している”と回答した方にうかがいます。

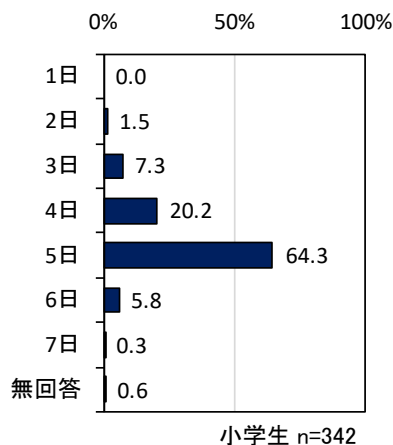
1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、「家を出る時間」と「帰宅時間」をお答えください。（□内に数字をご記入ください。）

●就労している母親の就労日数・就労時間

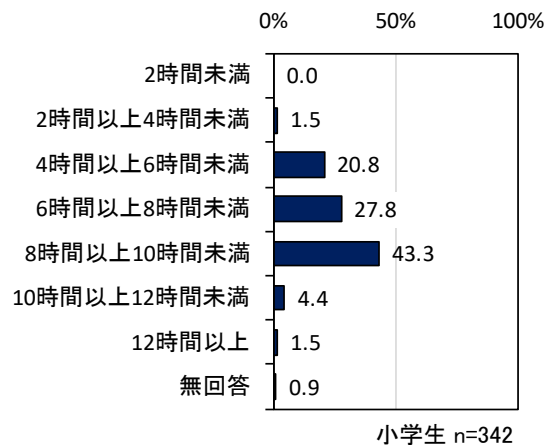
母親の1週当たりの就労日数は、「5日」が64.3%で最も高くなっています。

また、1日当たりの就労時間は、「8時間以上10時間未満」が43.3%で最も高くなっています。

【1週当たりの就労日数】



【1日当たりの就労時間】

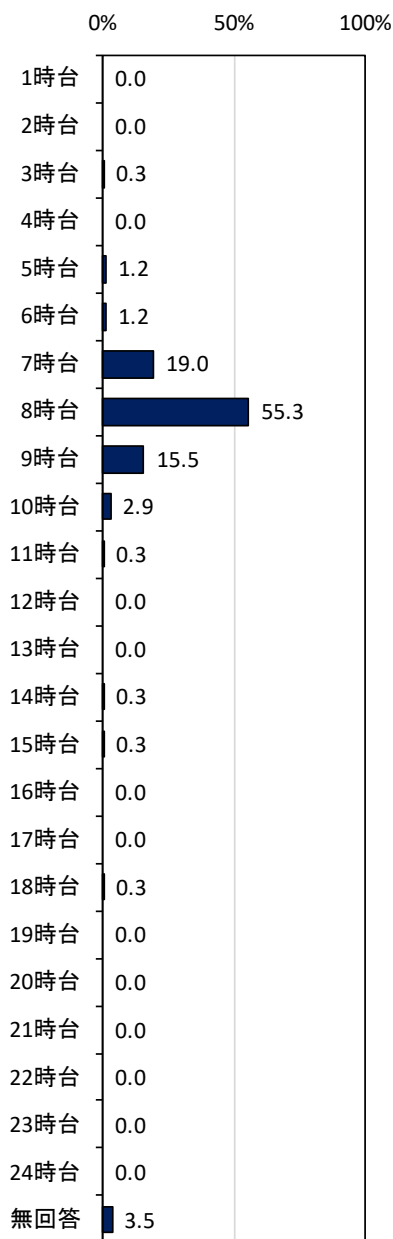


●就労している母親の家を出る時間・帰宅時間

母親の家を出る時間は、「8時台」が55.3%で最も高く、次いで「7時台」が19.0%となっています。

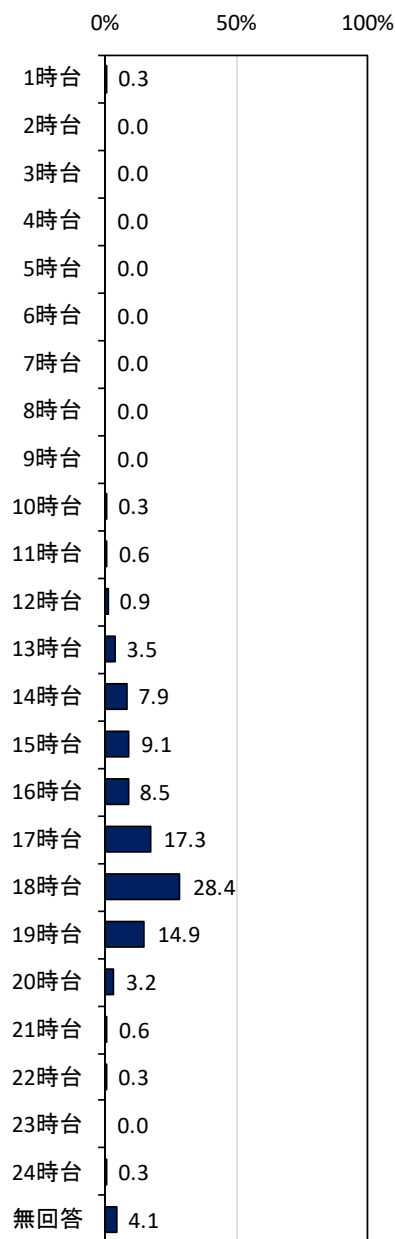
また、帰宅時間は、「18時台」が28.4%で最も高く、次いで「17時台」が17.3%となっています。

【家を出る時間】



小学生 n=342

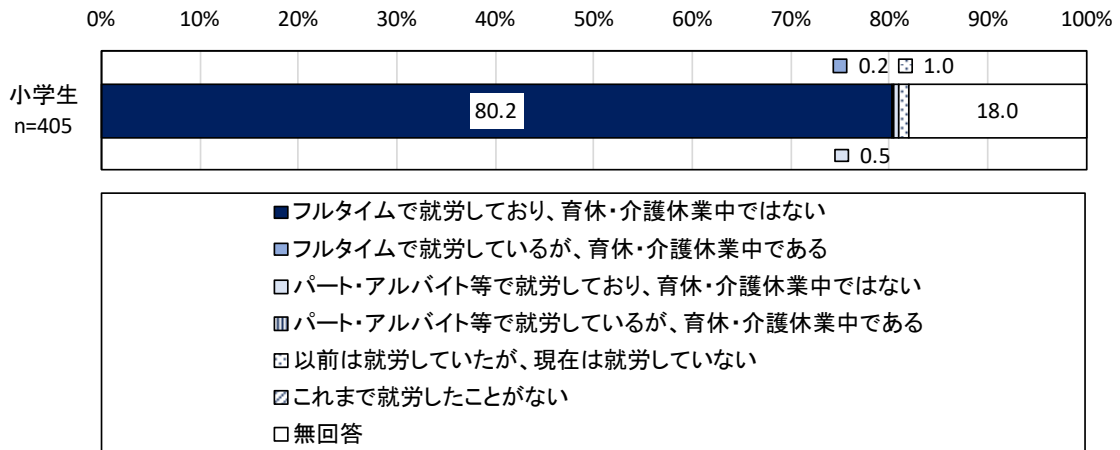
【帰宅時間】



小学生 n=342

(2) 父親の状況について

父親の就労状況については、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が80.2%で最も高く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が1.0%、「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」が0.5%となっています。



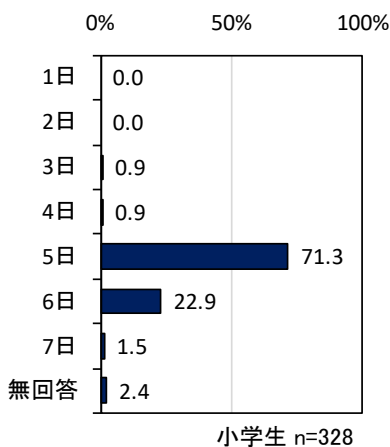
(2) -①・② (2) で“就労している”と回答した方にうかがいます。
 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」、「家を出る時間」と「帰宅時間」をお答えください。(口内に数字をご記入ください。)

●就労している父親の就労日数・就労時間

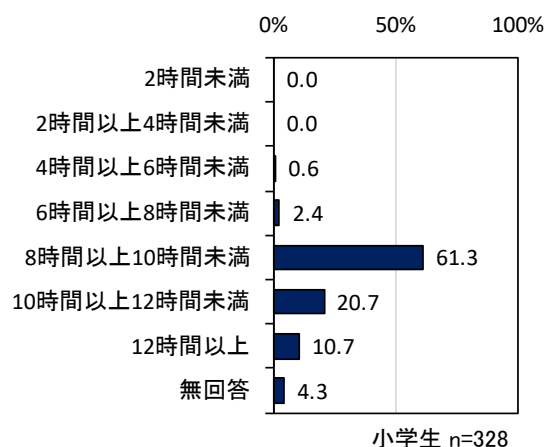
父親の1週当たりの就労日数は、「5日」が71.3%で最も高くなっています。

また、1日当たりの就労時間は、「8時間以上10時間未満」が61.3%で最も高くなっています。

【1週当たりの就労日数】



【1日当たりの就労時間】



●就労している父親の家を出る時間・帰宅時間

父親の家を出る時間は、「7時台」が42.1%で最も高く、次いで「8時台」が22.9%となっています。

また、帰宅時間は、「19時台」が26.5%で最も高く、次いで「20時台」が19.8%となっています。

【家を出る時間】



【帰宅時間】

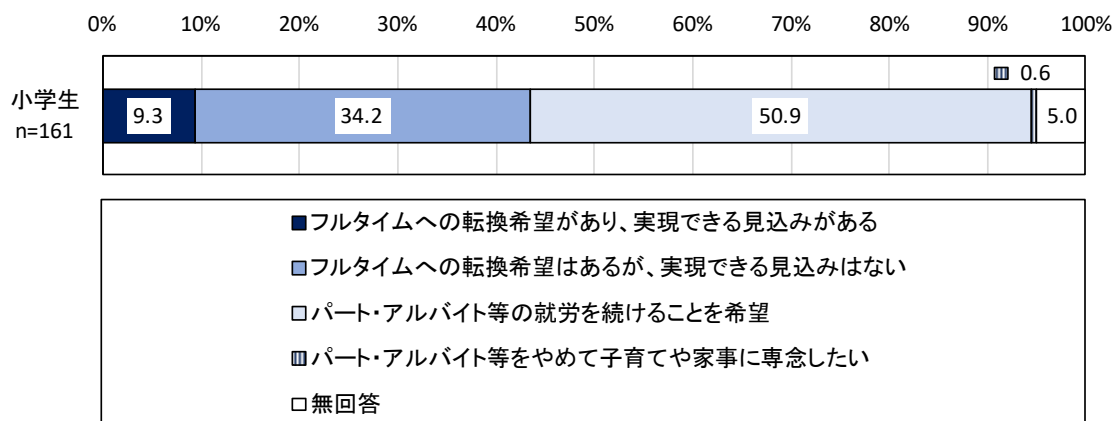


問 13-1 問 13 の (1) または (2) で “就労している (パート・アルバイト等で就労している)” と回答した方にうかがいます。

フルタイムへの転換希望はありますか。(1つのみ)

(1) 母親

母親のフルタイムへの転換希望については、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 50.9%で最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 34.2%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 9.3%となっています。



(2) 父親

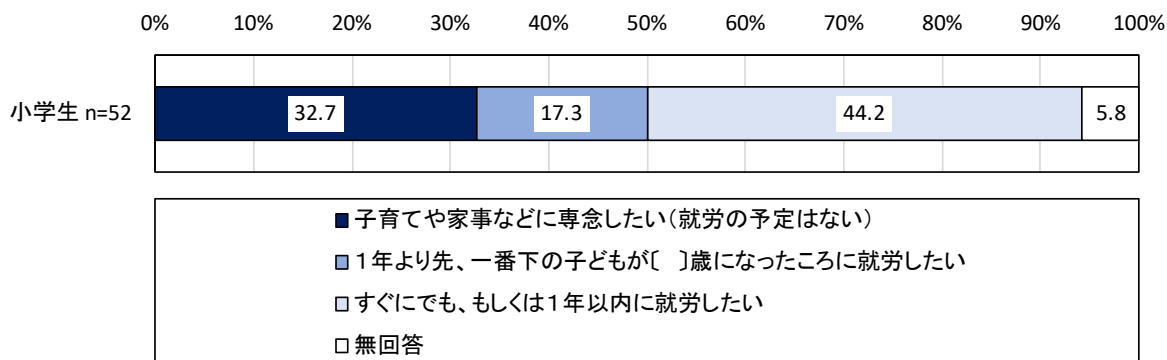
父親のフルタイムへの転換希望については、該当する回答者は2人で、「フルタイムへの転換希望はあり、実現できる見込みがある」が1人、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が1人となっています。

問 13-2 問 13 の (1) または (2) で “就労していない” と回答した方にうかがいます。
 就労したいという希望はありますか。
 (該当する回答にそれぞれ1つのみ、該当する口内に数字をご記入ください。)

(1) 母親

●就労していない母親の就労希望

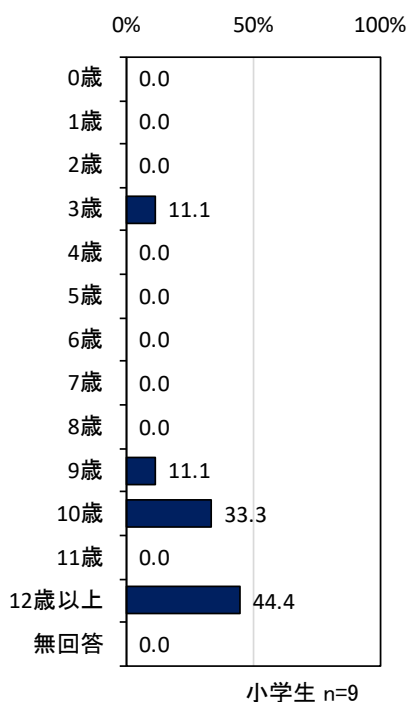
就労していない母親の就労希望については、「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」が44.2%で最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が32.7%、「1年より先、一番下の子どもが〔 〕歳になったところに就労したい」が17.3%となっています。



●『1年より先、一番下の子どもが〔 〕歳になったところに就労したい』と回答した方の希望年齢

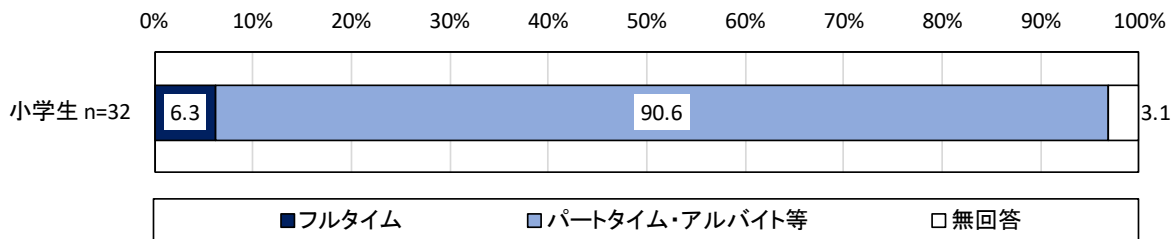
一番下の子どもが〔 〕歳になったところに就労したいかについては、希望年齢については「12歳」が44.4%で最も高く、次いで「10歳」が33.3%となっています。

【一番下の子どもが〔 〕歳になったところに就労したい】



●希望する就労形態（『就労したい』と回答した方）

母親が希望する就労形態については、「パートタイム・アルバイト等」が90.6%、「フルタイム」が6.3%となっています。

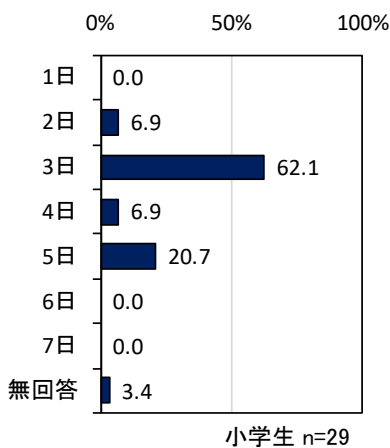


●希望する就労日数・就労時間（『パートタイム、アルバイト等』と回答した方）

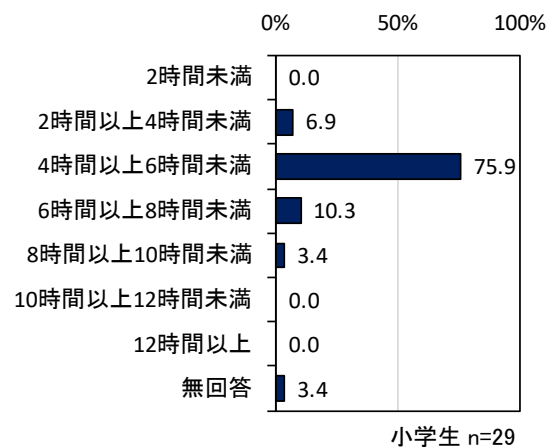
母親が希望する1週当たりの就労日数は、「3日」が62.1%で最も高く、次いで「5日」が20.7%、「2日」、「4日」がともに6.9%となっています。

また、1日当たりの就労時間は、「4時間以上6時間未満」が75.9%で最も高く、次いで「6時間以上8時間未満」が10.3%となっています。

【1週当たりの就労日数】



【1日当たりの就労時間】



(2) 父親

●就労していない父親の就労希望

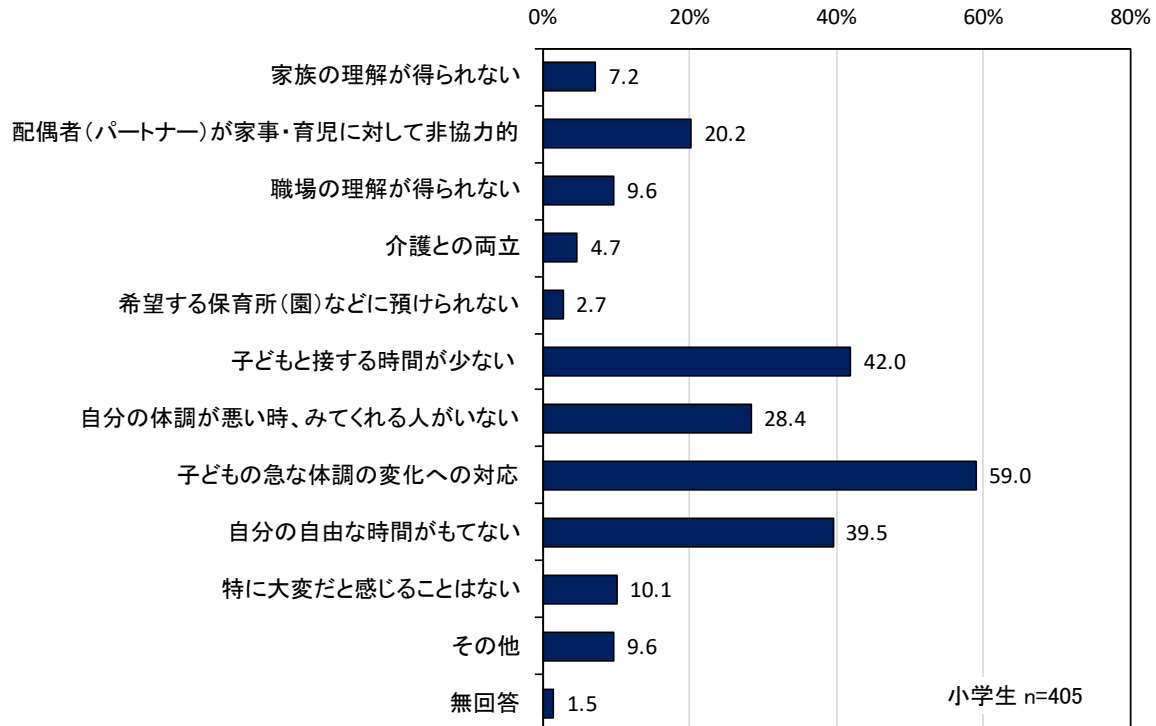
就労していない父親の就労希望については、該当する回答者は4人で、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が2人、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が1人、「無回答」が1人となっています。

●希望する就労形態（『就労したい』と回答した方）

父親が希望する就労形態については、該当する回答者は1人で、「フルタイム」となっています。

問 14 あなたが、子育てと仕事を両立する上で大変だと感じることは何ですか。(いくつでも。)

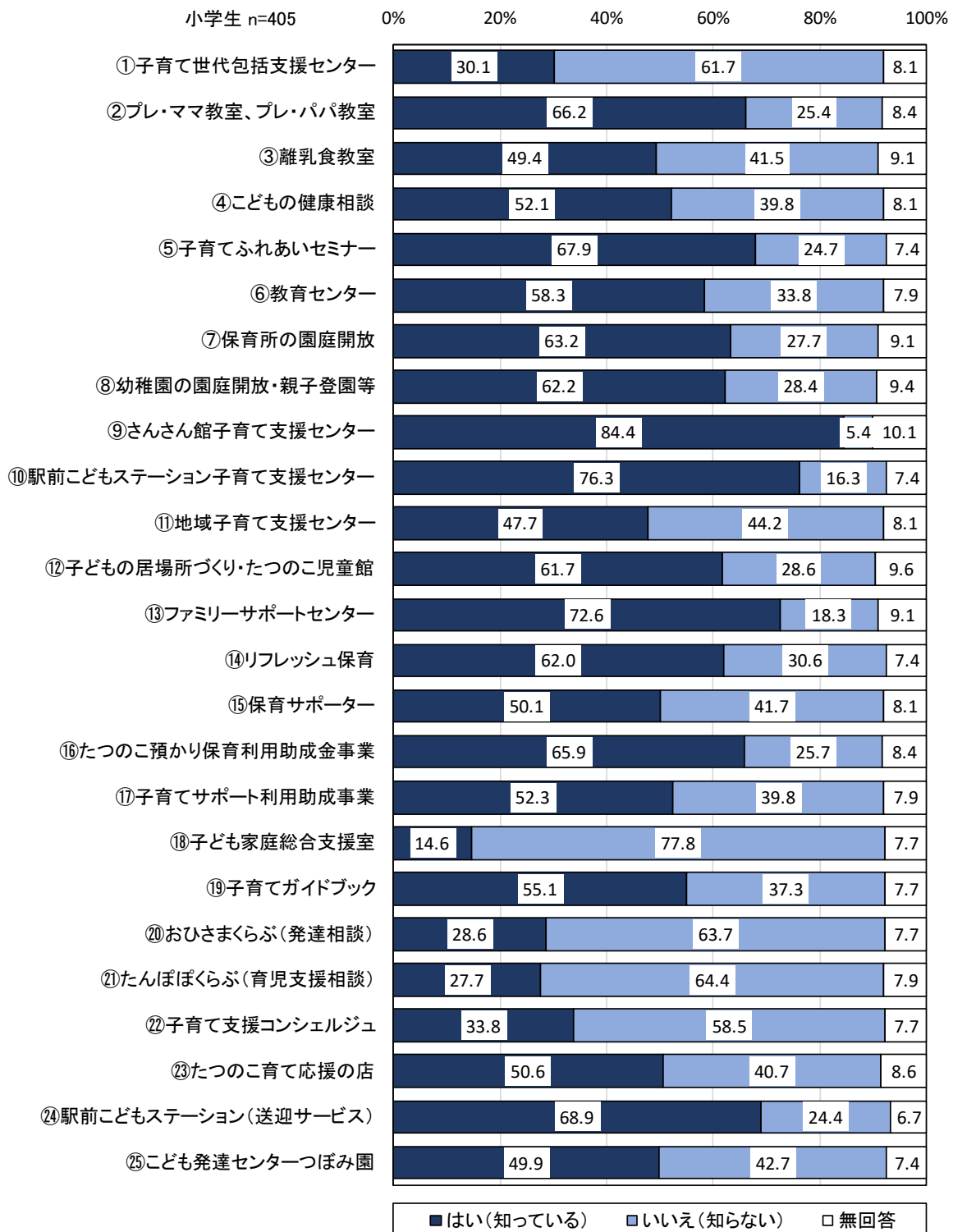
子育てと仕事を両立する上で大変だと感じることについては、「子どもの急な体調の変化への対応」が59.0%で最も高く、次いで「子どもと接する時間が少ない」が42.0%、「自分の自由な時間をもてない」が39.5%となっています。



問 15 下記のサービスで知っているものや、これまでに利用したことがあるものについてお答えください。(①～②⑤のサービスごとに、A、Bのそれぞれについて、1つのみ)

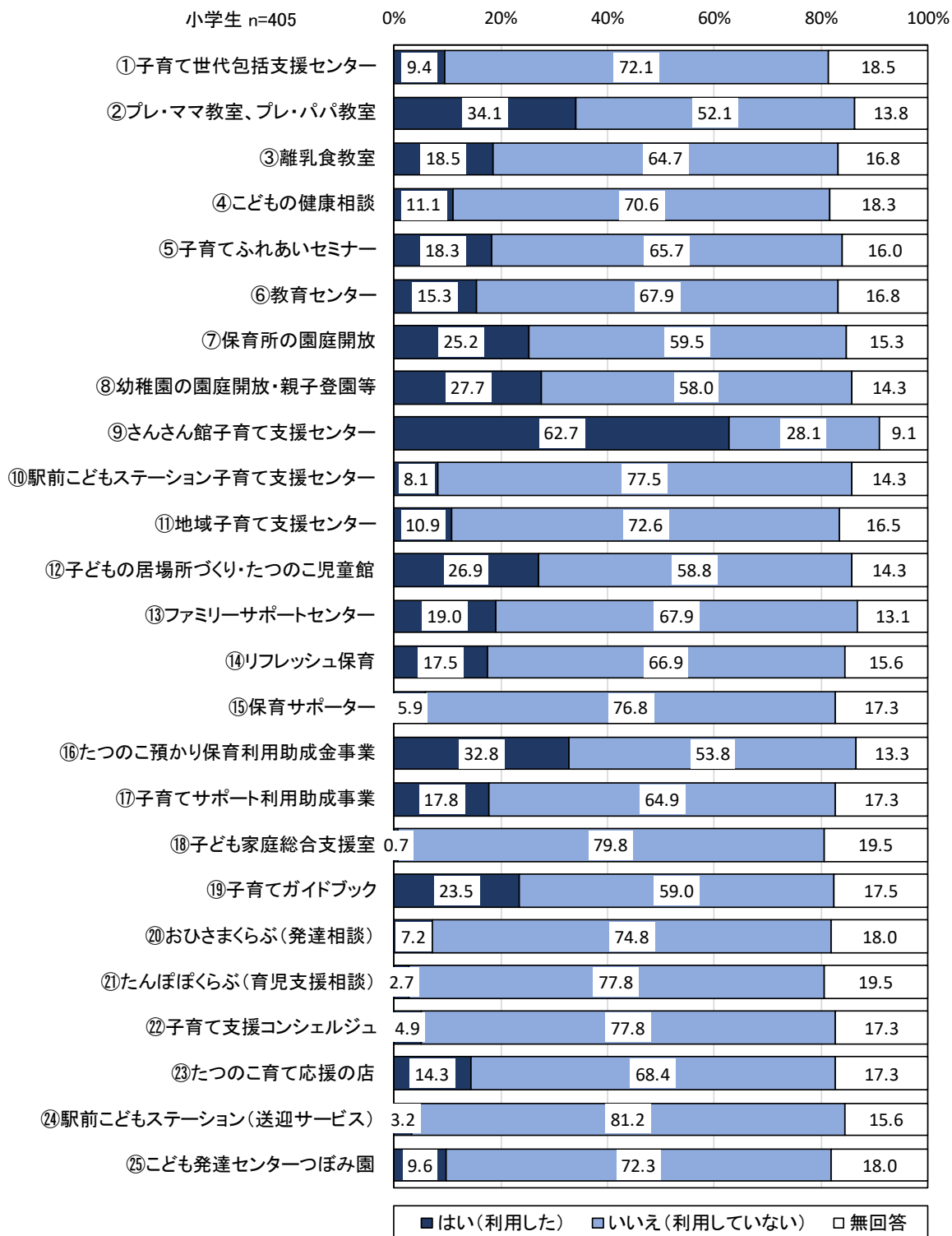
(1) サービスの認知度

サービスの認知度について、「はい(知っている)」をみると、『⑨さんさん館子育て支援センター』が84.4%で最も高く、次いで『⑩駅前こどもステーション子育て支援センター』が76.3%、『⑬ファミリーサポートセンター』が72.6%となっています。



(2) サービスの利用状況

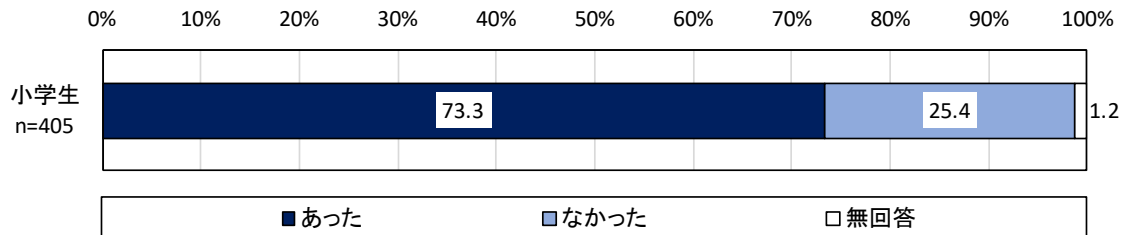
サービスの利用状況について、「はい(利用した)」をみると、『⑨さんさん館子育て支援センター』が62.7%で最も高く、次いで『②プレ・ママ教室、プレ・パパ教室』が34.1%、『⑩たつのご預かり保育利用助成金事業』が32.8%となっています。



5. お子さんの病気の際の対応について

問 16 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで学校（教育センター・つぼみ園等を含む）を休まなければならなかったことはありましたか。（1つのみ）

病気やケガで学校を休んだ有無については、「あった」が73.3%、「なかった」が25.4%となっています。

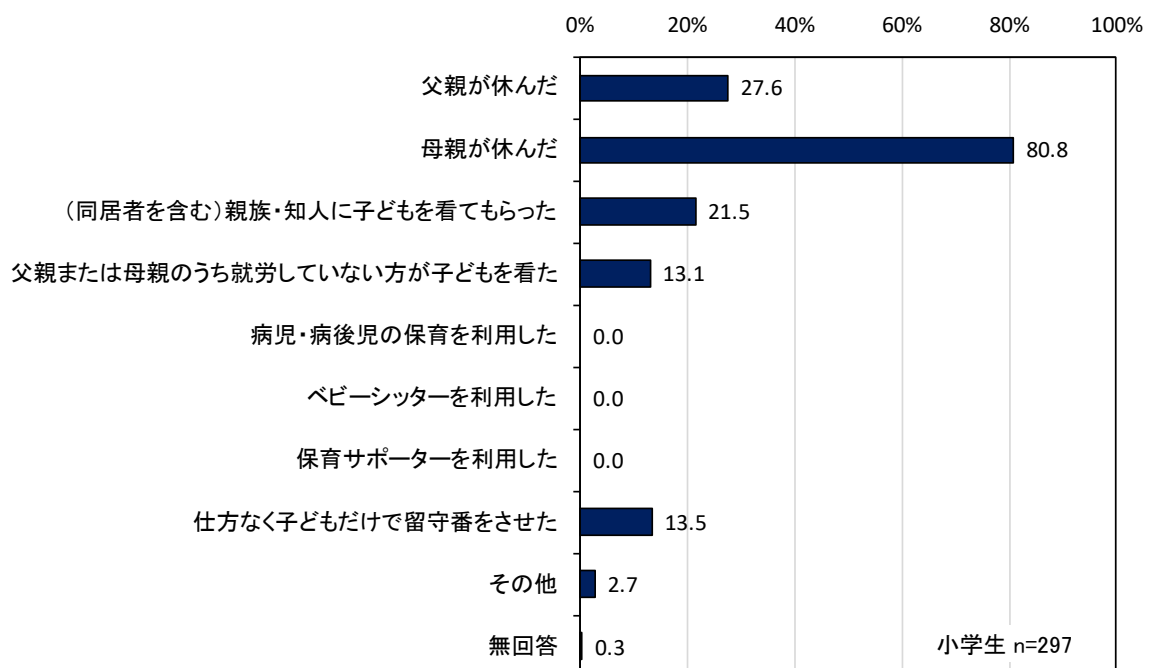


問 16-1 問 16 で「あった」と回答した方にうかがいます。

宛名のお子さんが病気やケガで学校（教育センター・つぼみ園等を含む）を休まなければならなかった場合に、この1年間に行った対処方法はどれですか。それぞれの日数もご記入ください。

（いくつでも、□内に数字をご記入ください。）

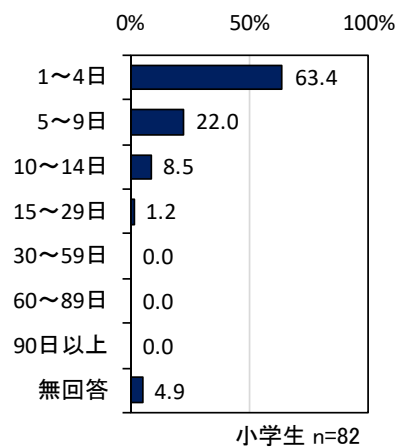
学校を休んだ場合の対処方法については、「母親が休んだ」が80.8%で最も高く、次いで「父親が休んだ」が27.6%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもを看てもらった」が21.5%となっています。



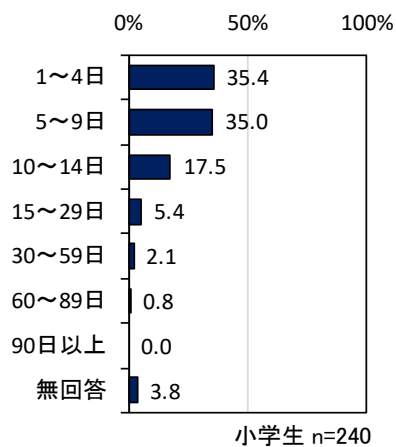
●対処方法別の年間日数

対処方法別の年間日数については、以下のとおりとなっています。

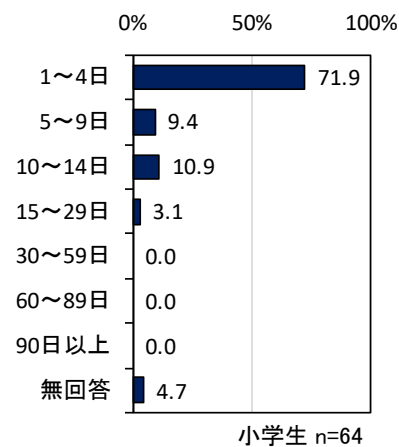
【父親が休んだ】



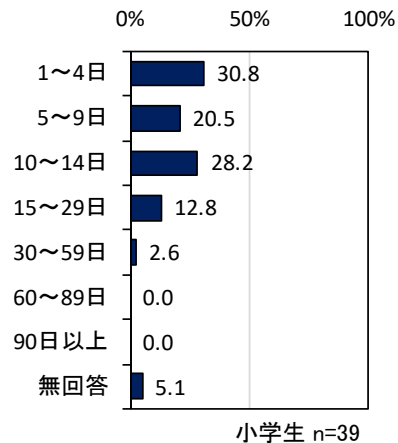
【母親が休んだ】



【親族・知人に子どもを看てもらった】



【父親または母親のうち就労していない方が子どもを見た】



【病児・病後児の保育を利用した】



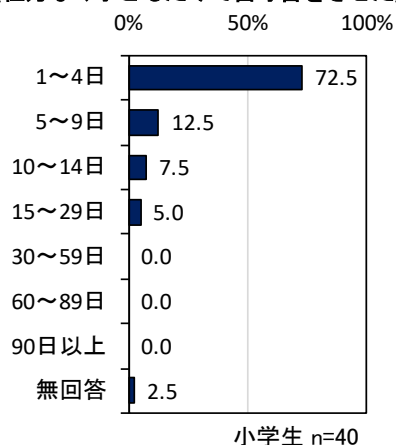
【ベビーシッターを利用した】



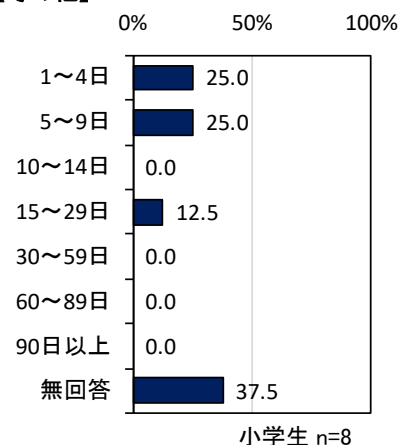
【保育サポーターを利用した】



【仕方なく子どもだけで留守番をさせた】

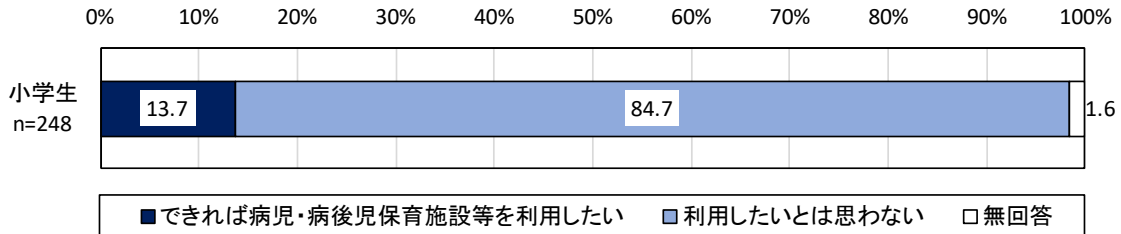


【その他】



問 16-2 問 16-1で「父親が休んだ」、「母親が休んだ」と回答した方にうかがいます。
 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。日数についてもご記入ください。なお、病児・病後児のためのサービス等の利用には、一定の利用者負担があり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。（1つのみ、□内に数字をご記入ください。）

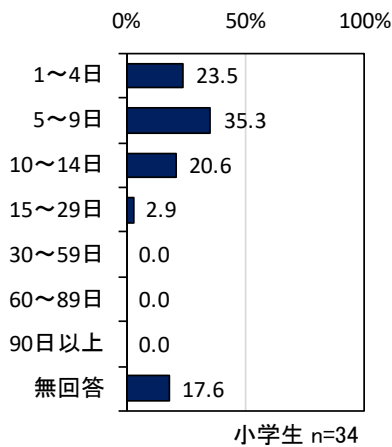
病児・病後児のための保育施設等の利用希望については、「利用したいとは思わない」が84.7%、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が13.7%となっています。



● 『できれば病児・病後児保育施設等を利用したい』と回答した方の希望利用日数（年間）

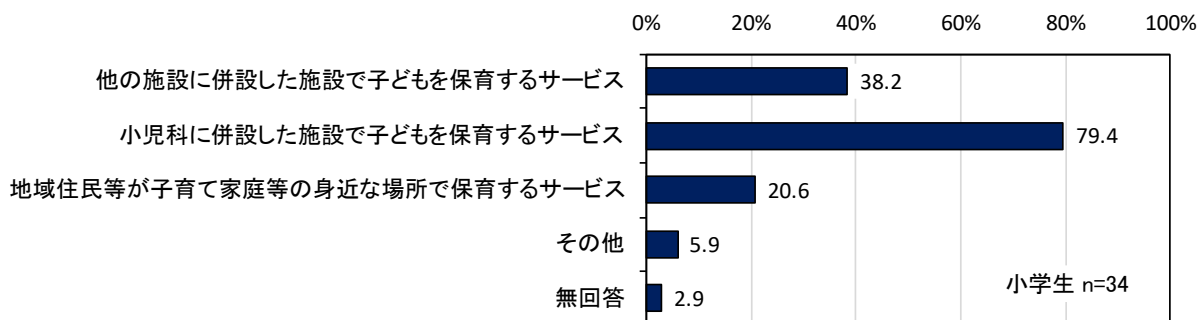
希望利用日数は、「5～9日」が35.3%で最も高く、次いで「1～4日」が23.5%、「10～14日」が20.6%となっています。

【希望利用日数（年間）】



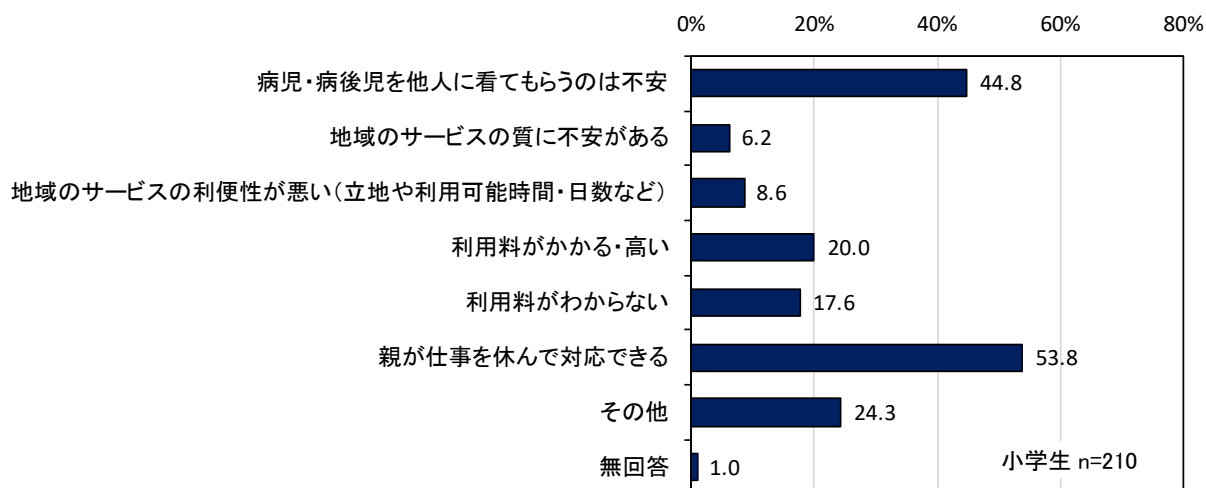
問 16-3 問 16-2で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した方にうかがいます。
病児・病後児保育の望ましいサービス形態はどれですか。(いくつでも)

病児・病後児保育の望ましいサービス形態については、「小児科に併設した施設で子どもを保育するサービス」が79.4%で最も高く、次いで「他の施設に併設した施設で子どもを保育するサービス」が38.2%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育するサービス」が20.6%となっています。



問 16-4 問 16-2で「利用したいとは思わない」と回答した方にうかがいます。
そう思われる理由は何ですか。(いくつでも)

病児・病後児の保育施設等を利用したいと思わない理由については、「親が仕事を休んで対応できる」が53.8%で最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が44.8%、「その他」が24.3%となっています。

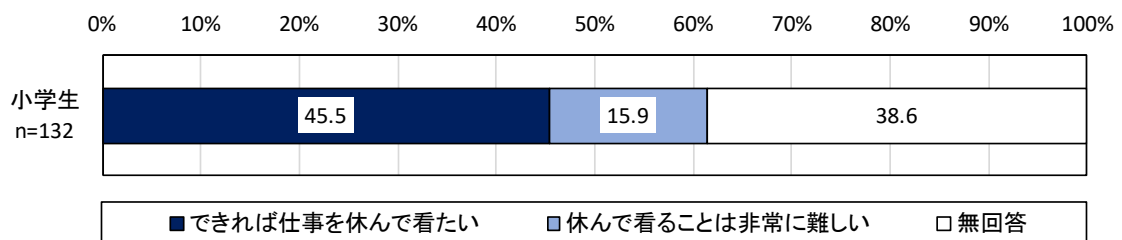


問 16-5 問 16-1 で「(同居者を含む) 親族・知人に子どもを^みせてもらった」から「その他」を回答した方にうかがいます。

その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで^みてほしい」と思われましたか。問 16-1 の「(同居者を含む) 親族・知人に子どもを^みせてもらった」から「その他」の日数のうち、仕事を休んで^みてほしい日数についてもご記入ください。

(1つのみ、口内に数字をご記入ください。)

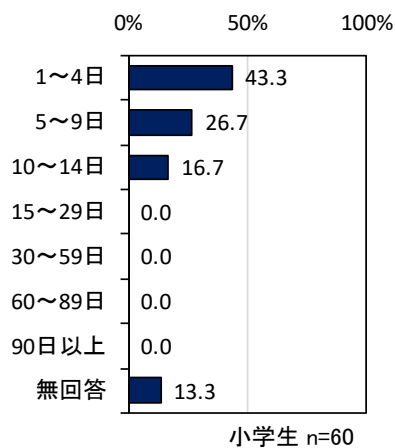
父母のいずれかが仕事を休んで^みてほしいかについては、「できれば仕事を休んで^みてほしい」が 45.5%、「休んで^みて看ることは非常に難しい」が 15.9%となっています。



● 『できれば仕事を休んで^みてほしい』と回答した方の希望日数 (年間)

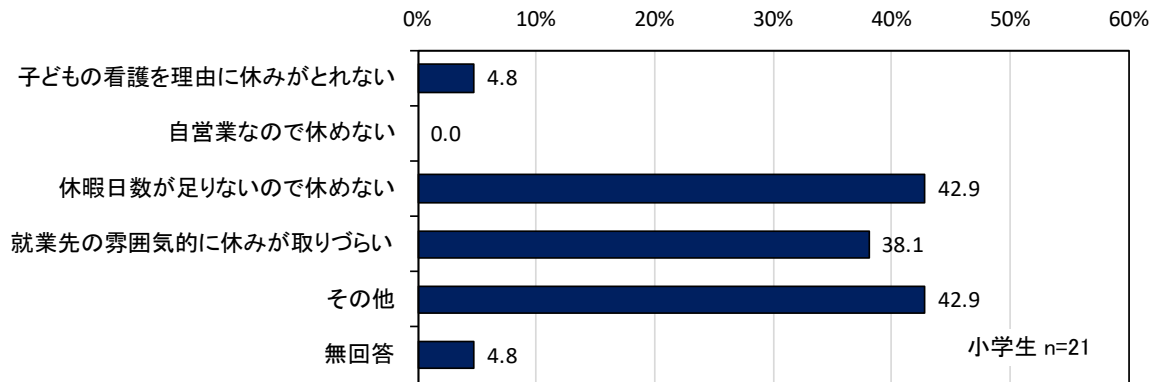
できれば仕事を休んで^みてほしい希望日数については、「1~4日」が 43.3%で最も高く、次いで「5~9日」が 26.7%、「10~14日」が 16.7%となっています。

【希望日数 (年間)】



問16-6 問16-5で「休んで^み看することは非常に難しい」と回答した方にうかがいます。
 そう思われる理由は何ですか。(いくつでも)

仕事を休んで看することは非常に難しい理由については、「休暇日数が足りないので休めない」、「その他」がともに42.9%で最も高く、次いで「就業先の雰囲氣的に休みが取りづらい」が38.1%、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が4.8%となっています。

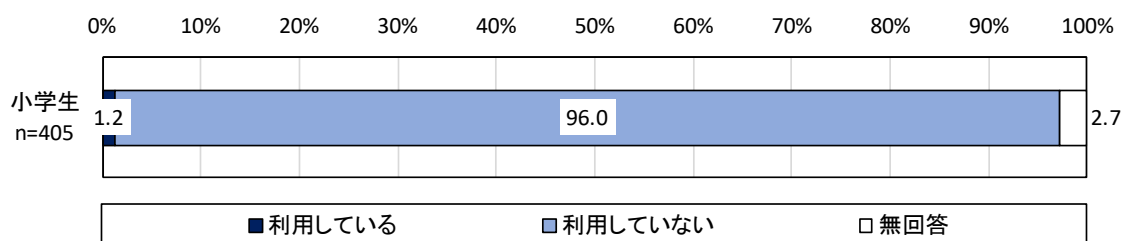


6. 不定期の教育・保育サービスや 宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 17 宛名のお子さんについて、病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用しているサービスはありますか。1年間の利用日数（おおよそ）もご記入ください。
（1つのみ、ア～エはいくつでも、利用したい日数を口内にご記入ください。）

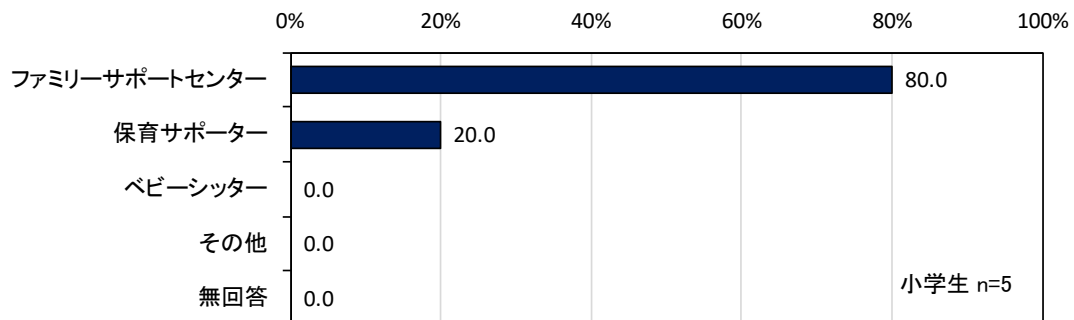
（1）サービスの利用の有無

私用等の目的で不定期に利用しているサービスの有無については、「利用していない」が96.0%、「利用している」が1.2%となっています。



（2）利用しているサービス

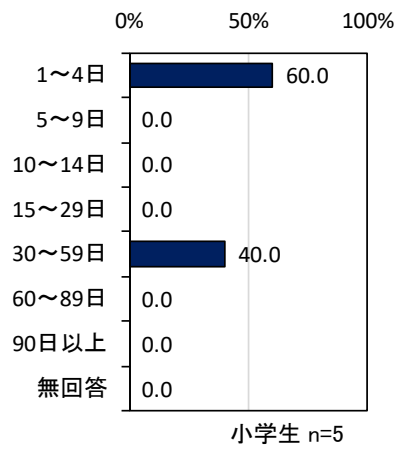
私用等の目的で不定期に利用しているサービスについては、該当する回答者は5人で、「ファミリーサポートセンター」が4人、「保育サポーター」が1人となっています。



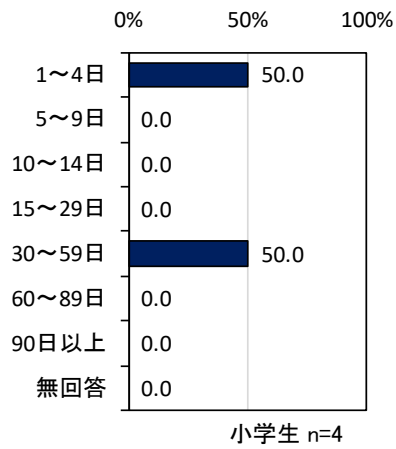
●サービス別の年間利用日数

サービス別の年間利用日数については、以下のとおりとなっています。

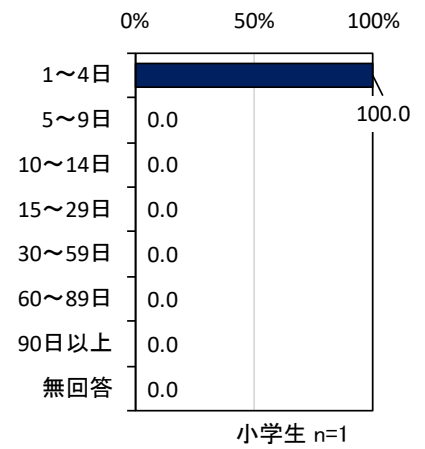
【年間利用日数合計】



【ファミリーサポートセンター】



【保育サポーター】



【ベビーシッター】



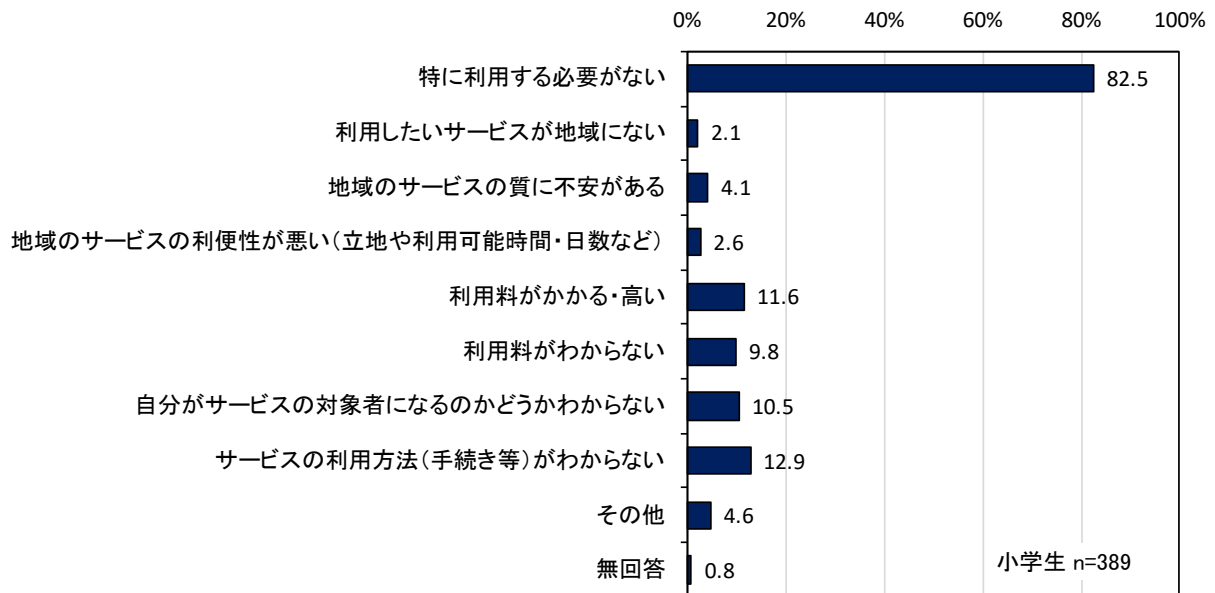
【その他】



問 17-1 問 17で「利用していない」と回答した方にうかがいます。

現在、利用していない理由は何ですか。(いくつでも)

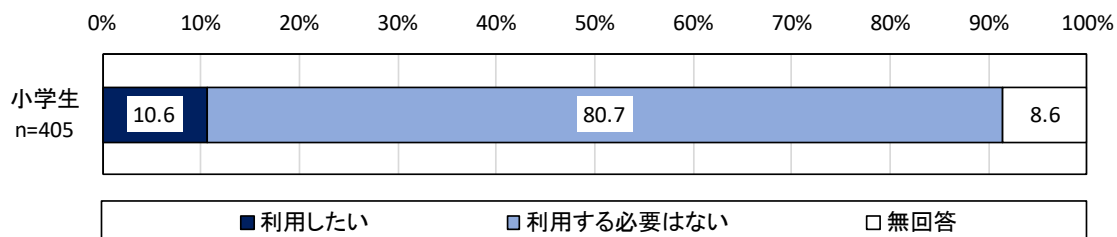
サービスを利用していない理由については、「特に利用する必要がない」が 82.5%で最も高く、次いで「サービスの利用方法(手続き等)がわからない」が 12.9%、「利用料がかかる・高い」が 11.6%となっています。



問 18 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらいサービスを利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について選択し、必要な日数をご記入ください。なお、これらのサービスの利用には、一定の利用者負担が発生します。
 (1つのみ、ア～エはいくつでも、利用する日数を口内にご記入ください。)

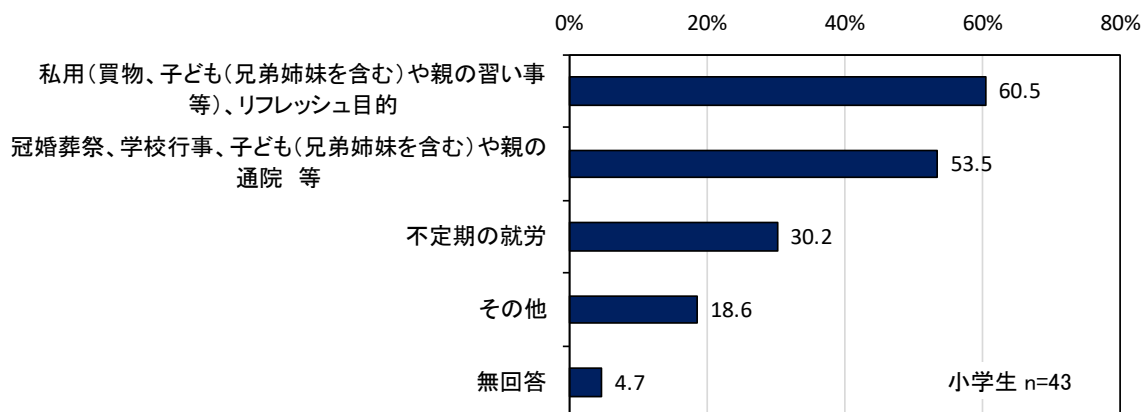
(1) サービスの利用希望

私用等の目的でのサービスの利用希望については、「利用する必要はない」が80.7%、「利用したい」が10.6%となっています。



(2) サービスの利用目的

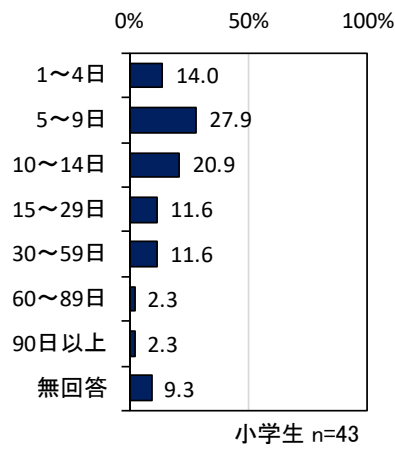
サービスの利用目的については、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が60.5%で最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が53.5%、「不定期の就労」が30.2%となっています。



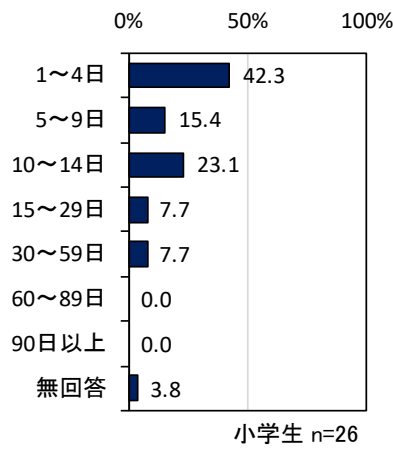
●利用目的別の希望日数（年間）

利用目的別の希望日数については、以下のとおりとなっています。

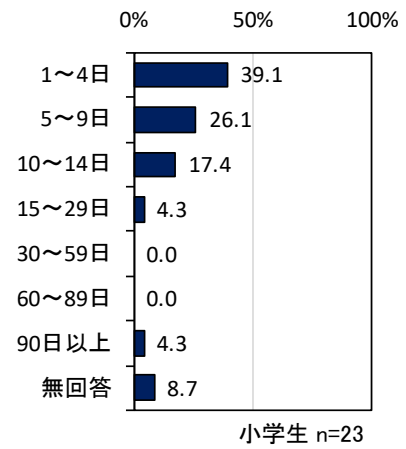
【希望日数合計（年間）】



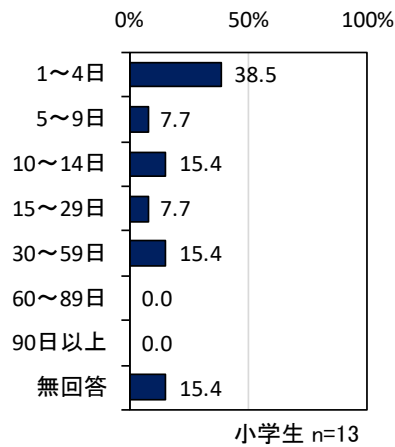
【私用、リフレッシュ目的】



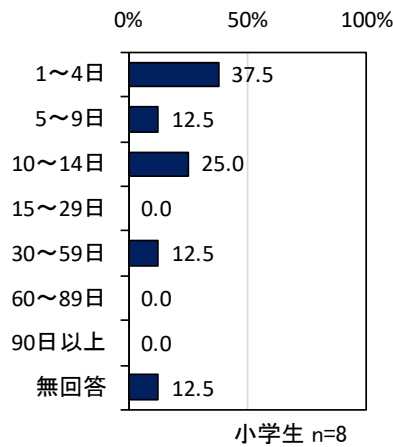
【冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院】



【不定期の就労】



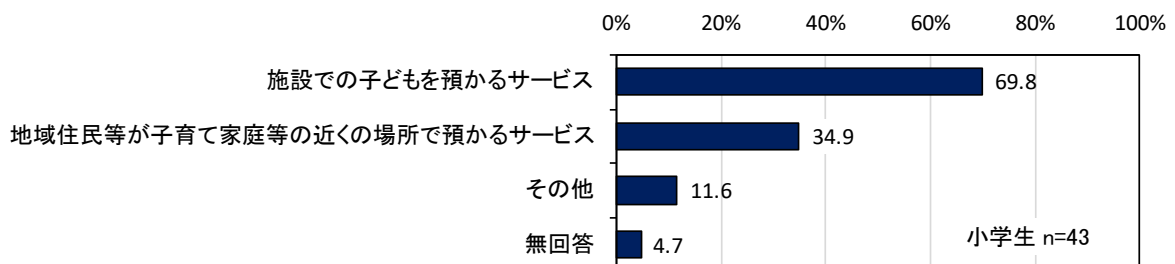
【その他】



問 18-1 問 18 で「利用したい」と回答した方にうかがいます。

問 18 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれのサービス形態が望ましいと思われますか。
（いくつでも）

私用等の目的で子どもを預ける場合の望ましいサービス形態については、「施設での子どもを預かるサービス」が69.8%で最も高く、次いで「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で預かるサービス」が34.9%、「その他」が11.6%となっています。



問 19 宛名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。

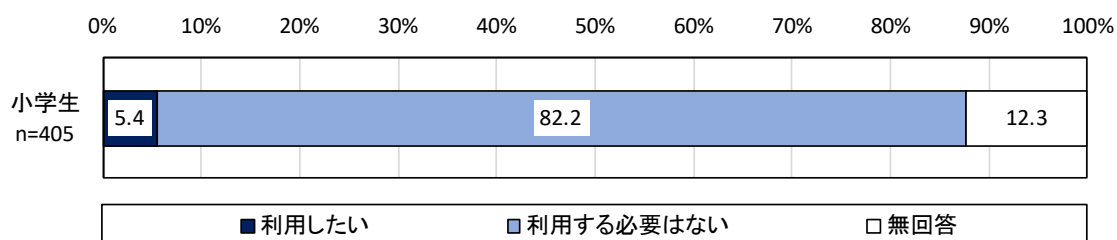
短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無について選択し、それぞれ必要な泊数をご記入ください。

なお、これらのサービスの利用には、一定の利用者負担が発生します。

（1つのみ、ア～エはいくつでも、利用する宿泊数を口内ご記入ください。）

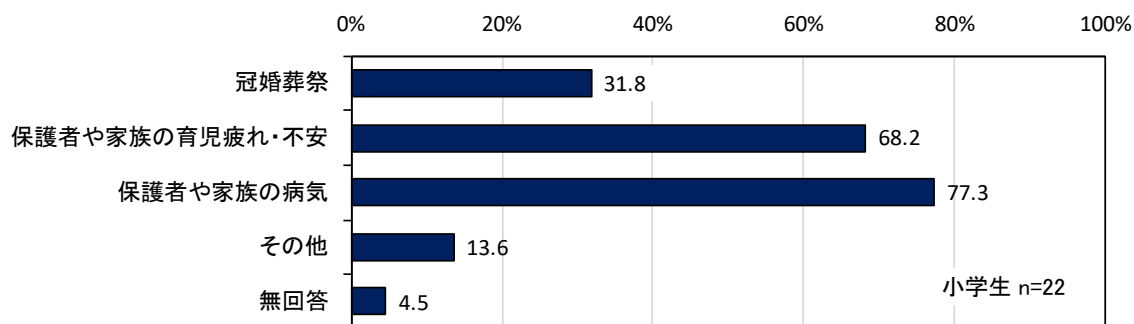
（1）サービスの利用希望

短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用希望については、「利用する必要はない」が82.2%、「利用したい」が5.4%となっています。



（2）サービスの利用目的

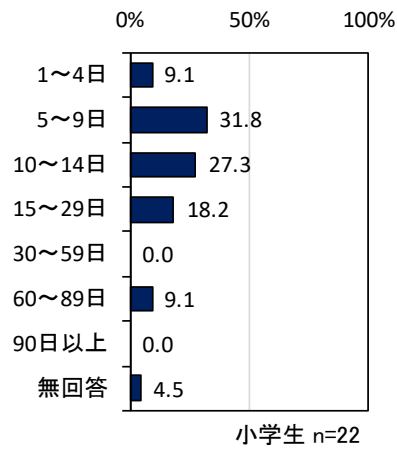
サービスの利用目的については、「保護者や家族の病気」が77.3%で最も高く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」が68.2%、「冠婚葬祭」が31.8%となっています。



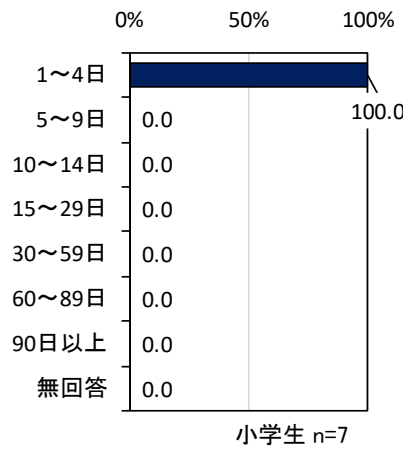
●利用目的別の希望日数（年間）

利用目的別の希望日数については、以下のとおりとなっています。

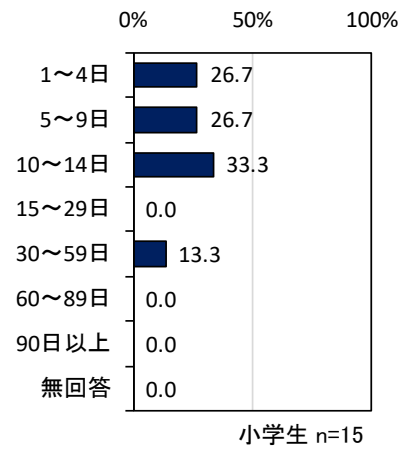
【希望日数合計（年間）】



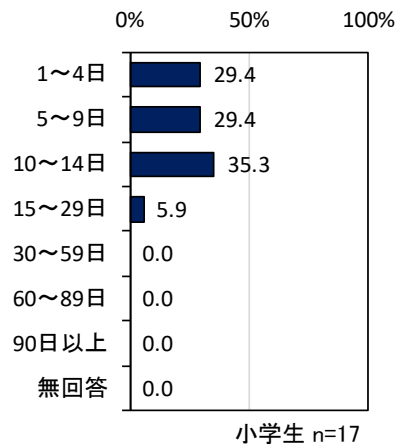
【冠婚葬祭】



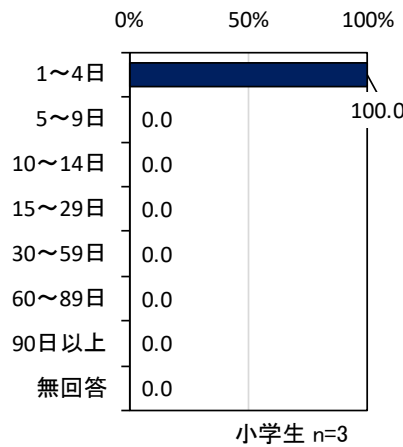
【保護者や家族の育児疲れ・不安】



【保護者や家族の病気】



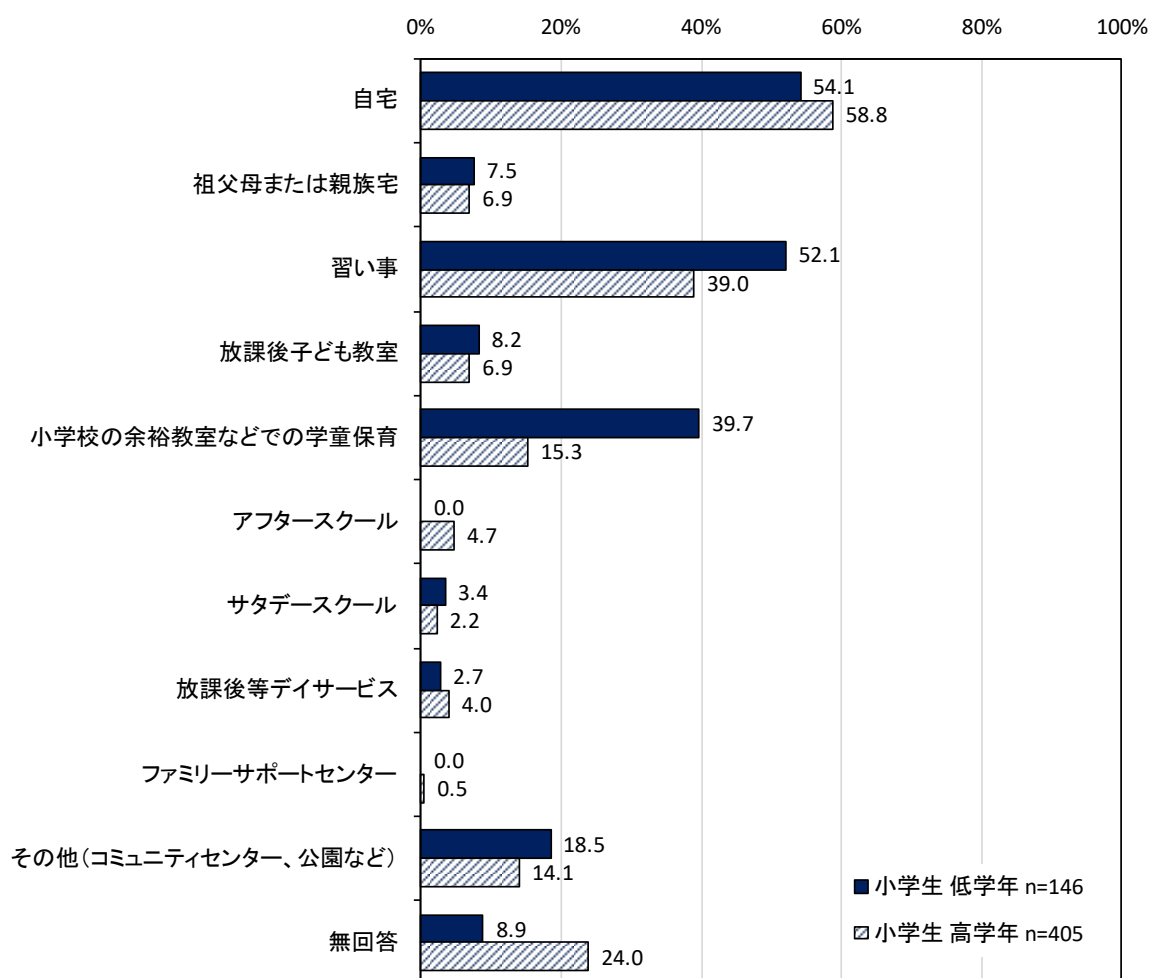
【その他】



7. 放課後の過ごし方について

問 20 宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。小学校低学年時（1～3年生）、小学校高学年時（4～6年生）、それぞれ希望する週あたりの希望日数をご記入ください。また、「学童保育」の場合には、利用を希望する時間もご記入ください。
（いくつでも、□内に数字をご記入ください。）

希望する放課後の過ごし方については、低学年では、「自宅」が54.1%で最も高く、次いで「習い事」が52.1%、「小学校の余裕教室などでの学童保育」が39.7%、高学年では、「自宅」が58.8%で最も高く、次いで「習い事」が39.0%、「小学校の余裕教室などでの学童保育」が15.3%となっています。



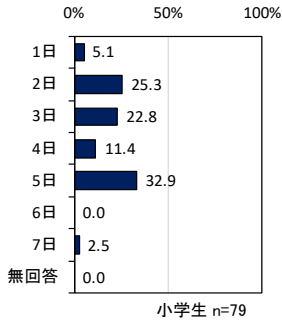
● 1週当たりの利用希望日数 低学年（1～3年生）

1週当たりの利用希望日数について、『小学校の余裕教室などでの学童保育』をみると、「5日」が60.3%で最も高く、次いで「3日」が15.5%、「2日」、「4日」がともに10.3%となっています。

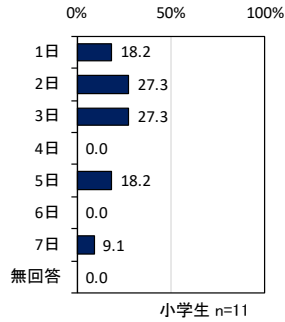
また、下校時から何時まで利用を希望するかについては、「18時まで」が55.2%で最も高く、次いで「17時まで」が27.6%、「16時まで」、「19時まで」がともに8.6%となっています。

その他の1週当たりの利用希望日数は、以下のとおりとなっています。

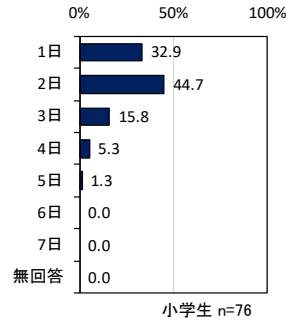
【自宅】



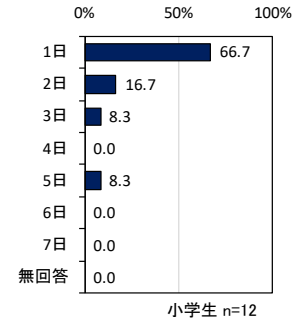
【祖父母または親族宅】



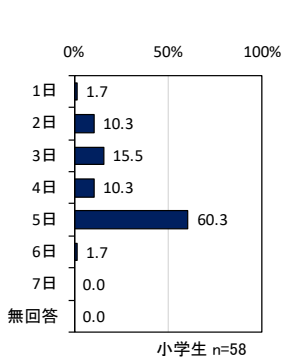
【習い事】



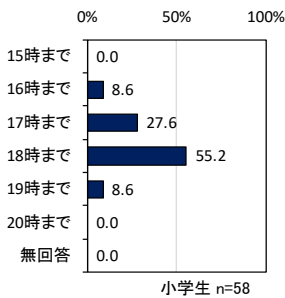
【放課後子ども教室】



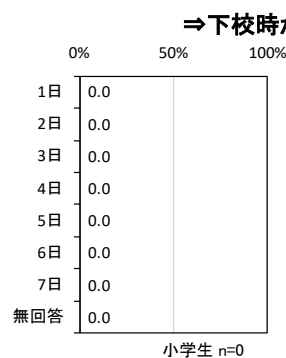
【小学校の余裕教室などでの学童保育】



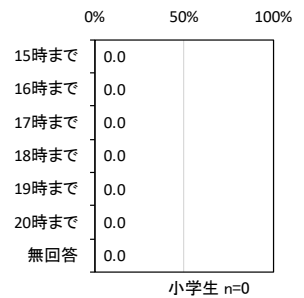
⇒下校時から



【アフタースクール】

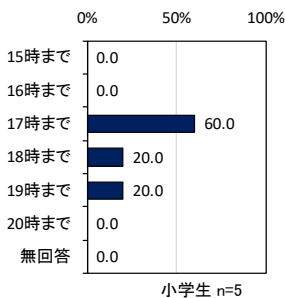
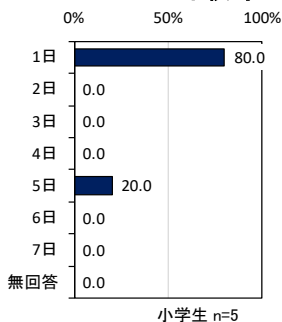


⇒下校時から

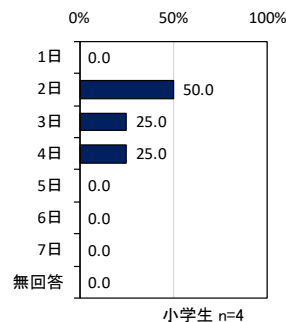


【サタデースクール】

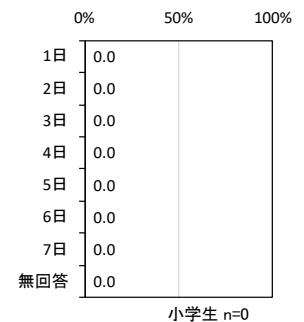
⇒下校時から



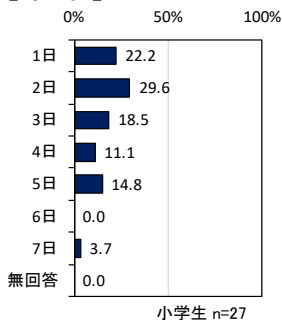
【放課後等デイサービス】



【ファミリーサポートセンター】



【その他】

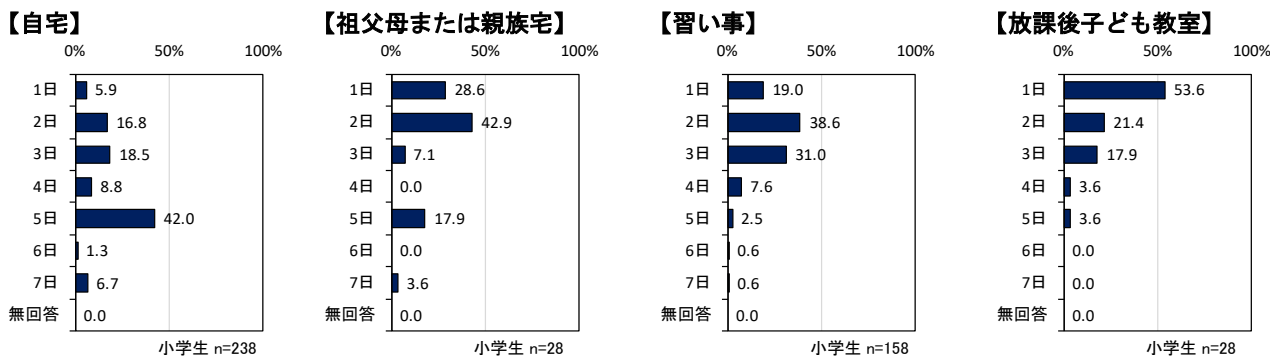


● 1週当たりの利用希望日数 高学年（4～6年生）

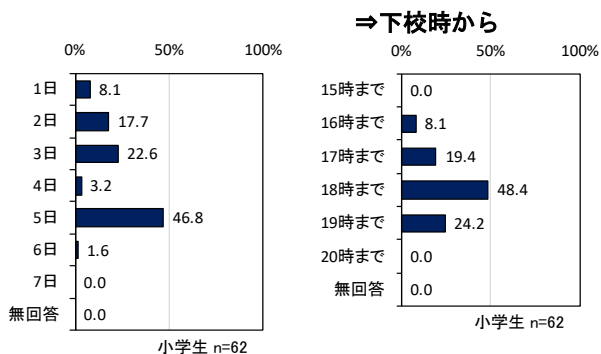
1週当たりの利用希望日数について、『小学校の余裕教室などでの学童保育』をみると、「5日」が46.8%で最も高く、次いで「3日」が22.6%、「2日」が17.7%となっています。

また、下校時から何時まで利用を希望するかについては、「18時まで」が48.4%で最も高く、次いで「19時まで」が24.2%、「17時まで」が19.4%となっています。

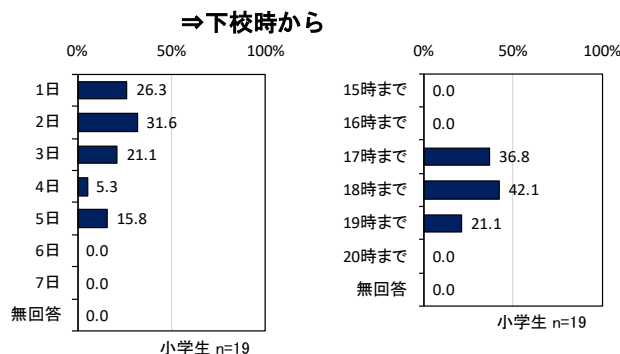
その他の1週当たりの利用希望日数は、以下のとおりとなっています。



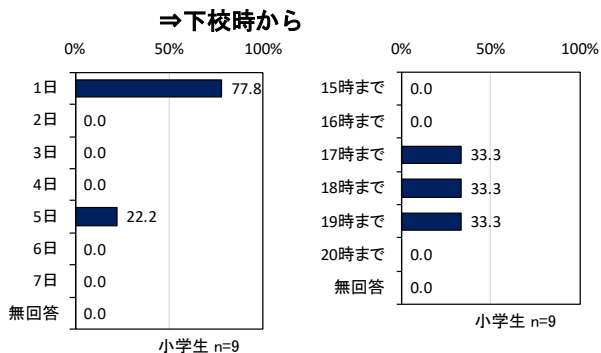
【小学校の余裕教室などでの学童保育】



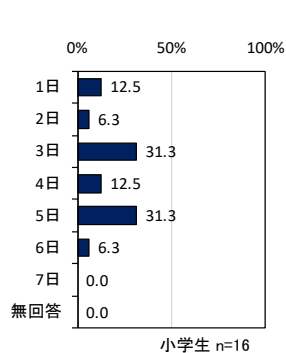
【アフタースクール】



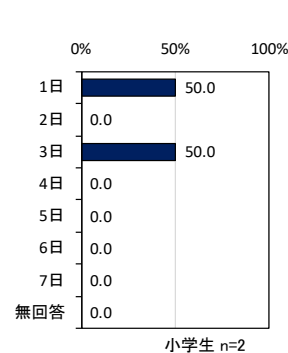
【サタデースクール】



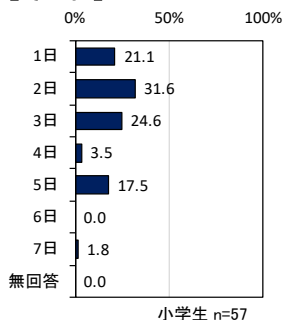
【放課後等デイサービス】



【ファミリーサポートセンター】



【その他】



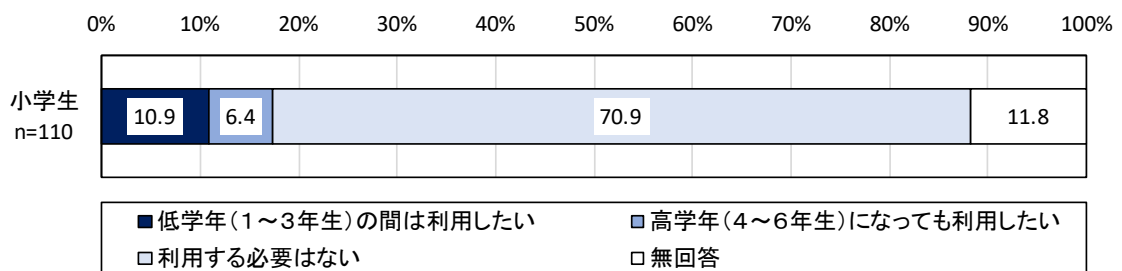
問 20-1 問 20 で「小学校の余裕教室などでの学童保育」と回答した方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童保育の利用希望はありますか。利用希望がある場合は、希望する時間帯もご記入ください。

(それぞれ1つのみ、口内に数字をご記入ください。)

(1) 土曜日

土曜日の利用希望については、「利用する必要はない」が70.9%で最も高く、次いで「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が10.9%、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が6.4%となっています。

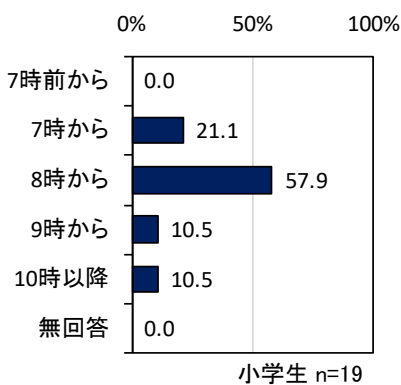


●土曜日の利用を希望している方の利用希望

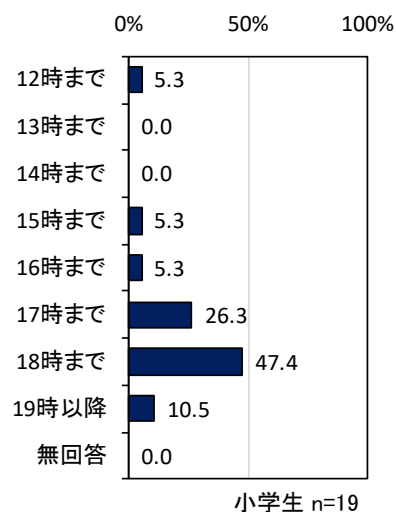
希望開始時間は、「8時から」が57.9%で最も高く、次いで「7時から」が21.1%となっています。

また、希望終了時間は、「18時まで」が47.4%で最も高く、次いで「17時まで」が26.3%となっています。

【希望開始時間】

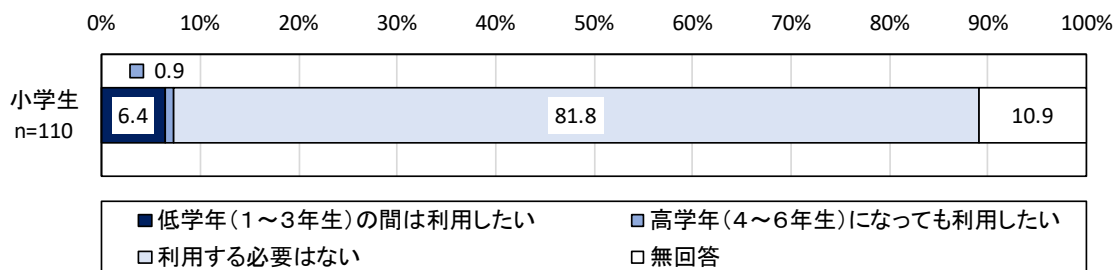


【希望終了時間】



(2) 日曜日・祝日

日曜日・祝日の利用希望については、「利用する必要はない」が81.8%で最も高く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が6.4%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が0.9%となっています。

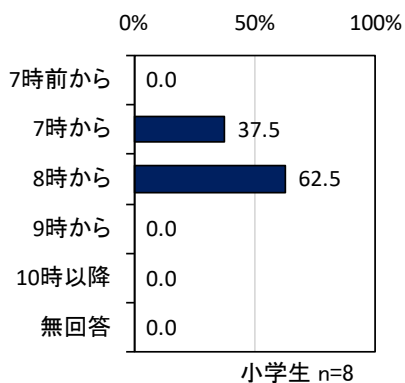


●日曜日・祝日の利用を希望している方の利用希望

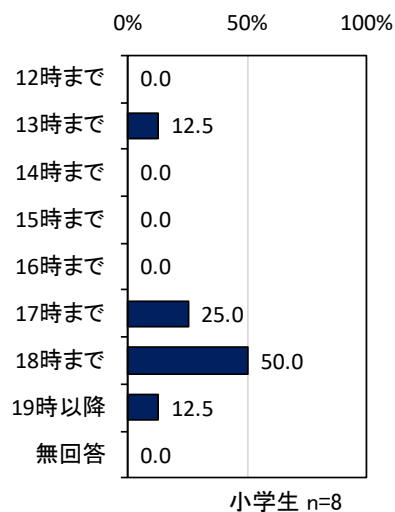
希望開始時間は、「8時から」が62.5%で最も高く、次いで「7時から」が37.5%となっています。

また、希望終了時間は、「18時まで」が50.0%で最も高く、次いで「17時まで」が25.0%となっています。

【希望開始時間】

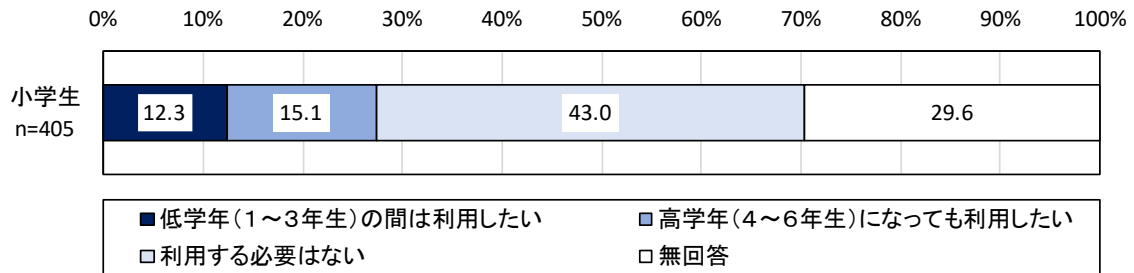


【希望終了時間】



問 21 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期休暇中に、学童保育の利用希望はありますか。利用希望がある場合は、希望する時間帯もご記入ください。
(1つのみ、口内に数字をご記入ください。)

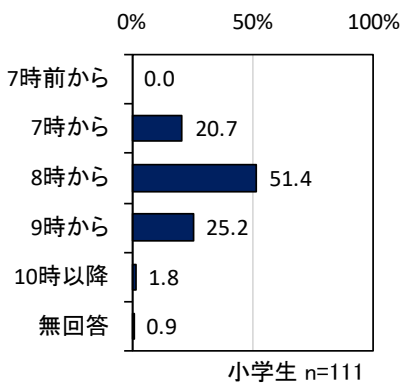
長期休暇中の利用希望については、「利用する必要はない」が 43.0%で最も高く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が 15.1%、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が 12.3%となっています。



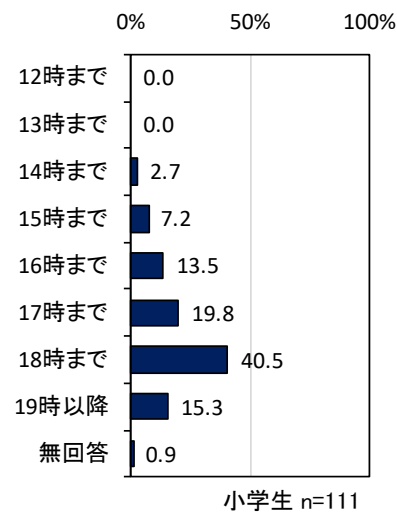
●長期休暇中の利用を希望している方の利用希望

希望開始時間は、「8時から」が51.4%で最も高く、次いで「9時から」が25.2%となっています。
また、希望終了時間は、「18時まで」が40.5%で最も高く、次いで「17時まで」が19.8%となっています。

【希望開始時間】



【希望終了時間】



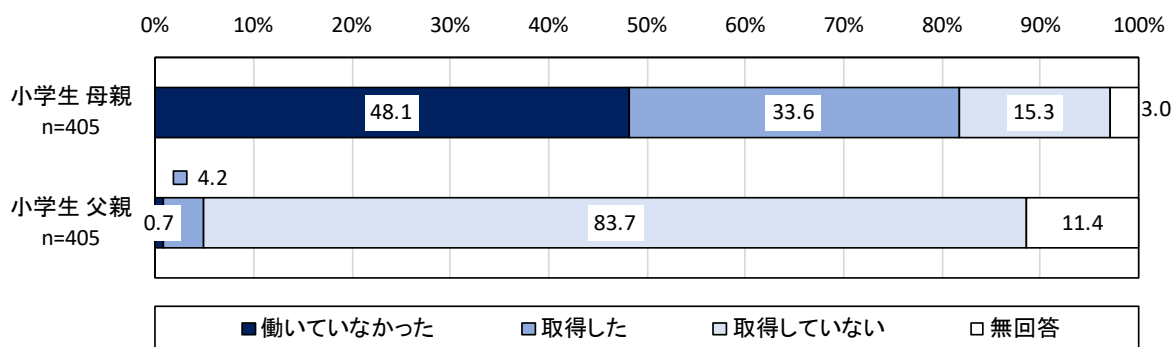
8. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問 22 宛名のお子さんが生まれた時、父・母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。また、取得していない方はその理由をお答えください。

(1) 育児休業の取得状況

母親の育児休業の取得状況については、「働いていなかった」が 48.1%で最も高く、次いで「取得した」が 33.6%、「取得していない」が 15.3%となっています。

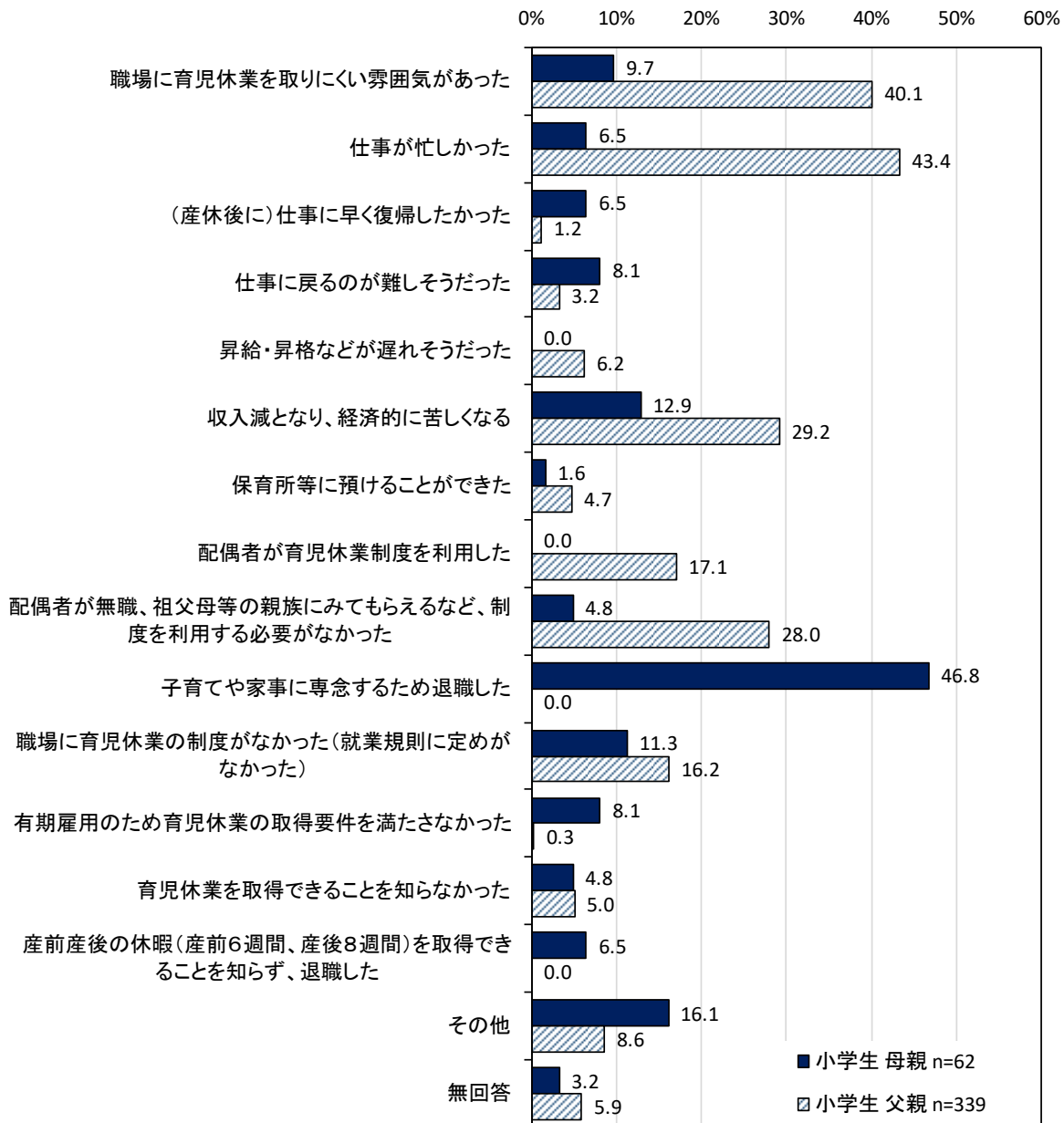
父親の育児休業の取得状況については、「取得していない」が 83.7%で最も高く、次いで「取得した」が 4.2%、「働いていなかった」が 0.7%となっています。



(2) 育児休業を取得していない理由

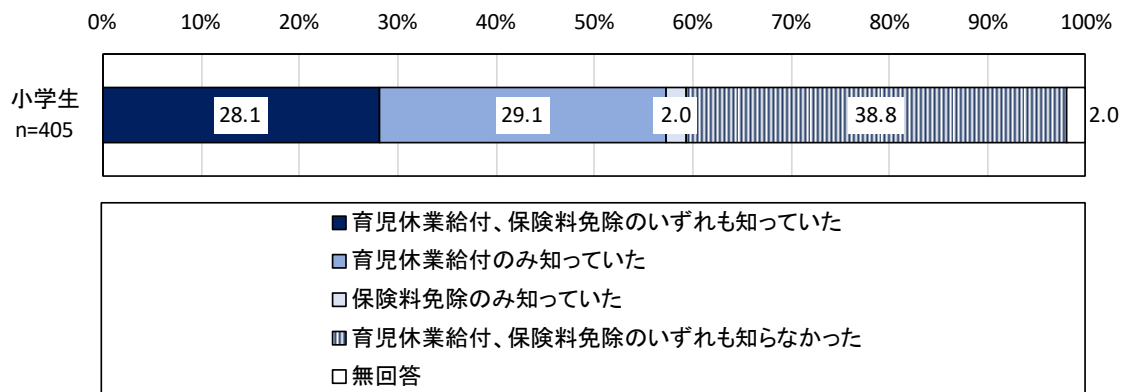
母親が育児休業を取得していない理由については、「子育てや家事に専念するため退職した」が46.8%で最も高く、次いで「その他」が16.1%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が12.9%となっています。

父親が育児休業を取得していない理由については、「仕事が忙しかった」が43.4%で最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が40.1%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が29.2%となっています。



問 22-1 「育児休業給付」、「保険料免除」の仕組みをご存知でしたか。(1つのみ)

育児休業給付や保険料免除の仕組みに対する認知度については、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が38.8%で最も高く、次いで「育児休業給付のみ知っていた」が29.1%、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が28.1%となっています。

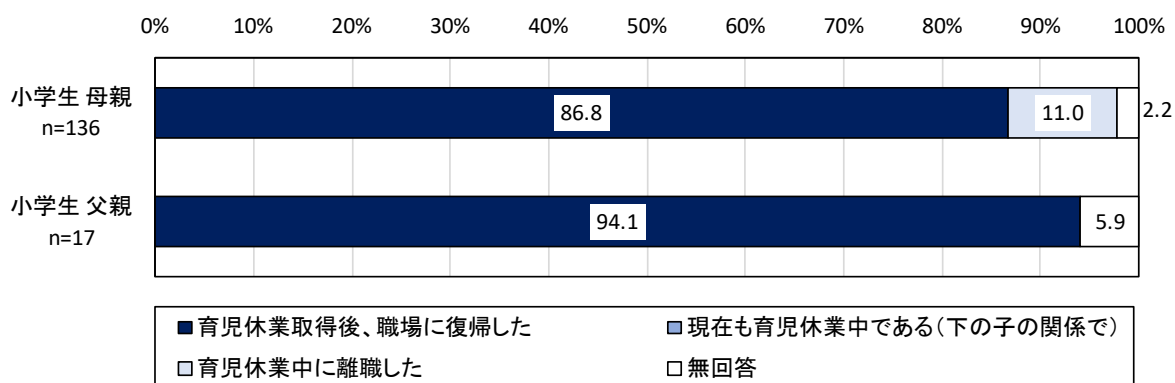


問 22-2 問 22 で「取得した」と回答した方にうかがいます。

育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(それぞれ1つのみ)

母親の育児休業取得後の職場復帰については、「育児休業取得後、職場に復帰した」が86.8%で最も高く、次いで「育児休業中に離職した」が11.0%となっています。

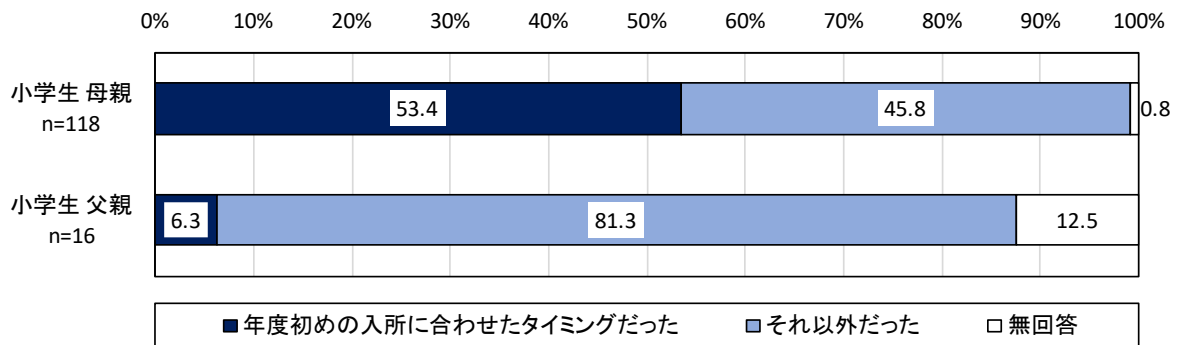
父親の育児休業取得後の職場復帰については、「育児休業取得後、職場に復帰した」が94.1%となっています。



問 22-3 問 22-2で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。
 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所等入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。
 なお、年度初めでの認可保育施設入所を希望して、1月～2月頃に職場復帰、一時的に認可外保育施設に入所した場合などは選択肢「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」にあてはまります。
 また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所等に入所できなかったという場合も「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」を選択してください。（それぞれ1つのみ）

母親の職場への復帰時期については、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が53.4%、「それ以外だった」が45.8%となっています。

父親の職場への復帰時期については、「それ以外だった」が81.3%、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が6.3%となっています。



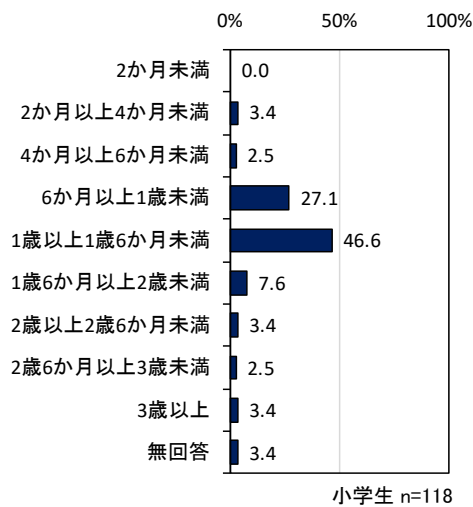
問 22-4 問 22-2で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。
 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、お子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。
 (それぞれ口内に実際と希望の復帰時期をご記入ください。)

(1) 母親

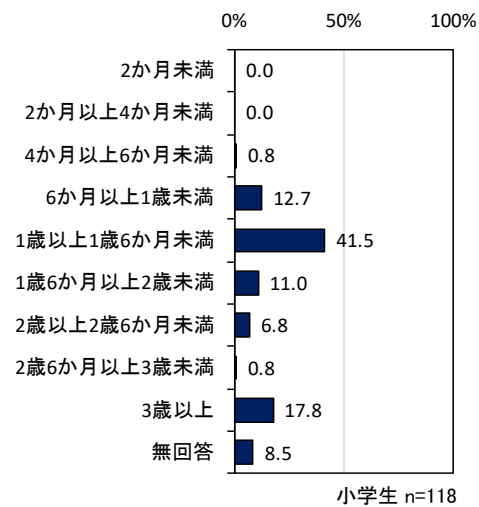
母親の実際の復帰時期については、「1歳以上1歳6か月未満」が46.6%で最も高く、次いで「6か月以上1歳未満」が27.1%、「1歳6か月以上2歳未満」が7.6%となっています。

母親の希望の復帰時期については、「1歳以上1歳6か月未満」が41.5%で最も高く、次いで「3歳以上」が17.8%、「6か月以上1歳未満」が12.7%となっています。

【母親の実際の復帰時期】



【母親の希望の復帰時期】

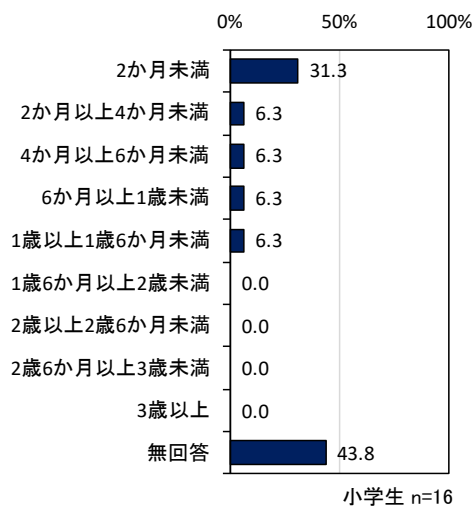


(2) 父親

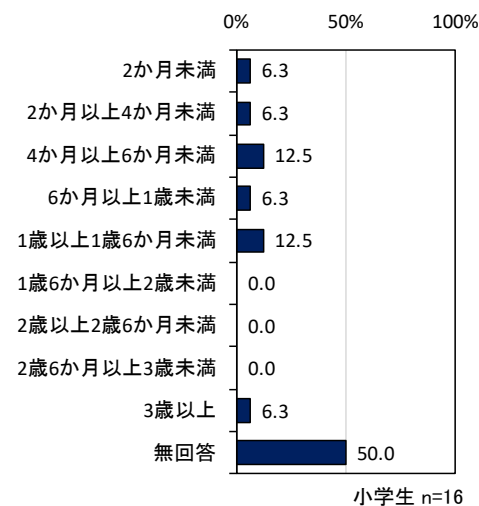
父親の実際の復帰時期については、「2か月未満」が31.3%で最も高くなっています。

父親の希望の復帰時期については、「4か月以上6か月未満」、「1歳以上1歳6か月未満」がともに12.5%で最も高くなっています。

【父親の実際の復帰時期】



【父親の希望の復帰時期】

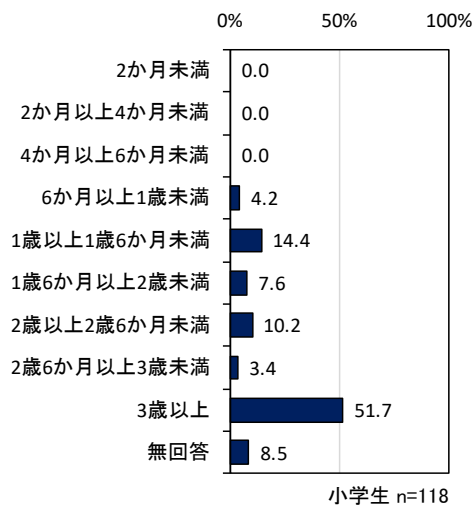


問 22-5 問 22-2で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。
 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。
 (それぞれ口内に希望の時期をご記入ください。)

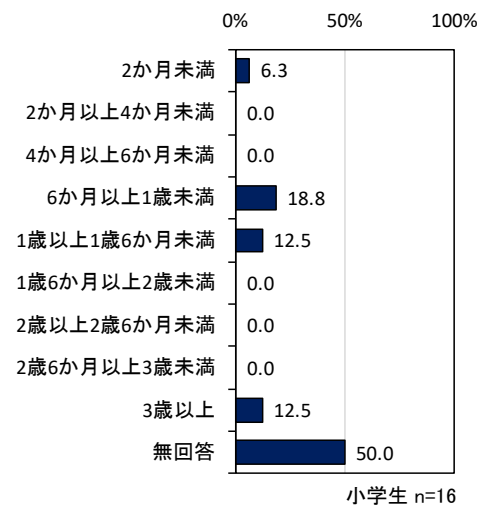
3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、母親が希望する復帰時期については、「3歳以上」が51.7%で最も高く、次いで「1歳以上1歳6か月未満」が14.4%、「2歳以上2歳6か月未満」が10.2%となっています。

3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、父親が希望する復帰時期については、「6か月以上1歳未満」が18.8%で最も高く、次いで「1歳以上1歳6か月未満」、「3歳以上」がともに12.5%となっています。

【母親の希望の復帰時期】



【父親の希望の復帰時期】

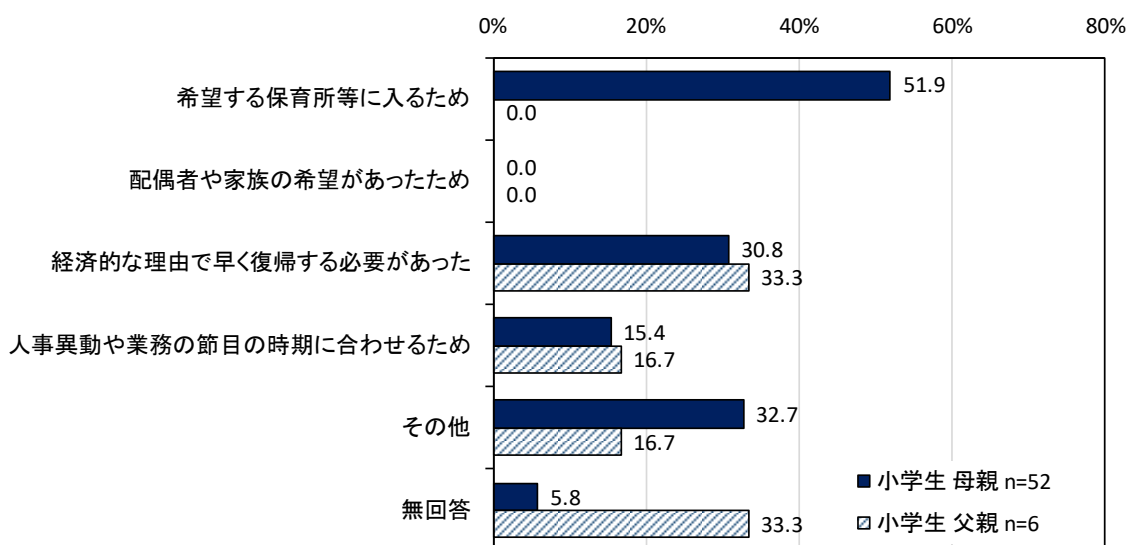


問 22-6 問 22-4で「実際の復帰時期」と「希望の復帰時期」が異なる方について、
 希望の時期に職場復帰しなかった理由をお答えください。
 (それぞれいくつでも)

(1) 希望より早く復帰した方

母親については、「希望する保育所等に入るため」が51.9%で最も高く、次いで「その他」が32.7%、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が30.8%となっています。

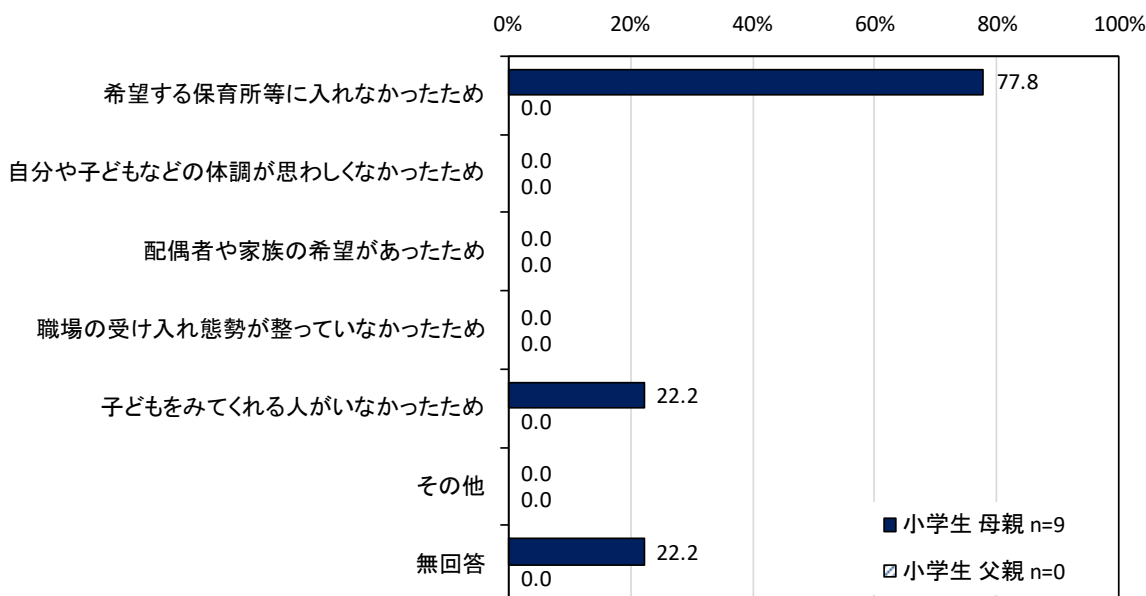
父親については、該当する回答者は6人で、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」、「無回答」が2件、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」、「その他」が1件となっています。



(2) 希望より遅く復帰した方

母親については、「希望する保育所等に入れなかったため」が77.8%で最も高く、次いで「子どもをみてくれる人がいなかったため」が22.2%となっています。

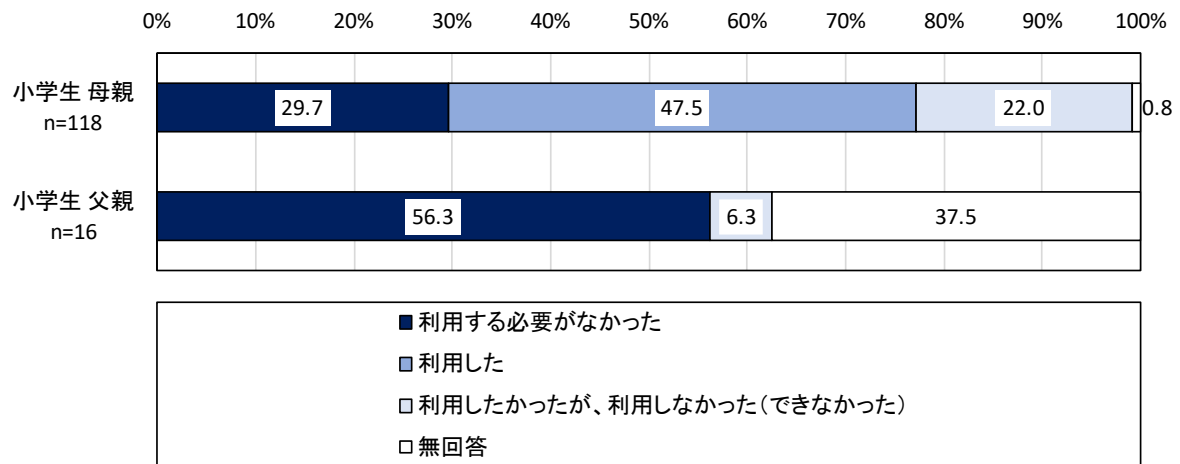
父親については、該当する回答者はいませんでした。



問 22-7 問 22-2で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。
 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。(それぞれ1つのみ)

母親の短時間勤務制度の利用状況については、「利用した」が 47.5%で最も高く、次いで「利用する必要がなかった」が 29.7%、「利用したかったが、利用しなかった(できなかった)」が 22.0%となっています。

父親の短時間勤務制度の利用状況については、「利用する必要がなかった」が 56.3%で最も高く、次いで「利用したかったが、利用しなかった(できなかった)」が 6.3%となっています。

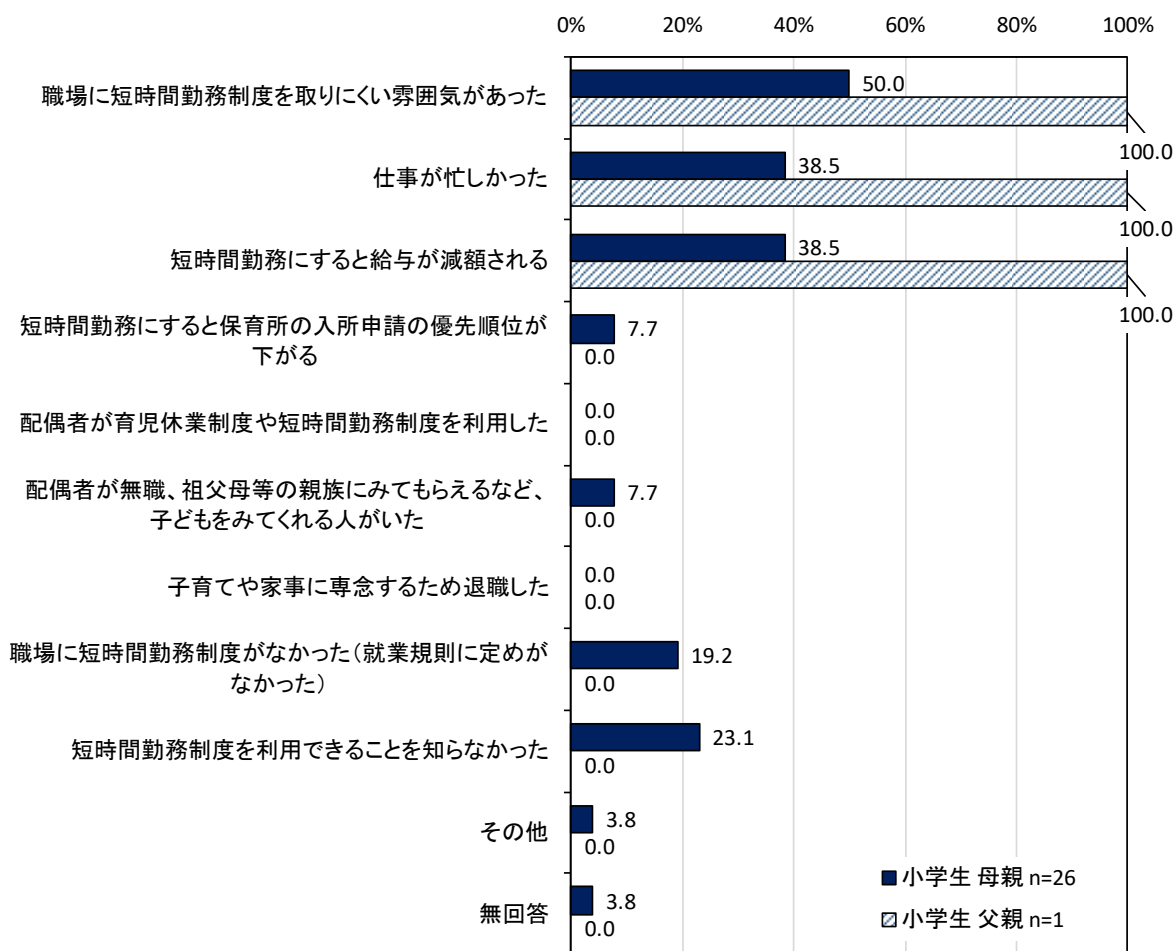


問 22-8 問 22-7で「利用しなかったが、利用しなかった（できなかった）」と回答した方にうかがいます。

短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。（それぞれいくつでも）

母親が短時間勤務制度を利用しなかった理由については、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が50.0%で最も高く、次いで「仕事が忙しかった」、「短時間勤務にすると給与が減額される」がともに38.5%となっています。

父親の短時間勤務制度を利用しなかった理由については、該当する回答者は1人で、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」、「仕事が忙しかった」、「短時間勤務にすると給与が減額される」がともに1件となっています。



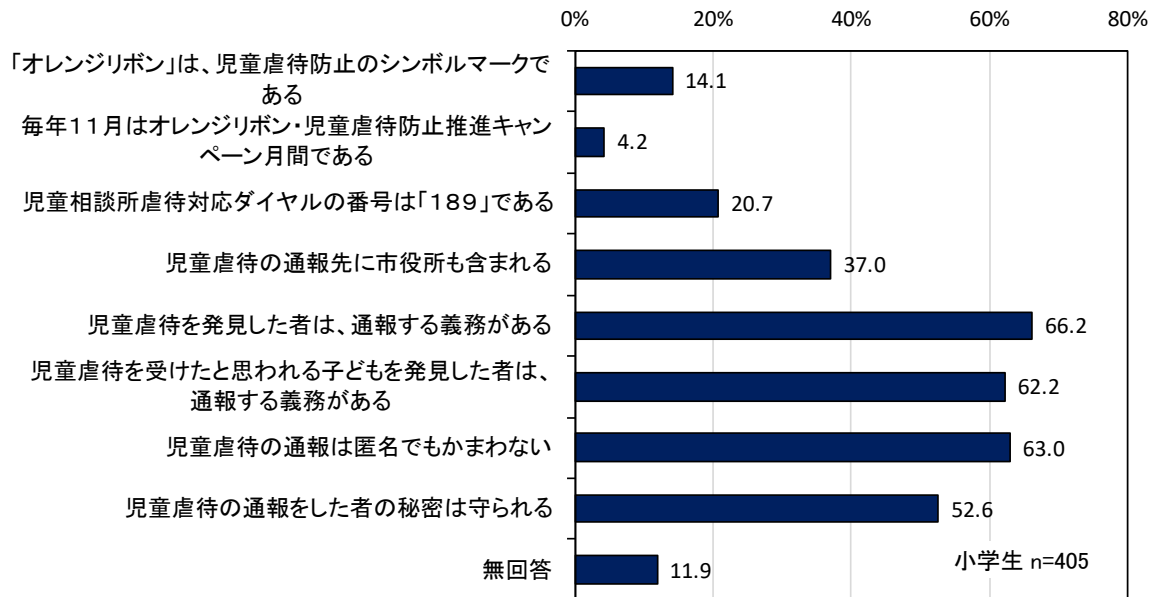
問 22-9 問 22-2で「現在も育児休業中である」と回答し、お子さんが1歳未満の方にうかがいます。宛名のお子さんまたは下のお子さんが1歳になったときに必ず利用できるサービスがあれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられるサービスがあっても1歳になる前に復帰しますか。（それぞれ1つのみ）

職場に復帰する際、必ず利用できるサービスがある場合、1歳になるまで育児休業を取得するかについては、母親、父親ともに、該当する回答者はいませんでした。

9. 子どもの虐待防止について

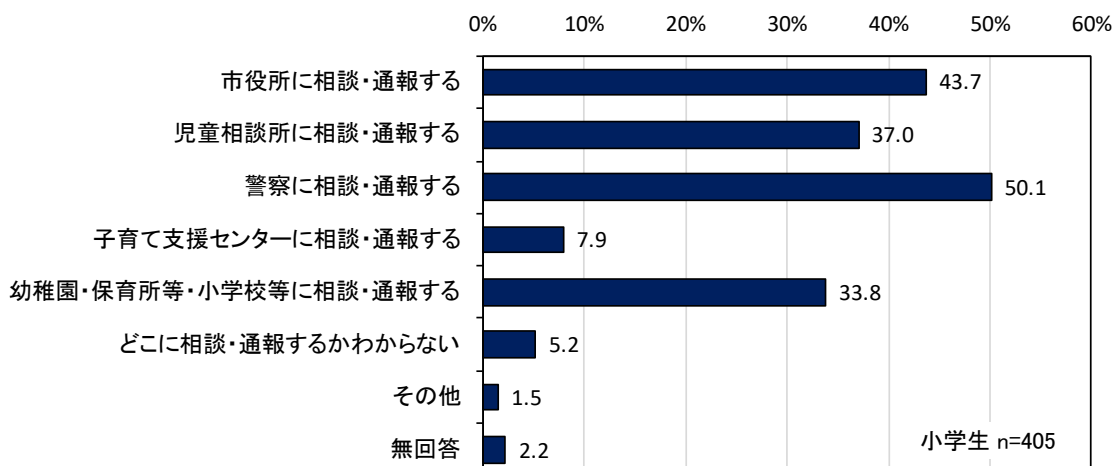
問 23 児童虐待について、あなたが知っていることは何ですか。(いくつでも)

児童虐待について知っていることについては、「児童虐待を発見した者は、通報する義務がある」が66.2%で最も高く、次いで「児童虐待の通報は匿名でもかまわない」が63.0%、「児童虐待を受けたと思われる子どもを発見した者は、通報する義務がある」が62.2%となっています。



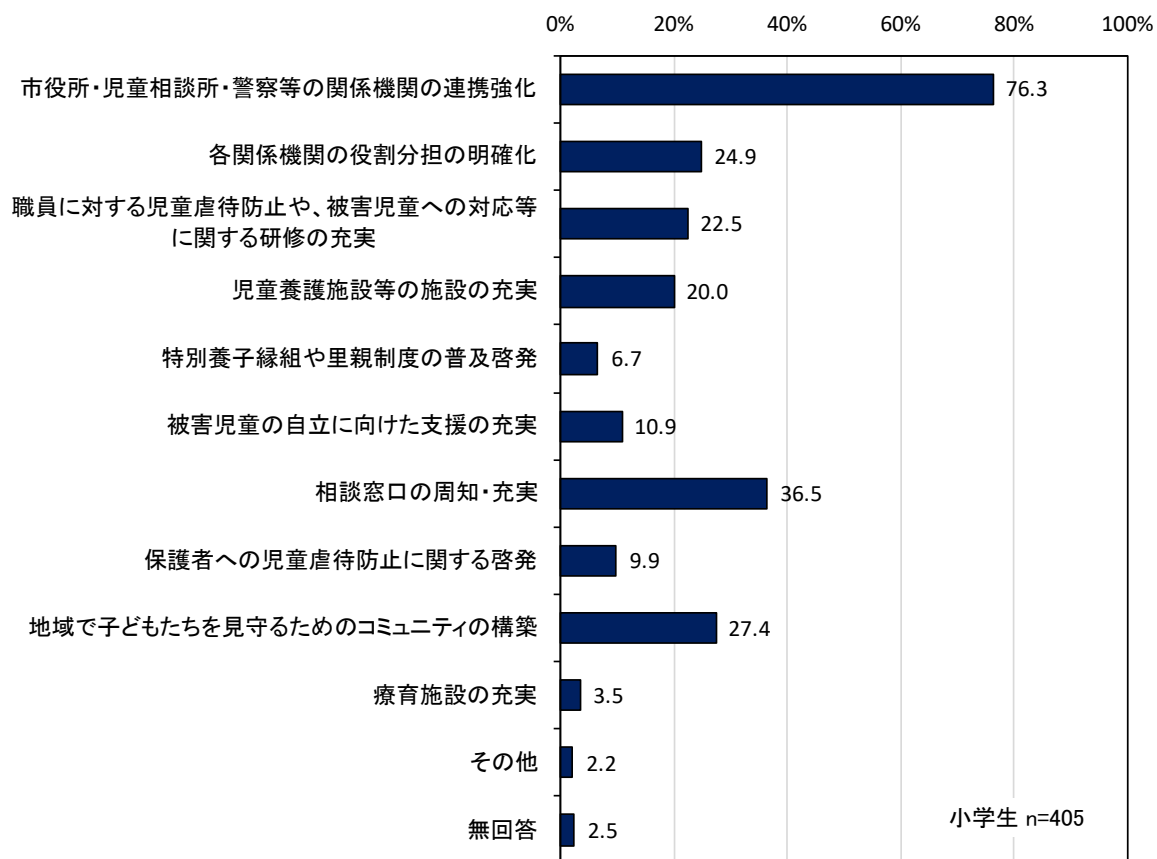
問 24 あなたのまわりに児童虐待または児童虐待の疑いのあるお子さんがいる場合、どこに相談・通報しますか。(いくつでも)

相談・通報の状況については「警察に相談・通報する」が50.1%で最も高く、次いで「市役所に相談・通報する」が43.7%、「児童相談所に相談・通報する」が37.0%となっています。



問 25 あなたは、児童虐待の早期対応や被害児童等に対する保護・支援として、どのような取組が必要だと思いますか。(3つまで)

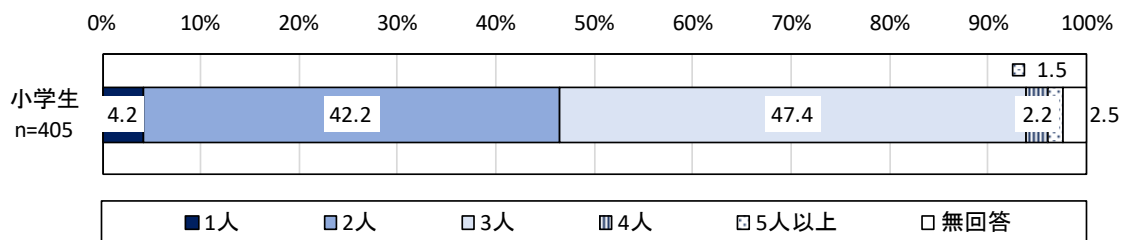
被害児童等に対する保護・支援として必要だと思うことについては、「市役所・児童相談所・警察等の関係機関の連携強化」が76.3%で最も高く、次いで「相談窓口の周知・充実」が36.5%、「地域で子どもたちを見守るためのコミュニティの構築」が27.4%となっています。



10. 少子化について

問 26 あなたの理想とする子どもの数は何人ですか。(口内に数字をご記入ください。)

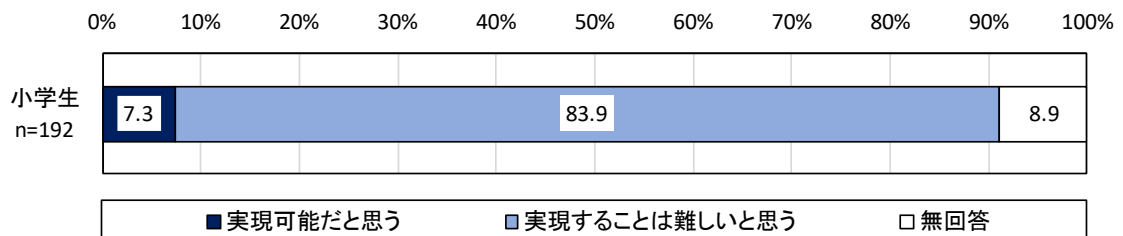
理想とする子どもの人数については、「3人」が47.4%で最も高く、次いで「2人」が42.2%、「1人」が4.2%となっています。



問 27 問 26 の「理想とするお子さんの人数」より、「現在のお子さんの人数」が少ない方がいます。

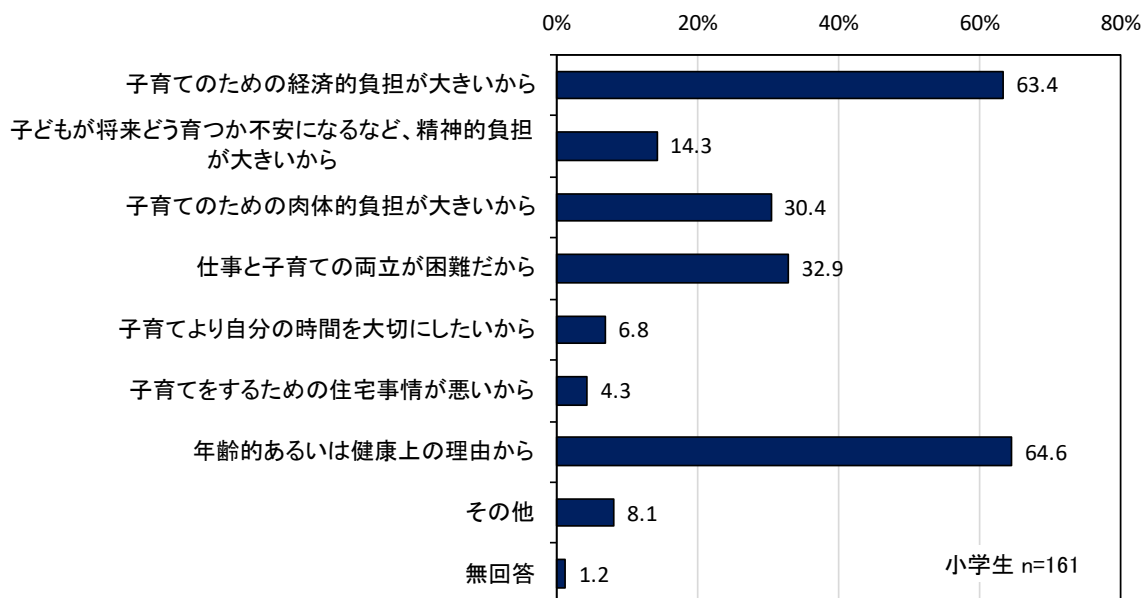
あなたが理想とするお子さんの人数は、実現可能だと思いますか。(1つのみ)

理想とする子どもの人数は実現可能かについては、「実現することは難しいと思う」が83.9%、「実現可能だと思う」が7.3%となっています。



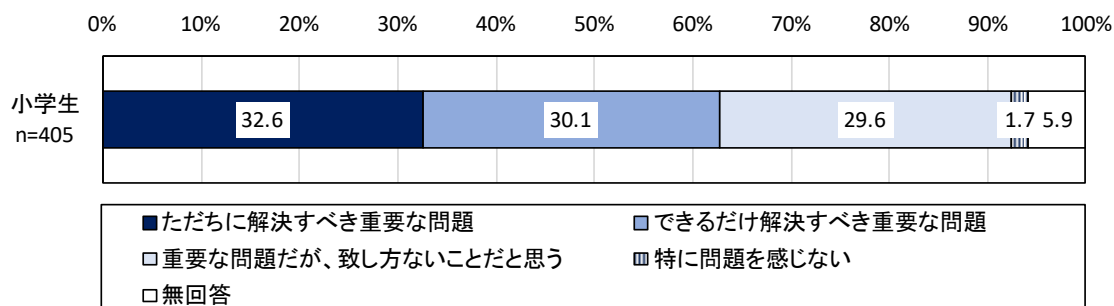
問 27-1 問 27で「実現することは難しいと思う」と回答した方にうかがいます。
 実現することが難しいと思う理由は何ですか。(いくつでも)

実現することが難しいと思う理由については、「年齢的あるいは健康上の理由から」が 64.6%で最も高く、次いで「子育てのための経済的負担が大きいから」が 63.4%、「仕事と子育ての両立が困難だから」が 32.9%となっています。



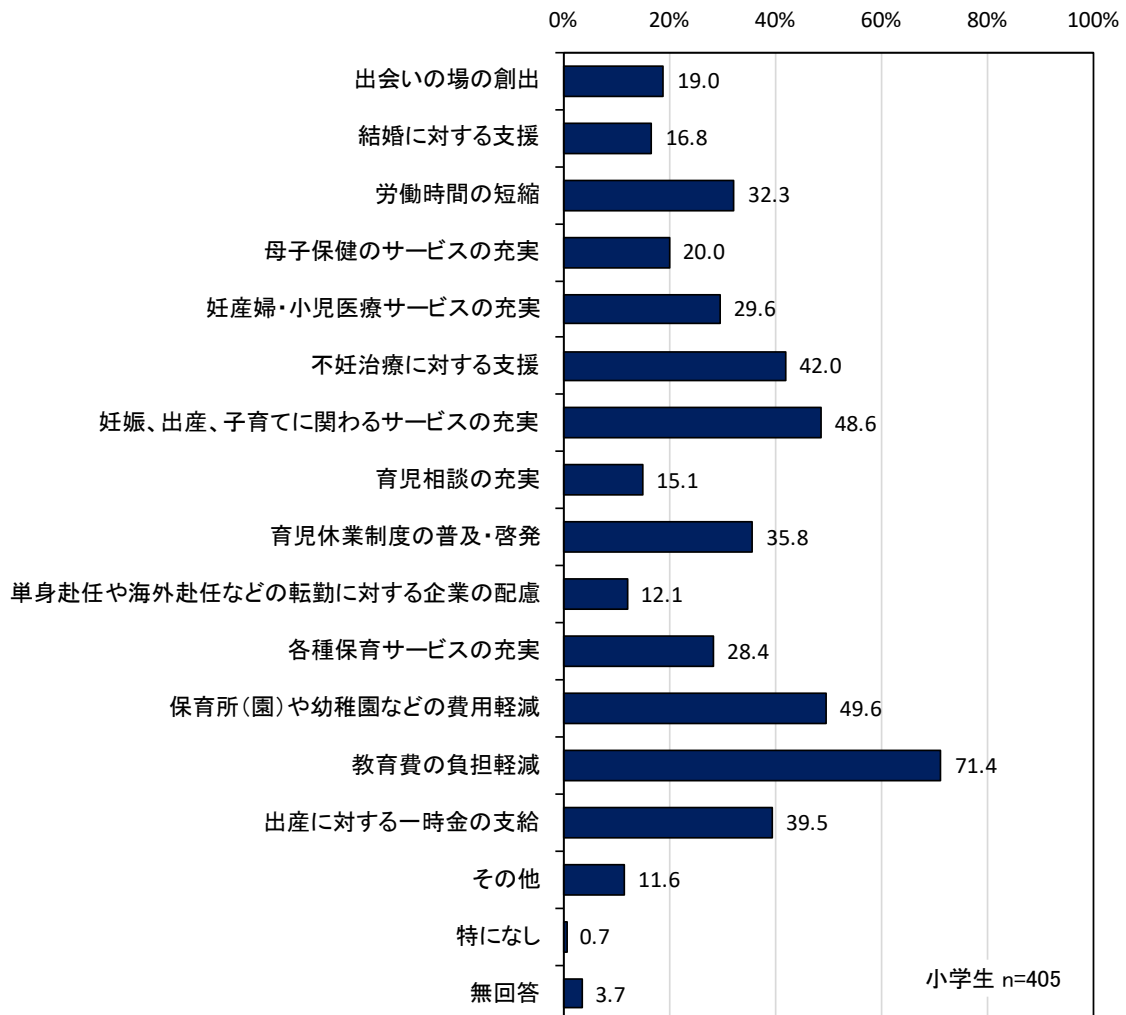
問 28 あなたは、少子化問題に対してどのように考えていますか。(1つのみ)

少子化問題に対する考えについては、「ただちに解決すべき重要な問題」が 32.6%で最も高く、次いで「できるだけ解決すべき重要な問題」が 30.1%、「重要な問題だが、致し方ないことだと思う」が 29.6%となっています。



問 29 少子化対策として、どのようなことが大切だと思いますか。(いくつでも)

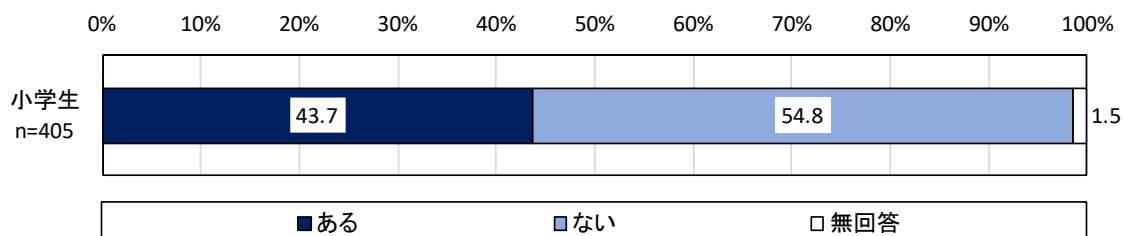
少子化対策として大切だと思うことについては、「教育費の負担軽減」が 71.4%で最も高く、次いで「保育所（園）や幼稚園などの費用軽減」が 49.6%、「妊娠、出産、子育てに関わるサービスの充実」が 48.6%となっています。



11. 子育てと介護（ダブルケア）について

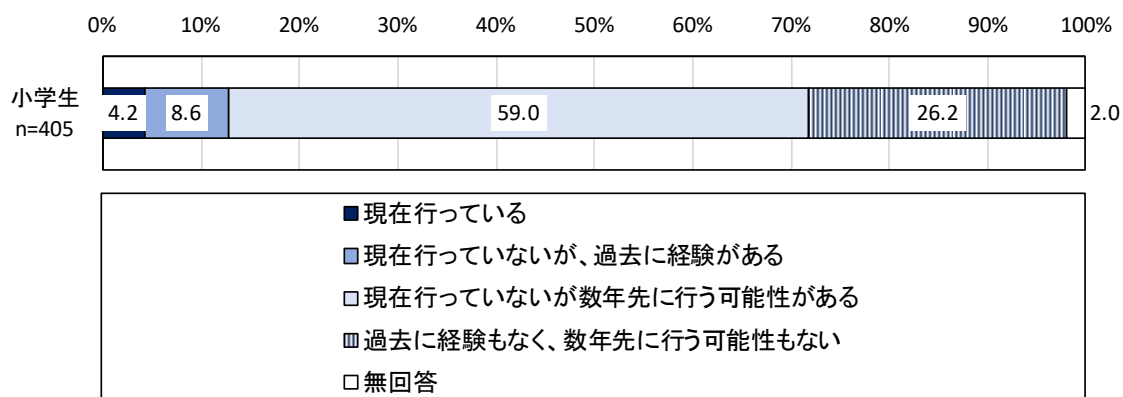
問30 あなたは、「ダブルケア」という言葉を聞いたことはありますか。（1つのみ）

ダブルケアの認知度については、「ない」が54.8%、「ある」が43.7%となっています。



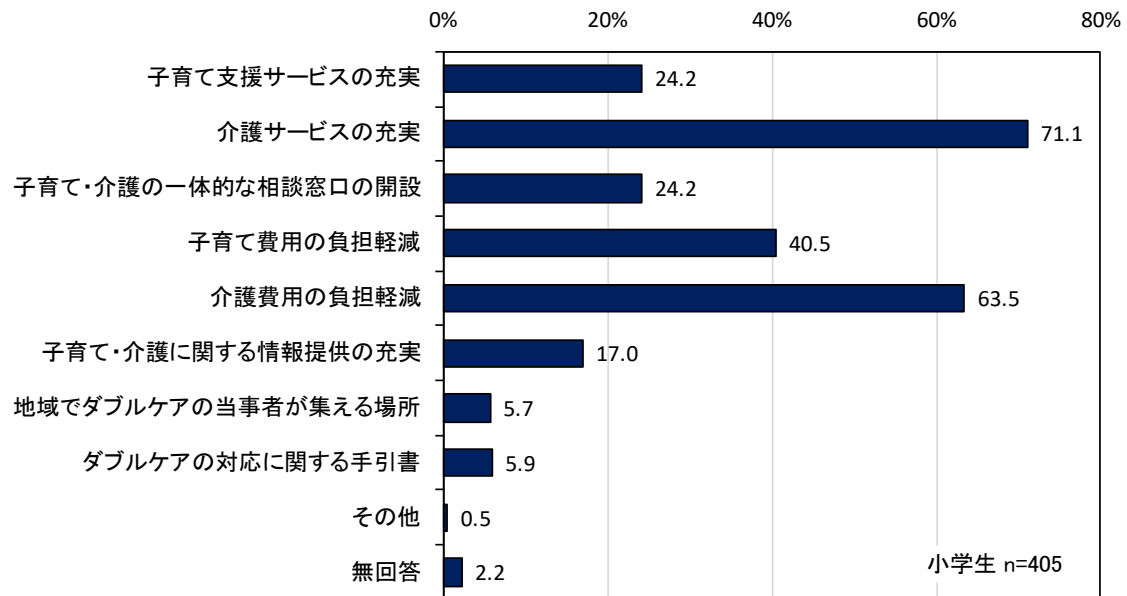
問31 現在、あなたは、子育てと介護を同時に行っていますか。（1つのみ）

現在、子育てと介護を同時に行っているかについては、「現在行っていないが数年先に行く可能性がある」が59.0%で最も高く、次いで「過去に経験もなく、数年先に行く可能性もない」が26.2%、「現在行っていないが、過去に経験がある」が8.6%となっています。



問32 あなたは、ダブルケアに関して、どのような支援策が必要だと思いますか。(3つまで)

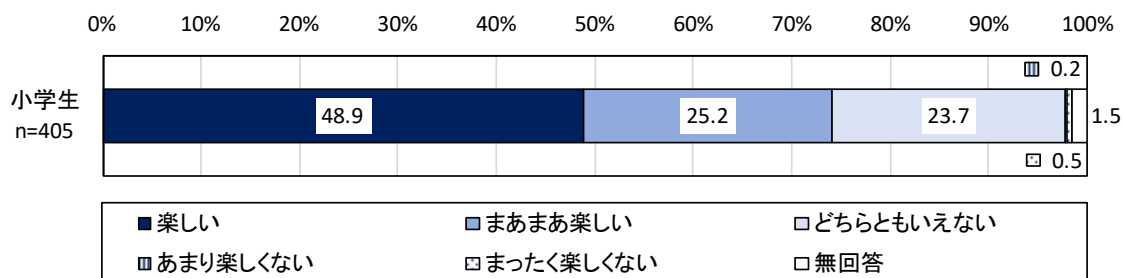
ダブルケアに対する支援策として必要だと思うことについては、「介護サービスの充実」が71.1%で最も高く、次いで「介護費用の負担軽減」が63.5%、「子育て費用の負担軽減」が40.5%となっています。



12. 子育て全般について

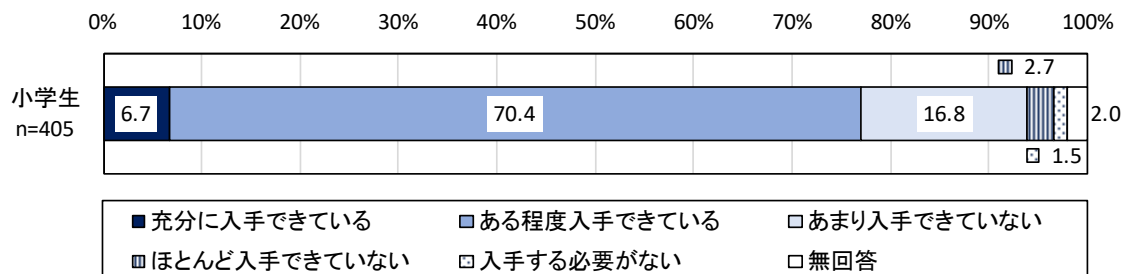
問 33 子育ては楽しいですか。(1つのみ)

子育てに対して感じることについては、「楽しい」が 48.9%で最も高く、次いで「まあまあ楽しい」が 25.2%、「どちらとも言えない」が 23.7%となっています。



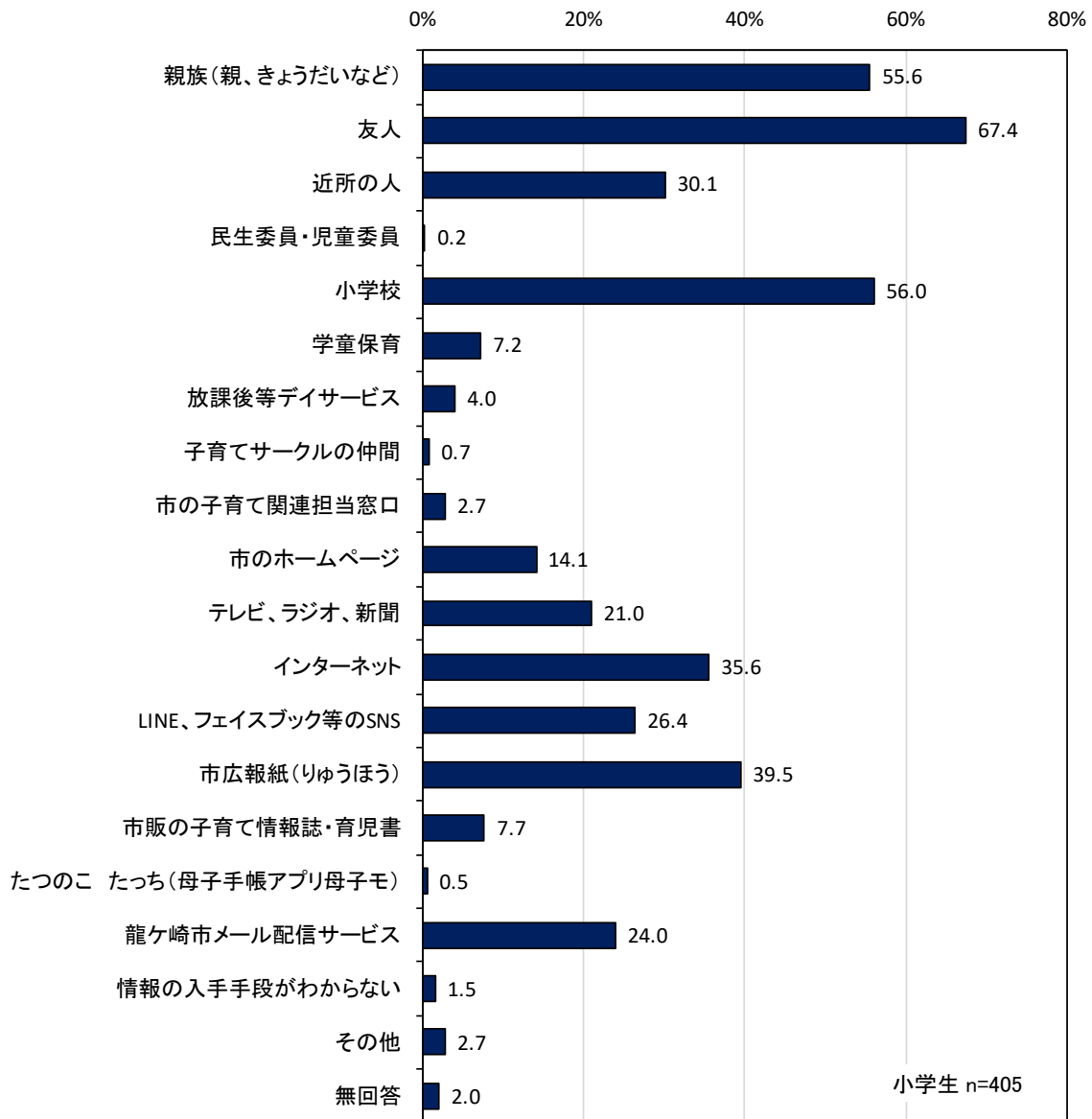
問 34 子育てに関する情報をどの程度入手できていると感じていますか。(1つのみ)

子育てに関する情報の入手状況については、「ある程度入手できている」が 70.4%で最も高く、次いで「あまり入手できていない」が 16.8%、「充分に入手できている」が 6.7%となっています。



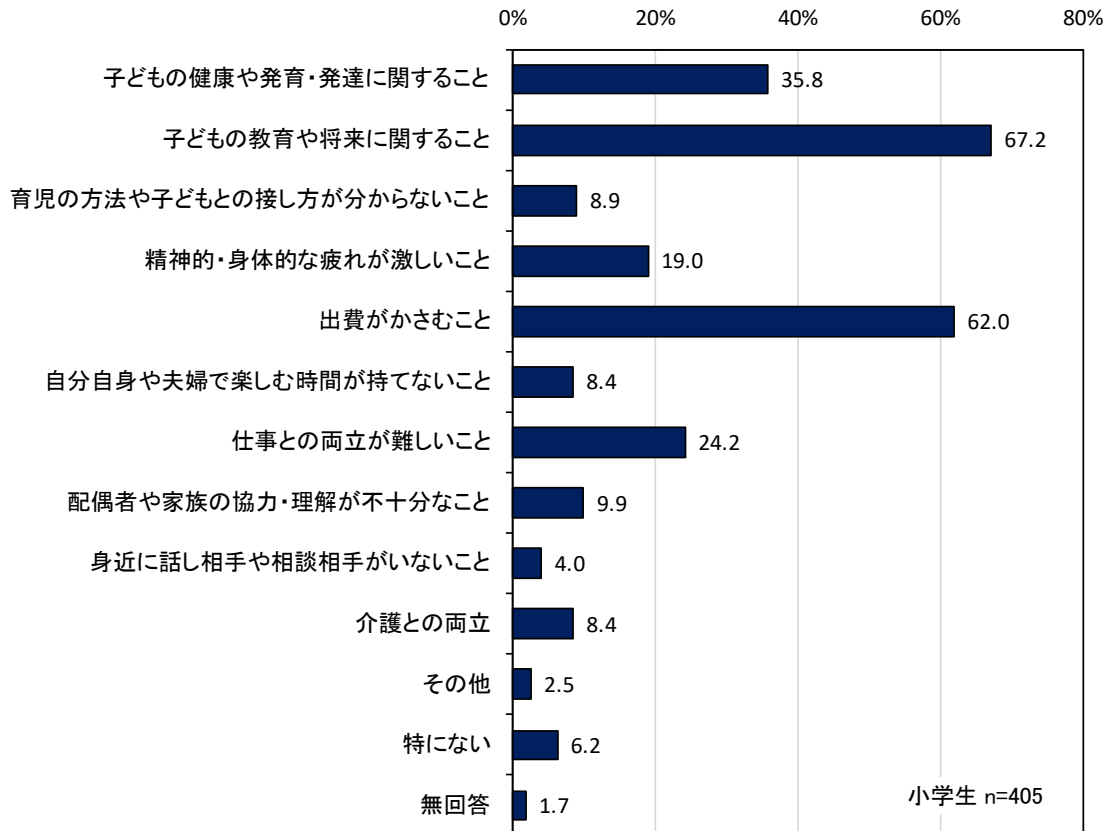
問 35 子育てに関する情報をどのように入手していますか。(いくつでも)

子育てに関する情報の入手先については、「友人」が67.4%で最も高く、次いで「小学校」が56.0%、「親族（親、きょうだいなど）」が55.6%となっています。



問36 子育てをする上で、不安に感じていることや悩んでいることはどのようなことですか。
(いくつでも)

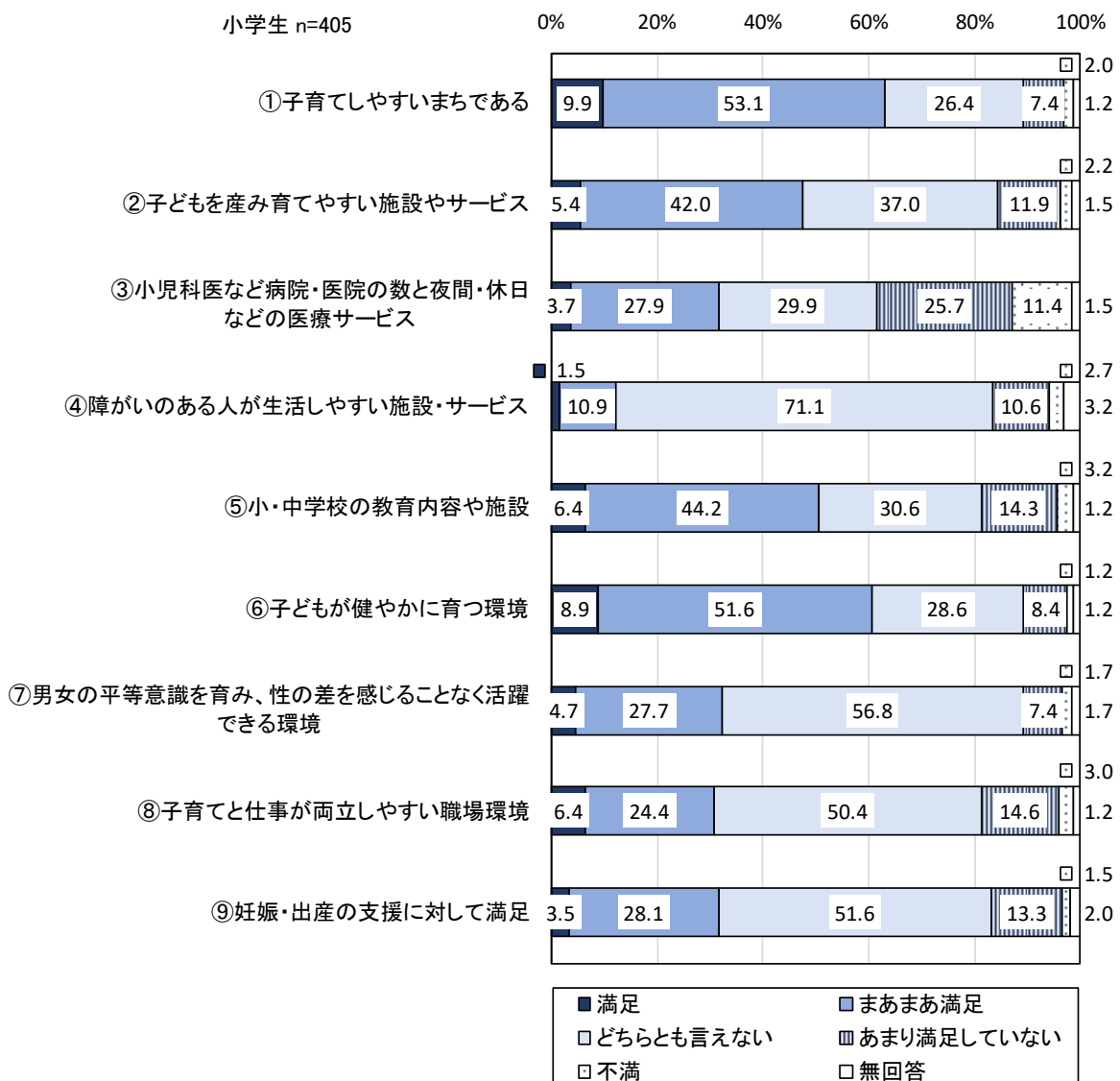
子育てをする上で、不安に感じていることや悩んでいることについては、「子どもの教育や将来に関すること」が67.2%で最も高く、次いで「出費がかさむこと」が62.0%、「子どもの健康や発育・発達に関すること」が35.8%となっています。



問37 龍ヶ崎市における子育ての環境や支援へのそれぞれの満足度についてお答えください。
(それぞれ1つのみ)

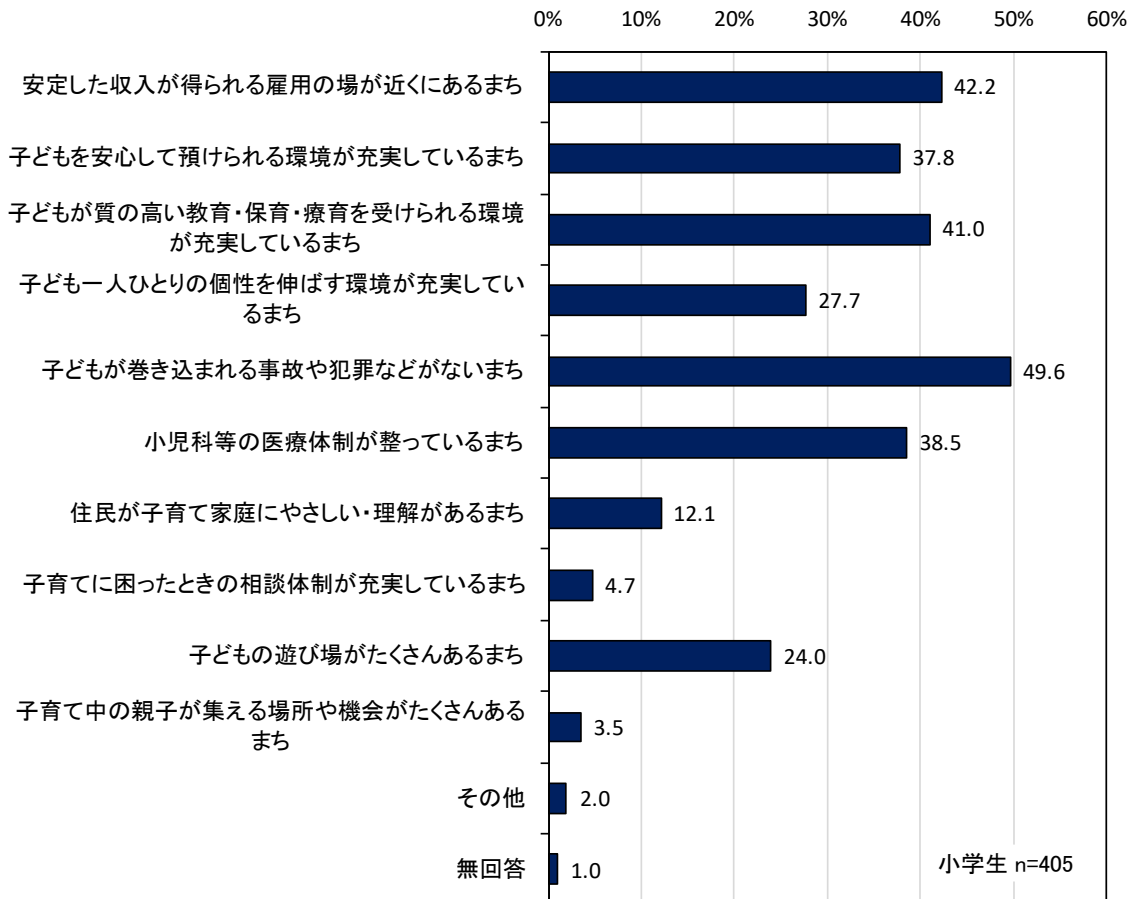
龍ヶ崎市の子育て環境や支援への満足度について、『満足している』割合（「満足」と「まあまあ満足」の合計値）、『満足していない』割合（「あまり満足していない」と「不満」の合計値）は、以下のとおりとなっています。

項目	『満足している』	『満足していない』
①子育てしやすいまちである	63.0%	9.4%
②子どもを産み育てやすい施設やサービス	47.4%	14.1%
③小児科医など病院・医院の数と夜間・休日などの医療サービス	31.6%	37.1%
④障がいのある人が生活しやすい施設・サービス	12.4%	13.3%
⑤小・中学校の教育内容や施設	50.6%	17.5%
⑥子どもが健やかに育つ環境	60.5%	9.6%
⑦男女の平等意識を育み、性の差を感じることなく活躍できる環境	32.4%	9.1%
⑧子育てと仕事が両立しやすい職場環境	30.8%	17.6%
⑨妊娠・出産の支援に対して満足	31.6%	14.8%



問38 子育てしやすいまちとは、どのようなまちですか。(3つまで)

子育てしやすいまちについては、「子どもが巻き込まれる事故や犯罪などがないまち」が49.6%で最も高く、次いで「安定した収入が得られる雇用の場が近くにあるまち」が42.2%、「子どもが質の高い教育・保育・療育を受けられる環境が充実しているまち」が41.0%となっています。



問 39 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

全部で 139 の回答があり、内訳は以下のとおりとなっています。ひとりの対象者が複数の項目に関して記述している場合もありますが、ここでは主な意見を 1 つとして分類してあります。

分類／主な意見（抜粋）	件数
●経済的支援について	37
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの人数に関係なく進学時にかかる金銭的サポートの充実。 ・私立小・中学校進学への学費援助があると良い。 ・医療費の無償化。 ・給食費無償化。 ・ランドセルを無償提供等、出費が重なる入学などの節目のサポート。 	
●学校教育・施設について	24
<ul style="list-style-type: none"> ・先生の教育の質を上げてほしい。 ・1学年1クラスの学校は教育上いろいろと都合が悪いと思いますので、早急に統合を進めていただきたいと思います。 ・体調がすぐれない時のオンライン授業を検討してほしい。 	
●遊び場、公園、交流について	19
<ul style="list-style-type: none"> ・公園は多いが、広いだけで遊具が少ない。もっと木を植えて日陰がほしい。たつこの公園のトイレが汚い。 ・子ども達が安心してのびのび遊べる場所を学区毎に整備してほしい。 	
●医療について	11
<ul style="list-style-type: none"> ・夜間の小児救急が遠方にしかないことを不安に思っています。 ・救急医療（子どもの）が身近にあってほしい。 	
●障がい・発達について	9
<ul style="list-style-type: none"> ・放課後等デイサービスでの子ども達への言葉遣いや怒り方、対応に大きな差がある様に感じます。市職員の見学や監査等、事前報告なしで行って下さると現状どの様な状況下が分かると思います。 ・デイサービスの施設、グループホーム、相談員の充実などにも力を入れてほしいです。 	
●市政について	7
<ul style="list-style-type: none"> ・子育て日本一のまちとしてこれからも多方面の子育てしやすい環境整備に取り組んでいただけることを期待しています。 ・非課税世帯にも当てはまらない収入の低い世帯にも住みやすいまちになってほしい。 	
●学童保育について	6
<ul style="list-style-type: none"> ・小学生も延長保育のような、都合がつかない時だけ学童利用等があると大変助かる。 	
●安心・安全について	5
<ul style="list-style-type: none"> ・自転車の交通ルール、マナーなど定期的に講習会をしてほしい。 ・夜は道や明りが暗くなり、少し環境が悪くなる。 ・最近 SNS での事件に巻き込まれる等が多くなっているので、小学校で子どもに向けた勉強会などをやってほしい。 	

●子育て支援全般について	5
<ul style="list-style-type: none"> ・駅前こどもステーション（送迎サービス）が来年終了してしまうのは残念だと思いました。 ・現在、共働き世帯が多いので、小学校の放課後の過ごし方は学童だけではなく、他の選択肢があったらいいと思う。民間になるが、日本YMCA 同盟のような施設が市内にもできたらいいと思う。 	
●情報提供について	4
<ul style="list-style-type: none"> ・途中から転入した子育て世帯、時に母子父子家庭にサービス情報や手当など、見える化にした方がよい。市役所に行かなければいけない事など普段から情報など、公表すべきだと思う。 	
●図書館・児童館について	3
<ul style="list-style-type: none"> ・児童館の数を増やし、年齢制限をなくしてほしい。 	
●利便性について	3
<ul style="list-style-type: none"> ・高校生が駅まで遠いので通学が困難となり学校選びにも悩むところとなってしまう。 	
●就労について	2
<ul style="list-style-type: none"> ・共働きが増えている中、子どもを預ける施設やサービスが増えていることは分かりますが、子どもと一緒に過せる時間が増えないことが問題だと思う。愛情不足だったり貧困差があったりして育てる環境（家庭の中で）が昔と比べて悪くなっている様を感じる。 	
●学習支援について	2
<ul style="list-style-type: none"> ・教育格差についての対策。 	
●保育所（園）について	2
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが小さいときにリフレッシュ保育には大変助けていただきました。保育園の一時保育サービスはあると本当に助かると思います。 	

IV 資料編（調査票）

1. 就学前児童の調査票

龍ヶ崎市子ども・子育て支援に関するニーズ調査 〔就学前児童の保護者の皆さまへ〕

皆さまには、日頃から児童福祉行政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。
さて、本市では、令和2年3月に策定した「第2期龍ヶ崎市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、家庭・地域・関係機関等が互いに連携し、未来を担うすべての子どもたちの幸せを第一に考え、すべての子育て家庭が安心して子どもを育てることができるよう、子どもの出生から自立に至るまで、一貫性・継続性のある支援に努めています。

このたび、第2期計画期間が令和6年度に終了することに伴い、「第3期龍ヶ崎市子ども・子育て支援事業計画（令和7年度～令和11年度）」を策定します。

そこで、市民の皆さまの『教育・保育施設や地域の子育て支援事業等』に関する「利用状況」や「利用希望」を把握するとともに、「ご意見・ご要望」をお聞きするニーズ調査を実施します。

この調査は、住民基本台帳から就学前のお子さんを出し、保護者の皆さまにご協力をお願いするものです。ご回答いただいた調査内容は、個人が特定されないよう統計的に処理し、調査の目的以外に使用することはありません。

つきましては、ご多忙のことは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和6年1月

龍ヶ崎市 市長 萩原 勇

<ご記入にあたってのお願い>

1. 本調査の対象者は、**令和5年12月1日現在**で抽出しています。
2. ご記入は、**宛名のお子さんの保護者の方**にお願いいたします。
3. ご回答は、**選択肢に○(し点)**をつけていただく場合と、**数字をご記入**いただく場合がございます。また、「その他」を選択した場合には、() 内に具体的な内容をご記入ください。
4. 時間を数字でご記入いただく場合、**24時間制(例:09時～18時)**でご記入ください。
5. 設問によっては、**ご回答いただく方が限られる場合がございます**。注意書きや失印に従ってご回答ください。特に注意書きのない場合は次の設問へお進みください。
6. ご記入いただいたアンケート用紙は、お手数ですが、**2月2日(金)まで**に**同封の返信用封筒**に入れて、郵便ポストにご投函ください。**切手の貼付やお前の記入は必要ありません**。

ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。



龍ヶ崎市 福祉部 ことも家庭課
電話:0297-64-1111(内線 247)
F A X:0297-64-7008
Eメール:kodomo@city.ryugasaki.lg.jp

本調査票における用語の定義の内容

用語/定義	
幼稚園	学校教育法に定める3～5歳児に対して学校教育を行う施設(学校教育法第22条)
保育所(園)	児童福祉法に定める保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設(児童福祉法第39条)
認定こども園	幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設(就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項)
子育て	教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
子育て世代包括支援センター	妊娠、出産、子育てに関する相談及び支援を行う
プレ・ママ教室、プレ・パパ教室	妊娠やその配偶者を対象とした出産に向けての沐浴等を事前に体験する場の提供
離乳食教室	管理栄養士による離乳食初期についての講話
子どもの健康相談	身体測定や保健師・管理栄養士などによる相談
子育てふれあいセミナー	小学校低学年の保護者を対象に実施する家庭教育に関する学習機会
教育センター	学校教育に関する指導・相談を行う
保育所(園)の園庭開放	保育所の園庭を幼稚園や保育所に通う前の子どもにも地域で遊ぶ場として開放する事業
幼稚園の園庭開放・親子登園等	保育所同様、幼稚園の園庭を開放するとともに、幼稚園の行事などを体験する事業
さんさん館子育て支援センター・駅前こどもステーション・地域子育て支援センター	各施設において、幼稚園や保育所に通う前の子どももその保護者もステーション・地域子育て支援センター
子どもの居場所づくり・たつのこ児童館	たつのこや管理棟において、ボランティアサポーターのもと、臨時的・一時的な保育ニーズに対応するため、地域において子育ての相互援助活動を行う会員の組織
ファミリーサポーター	保護者が美容室や病院等の子どもを連れていけない用事により、さんさん館内の保育ルームにおいて有料で一時的に子どもを預かる事業
リフレッシュ保育	保育の知識と経験を持ち、有料で一時的に子どもを預かるサービスを提供する者
保育サポーター	一時保育やリフレッシュ保育等のサービスを利用した際の利用料の一部を市が助成する事業
たつのこ預かり保育利用助成金事業	保育サポーターのサービスを利用した際の利用料の一部を市が助成する事業
子育てサポート利用助成事業	子どもを取り巻く家庭生活全般に関する相談を行う
子ども家庭総合支援室	妊娠から子育て世代を対象とした、子どもの成長に合わせた市の子ども・子育て事業などの情報を掲載したガイドブック
子育てガイドブック	発達に課題等がある未就学のお子さんに対し、日常生活の基本的な動作指導、集団生活への適応訓練等の便宜を提供する事業所
児童発達支援事業所	お子さんの発達を促すような関わり方について、専門の指導員が個別で指導します。
おひさまくらぶ(発達相談)	お子さんへの関わり方について、専門の指導員が個別支援を行います。
たんぽぽくらぶ(育児支援相談)	子育てに関する専門の相談員です。保護者のニーズに応じた様々な支援サービスの情報提供などを行います。
子育て支援コンシェルジュ	乳幼児の外出支援のため、おむつ交換場・ミルク用のお湯の提供
たつのこ育て応援の店	保護者の通勤時間等の状況により、保育所の開所時間内にお子さんの送迎が難しい場合に、バスで送迎する事業です。
駅前こどもステーション(送迎サービス)	

1. お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区についてお答えください。(1つのみ)

龍ヶ崎小学校区 大宮小学校区 八原小学校区
 制梁小学校区 川原代小学校区 龍ヶ崎西小学校区
 松葉小学校区 長山小学校区 駒馬台小学校区
 久保台小学校区 城ノ内小学校区 わからない
 (お住まいの町名 _____ 町)

2. 封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。(口内に数字をご記入ください。)

西暦 年 月 生まれ

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数をご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合、末子の方の生年月月をご記入ください。(口内に数字をご記入ください。)

きょうだい数 人 / 末子の生年月 西暦 年 月 生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。また、ご回答いただく方の年代をお答えください。(それぞれ1つのみ)

(1) 回答者 母親 父親 その他 (_____)

(2) 年代 10代 20代 30代
 40代 50代 60代以上

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(1つのみ)

配偶者がいる 配偶者がいない

問6 宛名のお子さん子育て(教育を含む)を主にやっているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(1つのみ)

父母ともに 主に母親 主に父親 主に祖父母 その他 (_____)

問7 宛名のお子さんを妊娠した際、または生まれた時に龍ヶ崎市内にお住まいでしたか。(1つのみ)

はい ⇒ 問8へ いいえ ⇒ 問7-1へ

問7-1 問7で「はい」と回答した方にうかがいます。

龍ヶ崎市内に入居した理由をお聞かせください。(いくつでも)

買い物など生活するの便利 家賃や住宅購入費が安い
 交通の便が良い 医療機関が充実している
 自然環境が良い 保育施設や子育て支援サービスが充実している
 教育環境が良い 親族が龍ヶ崎市内に住んでいる
 公共施設や道路・公園などが整っている その他 (_____)

3. 宛名のお子さんの育ちをめぐれる環境についてうかがいます。

問8 宛名のお子さん子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(いくつでも)

父母ともに 母親 父親 祖父母
 幼稚園 保育所(園) 認定こども園 児童発達支援事業所
 その他 (_____)

問9 宛名のお子さん子育て(教育を含む)に、特に影響すると思われる環境は何ですか。(いくつでも)

家庭 地域 幼稚園
 保育所(園) 認定こども園 子育て支援センター
 児童発達支援事業所 その他 (_____)

問10 日頃、宛名のお子さんをみてももらえる親族・知人はいいますか。(いくつでも)

日常的に祖父母等の親族にみてももらえる ⇒ 問10-1へ
 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてももらえる
 日常的に子どもをみてももらえる友人・知人がいる ⇒ 問10-2へ
 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてももらえる友人・知人がいる
 いずれもない ⇒ 問11へ

問10-1 問10で「日常的に祖父母等の親族にみてももらえる」、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてももらえる」と回答した方にうかがいます。

祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(いくつでも)

祖父母等の親族の身体的・精神的負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてももらえる
 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である
 祖父母等の親族の時間的制約や精神的負担が大きく心配である
 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
 その他 (_____)

問 10-2 問 10 で「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」と回答した方にかがいます。

友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(いくつでも)

友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる

友人・知人の身体的負担が大きく心配である

友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である

自分たち親の立場として、負担をかけることが心苦しい

子どもの教育や養育にとってささやかなり理窟であるか、少し不安がある

その他()

問 11 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。(1つのみ)

いる/ある ⇒ 問 11-1へ いない/ない ⇒ 問 12へ

問 11-1 問 11 で「いる/ある」と回答した方にかがいます。

宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できるのは、誰(どこ)ですか。(いくつでも)

配偶者(パートナー)

親戚(兄弟姉妹含む)

近所の人

保育士

子育て支援センター(さんさん館等を含む)

児童発達支援事業所

民生委員・児童委員

かかりつけの医師

父母(子どもの祖父母)

友人

職場の人

幼稚園教諭

保健センター

保育サポーター

市の子育て関連窓口

その他(別紙にシッター)

問 12 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

4. 宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問 13 保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をお答えください。(1つのみ)

(1) 母親の状況について 【父子家庭の場合、記入は不要です】

フルタイム*1で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない

フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である ⇒ 問 1-1・2へ

パート・アルバイト等*2で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない

パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である

以前は就労していたが、現在は就労していない

これまで就労したことがない ⇒ 問 13(2)へ

*1 フルタイム：1週5日程度・1日8時間程度の就労
*2 パート・アルバイト等：フルタイム以外の就労

(1) -①・② (1) で「就労している」と回答した方にかがいます。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」、「家を出る時間」と「帰宅時間」をお答えください。(口内に数字をご記入ください。)

※就労日数や就労時間などが一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

※時間は24時間制(例：帰宅時間 19時)

① 就労日数・就労時間	1週当たり	□□	日 / 1日当たり	□□	時間
② 家を出る時間・帰宅時間	家を出る時間	□□	時 / 帰宅時間	□□	時

(2) 父親の状況について 【母子家庭の場合、記入は不要です】

フルタイム*1で就労しており、産休・介護休業中ではない

フルタイムで就労しているが、産休・介護休業中である ⇒ 問 2-1・2へ

パート・アルバイト等*2で就労しており、産休・介護休業中ではない

パート・アルバイト等で就労しているが、産休・介護休業中である

以前は就労していたが、現在は就労していない

これまで就労したことがない ⇒ 問 13-2へ

*1 フルタイム：1週5日程度・1日8時間程度の就労
*2 パート・アルバイト等：フルタイム以外の就労

(2) -①・② (2) で「就労している」と回答した方にかがいます。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」、「家を出る時間」と「帰宅時間」をお答えください。(口内に数字をご記入ください。)

※就労日数や就労時間などが一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。

※産休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

※時間は24時間制(例：帰宅時間 19時)

① 就労日数・就労時間	1週当たり	□□	日 / 1日当たり	□□	時間
② 家を出る時間・帰宅時間	家を出る時間	□□	時 / 帰宅時間	□□	時

問13-1 問13の(1)または(2)で“就労している(パート・アルバイト等で就労している)”と回答した方にかがいます。

フルタイムへの転換希望はありますか。(1つのみ)

- (1) 母親
- フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
 - フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
 - パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
 - パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

- フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
- フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
- パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

問13-2 問13の(1)または(2)で“就労していない”と回答した方にかがいます。就労したいという希望はありますか。(該当する回答にそれぞれ1つのみ、該当する口内に数字をご記入ください。)

- (1) 母親
- 就労の予定はない(子育てや家事などに専念したい)
 - 1年より先、一番下の子どもが 歳になったら就労したい
 - すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
- 希望する フルタイム
就労形態 パートタイム・アルバイト等(「フルタイム」以外)
- (1週当たり 日 / 1日当たり 時間)

(2) 父親

- 就労の予定はない(子育てや家事などに専念したい)
 - 1年より先、一番下の子どもが 歳になったら就労したい
 - すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
- 希望する フルタイム
就労形態 パートタイム・アルバイト等(「フルタイム」以外)
- (1週当たり 日 / 1日当たり 時間)

※すべての方にかがいます。
問14 あなたが、子育てと仕事を両立する上で大変だと感じることは何ですか。(いくつでも)

- 家族の理解が得られない
- 配偶者(パートナー)が家事・育児に対して非協力的
- 職場の理解が得られない
- 介護との両立
- 希望する保育所(園)などに預けられない
- 子どもと接する時間が少ない
- 自分の体調が悪い時、みてくれる人がいない
- 子どもの急な体調の変化への対応
- 自分の自由な時間もでない
- 特に大変だと感じることはない
- その他()

5. 宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育サービスの利用状況についてうかがいます。

※ここでいう「定期的な教育・保育サービス」とは、月単位で定期的にご利用しているサービスを指します。具体的には、幼稚園や保育所、認定こども園など、問15-1に示したサービスが含まれます。

- 問15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所、認定こども園などの「定期的な教育・保育サービス」を利用していますか。(1つのみ)
- 利用している ⇒ 問15-1へ 利用していない ⇒ 問15-5へ

問15-1 問15で「利用している」と回答した方にかがいます。

宛名のお子さんは、平日にどのような教育・保育サービスを利用していますか。年間を通じて「定期的」に利用しているサービスをお答えください。(いくつでも)

- 幼稚園(通常の就園時間の利用)
- 幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かるサービスのうち定期的な利用のみ)
- 認可保育所(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた保育所)
- 認定こども園(幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設)
- 小規模保育事業(定員が6人以上19人以下の少人数で行う保育施設)
- 家庭的保育事業(保育者の家庭等で5人以下の子どもの保育する施設)
- 事業所内保育事業(企業が主に従業員用に運営する施設)
- 自治体の認証・認定保育施設【※】(認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設)
- その他の認可外の保育施設
- 居宅訪問型保育【※】(ハビシッターのような保育者が子どもを家庭で保育するサービス)
- 児童発達支援事業所(子ども発達センターつばき園含む)
- ファミリーサポートセンター(地域住民が子どもを預かる事業)
- その他()

【※】が付いている施設は、現在鎌ケ崎市では実施しておりません。

問 15-2 問 15 で「利用している」と回答した方にかがいます。

平日に定期的に利用している教育・保育サービスについて、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。(□内に数字をご記入ください。)

※時間は 24 時間制 (例: 09 時~18 時)

(1) 現在	1 週当たり □ □ 日 / 1 日当たり □ □ 時	□ □ 時 ~ □ □ 時
(2) 希望	1 週当たり □ □ 日 / 1 日当たり □ □ 時	□ □ 時 ~ □ □ 時

問 15-3 問 15 で「利用している」と回答した方にかがいます。

現在、利用している教育・保育サービスの実施場所はどちらですか。(1つのみ)

龍ヶ崎市内 牛久市 取手市 利根町 その他 (_____ 市町村)

問 15-4 問 15 で「利用している」と回答した方にかがいます。

平日に定期的に教育・保育サービスを利用されている理由は何ですか。(いくつでも)

子どもの教育や発達のため

子育て (教育を含む) をしている方が現在就労している

子育て (教育を含む) をしている方が就労予定がある/求職中である

子育て (教育を含む) をしている方が家族・親族などを介護している

子育て (教育を含む) をしている方が病気や障がいがある

子育て (教育を含む) をしている方が学生である

その他 (_____)

問 15-5 問 15 で「利用していない」と回答した方にかがいます。

平日に定期的な教育・保育サービスを利用していない理由は何ですか。(いくつでも、□内に数字をご記入ください。)

利用する必要がない (子どもの母親が父親が就労していないため)

子どもの祖父母や親戚の人がみている

近所の人や父母の友人・知人がみている

利用したいが、保育・教育のサービスに空きがない

利用したいが、経済的な理由でサービスを利用できない

利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない

利用したいが、サービスの質や場所など、納得できるサービスがない

子どもがまだ小さいため (□ □ 歳くらいになったら利用しようと考えている)

その他 (_____)

問 15-6 問 15 で「利用していない」と回答した方にかがいます。

「子ども誰でも通園制度 (仮称) *」が実施された場合には、どう利用されますか。(1つのみ)

利用することは考えていない

月 10 時間程度、利用したい

月 30 時間程度、利用したい

*1 「子ども誰でも通園制度 (仮称)」とは、生後6か月~2歳までの子を持つ保護者が就労などの要件を満たしていなくても、誰もが定期的に保育施設に通えるようにする制度。

※すべての方にかがいます。

問 16 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育のサービスとして、「定期的に」利用したいと考えるサービスについてお答えください。なお、これらのサービスの利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。(いくつでも)

幼稚園 定期的な預かり保育

認可保育所 認定こども園

小規模保育施設 家庭的保育事業

事業所内保育事業 自治体の認証・認定保育施設

その他の認可外の保育施設 居宅訪問型保育

児童発達支援事業所 ファミリーサポートセンター

その他 (_____)

問 16-1 教育・保育サービスを利用したい場所はどこですか。(1つのみ)

龍ヶ崎市内 牛久市 取手市 利根町 その他 (_____ 市町村)

問 16-2 問 16 で「幼稚園」または「定期的な預かり保育」を回答し、かつ「認可保育所」から「その他」を回答した方にかがいます。

特に幼稚園 (幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む) の利用を強く希望しますか。(1つのみ)

はい いいえ

6. 宛名のお子さんの地域の子育て支援サービスの利用状況についてかかいます。

子育て支援センターとは…

子育て親子の交流の場の提供、子育てサークルの育成や支援、子育てに関する相談や情報の提供、子育て講座などを行う場所として、龍ヶ崎市には、さんさん館子育て支援センター、駅前こどもステーション、地域子育て支援センター (ときわ保育園、まつやま中央保育園、ながと夢保育園) があります。

問 17 龍ヶ崎市の子育て支援センターを知っていますか。(1つのみ)

知っている (一か所でも知っている) ⇒ 問 17-1A 知らない ⇒ 問 18A

問 17-1 問 17 で「知っている (一か所でも知っている)」と回答した方にかがいます。

宛名のお子さんは、現在、龍ヶ崎市の子育て支援センターを利用していますか。また、おおよその利用回数 (頻度) をお答えください。(いくつでも、該当する□内に数字をご記入ください。)

さんさん館子育て支援センター
→ 1 週当たり □ □ 回 もしくは 1 か月当たり □ □ 回程度 ⇒ 問 17-2A

駅前こどもステーション子育て支援センター
→ 1 週当たり □ □ 回 もしくは 1 か月当たり □ □ 回程度 ⇒ 問 17-2A

地域子育て支援センター
→ 1 週当たり □ □ 回 もしくは 1 か月当たり □ □ 回程度 ⇒ 問 17-2A

利用していない ⇒ 問 17-3A

問17-2 「地域子育て支援センター」「親子遊び」「子育てサークル」など、利用したいサービスについて、
 ※以下のサービスの内容については、2ページを参照ください。

- 親子で遊ぶ 子育てに関する相談
- 友達をつくる、交流をはかる 学習
- 情報収集 子育てサークルをつくる (子育てグループ)
- 職員と話す その他 ()

問17-3 問17-1で「利用していない」と回答した方に向かいます。
 子育て支援センターを利用していない理由は何ですか。(いくつでも)

- サービスの内容が地域にない
- サービスの内容に不満がある
- 地域のサービスの利便性が悪い
- 自分がサービスの対象者になるかどうか分からない
- 時間がない
- サービスの利用方法 (手続き等) がわからない
- 幼稚園・保育所 (園) に入園・入所しているから
- 特に理由はない
- その他 ()

問18 龍ヶ崎市の子育て支援センターについて、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。おおよその利用回数 (頻度) もご記入ください。
 (1つのみ、該当する口内に数字をご記入ください。)

- 利用していないが、今後利用したい
 ↳ 1週当たり 回 もしくは 1か月当たり 回数
- すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
 ↳ 1週当たり さらには 回 もしくは 1か月当たり さらには 回数
- 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問19 下記のサービスで知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思えるものをお答えください。(①～⑩のサービスごとに、A～Cのそれぞれについて、1つのみ)

サービス	A 知っている		B これまでに利用したことがある		C 今後利用したい	
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
① 子育て世代包括支援センター	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② プレ・ママ教室、プレ・パパ教室	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 離乳食教室	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④ こどもの健康相談	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑤ 子育てふれあいセミナー	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑥ 教育センター	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑦ 保育所の園庭開放	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑧ 幼稚園の園庭開放・親子登園等	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑨ さんさん館子育て支援センター	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑩ 駅前こどもステーション子育て支援センター	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

サービス	A 知っている		B これまでに利用したことがある		C 今後利用したい	
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
※以下のサービスの内容については、2ページを参照ください。						
① 地域子育て支援センター	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 子どもの居場所づくり・たつのこ児童館	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ ファミリーサポートセンター	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④ リフレッシュ保育	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑤ 保育サポーター	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑥ たつのご預かり保育利用助成金事業	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑦ 子育てサポート利用助成事業	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑧ 子ども家庭総合支援室	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑨ 子育てガイドブック	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑩ おひさまくらぶ (発達相談)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑪ たんぼほくらぶ (育児支援相談)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑫ 子育て支援コンシェルジュ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑬ たつのご育て応援の店	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑭ 駅前こどもステーション (送迎サービス)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑮ 子ども発達支援センターつぼみ園	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

7. 宛名のお子さんの土・祝日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育サービスの利用希望についてうかがいます。

※「教育・保育サービス」とは、幼稚園、保育所(園)、認定こども園、認可外保育施設などのサービスを指し、親族・知人による預かりは含みません。

問20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育サービスのご希望と利用したい時間帯をご記入ください。
 定期的な利用は除きます。利用希望と利用したい時間帯をご記入ください。
 なお、これらのサービスの利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。
 (それぞれ1つのみ、口内に数字をご記入ください) ※時間は24時間制 (例: 09時から 18時)

	利用する必要がある	利用する必要がある	利用したい時間帯
(1) 土曜日	<input type="checkbox"/> 利用する必要はない	<input type="checkbox"/> ほぼ毎週利用したい] ⇒ <input type="checkbox"/> 時から <input type="checkbox"/> 時まで
(2) 日曜日・祝日	<input type="checkbox"/> 利用する必要はない	<input type="checkbox"/> ほぼ毎週利用したい] ⇒ <input type="checkbox"/> 時から <input type="checkbox"/> 時まで

問20-1 問20の(1)もしくは(2)で「月に1～2回は利用したい」と回答した方に向かいます。
 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何か。(いくつでも)

- 月に数回仕事が入るため
- 買い物等の用事をまとめて済ませるため
- 親や親族等の介護や手伝いが必要のため
- リフレッシュのため
- その他 ()

問 21 「幼稚園」を利用されている方にかがいます。
 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育サービスの利用を希望しますか。利用希望と利用したい時間帯をご記入ください。なお、これらのサービスの利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。(1つのみ、口内に数字をご記入ください)
 ※時間は 24 時間制 (例：09 時から 18 時)

利用する必要はない
 利用する必要がある
 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい] ⇒ 時から 時まで
 休みの期間中、週に数日利用したい

問 21-1 問 21 で「休みの期間中、週に数日利用したい」と回答した方にかがいます。
 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何か。(いくつでも)

週に数回仕事が入るため
 買い物等の用事をまとめて済ませるため
 親や親族等の介護や手伝いが必要のため
 リフレッシュのため
 その他 ()

8. 宛名のお子さんの病気やケガの際の対応についてうかがいます。

問 22 問 15 (現在、幼稚園や保育所、認定こども園などの「定期的な教育・保育サービス」を利用されていますか。)で「利用している」と回答した方にかがいます。

この 1 年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常のサービスの利用できなかったことはありましたか。(1つのみ)

あった ⇒ 問 22-1A なかった ⇒ 問 23A

問 22-1 問 22 で「あった」と回答した方にかがいます。

宛名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育のサービスが利用できなかった場合に、この 1 年間に行った対処方法はどれですか。それぞれの日数もご記入ください。

(いくつでも、口内に数字をご記入ください。) ※半日程度の利用も 1 日としてください。

1 年間の対処方法	日数 (年間)
<input type="checkbox"/> 父親が休んだ	<input type="text"/> 日 ⇒ 問 22-2A
<input type="checkbox"/> 母親が休んだ	<input type="text"/> 日
<input type="checkbox"/> (同居者を含む) 親族・知人に子どもを看てもらった	<input type="text"/> 日
<input type="checkbox"/> 父親または母親のうら就業していない方が子どもを看た	<input type="text"/> 日
<input type="checkbox"/> 病児・病後児の保育を利用した	<input type="text"/> 日
<input type="checkbox"/> ベビーシッターを利用した	<input type="text"/> 日 ⇒ 問 22-5A
<input type="checkbox"/> 保育サポーターを利用した	<input type="text"/> 日
<input type="checkbox"/> 仕方なく子どもだけで留守番させた	<input type="text"/> 日
<input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="text"/> 日

問 22-2 問 22-1 で「父親が休んだ」、「母親が休んだ」と回答した方にかがいます。
 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。日数についてもご記入ください。なお、病児・病後児のためのサービスの利用には、一定の利用者負担があり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。(1つのみ、口内に数字をご記入ください。)

できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ 年間 日] ⇒ 問 22-3A
 利用したいとは思わない ⇒ 問 22-4A

問 22-3 問 22-2 で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した方にかがいます。

病児・病後児保育の望ましいサービス形態はどれですか。(いくつでも)
 他の施設 (例：幼稚園・保育所等) に併設した施設で子どもを保育するサービス
 小児科に併設した施設で子どもを保育するサービス
 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育するサービス
 (例：ファミリーサポートセンター・NPO等が実施する保育サポート)
 その他 ()

問 22-4 問 22-2 で「利用したいとは思わない」と回答した方にかがいます。

そう思われる理由は何ですか。(いくつでも)
 病児・病後児を他人に着てもらうのは不安
 地域のサービスの質に不安がある
 地域のサービスの利便性が悪い (立地や利用可能時間・日数など)
 利用料がかかると高い
 利用料がわからない
 親が仕事を休んで対応できる
 その他 ()

問 22-5 問 22-1 で「(同居者を含む) 親族・知人に子どもを看てもらった」から「その他」を回答した方にかがいます。

その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。問 22-1 の「(同居者を含む) 親族・知人に子どもを看てもらった」から「その他」の日数のうち、仕事を休んで看った日数についてもご記入ください。
 (1つのみ、口内に数字をご記入ください。)

できれば仕事を休んで看たい ⇒ 年間 日 ⇒ 問 23A
 休んで看るとは非常に難しい ⇒ 問 22-6A

問 22-6 問 22-5 で「休んで看るとは非常に難しい」と回答した方にかがいます。

そう思われる理由は何ですか。(いくつでも)
 子どもの看護を理由に休みがとれない
 自営業なので休めない
 休暇日数が足りないので休めない
 就業先の労働的に休みが取りづらい
 その他 ()

9. 宛名のお子さんの不定期の教育・保育サービスや宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問 23 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用しているサービスはありますか。1年間の利用日数(おおよそ)もご記入ください。
(1つのみ、ア～エはいくつでも、利用する日数を口内にご記入ください。)

□ 利用している	年間計	日
<input type="checkbox"/> ア. 一時預かり <small>(私用など理由を問わずに幼稚園や保育所(園)など一時的に子どもを保育するサービス)</small>	年間	日
<input type="checkbox"/> イ. 幼稚園の預かり保育 <small>(通常の就園時間を延長して解かるサービスのうち不定期に利用する場合のみ)</small>	年間	日
<input type="checkbox"/> ウ. ファミリーサポートセンター	年間	日
<input type="checkbox"/> エ. 保育サポーター	年間	日
<input type="checkbox"/> オ. ベビーシッター	年間	日
<input type="checkbox"/> カ. リフレクシユ保育	年間	日
<input type="checkbox"/> キ. その他 ()	年間	日
□ 利用していない	⇒ 問23-1へ	

問 23-1 問 23 で「利用していない」と回答した方にかがいます。

現在、利用していない理由は何ですか。(いくつでも)

<input type="checkbox"/> 特に利用する必要がない <input type="checkbox"/> 利用したいサービスが地域にない <input type="checkbox"/> 地域のサービスの質に不安がある <input type="checkbox"/> 地域のサービスの利便性が悪い(立地や利用可能時間・日数など) <input type="checkbox"/> 利用料がかかると高い <input type="checkbox"/> 利用料がわからない <input type="checkbox"/> 自分がサービスの対象者になるのかわからない <input type="checkbox"/> サービスの利用方法(手続き等)がわからない <input type="checkbox"/> その他 ()
--

問 24 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらいサービスを利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について選択し、必要な日数をご記入ください。なお、これらのサービスの利用には、一定の利用者負担が発生します。
(1つのみ、ア～エはいくつでも、利用する日数を口内にご記入ください。)

□ 利用したい	年間計	日
<input type="checkbox"/> ア. 私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレクシユ目的	年間	日
<input type="checkbox"/> イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等	年間	日
<input type="checkbox"/> ウ. 不定期の就労	年間	日
<input type="checkbox"/> エ. その他 ()	年間	日
□ 利用する必要はない	⇒ 問25へ	

問 24-1 問 24 で「利用したい」と回答した方にかがいます。

問 24 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれのサービス形態が望ましいと思われませんか。(いくつでも)

<input type="checkbox"/> 大規模施設で子どもを保育するサービス(例:幼稚園・保育所(園)等) <input type="checkbox"/> 小規模施設で子どもを保育するサービス(例:子育て支援センター等) <input type="checkbox"/> 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育するサービス <small>(例:ファミリーサポートセンター・NPO等が実施する保育サポート)</small> <input type="checkbox"/> その他 ()

問 25 宛名のお子さんについて、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族(兄弟姉妹含む)の育児疲れや育児不安、病気など)により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業(ショートステイ)(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)の利用希望の有無について選択し、それぞれ必要な泊数をご記入ください。
なお、これらのサービスの利用には、一定の利用者負担が発生します。
(1つのみ、ア～エはいくつでも、利用する宿泊数を口内にご記入ください。)

□ 利用したい	年間計	日
<input type="checkbox"/> ア. 冠婚葬祭	年間	日
<input type="checkbox"/> イ. 保護者や家族の育児疲れ・不安	年間	日
<input type="checkbox"/> ウ. 保護者や家族の病気	年間	日
<input type="checkbox"/> エ. その他 ()	年間	日
□ 利用する必要はない	⇒ 問25へ	

10. 宛名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

※5歳未満の方は⇒問28へお進みください。

学童保育とは...
 保護者が就労等により居間家庭にいない場合などに、放課後児童支援員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

放課後子ども教室とは...
 地域の協力を得て、土曜日(サタデースクール)に小学校で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する事業です。保護者の就労の有無に関わらず、小学校3年生～6年生までの児童が利用できます。

放課後等サービスとは...
 学校通学中の発達支援が必要な児童に対して、放課後や夏休み等の長期休暇中において、生活能力向上のための訓練等継続的に行う施設です。施設の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

問26 宛名のお子さんが小学校に入ったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまるものを選択し、それぞれ希望する週当たりの希望日数をご記入ください。また、「学童保育」の場合には、利用を希望する時間もご記入ください。

(いくつでも、口内に数字をご記入ください)
 ※時間は24時間制(例:下校時から17時まで)
 ※高学年は先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

希望する場所【複数選択可】	週当たりの希望日数【数字を記入】	
	低学年(1～3年生)	高学年(4～6年生)
<input type="checkbox"/> 自宅	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
<input type="checkbox"/> 祖父母または親戚宅	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
<input type="checkbox"/> 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
<input type="checkbox"/> 放課後子ども教室	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
<input type="checkbox"/> 小学校の余裕教室などの学童保育	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
<input type="checkbox"/> 放課後等サービス	下校時から <input type="text"/> 時まで	下校時から <input type="text"/> 時まで
<input type="checkbox"/> ファミリーサポートセンター	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
<input type="checkbox"/> その他(コミュニティセンター、公園など)	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい

問26-1 問26で「小学校の余裕教室などでの学童保育」と回答した方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童保育の利用希望はありますか。利用希望がある場合は、希望する時間帯もご記入ください。
 (それぞれ1つのみ、口内に数字をご記入ください。) ※時間は24時間制(例:09時から18時)

(1) 土曜日

低学年(1～3年生)の間は利用したい] ⇒ 利用したい時間帯

高学年(4～6年生)になっても利用したい] 時から 時まで

利用する必要はない

(2) 日曜日・祝日

低学年(1～3年生)の間は利用したい] ⇒ 利用したい時間帯

高学年(4～6年生)になっても利用したい] 時から 時まで

利用する必要はない

問27 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期休暇中に、学童保育の利用希望はありますか。利用希望がある場合は、希望する時間帯もご記入ください。

(1つのみ、口内に数字をご記入ください。) ※時間は24時間制(例:09時から18時)

低学年(1～3年生)の間は利用したい] ⇒ 利用したい時間帯

高学年(4～6年生)になっても利用したい] 時から 時まで

利用する必要はない

1.1. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます。

問 28 宛名のお子さんが生まれた時、父・母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。また、取得していない方はその理由をお答えください。

(1) 母親 (1つのみ)		(2) 父親 (1つのみ)	
<input type="checkbox"/>	働いていなかった	<input type="checkbox"/>	働いていなかった
<input type="checkbox"/>	取得した(取得中である)	<input type="checkbox"/>	取得した(取得中である)
<input type="checkbox"/>	取得していない	<input type="checkbox"/>	取得していない

(1) 母親	(2) 父親	取得していない理由 (いくつでも)
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	仕事が忙しかった
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	(産後後)に 仕事に早く復帰したかった
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	仕事に戻るのが難しそうだった
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	昇給・昇格などが遅れそうだった
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	収入減となり、経済的に苦しくなる
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	保育所等に預けることができた
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	配偶者が育児休業制度を利用した
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえらるなど、制度を利用する必要がなかった
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	子育てや家事に専念するため退職した
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	育児休業を取得できることを知らなかった
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他【母親】()
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他【父親】()

問 28-1 すべての方にうかがいます。

「育児休業給付*1」、「保険料免除*2」の仕組みをご存知でしたか。(1つのみ)

<input type="checkbox"/>	育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
<input type="checkbox"/>	育児休業給付のみ知っていた
<input type="checkbox"/>	保険料免除のみ知っていた
<input type="checkbox"/>	育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

*1 「育児休業給付」とは、子どもが原則1歳になるまで育児休業給付が支給される仕組み。保育所等における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は2歳まで取得できます。

*2 「保険料免除」とは、子どもが3歳になるまでの育児休業期間に健康保険及び学生年金保険の保険料が免除になる仕組み。法定の育児休業及び企業法を定める期間設けた育児休業に準ずる措置となります。

育児休業給付の受給資格は、育児休業を開始した日前2年間に被保険者期間が12か月以上必要となります。なお、育児休業を開始した日前2年間に被保険者期間が12か月ない場合は2歳まで取得できます。業や本人の疾病等がある場合は、受給要件が緩和され、受給要件を満たす場合があります。ただし、育児休業開始時点において、有期雇用労働者の場合は、育児休業開始時において、同一の事業主の下で1年以上雇用が継続しており、かつ、子が1歳6か月までの間に労働契約が更新されないことが明らかでないことが必要です。

問 28-2 「取得した(取得中である)」と回答した方にうかがいます。

※該当しない方は問 29へ

育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(それぞれ1つのみ)

(1) 母親	<input type="checkbox"/>	育児休業取得後、職場に復帰した ⇒ 問28-3へ
	<input type="checkbox"/>	現在も育児休業中である ⇒ 問28-9へ
	<input type="checkbox"/>	育児休業中に離職した ⇒ 問29へ
(2) 父親	<input type="checkbox"/>	育児休業取得後、職場に復帰した ⇒ 問28-3へ
	<input type="checkbox"/>	現在も育児休業中である ⇒ 問28-9へ
	<input type="checkbox"/>	育児休業中に離職した ⇒ 問29へ

問 28-3 問 28-2 で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所等入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。

なお、年度初めの認可保育施設入所を希望して、1月～2月頃に職場復帰、一時的に認可外保育施設に入所した場合などは選択後「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」にあてはまりません。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所等に入所できなかったという場合も「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」を選択してください。(それぞれ1つのみ)

(1) 母親	<input type="checkbox"/>	年度初めの入所に合わせたタイミングだった
	<input type="checkbox"/>	それ以外だった
(2) 父親	<input type="checkbox"/>	年度初めの入所に合わせたタイミングだった
	<input type="checkbox"/>	それ以外だった

問 28-4 問 28-2 で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、お子さんが何歳何か月のときまで取り戻ったかどうかですか。(それぞれ口内に実際の復帰時期をご記入ください)

(1) 母親	実際の復帰時期	歳	か月	希望の復帰時期	歳	か月
(2) 父親	実際の復帰時期	歳	か月	希望の復帰時期	歳	か月

問 28-5 問 28-2 で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取り戻ったかどうかですか。(それぞれ口内に希望の時期をご記入ください)

(1) 母親	歳	か月
(2) 父親	歳	か月

問 28-4で「実際の復帰時期」と「希望の復帰時期」が異なる方にうかがいます。
希望の時期に職場復帰しなかった理由をお答えください。

(1) 希望より早く復帰した方 (それぞれいくつでも)

(1) 母親	<input type="checkbox"/> 希望する保育所等に入るため <input type="checkbox"/> 配偶者や家族の希望があったため <input type="checkbox"/> 経済的な理由で早く復帰する必要があるため <input type="checkbox"/> 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため <input type="checkbox"/> その他 ()
(2) 父親	<input type="checkbox"/> 希望する保育所等に入るため <input type="checkbox"/> 配偶者や家族の希望があったため <input type="checkbox"/> 経済的な理由で早く復帰する必要があるため <input type="checkbox"/> 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため <input type="checkbox"/> その他 ()

(2) 希望より遅く復帰した方 (それぞれいくつでも)

(1) 母親	<input type="checkbox"/> 希望する保育所等に入らなかったため <input type="checkbox"/> 自分や子どもなどの体調が悪くなったため <input type="checkbox"/> 配偶者や家族の希望があったため <input type="checkbox"/> 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため <input type="checkbox"/> 子どもをみてくれる人がいなかったため <input type="checkbox"/> その他 ()
(2) 父親	<input type="checkbox"/> 希望する保育所等に入らなかったため <input type="checkbox"/> 自分や子どもなどの体調が悪くなったため <input type="checkbox"/> 配偶者や家族の希望があったため <input type="checkbox"/> 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため <input type="checkbox"/> 子どもをみてくれる人がいなかったため <input type="checkbox"/> その他 ()

問 28-7で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。
育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度*を利用しましたか。(それぞれ1つのみ)

(1) 母親	<input type="checkbox"/> 利用する必要がなかった (フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった) <input type="checkbox"/> 利用した ⇒ 問29へ
(2) 父親	<input type="checkbox"/> 利用しなかったが、利用しなかった (できなかった) ⇒ 問28-8へ <input type="checkbox"/> 利用する必要がなかった (フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった) <input type="checkbox"/> 利用した ⇒ 問29へ <input type="checkbox"/> 利用しなかったが、利用しなかった (できなかった) ⇒ 問28-8へ

*短時間勤務制度とは、所定労働時間を通常よりも短くする制度で、育児・介護休業法では、3歳未満のお子さんを養育する労働者が希望する場合、1日の所定労働時間を原則として6時間とすることを事業主に義務付けています。

問 28-8 問 28-7で「利用したかったが、利用しなかった(できなかった)」と回答した方にうかがいます。
短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由は何ですか。
(それぞれいくつでも)

(1) 母親	<input type="checkbox"/> 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった <input type="checkbox"/> 仕事が忙しかった <input type="checkbox"/> 短時間勤務にすると給与が減額される <input type="checkbox"/> 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる <input type="checkbox"/> 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した <input type="checkbox"/> 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた <input type="checkbox"/> 子育てや家事に専念するため退職した <input type="checkbox"/> 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めなかった) <input type="checkbox"/> 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった <input type="checkbox"/> その他 ()
(2) 父親	<input type="checkbox"/> 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった <input type="checkbox"/> 仕事が忙しかった <input type="checkbox"/> 短時間勤務にすると給与が減額される <input type="checkbox"/> 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる <input type="checkbox"/> 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した <input type="checkbox"/> 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた <input type="checkbox"/> 子育てや家事に専念するため退職した <input type="checkbox"/> 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めなかった) <input type="checkbox"/> 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった <input type="checkbox"/> その他 ()

問 28-9 問 28-2で「現在も育児休業中である」と回答し、お子さんが1歳未満の方にうかがいます。
宛名のお子さんまたは下のお子さんが1歳になったときに必ず利用できるサービイスがあれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられるサービイスがあっても1歳になる前に復帰しますか。
(それぞれ1つのみ)

(1) 母親	<input type="checkbox"/> 1歳になるまで育児休業を取得したい <input type="checkbox"/> 1歳になる前に復帰したい
(2) 父親	<input type="checkbox"/> 1歳になるまで育児休業を取得したい <input type="checkbox"/> 1歳になる前に復帰したい

1.2. 子どもの虐待防止についてうかがいます。

問 29 児童虐待について、あなたが知っていることは何ですか。(いくつでも)

- 「オレンジリボン」は、児童虐待防止のシンボルマークである
- 毎年11月1日はオレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン月間である
- 児童相談所虐待対応ダイヤルの番号は「189」である
- 児童虐待の通報先に市役所も含まれる
- 児童虐待を発見した者は、通報する義務がある
- 児童虐待を受けたと思われる子どもを発見した者は、通報する義務がある
- 児童虐待の通報は匿名でもかまわない
- 児童虐待の通報をした者の秘密は守られる

問 30 あなたのまわりには児童虐待または児童虐待の疑いのあるお父さんがある場合、どこに相談・通報しますか。(いくつでも)

- 市役所に相談・通報する
- 児童相談所に相談・通報する
- 警察に相談・通報する
- 子育て支援センターに相談・通報する
- 幼稚園・保育所等・小学校等に相談・通報する
- どこに相談・通報するかわからない
- その他 ()

問 31 あなたは、児童虐待の早期対応や被害児童等に対する保護・支援として、どのような取組が必要だと思いますか。(3つまで)

- 市役所・児童相談所・警察等の関係機関の連携強化
- 各関係機関の役割分担の明確化
- 職員に対する児童虐待防止や、被害児童への対応等に関する研修の充実
- 児童養護施設等の施設の充実
- 特別養子縁組や里親制度の普及啓発
- 被害児童の自立に向けた支援の充実
- 相談窓口の周知・充実
- 保護者への児童虐待防止に関する啓発
- 地域で子どもたちを見守るためのコミュニティの構築
- 療育施設の充実
- その他 ()

1.3. 少子化についてうかがいます。

問 32 あなたの理想とする子どもの数は何人ですか。(口内に数字をご記入ください。)

理想とする子どもの人数 人

問 33 問 32 の「理想とするお父さんの人数」より、「現在のお父さんの人数」が少ない方がいます。あなたが理想とするお父さんの人数は、実現可能だと思いますか。(1つのみ)

- 実現可能だと思う ⇒ 問34へ
- 実現することは難しいと思う ⇒ 問33-1へ

問 33-1 問 33 で「実現することは難しいと思う」と回答した方にうかがいます。実現することが難しいと思う理由は何ですか。(いくつでも)

- 子育てのための経済的負担が大きいため
- 子どもが将来どう育つか不安になるなど、精神的負担が大きいため
- 子育てのための肉体的負担が大きいため
- 仕事と子育ての両立が困難だから
- 子育てより自分の時間を大切にしたいから
- 子育てをするための住宅事情が悪いから
- 年齢的あるいは健康上の理由から
- その他 ()

問 34 あなたは、少子化問題に対してどのように考えていますか。(1つのみ)

- だだちに解決すべき重要な問題
- できるだけ解決すべき重要な問題
- 重要な問題だが、致し方ないことだと思う
- 特に問題を感しない

問 35 少子化対策として、どのようなことが大切だと思いますか。(いくつでも)

- 出会いの場の創出
- 結婚に対する支援
- 労働時間の短縮
- 母子保健のサービスの充実
- 妊産婦・小児医療サービスの充実
- 不妊治療に対する支援
- 妊娠、出産、子育てに関わるサービスの充実
- 育児相談の充実
- 育児休業制度の普及・啓発
- 単身赴任や海外赴任などの転勤に対する企業の配慮
- 各種保育サービスの充実
- 保育所(園)や幼稚園などの費用軽減
- 教育費の負担軽減
- 出産に対する一時金の支給
- その他 ()
- 特になし

1.4. 子育てと介護 (ダブルケア) についてうかがいます。

問 36 あなたは、「ダブルケア※」という言葉を聞いたことはありますか。(1つのみ)

- ある ない

※「ダブルケア」とは、育児と同時に親戚や親族の介護を行うことをいいます。

問 37 現在、あなたは、子育てと介護を同時に行っていますか。(1つのみ)

- 現在行っている 現在行っていないが、過去に経験がある
 現在行っていないが数年先に行う可能性がある 過去に経験もなく、数年先に行う可能性もない

問 38 あなたは、ダブルケアに関して、どのような支援策が必要だと思いますか。(3つまで)

- 子育て支援サービスの充実 介護サービスの充実
 子育て・介護の一体的な相談窓口の開設 子育て費用の負担軽減
 介護費用の負担軽減 子育て・介護に関する情報提供の充実
 地域でダブルケアの当事者が集える場所 ダブルケアの対応に関する手引書
 その他 ()

1.5. 子育て全般についてうかがいます。

問 39 子育ては楽しいですか。(1つのみ)

- 楽しい まあまあ楽しい
 どちらともいえない (楽しい時もあるがつらい時もある) あまり楽しくない
 まったく楽しくない

問 40 子育てに関する情報をどの程度入手できていると感じていますか。(1つのみ)

- 十分に入手できている ある程度入手できている あまり入手できていない
 ほとんど入手できていない 入手する必要がない

問 41 子育てに関する情報をどのように入手していますか。(いくつでも)

- 親族 (親、きょうだいなど) 友人
 近所の人 民生委員・児童委員
 幼稚園、保育所等、認定こども園 保健センター
 子育て支援センター 子育てサークルの仲間
 市の子育て関連担当窓口 市のホームページ
 テレビ、ラジオ、新聞 インターネット
 LINE、フェイスブック等のSNS 市広報紙 (りゅうほう)
 市販の子育て情報誌・育児書 たつのこ たつち (母子手帳アプリ母子モ)
 龍ヶ崎市メール配信サービス 情報の入手手段がわからない
 その他 ()

問 42 子育てををする上で、不安に感じていることや悩んでいることはどのようなことですか。(いくつでも)

- 子どもの健康や養育・発達に関すること
 子どもの教育や将来に関すること
 育児の方法や子どもとの接し方が分からないこと
 精神的・身体的な疲れが激しいこと
 出費がかさむこと
 自分自身や夫婦で楽しむ時間が持てないこと
 仕事との両立が難しいこと
 配偶者や家族の協力・理解が不十分なこと
 身近に話し相手や相談相手がいらないこと
 介護との両立
 その他 ()
 特になし

問 43 龍ヶ崎市における子育ての環境や支援へのそれぞれの満足度についてお答えください。(それぞれ1つのみ)

	満足	まあまあ満足	どちらとも 言えない	あまり満足 していない	不満足
①子育てしやすいまちである	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
②子どもを産み育てやすい施設やサービス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③小児科医など病院・医院の数と夜間・休日などの医療サービス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④障がいのある人が生活しやすい施設・サービス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑤小・中学校の教育内容や施設	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑥子どもが健やかに育つ環境	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑦男女の平等意識を育み、性の差を感じることなく活躍できる環境	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑧子育てと仕事や両立しやすい職場環境	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑨妊娠・出産の支援に対して満足	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問44 子育てしやすいまちとは、どのようなまちですか。(3つまで)

<input type="checkbox"/> 安定した収入が得られる雇用の場が近くにあるまち <input type="checkbox"/> 子どもを安心して預けられる環境が充実しているまち <input type="checkbox"/> 子どもが質の高い教育・保育・療育を受けられる環境が充実しているまち <input type="checkbox"/> 子ども一人ひとりの個性を伸ばす環境が充実しているまち <input type="checkbox"/> 子どもが巻き込まれる事故や犯罪などが少ないまち <input type="checkbox"/> 小児科等の医療体制が整っているまち <input type="checkbox"/> 住民が子育てで家庭にやさしい・理解があるまち <input type="checkbox"/> 子育てに困ったときの相談体制が充実しているまち <input type="checkbox"/> 子どもの遊び場がたくさんあるまち <input type="checkbox"/> 子育て中の親子が集える場所や機会がたくさんあるまち <input type="checkbox"/> その他 ()
--

問45 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由に記入ください。

質問は以上になります。調査にご協力いただきまして、ありがとうございます。

切手を貼らずに同封の返信用封筒に入れて、**2月2日(金)まで**に、

郵便ポストにご投函ください。

2. 小学生の調査票

龍ヶ崎市子ども・子育て支援に関するニース調査

【小学生の保護者の皆さまへ】

皆さまには、日頃から児童福祉行政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。
さて、本市では、令和2年3月に策定した「第2期龍ヶ崎市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、家庭・地域・関係機関等が互いに連携し、未来を担うすべての子どもたちの幸せを第一に考え、すべての子育て家庭が安心して子どもを育てることができるよう、子どもの出生から自立に至るまで、一貫性・継続性のある支援に努めています。

このたび、第2期計画期間が令和6年度に終了することに伴い、「第3期龍ヶ崎市子ども・子育て支援事業計画（令和7年度～令和11年度）」を策定します。

そこで、市民の皆さまの『地域の子育て支援事業等』に関する「利用状況」や「利用希望」を把握するとともに、「ご意見・ご要望」をお聞きするアンケート調査を実施します。

この調査は、住民基本台帳から小学生を抽出し、保護者の皆さまにご協力をお願いするものです。ご回答いただいた調査内容は、個人が特定されないよう統計的に処理し、調査の目的以外に使用することはありません。

つきましては、ご多忙のこととは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和6年1月

龍ヶ崎市 市長 萩原 勇

<ご記入にあたってのお願い>

1. 本調査の対象者は、**令和5年12月1日現在**で抽出しています。
2. ご記入は、**宛名のお子さんの保護者の方**にお願いいたします。
3. ご回答は、**選択肢に①(し点)**をつけていただく場合と、**数字をご記入**いただく場合がございます。
また、「その他」を選択した場合には、() 内に具体的な内容をご記入ください。
4. 時間を数字でご記入いただく場合、**24時間制(例:09時～18時)**でご記入ください。
5. 設問によっては、**ご回答いただく方が限られる場合がございます**。注意書きや失印に従ってご回答ください。特に注意書きのない場合は次の設問へお進みください。
6. ご記入いただいたアンケート用紙は、お手数ですが、**2月2日(金)**までに**同封の返信用封筒**に入れて、郵便ポストにご投函ください。**切手の貼付やお名前前の記入は不要ありません。**

ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

龍ヶ崎市 福祉部 子ども家庭課
電話:0297-64-1111(内線 247)
F A X:0297-64-7008
Eメール:kodomo@city.ryugasaki.lg.jp



本調査票における用語の定義の内容

用語/定義	
幼稚園	学校教育法に定める3～5歳児に対して学校教育を行う施設(学校教育法第22条)
保育所(園)	児童福祉法に定める保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設(児童福祉法第39条)
認定こども園	幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設(就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項)
子育て	教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
子育て世代包括支援センター	妊婦、出産、子育てに関わる相談及び支援を行う
プレ・ママ教室、プレ・パパ教室	妊婦やその配偶者を対象とした出産に向けての沐浴等を事前に体験する場の提供
離乳食教室	管理栄養士による離乳食初期についての講話
こどもの健康相談	身体測定や保健師・管理栄養士などによる相談
子育てふれあいセミナー	小学校低学年の保護者を対象に実施する家庭教育に関する学習機会
教育センター	学校教育に関する指導・相談を行う
保育所(園)の園庭開放	保育所の園庭を幼稚園や保育所に通う前の子どもにも地域で遊ぶ場として開放する事業
幼稚園の園庭開放・親子登園等	保育所同様、幼稚園の園庭を開放するとともに、幼稚園の行事などを体験する事業
さんさん館子育て支援センター・駅前こどもステーション・地域子育て支援センター	各施設において、幼稚園や保育所に通う前の子どももその保護者を対象とする遊び・交流・相談の場
子どもの居場所づくり・たつのこ児童館	たつのこや管理棟において、ボランティアサポーターのもと、随時的・一時的な保育ニーズに対応するため、地域において子育ての相互援助活動を行う会員の組織
ファミリーサポーターセンター	保護者が美容室や病院等の子どもを連れていけない用事により、さんさん館内の保育ルームにおいて有料で一時的に子どもを預かる事業
リフレッシュ保育	保育の知識と経験を持ち、有料で一時的に子どもを預かるサービスを提供する者
保育サポーター	一時保育やリフレッシュ保育等のサービスを利用した際の利用料の一部を市が助成する事業
たつのこ預かり保育利用助成金事業	保育サポーターのサービスを利用した際の利用料の一部を市が助成する事業
子育てサポート利用助成事業	子どもを取り巻く家庭生活全般に関する相談を行う
子ども家庭総合支援室	妊娠から子育て世代を対象とした、子どもの成長に合わせた市の子ども・子育て事業などの情報を掲載したガイドブック
子育てガイドブック	学校に就学し、支援を必要とするお子さんにに対し、放課後・長期休暇中に生活能力向上のための訓練等の便宜を提供する事業所
放課後等デイサービス事業所	お子さんの発達を促すような関わり方について、専門の指導員が個別で指導します。
おひさまくらぶ(発達相談)	お子さんへの関わり方について、専門の指導員が個別支援を行います。
たんぽぽくらぶ(育児支援相談)	子育てに関する専門の相談員です。保護者のニーズに応じた様々な支援サービスの情報提供などを行います。
子育て支援コンシェルジュ	乳幼児の外泊支援のため、おむつ交換機・ミルク用のお湯の提供
たつのこ育て応援の店	保護者の通勤時間等の状況により、保育所等の開所時間内にお子さんの送迎が難しい場合に、バスで送迎する事業です。
駅前こどもステーション(送迎サービス)	

問7 宛名のお子さんを妊娠した際、または生まれた時に龍ヶ崎市にお住まいでしたか。(1つのみ)
 はい ⇒ 問8へ いいえ ⇒ 問7-1へ

問7-1 問7で「いいえ」と回答した方にうかがいます。
 龍ヶ崎市に転入した理由をお聞かせください。(いくつでも)
 買い物など生活するのに便利 家賃や住宅購入費が安い
 交通の便が良い 医療機関が充実している
 自然環境が良い 保育施設や子育て支援サービスが充実している
 教育環境が良い 親族が龍ヶ崎市に住んでいる
 公共施設や道路・公園などが整っている その他 ()

3. 宛名のお子さんの育ちをめぐり環境についてうかがいます。

問8 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている施設はどちらですか。(いくつでも)
 小学校 教育センター こども発達センターつぼみ園
 学童保育 放課後等デイサービス その他 ()

問9 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に、特に影響すると思われる環境は何ですか。(いくつでも)
 家庭 地域 学校
 教育センター こども発達センターつぼみ園 学童保育
 放課後等デイサービス事業所 その他 ()

問10 日頃、宛名のお子さんを見てもらえる親族・知人はいますか。(いくつでも)
 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる ⇒ 問10-1へ
 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
 いずれもない ⇒ 問11へ

1. お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区についてお答えください。(1つのみ)
 龍ヶ崎小学校区 大宮小学校区 八原小学校区
 馴菜小学校区 川原代小学校区 龍ヶ崎西小学校区
 松葉小学校区 長山小学校区 馴馬台小学校区
 久保台小学校区 城ノ内小学校区 わからない
 (お住まいの町名 _____ 町)

2. 封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。(口内に数字をご記入ください。)
 西暦 年 月 生まれ

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数をご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合、末子の方の生年月月をご記入ください。
 (口内に数字をご記入ください。)

きょうだい数 人 / 末子の生年月月 西暦 年 月生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。また、ご回答いただく方の年代をお答えください。(それぞれ1つのみ)
 (1) 回答者 母親 父親 その他 ()

(2) 年代 10代 20代 30代
 40代 50代 60代以上

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(1つのみ)
 配偶者がいる 配偶者はいない

問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主にしているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(1つのみ)
 父母ともに 主に母親 主に父親 主に祖父母 その他 ()

問10-1 問10で「日常的に祖父母等の親族にのみてもらえる」、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にのみてもらえる」と回答した方にかがいます。

祖父母等の親族にお子さんをのみてもらっている状況についてお答えください。(いくつでも)

祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをのみてもらえる

祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である

祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である

自分たち親の立場として、負担をけていることが心苦しい

子どもの教育や発達にとってさらさらわしい環境であるか、少し不安がある

その他()

問10-2 問10で「日常的に子どもをのみてもらえる友人・知人がいる」、「緊急時もしくは用事の際には子どもをのみてもらえる友人・知人がいる」と回答した方にかがいます。

友人・知人にお子さんをのみてもらっている状況についてお答えください。(いくつでも)

友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをのみてもらえる

友人・知人の身体的負担が大きく心配である

友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である

自分たち親の立場として、負担をけていることが心苦しい

子どもの教育や発達にとってさらさらわしい環境であるか、少し不安がある

その他()

問11 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。

また、相談できる場所はありませんか。(1つのみ)

いる/ある ⇒ 問11-1へ いない/ない ⇒ 問12へ

問11-1 問11で「いる/ある」と回答した方にかがいます。

宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できるのは、誰(どこ)ですか。(いくつでも)

配偶者(パートナー) 父母(子どもの祖父母)

親戚(兄弟姉妹含む) 友人

近所の人 職場の人

小学校の先生 教育センター

子ども発達センター/つほみ園 さわやか相談員

放課後等デイサービス事業所 保健センター

子育て支援センター(さんさん館等を含む) 保育サポートター

民生委員・児童委員 市の子育て関連窓口

かかりつけの医師 その他(問12へ)

問12 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

()

()

()

4. 宛名のお子さん現在の就業状況(自営業、家族従事者含む)をお答えください。(1つのみ)

問13 保護者の現在の就業状況(自営業、家族従事者含む)をお答えください。(1つのみ)

(1) 母親の状況について 【父子家庭の場合、記入は不要です】

フルタイム*1で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない ⇒ 問13-1へ

フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である

パート・アルバイト等*2で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない

パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である

以前は就労していたが、現在は就労していない

これまで就労したことがない ⇒ 問13(2)へ

*1 フルタイム：1週5日程度・1日8時間程度の就労
*2 パート・アルバイト等：フルタイム以外の就労

(1) -①・② (1)で「就労している」と回答した方にかがいます。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」、「家を出る時間」と「帰宅時間」をお答えください。(口内に数字をご記入ください)

※就労日数や就労時間などが一定でない場合、もともとも多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

※時間は24時間制(例：帰宅時間 19時)

① 就労日数・就労時間	1週当たり	□	日	/	□	日	当たり	□	時間		
② 家を出る時間・帰宅時間	家を出る時間	□	□	時	/	□	時	帰宅時間	□	□	時

(2) 父親の状況について 【母子家庭の場合、記入は不要です】

フルタイム*1で就労しており、産休・介護休業中ではない ⇒ 問13-1へ

フルタイムで就労しているが、産休・介護休業中である

パート・アルバイト等*2で就労しており、産休・介護休業中ではない

パート・アルバイト等で就労しているが、産休・介護休業中である

以前は就労していたが、現在は就労していない

これまで就労したことがない ⇒ 問13-2へ

*1 フルタイム：1週5日程度・1日8時間程度の就労
*2 パート・アルバイト等：フルタイム以外の就労

(2) -①・② (2)で「就労している」と回答した方にかがいます。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」、「家を出る時間」と「帰宅時間」をお答えください。(口内に数字をご記入ください)

※就労日数や就労時間などが一定でない場合、もともとも多いパターンについてお答えください。

※産休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

※時間は24時間制(例：帰宅時間 19時)

① 就労日数・就労時間	1週当たり	□	日	/	□	日	当たり	□	時間		
② 家を出る時間・帰宅時間	家を出る時間	□	□	時	/	□	時	帰宅時間	□	□	時

問13-1 問13の(1)または(2)で“就労している(パート・アルバイト等で就労している)”と回答した方にうかがいます。

フルタイムへの転換希望はありますか。(1つのみ)

(1) 母親

フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある

フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない

パート・アルバイト等の就労を続けることを希望

パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある

フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない

パート・アルバイト等の就労を続けることを希望

パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

問13-2 問13の(1)または(2)で“就労していない”と回答した方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。(該当する回答にそれぞれ1つのみ、該当する口内に数字をご記入ください。)

(1) 母親

就労の予定はない(子育てや家事などに専念したい)

1年より先、一番下の子どもが 歳になったときに就労したい

すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

希望する フルタイム

就労形態 パートタイム・アルバイト等 (「フルタイム」以外)

(1週当たり 日 / 1日当たり 時間)

(2) 父親

就労の予定はない(子育てや家事などに専念したい)

1年より先、一番下の子どもが 歳になったときに就労したい

すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

希望する フルタイム

就労形態 パートタイム・アルバイト等 (「フルタイム」以外)

(1週当たり 日 / 1日当たり 時間)

※すべての方にうかがいます。問14 あなたが、子育てと仕事を両立する上で大変だと感じること何ですか。(いくつでも)

家族の理解が得られない

配偶者(パートナー)が家事・育児に対して非協力的

職場の理解が得られない

介護との両立

希望する保育所(園)などに預けられない

子どもと接する時間が少ない

自分の体調が悪い時、みてくれる人がいない

子どもの急な体調の変化への対応

自分の自由な時間がもてない

特に大変だと感じることはない

その他()

問15 下記のサービスで知っているものや、これまでに利用したことがあるものについてお答えください。(①～⑮のサービスごとに、A、Bのそれぞれについて、1つのみ)

サービス	A 知っている		B これまでに利用したことがある	
	はい	いいえ	はい	いいえ
※以下のサービスの内容については、2ページを参照ください。				
① 子育て世代包括支援センター	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② プレ・ママ教室、プレ・PA教室	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 離乳食教室	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④ こどもの健康相談	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑤ 子育てふれあいセミナー	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑥ 教育センター	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑦ 保育所の園庭開放	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑧ 幼稚園の園庭開放・親子登園等	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑨ さんさん館子育て支援センター	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑩ 駅前こどもステーション子育て支援センター	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑪ 地域子育て支援センター	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑫ 子どもの居場所づくり・たつこの児童館	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑬ ファミリーサポートセンター	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑭ リフレッシュ保育	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑮ 保育サポーター	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑯ たつこの預かり保育利用助成金事業	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑰ 子育てサポート利用助成事業	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑱ 子ども家庭総合支援室	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑲ 子育てガイドブック	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑳ おひさまくらぶ(発達相談)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
㉑ たんぼほくらぶ(育児支援相談)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
㉒ 子育て支援コンシェルジュ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
㉓ たつこの子育て応援の店	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
㉔ 駅前こどもステーション(送迎サービス)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
㉕ こども発達センターつほみ園	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

5. 宛名のお子さんの病氣やケガの際の対応についてうかがいます。

問 16 この1年間に、宛名のお子さんが病氣やケガで学校（教育センター・つぼみ園等を含む）を休まなければならなかったことはありましたか。（1つのみ）

あった ⇒ 問16-1へ なかった ⇒ 問17へ

問 16-1 問 16 で「あった」と回答した方にうかがいます。

宛名のお子さんが病氣やケガで学校（教育センター・つぼみ園等を含む）を休まなければならなかった場合に、この1年間に行った対処方法はどれですか。それぞれの日数もご記入ください。（いくつでも、口内に数字をご記入ください。）※半日程度の利用も1日としてください。

1年間の対処方法	日数（年間）
<input type="checkbox"/> 父親が休んだ	日 [] [] ⇒ 問16-2へ
<input type="checkbox"/> 母親が休んだ	日 [] []
<input type="checkbox"/> (同居者を含む) 親族・知人に子どもを看てもらった	日 [] []
<input type="checkbox"/> 父親または母親のうち就労していない方が子どもを看た	日 [] []
<input type="checkbox"/> 病児・病後児の保育を利用した	日 [] []
<input type="checkbox"/> ベビーシッターを利用した	日 [] [] ⇒ 問16-5へ
<input type="checkbox"/> 保育サポーターを利用した	日 [] []
<input type="checkbox"/> 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	日 [] []
<input type="checkbox"/> その他 ()	日 [] []

問 16-2 問 16-1 で「父親が休んだ」、「母親が休んだ」と回答した方にうかがいます。

その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。日数についてもご記入ください。なお、病児・病後児のためのサービス等の利用には、一定の利用者負担があり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。（1つのみ、口内に数字をご記入ください。）

できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ 年間 [] [] 日 [] [] ⇒ 問16-3へ

利用したいとは思わない ⇒ 問16-4へ

問 16-3 問 16-2 で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した方にうかがいます。

病児・病後児保育の望ましいサービス形態はどれですか。（いくつでも）

他の施設（例：幼稚園・保育園等）に併設した施設で子どもを保育するサービス

小児科に併設した施設で子どもを保育するサービス

地域住民等が子育て支援等の身近な場所で保育するサービス
（例：ファミリーサポートセンター・NPO等が実施する保育サポート）

その他 ()

問 16-4 問 16-2 で「利用したいとは思わない」と回答した方にうかがいます。

そう思われる理由は何ですか。（いくつでも）

病児・病後児を他人に着てもらえないのは不安

地域やサービスの質に不安がある

地域やサービスの利用性が悪い（立地や利用可能時間・日数など）

利用料が高くなる・高い

利用料がわからない

親が仕事を休んで対応できる

その他 ()

問 16-5 問 16-1 で「(同居者を含む) 親族・知人に子どもを看てもらった」から「その他」を回答した方にうかがいます。

その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。問 16-1 の「(同居者を含む) 親族・知人に子どもを看てもらった」から「その他」の日数のうち、仕事を休んで看たかった日数についてもご記入ください。

(1つのみ、口内に数字をご記入ください。)

できれば仕事を休んで看たい ⇒ 年間 [] [] 日 ⇒ 問17へ

休んで看ることは非常に難しい ⇒ 問16-6へ

問 16-6 問 16-5 で「休んで看ることは非常に難しい」と回答した方にうかがいます。

そう思われる理由は何ですか。（いくつでも）

子どもの看護を理由に休みがとれない 自営業なので休めない

休暇日数が足りないので休めない 就業先の雰囲気的に休みが取りづらい

その他 ()

6. 宛名のお子さんの不定期の教育・保育サービスや宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問 17 宛名のお子さんについて、病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用しているサービスはありますか。1年間の利用日数（おおよそ）もご記入ください。
（1つのみ、ア～エはいくつでも、利用したい日数を口内にご記入ください。）

<input type="checkbox"/> 利用している	年間計	日
<input type="checkbox"/> ア. ファミリーサポートセンター	年間	日
<input type="checkbox"/> イ. 保育サポート	年間	日 ⇒ 問18へ
<input type="checkbox"/> ウ. ベビーシッター	年間	日
<input type="checkbox"/> エ. その他（ ）	年間	日
<input type="checkbox"/> 利用していない	⇒ 問17-1へ	

問 17-1 問 17 で「利用していない」と回答した方にうかがいます。

- 現在、利用していない理由は何ですか。（いくつでも）
- 特に利用する必要がない
 - 利用したいサービスが地域にない
 - 地域のサービスの質に不安がある
 - 地域のサービスの利便性が悪い（立地や利用可能時間・日数など）
 - 利用料がかかる・高い
 - 利用料がわからない
 - 自分がサービスの対象者になるのかわからない
 - サービスの利用方法（手続き等）がわからない
 - その他（ ）

問 18 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらいサービスを利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について選択し、必要な日数をご記入ください。
なお、これらのサービスの利用には、一定の利用者負担が発生します。
（1つのみ、ア～エはいくつでも、利用する日数を口内にご記入ください。）

<input type="checkbox"/> 利用したい	年間計	日
<input type="checkbox"/> ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の急い事等）、リフレッシュ目的	年間	日
<input type="checkbox"/> イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等	年間	日 ⇒ 問18-1へ
<input type="checkbox"/> ウ. 不定期の就労	年間	日
<input type="checkbox"/> エ. その他（ ）	年間	日
<input type="checkbox"/> 利用する必要はない	⇒ 問19へ	

問 18-1 問 18 で「利用したい」と回答した方にうかがいます。

問 18 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれのサービスのサービス形態が望ましいと思われませんか。（いくつでも）

- 施設での子どもを預かるサービス
- 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で開催するサービス
（例：ファミリーサポートセンター・NPO等が実施する保育サポート）
- その他（ ）

問 19 宛名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。

短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無について選択し、それぞれ必要な泊数をご記入ください。

なお、これらのサービスの利用には、一定の利用者負担が発生します。

（1つのみ、ア～エはいくつでも、利用する宿泊数を口内にご記入ください。）

<input type="checkbox"/> 利用したい	年間計	日
<input type="checkbox"/> ア. 冠婚葬祭	年間	日
<input type="checkbox"/> イ. 保護者や家族の育児疲れ・不安	年間	日
<input type="checkbox"/> ウ. 保護者や家族の病気	年間	日
<input type="checkbox"/> エ. その他（ ）	年間	日
<input type="checkbox"/> 利用する必要はない		

7. 宛名のお子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます。

学童保育とは…

保護者が就労等により居間家庭にいない場合などに、放課後児童支援員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

放課後子ども教室とは…

地域の協力を得て、土曜日(サタースクール)に小学校で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する事業です。保護者の就労の有無に関わらず、小学校3年生～6年生までの児童が利用できます。

放課後等デイサービスとは…

学校通学中の発達支援が必要な児童に対して、放課後や夏休み等の長期休暇中において、生活能力向上のための訓練等継続的に行う施設です。施設の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

問20 宛名のお子さんについて、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。小学校低学年時(1～3年生)、小学校高学年時(4～6年生)、それぞれ希望する週あたりの希望日数をご記入ください。また、「学童保育」の場合には、利用を希望する時間もご記入ください。

(いくつでも、口内に数字をご記入ください)

※時間は24時間制(例：下校時から17時まで)

※現在高学年でない場合は、現在お持ちのイメージでお答えください。

希望する場所【複数選択可】	週当たりの希望日数【数字を記入】	
	低学年(1～3年生)	高学年(4～6年生)
<input type="checkbox"/> 自宅	週 <input type="text"/> 日 <input type="text"/> 日	週 <input type="text"/> 日 <input type="text"/> 日
<input type="checkbox"/> 祖父母または親族宅	週 <input type="text"/> 日 <input type="text"/> 日	週 <input type="text"/> 日 <input type="text"/> 日
<input type="checkbox"/> 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週 <input type="text"/> 日 <input type="text"/> 日	週 <input type="text"/> 日 <input type="text"/> 日
<input type="checkbox"/> 放課後子ども教室	週 <input type="text"/> 日 <input type="text"/> 日	週 <input type="text"/> 日 <input type="text"/> 日
<input type="checkbox"/> 小学校の余裕教室などでの学童保育	週 <input type="text"/> 日 <input type="text"/> 日	週 <input type="text"/> 日 <input type="text"/> 日
<input type="checkbox"/> アフタースクール	下校時 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 時 まで	下校時 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 時 まで
<input type="checkbox"/> サタースクール	週 <input type="text"/> 日 <input type="text"/> 日 まで	週 <input type="text"/> 日 <input type="text"/> 日 まで
<input type="checkbox"/> 放課後等デイサービス	下校時 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 時 まで	下校時 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 時 まで
<input type="checkbox"/> ファミリーサポートセンター	週 <input type="text"/> 日 <input type="text"/> 日	週 <input type="text"/> 日 <input type="text"/> 日
<input type="checkbox"/> その他(コミュニティセンター、公園など)	週 <input type="text"/> 日 <input type="text"/> 日	週 <input type="text"/> 日 <input type="text"/> 日

問20-1 問20で「小学校の余裕教室などでの学童保育」と回答した方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、土曜日・祝日に、学童保育の利用希望はありますか。利用希望がある場合は、希望する時間帯もご記入ください。

(それぞれ1つのみ、口内に数字をご記入ください。) ※時間は24時間制(例：09時から18時)

(1) 土曜日

低学年(1～3年生)の間は利用したい] ⇒ 利用したい時間帯

高学年(4～6年生)になっても利用したい] 時から 時まで

利用する必要はない

(2) 日曜日・祝日

低学年(1～3年生)の間は利用したい] ⇒ 利用したい時間帯

高学年(4～6年生)になっても利用したい] 時から 時まで

利用する必要はない

問21 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期休暇中に、学童保育の利用希望はありますか。利用希望がある場合は、希望する時間帯もご記入ください。

(1つのみ、口内に数字をご記入ください。) ※時間は24時間制(例：09時から18時)

低学年(1～3年生)の間は利用したい] ⇒ 利用したい時間帯

高学年(4～6年生)になっても利用したい] 時から 時まで

利用する必要はない

8. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます。

問 22 宛名のお子さんが生まれた時、父・母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。また、取得していない方はその理由をお答えください。

		(1) 母親 (1つのみ)	(2) 父親 (1つのみ)
<input type="checkbox"/>	働いていなかった	<input type="checkbox"/>	働いていなかった
<input type="checkbox"/>	取得した	<input type="checkbox"/>	取得した
<input type="checkbox"/>	取得していない	<input type="checkbox"/>	取得していない

(1) 母親	(2) 父親	取得していない理由 (いくつでも)
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	仕事が忙しかった
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	(産休後に) 仕事に早く復帰したかった
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	仕事に戻るのが難しそうだった
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	昇給・昇格などが遅れそうだった
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	収入減となり、経済的に苦しくなる
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	保育所等に預けることができた
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	配偶者が育児休業制度を利用した
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	子育てや家事に専念するため退職した
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	育児休業を取得できることを知らなかった
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他【母親】()
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他【父親】()

問 22-1 すべての方にうかがいます。

「育児休業給付*1」、「保険料免除*2」の仕組みをご存知でしたか。(1つのみ)

<input type="checkbox"/>	育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
<input type="checkbox"/>	育児休業給付のみ知っていた
<input type="checkbox"/>	保険料免除のみ知っていた
<input type="checkbox"/>	育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

*1 「育児休業給付」とは、子どもが原則1歳になるまで育児休業給付が支給される仕組み。保育所等における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は2歳まで取得できます。

*2 「保険料免除」とは、子どもが3歳になるまでの育児休業期間に健康保険及び学生年金保険の保険料が免除になる仕組み。法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置となります。

育児休業給付の受給資格は、育児休業を開始した日前2年間に被保険者期間が12か月以上必要となります。なお、育児休業を開始した日前2年間に被保険者期間が12か月ない場合は2歳まで取得できます。業や本人の疾病等がある場合は、受給要件が緩和され、受給要件を満たす場合があります。ただし、育児休業開始時点において、有期雇用労働者の場合は、育児休業開始時において、同一の事業主の下で1年以上雇用が継続しており、かつ、子が1歳6か月までの間に労働契約が更新されないことが明らかでないことが必要です。

問 22-2 「取得した」と回答した方にうかがいます。

※該当しない方は問 23へ

育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(それぞれ1つのみ)

(1) 母親	<input type="checkbox"/>	育児休業取得後、職場に復帰した	⇒ 問22-3へ
	<input type="checkbox"/>	現在も育児休業中である(下の子の關係で)	⇒ 問22-9へ
	<input type="checkbox"/>	育児休業中に離職した	⇒ 問23へ
(2) 父親	<input type="checkbox"/>	育児休業取得後、職場に復帰した	⇒ 問22-3へ
	<input type="checkbox"/>	現在も育児休業中である(下の子の關係で)	⇒ 問22-9へ
	<input type="checkbox"/>	育児休業中に離職した	⇒ 問23へ

問 22-3 問 22-2 で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所等入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。

なお、年度初めの認可保育施設入所を希望して、1月～2月頃に職場復帰、一時的に認可外保育施設に入所した場合などは選択肢「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」にあてはまりません。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所等に入所できなかったという場合も「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」を選択してください。(それぞれ1つのみ)

(1) 母親	<input type="checkbox"/>	年度初めの入所に合わせたタイミングだった
	<input type="checkbox"/>	それ以外だった
(2) 父親	<input type="checkbox"/>	年度初めの入所に合わせたタイミングだった
	<input type="checkbox"/>	それ以外だった

問 22-4 問 22-2 で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、お子さんが何歳何か月のときまで取り戻ったかどうかですか。(それぞれ口内に実際の復帰時期をご記入ください)

(1) 母親	実際の復帰時期	歳	か月	希望の復帰時期	歳	か月
(2) 父親	実際の復帰時期	歳	か月	希望の復帰時期	歳	か月

問 22-5 問 22-2 で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取り戻ったかどうかですか。(それぞれ口内に希望の時期をご記入ください)

(1) 母親	歳	か月
(2) 父親	歳	か月

問22-4で「実際の復帰時期」と「希望の復帰時期」が異なる方にうかがいます。希望の時期に職場復帰しなかった理由をお答えください。

(1) 希望より早く復帰した方 (それぞれいくつでも)

(1) 母親	<input type="checkbox"/> 希望する保育所等に入るため <input type="checkbox"/> 配偶者や家族の希望があったため <input type="checkbox"/> 経済的な理由で早く復帰する必要があるため <input type="checkbox"/> 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため <input type="checkbox"/> その他 ()
(2) 父親	<input type="checkbox"/> 希望する保育所等に入るため <input type="checkbox"/> 配偶者や家族の希望があったため <input type="checkbox"/> 経済的な理由で早く復帰する必要があるため <input type="checkbox"/> 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため <input type="checkbox"/> その他 ()

(2) 希望より遅く復帰した方 (それぞれいくつでも)

(1) 母親	<input type="checkbox"/> 希望する保育所等に入れなかったため <input type="checkbox"/> 自分や子どもなどの体調が悪くなったため <input type="checkbox"/> 配偶者や家族の希望があったため <input type="checkbox"/> 職場の受け入れ態勢が整っていないため <input type="checkbox"/> 子どもをみてくれる人がいなかったため <input type="checkbox"/> その他 ()
(2) 父親	<input type="checkbox"/> 希望する保育所等に入れなかったため <input type="checkbox"/> 自分や子どもなどの体調が悪くなったため <input type="checkbox"/> 配偶者や家族の希望があったため <input type="checkbox"/> 職場の受け入れ態勢が整っていないため <input type="checkbox"/> 子どもをみてくれる人がいなかったため <input type="checkbox"/> その他 ()

問22-7で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度*を利用しましたか。(それぞれ1つのみ)

(1) 母親	<input type="checkbox"/> 利用する必要がなかった (フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった) <input type="checkbox"/> 利用した <input type="checkbox"/> 利用しなかったが、利用しなかった(できなかった) ⇒ 問22-8へ
(2) 父親	<input type="checkbox"/> 利用する必要がなかった (フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった) <input type="checkbox"/> 利用した <input type="checkbox"/> 利用しなかったが、利用しなかった(できなかった) ⇒ 問22-8へ

*短時間勤務制度とは、所定労働時間を通常よりも短くする制度で、育児・介護休業法では、3歳未満のお子さんを養育する労働者が希望する場合、1日の所定労働時間を原則として6時間とすることを事業主に義務付けています。

問22-8 問22-7で「利用しなかったが、利用しなかった(できなかった)」と回答した方にうかがいます。短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由は何ですか。(それぞれいくつでも)

(1) 母親	<input type="checkbox"/> 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった <input type="checkbox"/> 仕事が忙しかった <input type="checkbox"/> 短時間勤務にすると給与が減額される <input type="checkbox"/> 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる <input type="checkbox"/> 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した <input type="checkbox"/> 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた <input type="checkbox"/> 子育てや家事に専念するため退職した <input type="checkbox"/> 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めなかった) <input type="checkbox"/> 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった <input type="checkbox"/> その他 ()
(2) 父親	<input type="checkbox"/> 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった <input type="checkbox"/> 仕事が忙しかった <input type="checkbox"/> 短時間勤務にすると給与が減額される <input type="checkbox"/> 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる <input type="checkbox"/> 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した <input type="checkbox"/> 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた <input type="checkbox"/> 子育てや家事に専念するため退職した <input type="checkbox"/> 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めなかった) <input type="checkbox"/> 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった <input type="checkbox"/> その他 ()

問22-9 問22-2で「現在も育児休業中である」と回答し、お父さんが1歳未満の方にうかがいます。宛名のお子さんまたは下のお子さんが1歳になったときに必ず利用できるサービスがあれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられるサービスがあっても1歳になる前に復帰しますか。(それぞれ1つのみ)

(1) 母親	<input type="checkbox"/> 1歳になるまで育児休業を取得したい <input type="checkbox"/> 1歳になる前に復帰したい
(2) 父親	<input type="checkbox"/> 1歳になるまで育児休業を取得したい <input type="checkbox"/> 1歳になる前に復帰したい

9. 子どもの虐待防止についてうかがいます。

問 23 児童虐待について、あなたが知っていることは何ですか。(いくつでも)

- 「オレンジリボン」は、児童虐待防止のシンボルマークである
- 毎年11月1日はオレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン月間である
- 児童相談所虐待対応ダイヤルの番号は「189」である
- 児童虐待の通報先に市役所も含まれる
- 児童虐待を発見した者は、通報する義務がある
- 児童虐待を受けたと思われる子どもを発見した者は、通報する義務がある
- 児童虐待の通報は匿名でもかまわない
- 児童虐待の通報をした者の秘密は守られる

問 24 あなたのまわりには児童虐待または児童虐待の疑いのあるお父さんがある場合、どこに相談・通報しますか。(いくつでも)

- 市役所に相談・通報する
- 警察に相談・通報する
- 児童相談所に相談・通報する
- 警察に相談・通報する
- 子育て支援センターに相談・通報する
- 幼稚園・保育所等・小学校等に相談・通報する
- どこに相談・通報するかわからない
- その他 ()

問 25 あなたは、児童虐待の早期対応や被害児童等に対する保護・支援として、どのような取組が必要だと思いますか。(3つまで)

- 市役所・児童相談所・警察等の関係機関の連携強化
- 各関係機関の役割分担の明確化
- 職員に対する児童虐待防止や、被害児童への対応等に関する研修の充実
- 児童養護施設等の施設の充実
- 特別養子縁組や里親制度の普及啓発
- 被害児童の自立に向けた支援の充実
- 相談窓口の周知・充実
- 保護者への児童虐待防止に関する啓発
- 地域で子どもたちを見守るためのコミュニティの構築
- 療育施設の充実
- その他 ()

10. 少子化についてうかがいます。

問 26 あなたの理想とする子どもの数は何人ですか。(口内に数字をご記入ください。)

理想とする子どもの人数 人

問 27 問 26 の「理想とするお父さんの人数」より、「現在のお父さんの人数」が少ない方がいます。あなたが理想とするお父さんの人数は、実現可能だと思いますか。(1つのみ)

- 実現可能だと思う ⇒ 問 28へ
- 実現することは難しいと思う ⇒ 問 27-1へ

問 27-1 問 27 で「実現することは難しいと思う」と回答した方にうかがいます。実現することが難しいと思う理由は何ですか。(いくつでも)

- 子育てのための経済的負担が大きいため
- 子どもが将来どう育つか不安になるなど、精神的負担が大きいため
- 子育てのための肉体的負担が大きいため
- 仕事と子育ての両立が困難だから
- 子育てより自分の時間を大切にしたいから
- 子育てをすすめるための住宅事情が悪いから
- 年齢的あるいは健康上の理由から
- その他 ()

問 28 あなたは、少子化問題に対してどのように考えていますか。(1つのみ)

- だだちに解決すべき重要な問題
- できるだけ解決すべき重要な問題
- 重要な問題だが、致し方ないことだと思う
- 特に問題を感しない

問 29 少子化対策として、どのようなことが大切だと思いますか。(いくつでも)

- 出会いの場の創出
- 結婚に対する支援
- 労働時間の短縮
- 母子保健のサービスの充実
- 妊産婦・小児医療サービスの充実
- 不妊治療に対する支援
- 妊娠、出産、子育てに関わるサービスの充実
- 育児相談の充実
- 育児休業制度の普及・啓発
- 単身赴任や海外赴任などの転勤に対する企業の配慮
- 各種保育サービスの充実
- 保育所(園)や幼稚園などの費用軽減
- 教育費の負担軽減
- 出産に対する一時金の支給
- その他 ()
- 特になし

1.1. 子育てと介護 (ダブルケア) についてうかがいます。

問 30 あなたは、「ダブルケア※」という言葉を聞いたことはありますか。(1つのみ)

- ある ない

※「ダブルケア」とは、育児と同時に親戚の介護を行うことをいいます。

問 31 現在、あなたは、子育てと介護を同時に行っていますか。(1つのみ)

- 現在行っている 現在行っていないが、過去に経験がある
 現在行っていないが数年先に行く可能性がある 過去に経験もなく、数年先に行く可能性もない

問 32 あなたは、ダブルケアに関して、どのような支援が必要だと思いますか。(3つまで)

- 子育て支援サービスの充実 介護サービスの充実
 子育て・介護の一体的な相談窓口の開設 子育て費用の負担軽減
 介護費用の負担軽減 子育て・介護に関する情報提供の充実
 地域でダブルケアの当事者が集える場所 ダブルケアの対応に関する手引き書
 その他 ()

1.2. 子育て全般についてうかがいます。

問 33 子育ては楽しいですか。(1つのみ)

- 楽しい まあまあ楽しい
 どちらともいえない (楽しい時もあるが辛い時もある) あまり楽しくない
 まったく楽しくない

問 34 子育てに関する情報をどの程度入手できていると感じていますか。(1つのみ)

- 十分に入手できている ある程度入手できている あまり入手できていない
 ほとんど入手できていない 入手する必要がない

問 35 子育てに関する情報をどのように入手していますか。(いくつでも)

- 親族 (親、きょうだいなど) 友人
 近所の人 民生委員・児童委員
 小学校 学童保育
 放課後等デイサービス 子育てサークルの仲間
 市の子育て関連担当窓口 市のホームページ
 テレビ、ラジオ、新聞 インターネット
 LINE、フェイスブック等の SNS 市広報紙 (りゅうほう)
 市販の子育て情報誌・育児書 たつのこ たつち (母子手帳アプリ/母子モ)
 龍ヶ崎市メール配信サービス 情報の入手手段がわからない
 その他 ()

問 36 子育てををする上で、不安に感じていることや悩んでいることはどのようなことですか。(いくつでも)

- 子どもの健康や発育・発達に関すること
 子どもの教育や将来に関すること
 育児の方法や子どもとの接し方が分からないこと
 精神的・身体的な疲れが激しいこと
 出費がかさむこと
 自分自身や夫婦で楽しむ時間が持てないこと
 仕事との両立が難しいこと
 配偶者や家族の協力・理解が不十分なこと
 身近に話し相手や相談相手がいらないこと
 介護との両立
 その他 ()
 特になし

問 37 龍ヶ崎市における子育ての環境や支援へのそれぞれの満足度についてお答えください。(それぞれ1つのみ)

	満足	まあまあ満足	どちらとも言いえない	あまり満足していない	不満
①子育てしやすいまちである	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
②子どもを産み育てやすい施設やサービス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③小児科医など病院・医院の数と夜間・休日などの医療サービス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④障がいのある人が生活しやすい施設・サービス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑤小・中学校の教育内容や施設	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑥子どもが健やかに育つ環境	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑦男女の平等意識を育み、性の差を感じることなく活躍できる環境	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑧子育てと仕事が両立しやすい職場環境	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑨妊娠・出産の支援に対して満足	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問 38 子育てしやすいまちとは、どのようなまちですか。(3つまで)

<input type="checkbox"/> 安定的収入が得られる雇用の場が近くにあるまち <input type="checkbox"/> 子どもを安心して預けられる環境が充実しているまち <input type="checkbox"/> 子どもが質の高い教育・保育・療育を受けられる環境が充実しているまち <input type="checkbox"/> 子ども一人ひとりの個性を伸ばす環境が充実しているまち <input type="checkbox"/> 子どもが巻き込まれる事故や犯罪などが少ないまち <input type="checkbox"/> 小児科等の医療体制が整っているまち <input type="checkbox"/> 住民が子育て家庭にやさしい・理解があるまち <input type="checkbox"/> 子育てに困ったときの相談体制が充実しているまち <input type="checkbox"/> 子どもの遊び場がたくさんあるまち <input type="checkbox"/> 子育て中の親子が集える場所や機会がたくさんあるまち <input type="checkbox"/> その他 ()
--

問 39 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由に記入ください。

質問は以上になります。調査にご協力いただきまして、ありがとうございます。

切手を貼らずに同封の返信用封筒に入れて、**2月2日(金)まで**に、

郵便ポストにご投函ください。

龍ヶ崎市
子ども・子育て支援に関するニーズ調査
【結果報告書】

令和6年3月発行

発行 龍ヶ崎市

編集 龍ヶ崎市 福祉部 こども家庭課

〒301-8611 茨城県龍ヶ崎市 3710 番地

TEL：0297-64-1111（代表）

FAX：0297-64-7008

URL：<https://www.city.ryugasaki.ibaraki.jp/>